

目次

安全にお使いいただくために

はじめに

| | | |
|-----|--|------|
| 第1章 | 本製品について | 1-1 |
| 第2章 | セットアップユーティリティについて | 2-1 |
| 第3章 | Windows95/98/Me環境で使用する | 3-1 |
| 第4章 | WindowsNT 4.0/2000/Server 2003/XP/7/8/2008/2012環境で 使用する | 4-1 |
| 第5章 | UNIX/Linux環境で使用する | 5-1 |
| 第6章 | 設定に関する機能 | 6-1 |
| 第7章 | 困ったときには | 7-1 |
| 付録 | | 付録-1 |

【表記について】

マニュアルの中で使用している、マークの意味を説明します。

| | |
|---|---|
|  | これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる危害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。 |
|  警告 | これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。 |
|  注意 | これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。 |
| 注意 | これは、装置への重大な障害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。 |
|  注意 | 操作上の注意や機能に対する制限事項などが記述されています。正しい操作を行えるように必ずお読みください。 |
|  参考 | 操作など参考になることを記述しています。操作でわからないときに参考にしてください。 |

マニュアルで説明している画面やイラストは一例です。機種により、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンやイラストなど、一部省略している場合があります。

- ・本マニュアルの著作権はリコープリンティングシステムズ株式会社に帰属します。本マニュアルの一部、または全部を無断で転載、複製、あるいは改変することは法律で禁止されています。
- ・本マニュアルはそれぞれのOSにあわせて注意深く用意しておりますが、将来バージョンアップやOSに変更のあった場合など、パソコンのモニタに実際に表示される表現と差異が出る可能性があります。ご了承ください。
- ・本マニュアル編集にあたって万全を期しておりますが、誤りや設定等の例による結果、または本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などに対し、弊社はいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- ・本マニュアルに記載された仕様、その他については改良のため変更することがあります。
- ・本マニュアルや製品について、お気づきの点または、ご不明な点は弊社カスタマサポートセンターまでご連絡ください。
- ・Microsoft、MS-DOS、Windows98、Windows Me、Windows NT、Windows 2000、Windows Server、Windows XP等は米国 Microsoft Corporationの米国及び他の国における登録商標です。
- ・UNIXはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国および他の国における登録商標です。
- ・IBM、AIXは米国IBM社の商標です。
- ・HP-UXは米国ヒューレットパカード社の商標です。
- ・Solarisは米国サンマイクロシステムズ社の商標です。
- ・LinuxはLinus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Adobe、AcrobatはAdobe System Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- ・その他、記載されている社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ・This product includes software developed by the Open SSL Project for use in Open SSL Toolkit.(<http://www.openssl.org/>)

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分に理解してください。

- ・操作は、マニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
- ・装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。



警告これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。



注意これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意

これは、装置の重大な損害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭

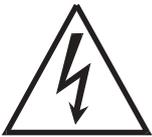
万一異常が発生した場合は、プリンタの電源スイッチをOFFにし、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



修理・改造・分解

自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。



装置内部への異物の混入

通風孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属片や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



揮発性液体の近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性の液体を近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。



電源プラグの抜き差し

・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張ると、コードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。

・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破壊時には火災の原因になります。

・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと、感電の原因になります。



包装用ポリ袋について

包装用のポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると、窒息するおそれがあります。



警告



電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

- ・電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
- ・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。ほこりや水滴が付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。
- ・グラグラしないコンセントを使ってください。



落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけたるするなど衝撃を与えないでください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。



タコ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。



湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍やほこりの多い地下室、水泳プールの近傍では使用しないでください。電気絶縁の低下により、火災や感電の原因になります。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、火災や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



注意



アルミ電解コンデンサーについて

L A Nボードに使用しているアルミ電解コンデンサーは、有寿命部品です。設計寿命は、月200時間使用で約5年です。寿命になると電解液の枯渇や漏れが生じ、発煙・感電の原因になることがあります。

これらの危険を避けるために、設計寿命を超えて使用する場合は、有償部品単位で交換してください。

また、昼夜連続運転相当では5年より寿命は短くなります。



接続端子への接触

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。

発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。



金属などの端面への接触

装置の移動などで金属や基板などの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。



目的以外の使用

L A Nボード本来の目的以外に使用しないでください。故障の原因になります。



信号ケーブルについて

・ケーブルは足などに引っかけないように配線してください。足を引っかけると、けがや装置の故障の原因になります。また、データが失われるおそれがあります。

・ケーブル上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、装置の故障の原因になります。



注意



屋外での使用

屋外では使用しないでください。故障の原因になります。



電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。

- ・テレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・コンセントを別にする



製品の廃棄

本製品を廃棄するときには廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、お買い求め先にご相談いただくか、各都道府県産業廃棄物連合会にお問合せください。廃棄物管理表は（社）全国産業廃棄物協会に用意されています。



はじめに

このたびは、本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
このマニュアルは、本製品の設定およびご利用方法を記載したものです。正しく安全にお使
いいただくためにご熟読ください。

本製品の導入

本製品の導入手順について説明します。ご利用の環境に合わせた手順で本製品をネットワー
クに接続し、ご利用のプリンタをネットワークプリンタとしてお使いいただくことができま
す。本製品の導入手順に従って、本マニュアルの関係する章を参照しながら、導入を進めて
ください。

**注意**

- ・ご利用の環境によっては、以下で説明する導入手順と異なる場合があります。

**参考**

- ・ご利用のコンピュータに予めプリンタドライバをインストールしてください。

本製品の導入

本製品の設定が行えるユーティリティは以下のとおりです。ご利用の環境にあわせた設定
ユーティリティをご利用ください。

| | | | |
|-------|----------------|--------------------------|-------|
| 設定ツール | Quick Setup | 本製品の初期導入を行う（推奨） | 第3・4章 |
| | Advanced Setup | 本製品の詳細設定および設定変更 管理を行う | 第6章 |
| | HI-Print | 印刷クライアントをインストール する | 第3・4章 |

本製品の導入と設定(管理者編)

本製品の導入と設定手順について説明します。

| | | |
|--------|--|-----|
| 1. 取付け | 本製品をプリンタとネットワークに接続する。 | 第1章 |
| 2. 設定 | Windows98/Meで本製品を使用する | 第3章 |
| | Windows NT/2000/Server2003/XP/Vista/7/8/2008/2012で本製品を使用する | 第4章 |
| | UNIX/Linuxで本製品を使用する | 第5章 |

本製品の設定(クライアント編)

本製品の導入と設定手順について説明します。

| | | |
|-------|--|-----|
| 1. 設定 | Windows98/Meで本製品を使用する | 第3章 |
| | Windows NT/2000/Server2003/XP/Vista/7/8/2008/2012で本製品を使用する | 第4章 |
| | UNIX/Linuxで本製品を使用する | 第5章 |
| 2. 印刷 | テストプリント(自己診断印字)を行い、設定の確認を行う | 第1章 |

本製品の詳細設定、設定変更、管理を行う

本製品の詳細設定や設定変更、管理を行う総合ユーティリティ AdminManagerのご利用方法について説明します。

| | | |
|----------|---------------------|-----|
| 設定に関する機能 | Advanced Setupで設定する | 第6章 |
| | Webブラウザで設定する | 第6章 |
| | TELNETで設定する | 第6章 |

| | |
|----------------------------|------|
| 第1章 本製品について | 1-2 |
| 動作環境 | 1-3 |
| 機器の説明 | 1-4 |
| 各部の名称と働き | 1-4 |
| 自己診断と設定内容の確認 | 1-6 |
| 自己診断印刷を実行する | 1-6 |
| 設定内容を印刷する (SSL 対応版) | 1-7 |
| 設定内容を印刷する (SSL 非対応版) | 1-9 |
| 取り付け方法 | 1-12 |
| 本製品を取り付ける | 1-12 |
| ネットワークに接続する | 1-13 |
| 主な機能仕様 | 1-14 |
| 機能 | 1-14 |
| ハードウェア仕様 | 1-16 |
| ソフトウェア仕様 | 1-16 |

本製品(PC-PB20301)について

本製品は、10BASE-T、100BASE-TX 対応の LAN アダプタです。本製品によってイーサネットとプリンタを接続し、イーサネットケーブルが敷設されている場所であればどこでもプリンタを設置することができます。イーサネット内であればどこからでも印刷を行うことができるので、1 台のプリンタを複数のユーザで共有することもできます。本製品は TCP/IP に対応しています。設定は Quick Setup, Advanced Setup, TELNET, WWW ブラウザからの設定 (HTTP) が可能です。

また、本製品では第三者による印刷データの盗用や改ざんを防止するため、暗号化と承認を用いたセキュア (SSL) 印刷機能、設定した IP アドレスの範囲外や通信プロトコル以外のアクセスを制限する機能を新たにサポートしました。これにより、セキュリティ機能の強化を図りました。

これらセキュリティ機能はファームウェアのバージョン 2.0.0 以降での対応となります。



注意

- ・セキュア (SSL) 通信印刷機能のサポートにより、SSL 非対応版 (旧バージョン 1.X.X) に含まれていた機能の一部を非サポートとしました。対象機能については、本章「主な機能仕様」を参照してください。
- ・SSL 非対応版に含まれていた機能をご利用になる場合は、「第 2 章 セットアップユーティリティ」を参照してください。



参考

- ・SSL (Secure Socket Layer)
SSL はインターネットで個人情報などを入力する際に盗聴やなりすまし防止に利用される通信方式で、一般化されたセキュリティ機能のひとつです。この SSL を利用し、印刷を行う際に印刷データを暗号化、プリントサーバで複号化する機能を実装しています。
なお、本製品では以下の条件で本機能をサポートしています。
 - ・対応 OS : Windows95/98/Me, WindowsNT4.0, Windows2000/Server2003/XP/Vista
 - ・対応プロトコル: IPP, HTTPS本機能を利用して印刷を行うには、本 CD-ROM に収録されているユーティリティ (HI-Print) で作成した IPP ポートをご使用頂くことを推奨します。
- ・セキュリティ対策追加
ネットワークプリンタのセキュリティ対策として、IP フィルタ機能を搭載しています。本機能は、設定した IP アドレスの範囲外からのアクセスを制限する機能です。設定した範囲外の IP アドレスからのアクセスを禁止することで、プリンタを予期せぬアクセスから保護します。また、セキュリティレベル設定機能により、設定したプロトコル以外のアクセスを排除する機能を追加しました。

動作環境

本製品に必要な環境は、以下の通りです。

ネットワークに接続する為に必要な機器

- ・10BASE-T (ツイストペア) ケーブル
100BASE-TX 環境ではカテゴリ 5 を使用してください。
- ・日立 Prinfina/IMPACTSTAR シリーズプリンタ本体
日立 Prinfina/IMPACTSTAR シリーズのシリアルプリンタ, ラインプリンタ全機種に対応しています。

ネットワークコンピュータ

- ・対応 OS
Windows95, Windows98, Windows Me, Windows NT4.0, Windows2000, Windows XP, Windows Server2003
Windows Vista, UNIX, Linux
- ・対応プロトコル
TCP/IP, NetBEUI



・NetBEUI を使用する場合は、ファームウェアをアップロードしてください。詳細は「第2章 セットアップについて」をご参照ください。

動作環境条件

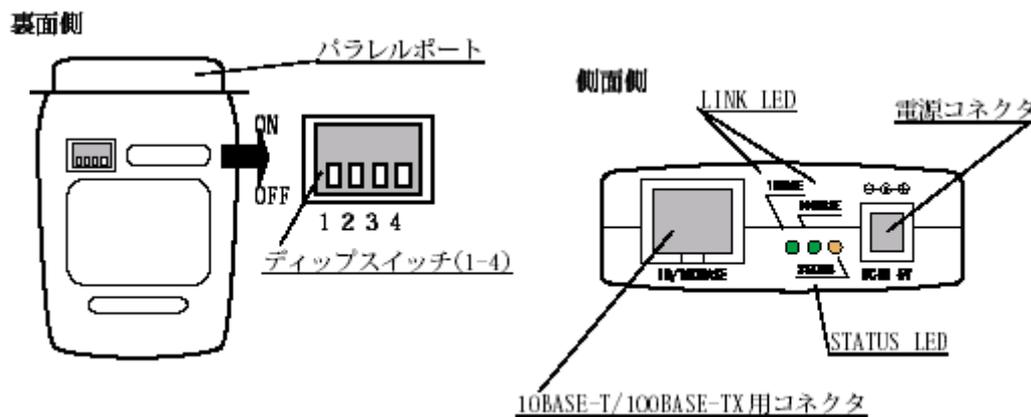
温度 : +5 ~ +35
湿度 : 20% ~ 90%RH (但し、結露状態でないこと)

保存環境条件

温度 : -10 ~ +50
湿度 : 20% ~ 90%RH (但し、結露状態でないこと)

機器の説明

各部の名称と働き



- 10BASE-T/100BASE-TX 用コネクタ
ツイストペアケーブルを接続します。(100BASE-TX 環境では、カテゴリ 5 を使用)
- STATUS LED(橙)
通信中および自己診断印刷中は点滅します。
- 10BASE LED(緑)
10BASE-T でネットワーク接続が確立すると点灯します。
- 100BASE LED(緑)
100BASE-TX でネットワーク接続が確立すると点灯します。

・ディップスイッチ

各スイッチの機能は以下の通りです。

| スイッチ番号 | 状態 | 機能 |
|--------|----------|---------------------|
| 1 | Reserved | 通常(常にOFFにしてください) |
| 2 | OFF | 通常 |
| | ON | 設定内容の初期化を行う(工場出荷状態) |
| 3 | OFF | 通常 |
| | ON | 自己診断印刷および設定内容印刷を実行す |
| 4 | Reserved | 通常(常にOFFにしてください) |



注意

- ・スイッチの1、4番は保守用です。設定を変更しないでください。変更した場合の動作保証はできません。
- ・スイッチ2番は設定項目の初期化のみ行います。
- ・本製品の初期化を行う(スイッチ2番をONの状態)場合は、プリンタの電源をONにした後、数秒間は電源を切らないでください。LANケーブルを接続している場合、背面のLINK LEDが一度消灯し、再度点灯すれば初期化は完了します。初期化を行った後は、本製品の電源コネクタから電源コードを抜き、プリンタの電源をOFFにしてからディップスイッチを元に戻して電源を再投入してください。
- ・スイッチの設定を変更する場合は、本製品の電源コネクタから電源コードを抜き、プリンタ本体の電源をOFFにしてからディップスイッチの設定を行ってください。

自己診断と設定内容の確認

自己診断印刷を実行する



注意

- ・自己診断印刷を実行する場合は、必ずプリンタの電源と本製品の電源を OFF にしてからディップスイッチの設定を行ってください。
- ・本製品を新たに導入する際は、必ず自己診断印刷を行ってください。

本製品はプリンタの立上げ時に自己診断を行い、その結果を印刷することができます。

自己診断では、ハードウェアやネットワークのテストを行います。電源を ON にしたときに、ディップスイッチの 3 番が ON になっている場合は、その結果を印刷し、ハードウェアやネットワークインターフェースの状態を印刷結果で確認することができます。診断結果印刷の結果に NG がある場合は、「第 7 章トラブルシューティング」を参照してください。

操作方法は、ディップスイッチの 3 番を ON にし、プリンタの電源を入れてください。自己診断印刷に続いて設定内容印刷を行います。なお、ディップスイッチを操作する際は、必ずプリンタと本製品の電源を OFF にしてください。

自己診断の印字例を次に示します。

自己診断印刷例

```
HITACHI PC-PB203XX Version x.x.x
Copyright 2005 Ricoh Printing Systems,Ltd.
Copyright(C) 1999-2005 silex technology,inc.
```

```
*** Diagnostic report ***
```

```
ROM Check : Ok  stat: xxxx FFFF 0000 0000
RAM Check  : Ok  stat: 0000 0000 0000 0000
NIC Check  : Ok  addr: xx:xx:xx:xx:xx:xx ← Ethernet アドレス
EEPROM Check : Ok  stat: xxxx xxxx 0000 0000
```

```
DIPSW1 : OFF(ON:Test use only)
DIPSW2 : OFF(ON:Initialize configuration)
DIPSW3 : ON (ON:Diagnostic/Configuration print)
DIPSW4 : OFF(ON:Reserved)
```



注意

- ・自己診断印刷結果の RAM Check、ROM Check、NIC Check、EEPROM Check に NG がある場合は、弊社営業または保守会社にお問い合わせください。
- ・項目中の XX は装置毎に異なります。



参考

- ・IP アドレスを設定するときに、本製品の Ethernet アドレスを確認する必要があるため、自己診断印刷を行い、印刷結果の Ethernet アドレスを確認してください。
- ・設定情報印刷結果（例）で設定値に "*" を表示しているものは、設定変更をしても値は表示されません。本項目の工場出荷時設定については、「第 6 章 設定に関する機能」を参照してください。また、本製品の設定を変更した場合は、変更した設定値を管理してください。

設定内容を印刷する



注意

- ・設定内容印刷を実行する場合は、必ずプリンタと本製品の電源をOFFにしてからディップスイッチの設定を行ってください。

本製品はプリンタの立上げ時に、装置の設定内容を印刷することができます。

電源をONにしたときに、ディップスイッチ3番がONになっている場合、設定内容を印刷して確認することができます。設定内容の確認や設定変更時の確認にご利用ください。

操作方法はディップスイッチの3番をONにし、プリンタの電源を入れてください。自己診断印刷に続いて設定内容印刷を行います。なお、ディップスイッチを操作する際は、必ずプリンタと本製品の電源スイッチをOFFにしてください。設定内容印刷例を次に示します。

設定内容印刷例 (SSL 対応版)

HITACHI PC-PB203XX Version 2.x.x
 Copyright 2005 Ricoh Printhing systems,Ltd.
 Copyright(C) 1999-2005 silex technorogy,Inc.

で囲んでいる設定値は、設定を変更しても設定情報印刷結果には " * " を印刷します。

*** Configuration report ***

<< Setup General >>

root password

LAN interface

: "*****"

:AUTO

変更した場合は、設定値を管理してください。

<< Setup TCP/IP >>

TCP/IP protocol

IP address

Subnet mask

Gateway address

RARP protocol

DHCP/BOOTP protocol

TCP#9100 Bi-directional mode

:ENABLE

:0.0.0.0

:0.0.0.0

:0.0.0.0

:DISABLE

:DISABLE

:DISABLE

<< Setup TCP/IP - IP Filter Config >>

Filter Mode

Filter #0 Start Address

Filter #0 End Address

Filter #1 Start Address

Filter #1 End Address

Filter #2 Start Address

Filter #2 End Address

Filter #3 Start Address

Filter #3 End Address

:DENY

:0.0.0.0

:0.0.0.0

:0.0.0.0

:0.0.0.0

:0.0.0.0

:0.0.0.0

:0.0.0.0

:0.0.0.0

```

<< Setup TCP/IP - Security Configuration >>
    LPR                :ENABLE
    RAW                :ENABLE
    IPP                :ENABLE
    HTTP               :ENABLE
    HTTPS              :ENABLE
    TELNET              :ENABLE
    FTP                :ENABLE
    SNMP               :ENABLE
    Setup Protocol (JCP) :ENABLE

<< Setup SNMP >>
    Authentic community :*****
    Trap community      :"public"
    Trap address        :0.0.0.0
    SysContact          :""
    SysName             :""
    SysLocation         :""
    DefaultTTL         :255

    EnableAuthenTrap   :2 << Setup print port >>
    BOJ string          :""
    EOJ string          :""
    BOJ string(KANJI)  :""
    EOJ string(KANJI)  :"%f "
    Printer type       :ESC/P
    TAB size (char.)   :8
    Page width (char.) :0
    Page length(line)  :0
    lpr/ftp banner     :NO
    Print port mode    :NONE
    Centronics i/f timing :Standard

<< Setup Another >>
    Print Trap community :"public"
    Print Trap Address   :0.0.0.0
    PE/Reboot           :ENABLE

<< Configure Secure Print >>
    Secure Print        :ENABLE
    SSL Mod             :level1

```



注意

- ・本設定情報印刷結果はSSL対応版の印刷結果です。



参考

- ・設定情報印刷により、本製品の設定が確認できます。本製品を設定する際にご活用ください。ただし、設定値に "*" が表示されているものは、設定変更をしても値を表示しません。本項目の工場出荷時設定については、「第6章 設定に関する機能」を参照してください。また、本製品の設定を変更した場合は、変更した設定値を管理してください。

設定内容印刷例 (SSL 非対応版)

HITACHI PC-PB203XX Version 1.x.x
 Copyright 2005 Ricoh Printhing systems,Ltd.
 Copyright(C) 1999-2005 silex technorogy,Inc.

で囲んでいる設定値は、設定を変更しても設定情報印刷結果には " * " を印刷します。

*** Configuration report ***

<< Setup General >>

Change root password

:*****

変更した場合は、設定値を管理してください。

LAN interface

:AUTO

<< Setup TCP/IP >>

TCP/IP protocol

:ENABLE

IP address

:0.0.0.0

Subnet mask

:0.0.0.0

Gateway address

:0.0.0.0

RARP protocol

:DISABLE

DHCP/BOOTP protocol

:DISABLE

DNS Server(Pri.)

:0.0.0.0

DNS Server(Sec.)

:0.0.0.0

IPv6 Function

:DISABLE

NetworkPnP Enable

:ENABLE

TCP#9100 Bi-Directional mode

:DISABLE

<< Setup TCP/IP - WINS >>

Primary Server

:0.0.0.0

Secondary Server

:0.0.0.0

Scope ID

: ""

<< Setup TCP/IP - IP Filter Config >>

Filter Mode

:DENY

Filter #0 Start Address

:0.0.0.0

Filter #0 END Address

:0.0.0.0

Filter #1 Start Address

:0.0.0.0

Filter #1 END Address

:0.0.0.0

Filter #2 Start Address

:0.0.0.0

Filter #2 END Address

:0.0.0.0

Filter #3 Start Address

:0.0.0.0

Filter #3 END Address

:0.0.0.0

変更した場合は、設定値を管理してください。

<< Setup SNMP >>

Authentic community

:*****

Trap community

: "public"

Trap address

:0.0.0.0

SysContact

: ""

SysName

: ""

SysLocation

: ""

DefaultTTL

:255

EnableAuthenTrap

:2

<< Setup NetBEUI >>

NetBEUI protocol

:ENABLE

Computer name

: ""

Workgroup name

: ""

Comment

: ""

NetBIOS over TCP/IP

:ENABLE

Browse Master

:ENABLE

設定内容印字例 続き

```

<< Setup POP(E-Mail) >>
  POP Protocol                :ENABLE
  Retrieve every(min.)        :0
  Local time zone             :""
<< Setup POP(E-Mail) - User profile 1 >>
  User profile                 :ENABLE
  POP server name              :""
  POP port number              :0
  POP user name                :""
  POP password                 :*****
  Use APOP                     :NO
  Delete mail                  :NO
  MAX. Retrieve(KB)           :0
  Filter setting               :""
  Return a read receipt        :NO
<< Setup POP(E-Mail) - User profile 2 >>
  User profile                 :ENABLE
  POP server name              :""
  POP port number              :0
  POP user name                :""
  POP password                 :*****
  Use APOP                     :NO
  Delete mail                  :NO
  MAX. Retrieve(KB)           :0
  Filter setting               :""
  Return a read receipt        :NO
<< Setup POP(E-Mail) - User profile 3 >>
  User profile                 :ENABLE
  POP server name              :""
  POP port number              :0
  POP user name                :""
  POP password                 :*****
  Use APOP                     :NO
  Delete mail                  :NO
  MAX. Retrieve(KB)           :0
  Filter setting               :""
  Return a read receipt        :NO
<< Setup POP(E-Mail) - User profile 4 >>
  User profile                 :ENABLE
  POP server name              :""
  POP port number              :0
  POP user name                :""
  POP password                 :*****
  Use APOP                     :NO
  Delete mail                  :NO
  MAX. Retrieve(KB)           :0
  Filter setting               :""
  Return a read receipt        :NO
  
```

変更した場合は、設定値を管理してください。

変更した場合は、設定値を管理してください。

変更した場合は、設定値を管理してください。

変更した場合は、設定値を管理してください。

設定内容印字例 続き

```

<< Setup SMTP(E-Mail) >>
  SMTP protocol                :ENABLE
  SMTP server name             :""
  SMTP port number             :0
  Reply-To address             :""
  To address1                  :""
  To address2                  :""
  Signature line 1             :""
  Signature line 2             :""
  Signature line 3             :""
  Signature line 4             :""
<< Setup SMTP(E-Mail) - Event to address1 >>
  Check interval(min.)        :0
  Offline                      :OFF
  Paper empty                  :OFF
  Fault                        :OFF
<< Setup SMTP(E-Mail) - Event to address2 >>
  Check interval(min)         :0
  Offline                      :OFF
  Paper empty                  :OFF
  Fault                        :OFF
<< Setup SMTP(E-Mail) - SMTP Authentication >>
  SMTP AUTH Enable            :ENABLE
  SMTP AUTH Name              :""
  SMTP AUTH Password          :*****
<< Setup print port >>
  BOJ string                   :""
  EOJ string                   :""
  BOJ string(KANJI)           :""
  EOJ string(KANJI)           :"¥f"
  Printer type                 :ESC/P
  TAB size (char.)            :8
  Page width (char.)          :0
  Page length(line)           :0
  lpr/ftp banner               :NO
  Print port mode              :NONE
  Centronics i/f timing       :Standard
<< Setup Another >>
  Print Trap community         :"public"
  Print Trap Address           :0.0.0.0
  PE/Reboot                    :ENABLE

```

変更した場合は、設定値を管理してください。



注意

・本設定情報印刷結果はSSL非対応版の印刷結果です。



参考

・設定情報印刷により、本製品の設定が確認できます。本製品を設定する際にご活用ください。ただし、設定値に "*" が表示されているものは、設定変更をしても値を表示しません。本項目の工場出荷時設定については、「第6章 設定に関する機能」を参照してください。また、本製品の設定を変更した場合は、変更した設定値を管理してください。

取り付け方法

本製品を取り付ける

**注意**

- ・本製品を取り付ける際は、必ずプリンタの電源コードを外した状態で行ってください。
- ・本製品を一度でも他のネットワークで利用した場合は、必ず設定内容の初期化を行ってください。

Prinina IMPACT DX(IMPACTSTAR SH/SE)シリーズの場合(外付け)

プリンタ本体および本製品の電源をOFFにしてから接続をしてください。プリンタ本体と本製品との接続にプリンタケーブルは必要ありません。本製品をプリンタの平行ポートに直接接続してください。

Prinfina IMPACT GX(IMPACTSTAR L)シリーズの場合(内部取付け)

プリンタ本体内部に取付けます。取付けの際に、プリンタケーブル(PC-LP20301)が必要になります。機種により取付け方が異なります。取付け方法はプリンタ本体およびプリンタケーブルに添付の取扱説明書を参照してください。

プリンタ本体の取付け箇所には本製品を接続するために、プリンタケーブル、LANケーブル、電源コードが用意されています。これらのケーブルをプリンタケーブル(PC-LP20301)を介して本製品に接続してください。また、本製品への電源供給はプリンタ本体から行われます。

**注意**

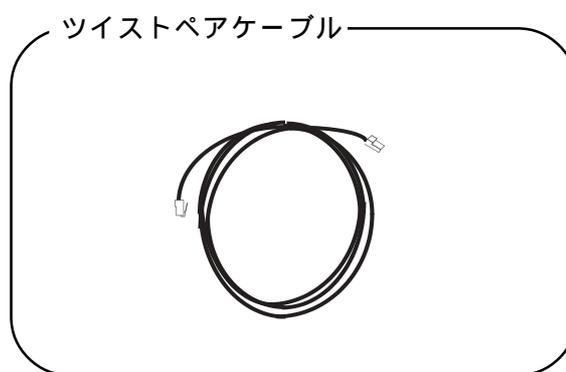
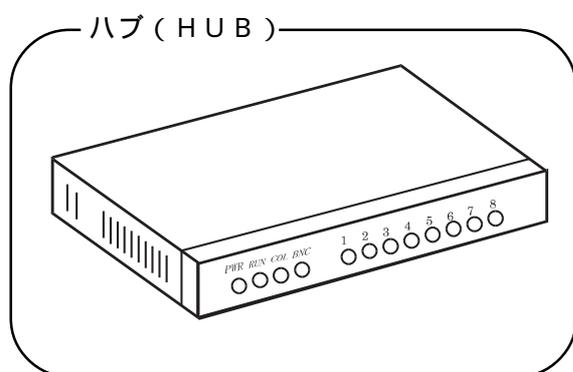
- ・本製品をPrinina IMPACT DX(IMPACTSTAR SH/SE)シリーズに取付ける場合、電源は本製品添付のACアダプタを使用して供給します。プリンタ本体に電源供給機能はありません。
- ・本製品をPrinfina IMPACT GX(IMPACTSTAR L)シリーズに取付ける場合、電源はプリンタ本体から供給されます。
なおPrinfina IMPACT GX(IMPACTSTAR L)シリーズでは、本製品はプリンタ内部に収納されます。自己診断印刷や設定情報印刷を実行する際は、プリンタ本体収納部のカバーを開いた状態で行ってください。
- ・本収納部のカバーを閉じると本製品の電源の操作ができなくなります。収納後の電源OFF/ONはプリンタ本体の電源スイッチを使用してください。
- ・本製品の取付けに際しては、各プリンタ本体に添付の取扱説明書を参照してください。

ネットワークに接続する

本製品をネットワークに接続するためには、以下のものがが必要です。



- ・ 100BASE-TX 環境でお使いの場合は、100BASE 対応のハブとツイストペアケーブル(カテゴリ-5)をご用意ください。



ネットワークへの接続方法

- 1 . プリンタの電源スイッチを OFF にしてください。
- 2 . 本製品の 10/100BASE コネクタに LAN ケーブル(ツイストペアケーブル)を接続します。
IMPACTSTAR-L シリーズの 10/100BASE コネクタの位置は、プリンタ添付の取扱説明書で確認してください。
- 3 . ハブ (HUB) に、ケーブルのもう一方を接続します。

主な機能仕様

本製品の主な機能仕様を以下に示します。

機能

DHCP、BOOTP、RARP による自動 IP 設定機能

- ・ DHCP/BOOTP について

本製品は、DHCP/BOOTP プロトコルを搭載しており DHCP/BOOTP サーバが動作しているネットワーク内において、TCP/IP 関連の設定を行うことができます。本製品の DHCP/BOOTP 設定を Enable にすることで、DHCP/BOOTP サーバ上に設定されている TCP/IP 関連の情報を本製品に設定することができます。



注意

- ・ 本製品がサポートしている DHCP プロトコルは、基本的に RFC2131/2132 に準拠しています。
- ・ WindowsNT DHCP Server に対応しています。
- ・ 本製品の DHCP 機能をご利用になられる場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

- ・ RARP について

本製品は、RARP プロトコルを搭載しており RARP サーバが動作しているネットワーク内において、IP アドレスの設定を行うことができます。本製品の RARP 設定を Enable にすることで、RARP サーバ上に設定されている IP アドレスを本製品に割り当てることができます。

WWW ブラウザ

本製品は HTTP サーバを搭載しており、WWW ブラウザから本製品にアクセスしてプリンタの状態表示や設定の変更を行なうことができます。



注意

- ・ HTTP の動作環境については、WWW ブラウザが、Internet Explorer4.0 以降および Netscape Navigator2.0 以降のバージョンを推奨します。その他のブラウザをご使用になる場合は、少なくとも HTTP 1.0(RFC1945) と HTML 2.0(RFC1866) に対応している必要があります。
- ・ HTTP をご利用になられる場合は、本製品の TCP/IP プロトコル設定が有効であり、本製品の IP アドレスが設定されている必要があります。

漢字フィルタ機能 (FTP、LPD)

- ・ 漢字フィルタは入力データを、漢字+ASCII の文字列とみなし、漢字をプリンタネーティブのエスケープコード(LIPS、PR201、ESC/P 等プリンタが直接認識できるデータ形式)に変換して出力します。この時同時に改行コードの変換、タブコードの変換を行なうことができます。
- ・ 漢字フィルタ機能の使用 / 不使用は、内部論理ポート名(lp、sjis、euc)の使い分けにより行ないます。lp ポートは無変換のスルー出力を、sjis、euc はそれぞれシフト JIS、EUC の漢字コードに変換を行ないます。

セキュア(SSL)通信印刷機能 / IP フィルタ機能 / セキュリティレベル設定機能

- ・セキュア(SSL(Secure Sockets Layer))通信印刷機能を用いた暗号化と認証機能により、第三者による印刷データの盗用や改ざんを防ぐことができます。本製品では、特別な外部認証機関を利用することなく、本製品から簡単に証明書を発行することができます。
- ・本製品はIP フィルタ機能により、IP アドレスのフィルタリングによる設定範囲外のIP アドレスからの通信を抑止する機能のほかに、セキュリティレベル設定機能により、通信可能プロトコルの設定ができます。そのため、不正IP アドレスからのアクセス、使用していないプロトコルによる通信を排除することができます。
- ・セキュア(SSL)通信印刷機能のサポートにより、SSL 非対応版(旧バージョン1.X.X)に含まれていた機能の一部を非サポートとしました。これらの機能を使用する場合は、「第2章 セットアップユーティリティ」を参照してください。
- ・下表にSSL 対応版と非対応版のサポート状況を示します。

対応プロトコル一覧

| | | SSL対応版 | SSL非対応版 | 備考 |
|-----------------------------|------------|--------|---------|----|
| 対応 プ ロ ト コ ル | LPR | ○ | ○ | |
| | RAW | ○ | ○ | |
| | IPP | ○ | ○ | |
| | HTTP | ○ | ○ | |
| | HTTPS | ○ | × | |
| | TELNET | ○ | ○ | |
| | FTP | ○ | ○ | |
| | SNMP | ○ | ○ | |
| | NetBEUI | × | ○ | |
| | SMTP | × | ○ | |
| | POP | × | ○ | |
| | DNS | × | ○ | |
| | RARP | ○ | ○ | |
| | DHCP/BOOTP | ○ | ○ | |
| Setup Protocol | ○ | ○ | | |

対応設定項目一覧

| | | SSL対応版 | SSL非対応版 | 備考 | |
|--------------|--------------|------------------|---------|--------------------|--|
| 設定 項 目 | TCP-IP設定 | DNS Server(Pri.) | × | ○ | |
| | | DNS Server(SEC.) | × | ○ | |
| | | IPv6 | × | ○ | |
| | | NetworkPnP | × | ○ | |
| | NetBEUI | × | ○ | SSL対応版には本項目がありません。 | |
| | E-Mail(POP) | × | ○ | SSL対応版には本項目がありません。 | |
| | E-Mail(SMTP) | × | ○ | SSL対応版には本項目がありません。 | |
| | Secure Print | Secure Print | ○ | × | |
| | | SSL Mode | ○ | × | |

ハードウェア仕様

コントローラ

FALCON 32bit RISC チップ

メモリ

RAM : 2MByte

FlashROM : 1MByte

ネットワークインタフェース

10BASE-T/100BASE-TX 1ポート (10/100BASE 自動認識)

プリンタインタフェース

セントロニクス(36P アソフェノール)

その他

機能 SW : 4 ビット

LED ランプ : ステータス、10BLINK、100BLINK

ソフトウェア仕様

対応プロトコル

TCP/IP, NetBEUI (SSL 非対応版にて同時利用可能)

・TCP/IP 部

ネットワーク層 : ARP, RARP, ICMP, IP

セッション層 : TCP, UDP

アプリケーション層 : RAW(9100)Port, LPR, FTP, TELNET, BOOTP, SNMP, HTTP
: HTTPS, IPP, DHCP, (POP3), (SMTP), (DNS)

IP アドレスは、設定ユーティリティ等で設定可能

・NetBEUI (SSL 非対応版のみ)



注意

- ・SSL 対応版では NetBEUI は使用できません。
- ・SSL 対応版では NetBEUI の他に SMTP, POP3, DNS をサポートしていません。
- ・NetBEUI やサポートしていない機能を使用する場合は、本製品のファームウェアを SSL 非対応版(旧バージョン)に書き換えてください。

第2章 セットアップユーティリティについて 2-2

 セットアップユーティリティについて 2-3

 セットアップユーティリティをWindowsで使用する 2-3

 設定ツールについて 2-4

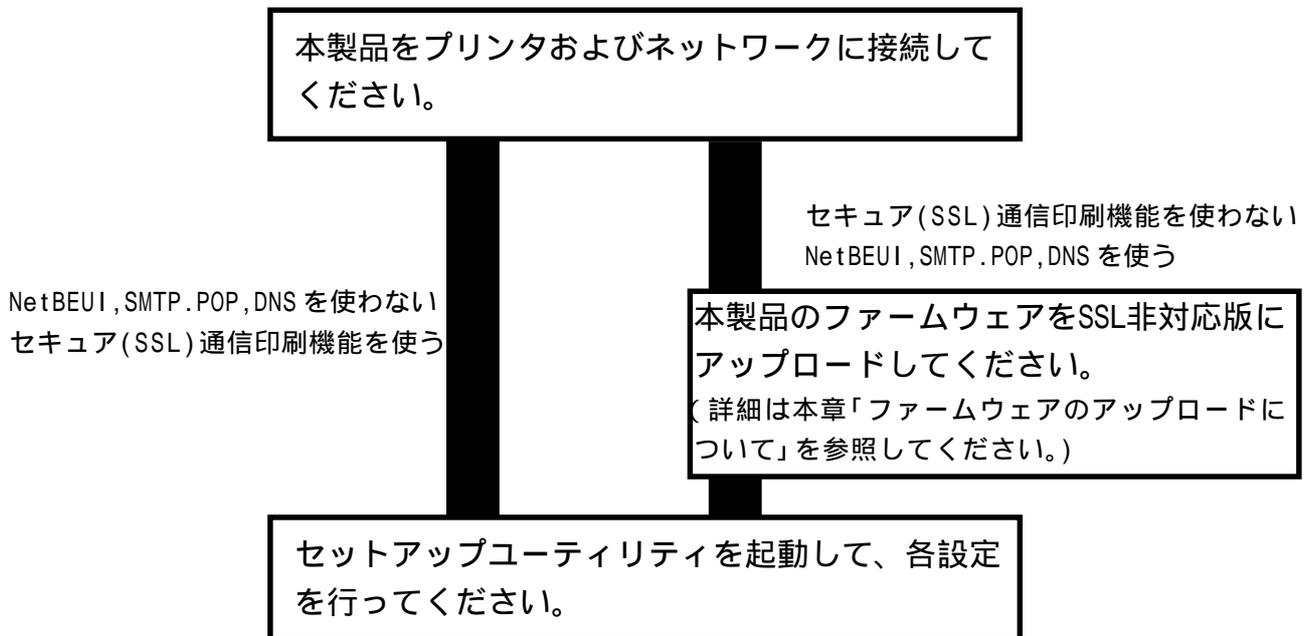
 ファームウェアアップロードツールについて 2-5

 パケットドライバのインストールについて 2-6

 アップロードプログラム操作方法 2-8

第2章 セットアップユーティリティについて

本章では、製品添付CD-ROMに収録されているセットアップユーティリティおよび本製品のファームウェアアップロードプログラム「HIVerUP」について説明します。また、本製品および保守部品は、セキュア(SSL)通信印刷機能が使用可能な状態(新バージョン(Ver.2.X.X))で提供しており、NetBEUI,SMTP,POP,DNSはサポートしていません。お客様がこれら機能を使用している場合は、ファームウェアアップロードプログラムから、本製品のファームウェアを書き換える必要があります。お客様のご利用環境にあわせてファームウェアを変更してください。なお、セキュア(SSL)通信印刷機能とNetBEUIは同時には使用できません。ご注意ください。本製品のセットアップ方法の手順は以下の通りです。



セットアップユーティリティについて

本章では、セットアップユーティリティについて説明します。セットアップユーティリティには、本製品の設定ツール及び総合クライアントソフトウェア、マニュアルが収録されています。Windows 環境でご利用いただくことができます。



注意

- ・Windows 以外の OS では、セットアップユーティリティはご利用になれません。
- ・セットアップユーティリティは、Internet Explorer 5.0 以降のブラウザ環境でご利用ください。

セットアップユーティリティをWindowsで使用する

本製品付属の CD-ROM を Windows パソコンにセットすると、メインメニューが自動的に起動します。



注意

- ・メニューが自動的に起動しない場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある‘Autorun.exe’を直接実行してください。



お読みください

本 CD-ROM についての注意事項や、本製品のお問い合わせ先等が記載されています。ご利用の前に必ずお読みください。

Quick Setup / Advanced Setup / HI-Print

本製品の設定ツール(Quick Setup, Advanced Setup)及び統合クライアントソフトウェア(HI-Print)のインストールを行います。

マニュアル

Adobe Acrobat Reader を利用した PDF 形式のマニュアル（取扱説明書）です。

設定ツールについて

メニュー画面の「Quick Setup」「Advanced Setup」「HI-Print」を選択すると本製品の設定ツール画面が表示されます。



- ・本製品の初期導入が完了している場合は、HI-Print をお使いのパソコンにインストールするだけで、本製品をご利用いただくことができます。
- ・ご利用のパソコンにセキュリティソフトウェアがインストールされていて、ファイアウォール機能が有効になっていると、Quick Setup および AdminManager で本製品を検索できないことがあります。そのようなときは、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

Quick Setup (初期導入時推奨)

本製品の初期導入がウィザード形式で簡単に行えます。また、初期導入に引き続いて印刷クライアントソフトウェア HI-Print をインストールすることができます。本製品の初期導入を行う方に推奨します。

Advanced Setup

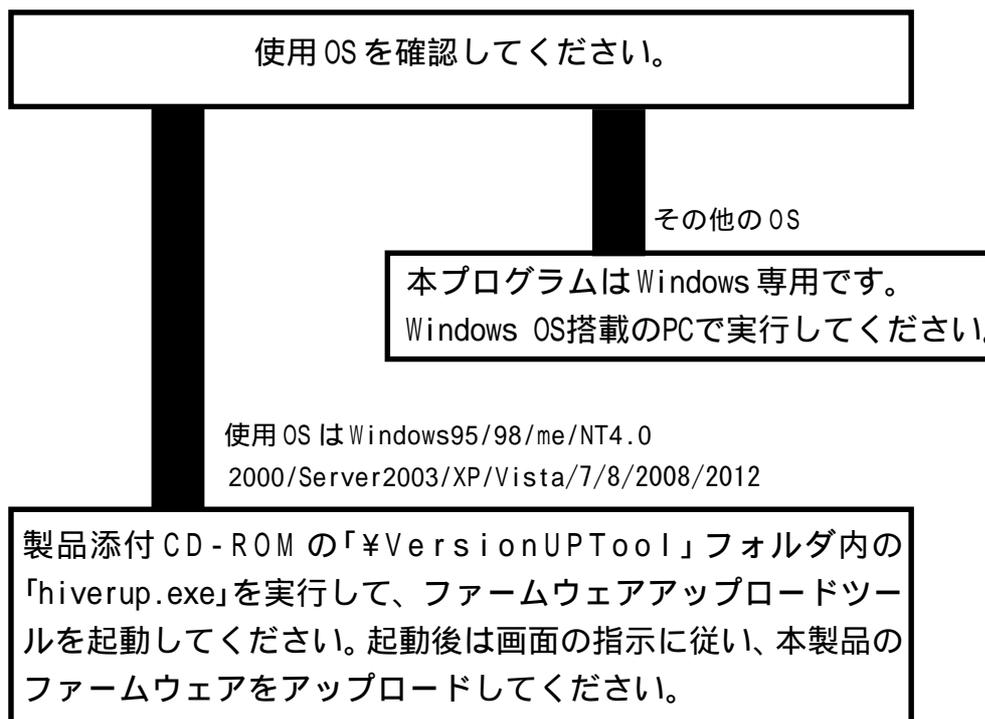
総合ユーティリティ「Advanced Setup」を起動またはインストールします。「Advanced Setup」は本製品の詳細設定と、本製品およびプリンタの管理を行うことができます。

HI-Print

本製品に対して Windows から直接印刷するための総合クライアントソフトウェアをインストールします。本製品で通常印刷を行う場合は、HI-Print で作成する LPR ポートをご使用いただくことを推奨します。また、セキュア(SSL)通信印刷機能を利用した印刷を行う場合は、HI-Print で作成する IPP ポートをご使用いただくことを推奨します。

ファームウェアアップロードツールについて

製品添付CD-ROMの「¥VersionUPTool」フォルダ内にファームウェアアップロードツールを収録しています。以下の手順に従い、セットアップをしてください。



注意

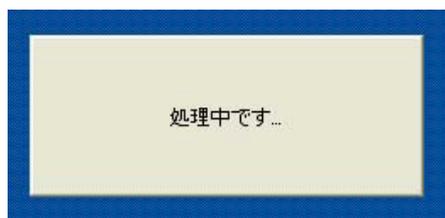
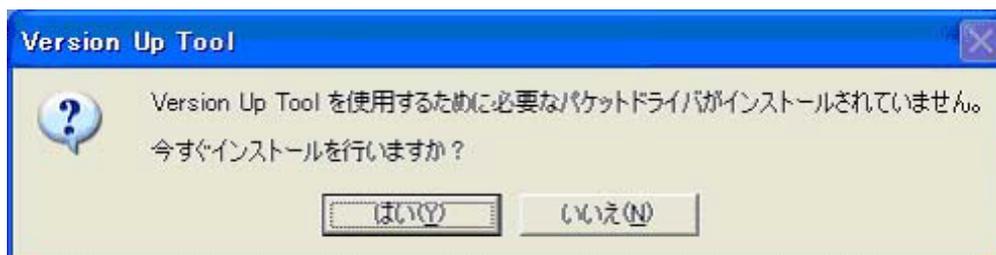
- ・ファームウェアのアップロードを行う前に、設定情報印刷を実施してください。
- ・ファームウェアのアップロード中(転送中)は電源を切らないでください。
- ・アップロード途中でエラー終了した場合は、電源を切らず、再度アップロードをしてください。それでもエラー終了になる場合は、「第8章 困ったときには」を参照してください。
- ・ファームウェアのアップロード中(転送中)は、印刷起動、設定情報の書き換え等を行わないでください。
- ・安全・確実にアップロード作業を行うために、クロスケーブルによる1対1の接続にて作業を行うことを推奨します。
- ・ネットワークの状況(高付加状態等)によっては、アップロード処理中にエラーになる場合があります。LANケーブルをクロスケーブルに変更してアップロードをしてください。
- ・ファームウェアのアップロードにより、設定情報値がクリアされることはありません。ただし、設定項目が追加される場合、元の設定情報値がないため、本来の初期値と異なる値が設定され、動作に影響を及ぼすことがあります。アップロード実行後は、各種設定をの修正と確認を実施してください。

パケットドライバのインストールについて

Windows NT/2000/Server2003/XP/Vista/7/8/2008/2012では、本ツールを動作させるためにパケットドライバのインストールを行う必要があります。不要になればアンインストールすることもできます。なお、パケットドライバのインストール・アンインストールは管理者権限でないと実行できません。

インストール

「%VersionUPTool%hiverup.exe」を実行すると、インストール開始画面が表示されます。「Next」ボタンを押すと、インストールを開始します。(インストール処理に時間がかかることがあります。)



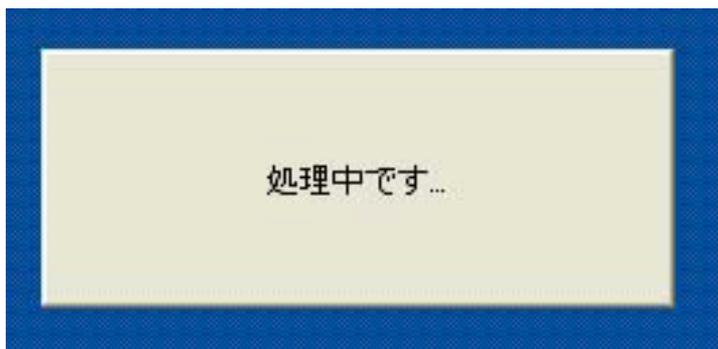
正常にインストールが完了すると、本ツールが起動します。

アンインストール

「%VersionUPTool%pd%Uninstall%PDUNINST.exe」を実行してください。

アンインストール開始 画面が表示されます。「はい(Y)」ボタンを押すと、アンインストールを開始します。

(アンインストール処理に時間がかかることがあります。)



正常にアンインストールが完了すると、アンインストール完了画面が表示され、「OK」ボタンを押すと、プログラムは終了します。



アップロードツールについて

ファームウェアアップロードツールが起動すると、本製品の検索とファームウェアのアップロード準備および本製品へのファームウェアのアップロードを開始します。画面の指示に従って操作をしてください。



注意

- ・ファームウェアのバージョンアップを行う前に、設定情報印刷を実施してください。
- ・ファームウェアのアップロード中(転送中)は電源を切らないでください。
- ・アップロード途中でエラー終了した場合は、電源を切らず、再度アップロードをしてください。それでもエラー終了になる場合は、「第8章 トラブルシューティング」を参照してください。
- ・ファームウェアのアップロード中(転送中)は、印刷起動、設定情報の書き換え等を行わないでください。
- ・安全・確実にアップロード作業を行うために、クロスケーブルによる1対1の接続にて作業を行うことを推奨します。
- ・ネットワークの状況(高付加状態等)によっては、アップロード処理中にエラーになる場合があります。LANケーブルをクロスケーブルに変更してアップロードをしてください。
- ・ファームウェアのアップロードにより、設定情報値がクリアされることはありません。ただし、設定項目が追加される場合、元の設定情報値がないため、本来の初期値と異なる値が設定され、動作に影響を及ぼすことがあります。アップロード実行後は、各種設定をの修正と確認を実施してください。

第3章 Windows 98/Me環境で使用する

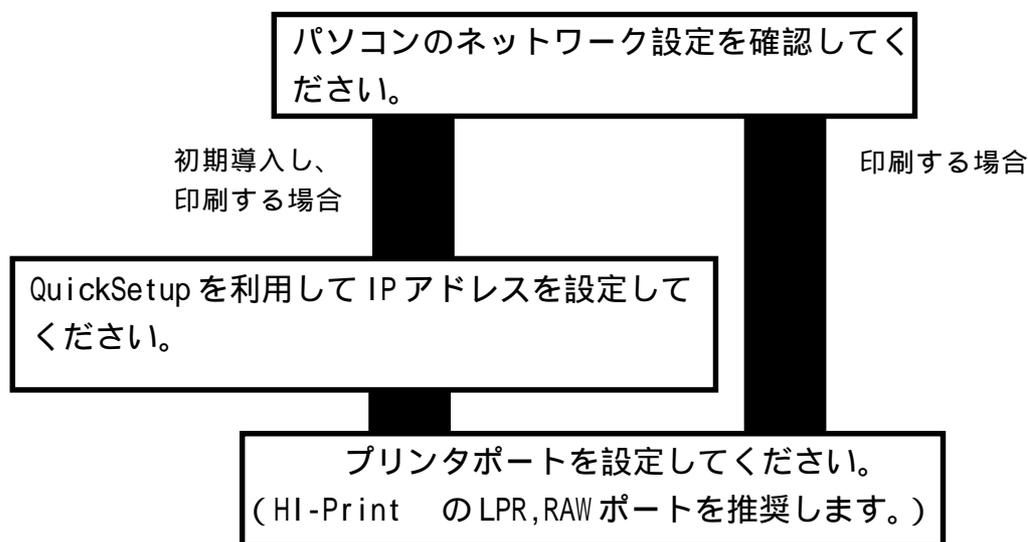
| | |
|---|------|
| Windows 98/Me環境からTCP/IPで印刷する | 3-2 |
| パソコンのネットワーク設定を確認する | 3-3 |
| Quick Setupによる簡単設定 | 3-4 |
| HI-Print をインストールする | 3-8 |
| 印刷ポートを追加する | 3-11 |
| HI-Print LPRポートを追加する場合 | 3-12 |
| HI-Print IPPポートを追加する場合 | 3-14 |
| HI-Print Raw(TCP/IP 9100)ポートを追加する場合 ... | 3-17 |
| プリンタドライバの設定 | 3-19 |
| Windows 98/Me環境からNetBEUIで印刷する | 3-21 |
| パソコンのネットワーク設定を確認する | 3-21 |
| NetBEUIで印刷する | 3-22 |
| NetBEUIワークグループの構造 | 3-23 |

第3章 Windows 98/Me環境で使用する

本章では、Windows 98/Me環境で本製品を接続して、TCP/IP、NetBEUI で印刷を行う方法について説明します。

Windows 98/Me環境からTCP/IPで印刷する

本製品をTCP/IP プロトコルを利用して印刷する際の手順は以下の通りです。



参考

- ・プリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・本製品をご使用の際には、HI-Print で作成したLPRポートまたはRAWポートをご使用いただくことを推奨します。また、セキュア(SSL)通信印刷機能を利用した印刷を行う場合は、HI-Print で作成するIPPポートをご使用ください。
- ・セキュア(SSL)通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になるSSL証明書情報を本製品に設定する必要があります。設定方法については、「付録 セキュア通信印刷機能について」を参照してください。
- ・セキュア(SSL)通信印刷機能を使用すると、印刷データ等を暗号化します。そのため、第三者による印刷データの盗用や改ざんを防止することができます。



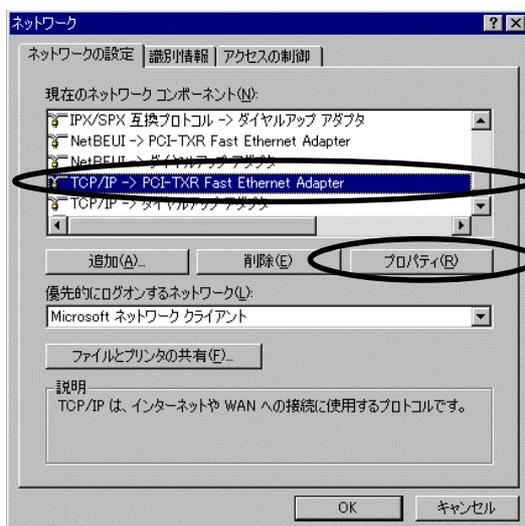
注意

- ・PC-PB20301では、セキュア(SSL)通信印刷機能とNetBEUIは、ファームウェアが異なるために同時使用はできません。お客様がご使用になられている環境を確認のうえ、「第2章 セットアップユーティリティ」を参照してください。

パソコンのネットワーク設定を確認する

Windows 98/Meの「ネットワークの設定」の一覧に「TCP/IP」が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択してください。
2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「ネットワークの設定」の「ネットワークコンポーネント一覧」に[TCP/IP]が追加されていることを確認してください。

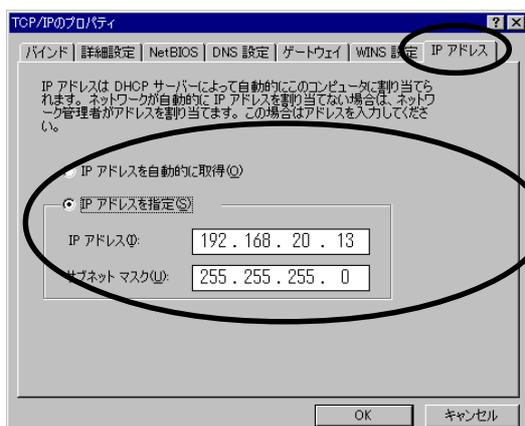


「プロパティ」をクリックしてください。



・「TCP/IP」がコンポーネント一覧にない場合は「追加」をクリックし、「ネットワークコンポーネントの選択」 - 「プロトコル」 - 「Microsoft TCP/IP」の手順で「TCP/IP」を追加してください。

4. [IP アドレス]の設定で、ご使用の環境にあわせた設定が行われているか確認してください。



Quick Setupによる簡単設定

1. 本製品付属の CD-ROM を Windows パソコンにセットすると、メインメニューが自動的に起動します。メインメニューが立上らない場合は、CD-ROM の Autorun.exe をクリックしてください。
2. セットアップ方法の選択画面が開きます。



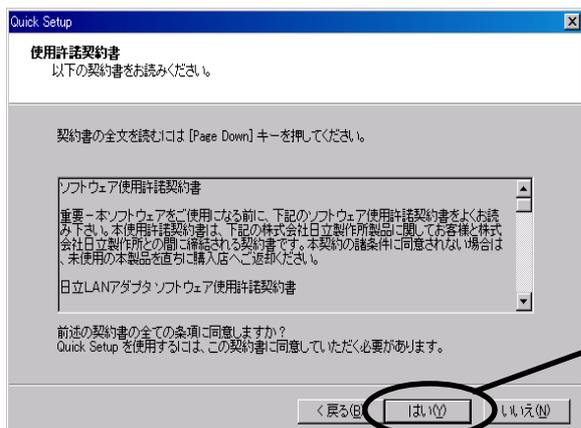
「Quick Setup」をクリックしてください。

3. Quick Setup が起動します。



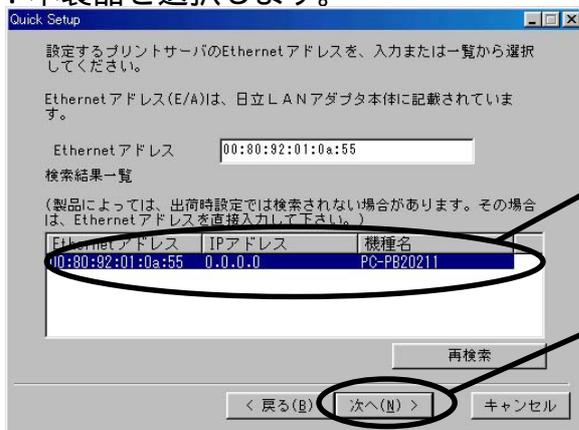
次へ をクリックしてください。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



はい をクリックしてください。

5. 本製品を選択します。



設定を行う本製品を選択してください。

次へ をクリックしてください。



参考

- ・ 検索結果一覧に本製品が表示されていない場合は「再検索」をクリックしてください。Ethernet アドレスを直接入力することで本製品を選択することもできます。
- ・ 本製品の Ethernet アドレスは、自己診断印刷結果または本製品底面にシール表示で記載されています。(例 : 00:06:fb:08:b0:dd)

6. 本製品に IP アドレスが設定されていない場合は、下記画面を表示します。任意の IP アドレスを入力してください。



IP アドレスを入力してください。

次へ をクリックしてください。



注意

- ・ 本製品の各設定を行う為に、本製品の IP アドレスを入力しなければなりません。DHCP サーバから本製品の IP アドレスを自動取得する場合でも、その設定を行う為に、一時的な IP アドレスを本製品に入力する必要があります。
- ・ 本製品に、一時的に IP アドレスを入力する場合、他のネットワーク機器へ影響を及ぼすことが考えられます。本製品と「Quick Setup」が動作するコンピュータをクロスタイプの LAN ケーブルで直結にして設定を行うなど、本製品を設定する環境と既存のネットワーク環境を切り離して設定を行うことを推奨します。

7. IPアドレスを設定します。

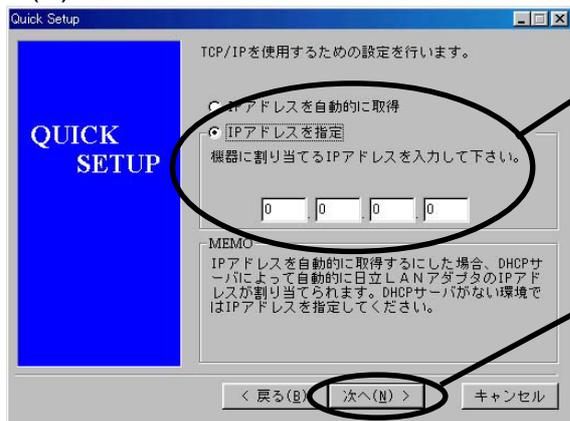
(A) DHCPサーバからIPアドレスを自動的に取得する



「IPアドレスを自動的に取得する」を設定することができます。

次へ をクリックしてください。

(B) 手でIPアドレスを設定する



任意のIPアドレスを設定することができます。

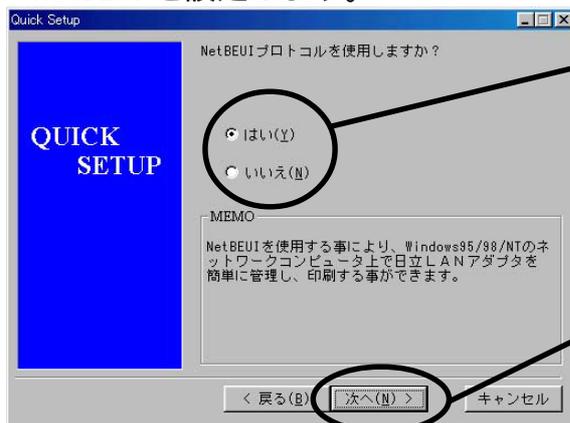
次へ をクリックしてください。



注意

- ・本製品の各設定を行う為に、本製品のIPアドレスを入力しなければなりません。DHCPサーバから本製品のIPアドレスを自動取得する場合でも、その設定を行う為に、一時的なIPアドレスを本製品に入力する必要があります。
- ・本製品に、一時的にIPアドレスを入力する場合、他のネットワーク機器へ影響を及ぼすことが考えられます。本製品と「Quick Setup」が動作するコンピュータをクロスタイプのLANケーブルで直結にして設定を行うなど、本製品を設定する環境と既存のネットワーク環境を切り離して設定を行うことを推奨します。

8. NetBEUIを設定します。



NetBEUIの使用を設定します。使用する場合は、「はい」を選択してください。

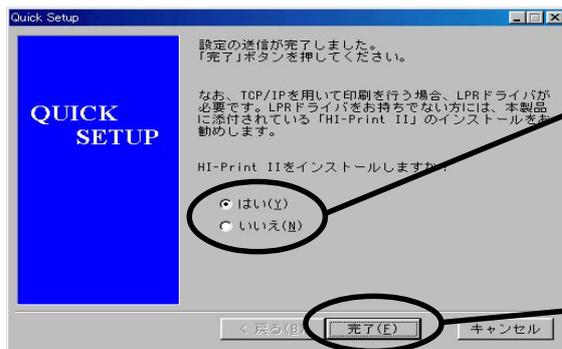
次へ をクリックしてください。

8. 設定項目を確認します。



実行 をクリックしてください。

9. 設定完了です。



HI-Print をインストールする場合は、「はい」を選択してください。

完了 をクリックしてください。



参考

- ・引き続き HI-Print でプリントポートをインストールしてください。HI-Print は、Windows から直接印刷を行うための印刷クライアントソフトウェアです。
- ・更に詳細な設定を行う場合は、「第7章 設定に関する機能」を参照してください。

HI-Print をインストールする

Windows 98/Me 環境から本製品を利用してTCP/IP プロトコルで直接印刷を行うには、本製品に付属しているHI-Print が必要です。HI-Print は、LPR、IPPおよびRawモード(TCP/IP 9100ポート)がご利用いただける印刷クライアントソフトウェアです。インストールが完了すると、プリンタポート追加ウィザードが起動します。

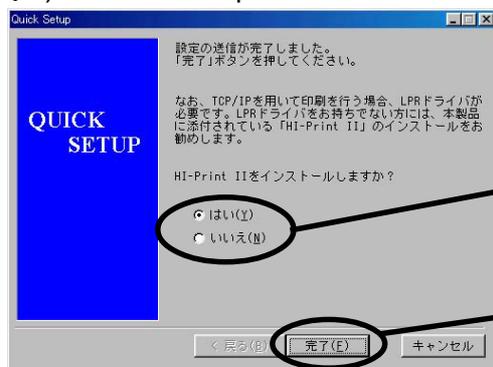


参考

- LPR (Line Printer Remote)
ローカルエリアネットワーク(LAN)上のプリンタに印刷することができます。一般に広く使用されているプロトコルです。本LPRポートをご使用いただくことを推奨します。
- IPP (Internet Printing Protocol) 機能
LAN上のプリンタに印刷する他に、インターネットを経由して遠隔地のネットワークプリンタに印刷することができます。
SSL通信印刷機能を使用する場合は、本プロトコルを使用します。
- Rawモード(TCP/IP 9100)機能
ローカルエリアネットワーク(LAN)上のプリンタに印刷することができます。
印刷データのスプールを行わずに高速に印刷することができます。

1. インストール方法を確認します。

(A) Quick Setup から続いてインストールする場合



「はい」を選択してください。

完了 をクリックしてください。

(B) HI-Print のみインストールする場合



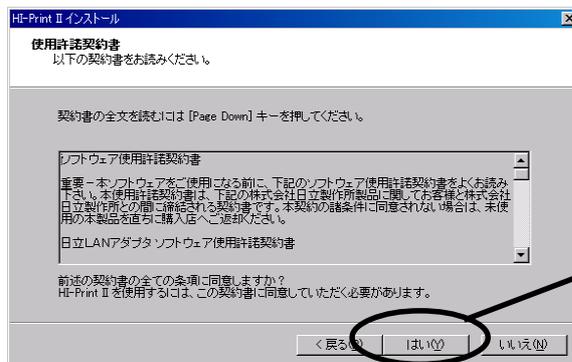
付属CD-ROMをセットし、「アプリケーションのインストール」を選択してください。

2. HI-Print インストールウィザードが起動します。



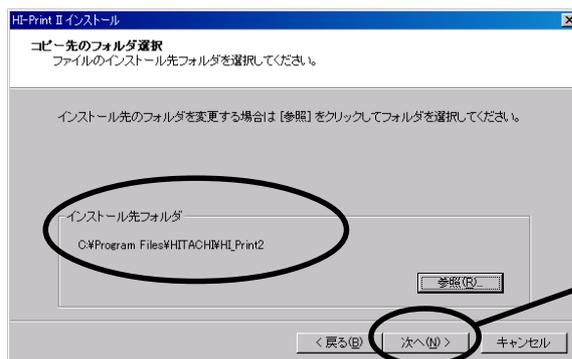
次へ をクリックしてください。

3. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



はい をクリックしてください。

4. インストール先のフォルダを指定します。



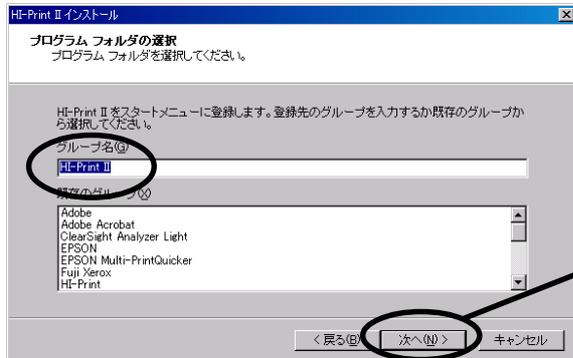
次へ をクリックしてください。



・[参照] をクリックするとインストール先フォルダを選択できます。

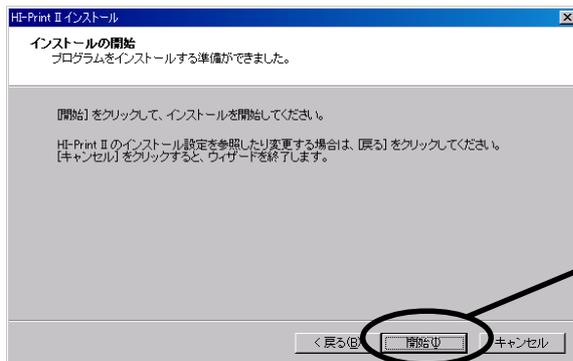
参考

5. スタートメニューに表示されるグループ名を入力します。



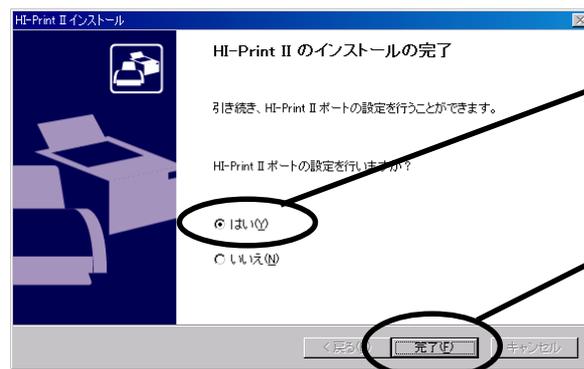
次へ をクリックしてください。

6. インストールを開始します。



開始 をクリックしてください。

7. インストール完了です。



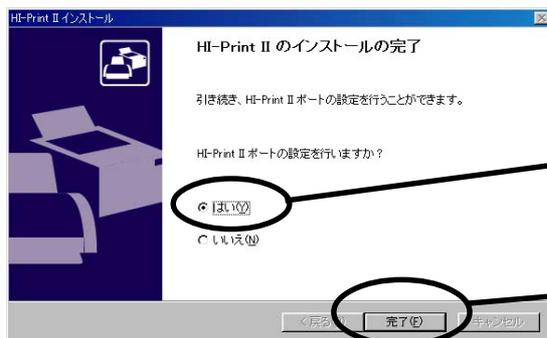
「はい」を選択してください。印刷ポートの作成を行います。

完了 をクリックしてください。

印刷ポートを追加する

本製品ではHI-Print から、「LPRで印刷する」「IPPで印刷する」「Rawモードで印刷する」の3つのポートがご利用いただけます。印刷に使用するプロトコルを選択し、「次へ」をクリックすると、各印刷方式のポート作成画面へ移ります。

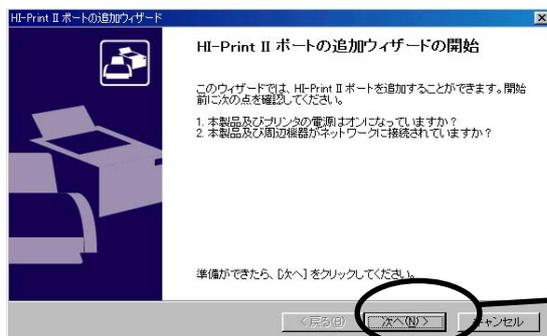
(A)1.HI-Print インストールから続いて追加します。



「はい」を選択してください。印刷ポートの作成を行います。

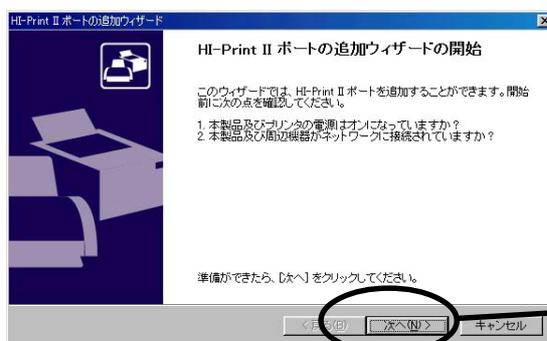
完了 をクリックしてください。

2.HI-Print ポート追加ウィザードが開始します。



次へ をクリックしてください。

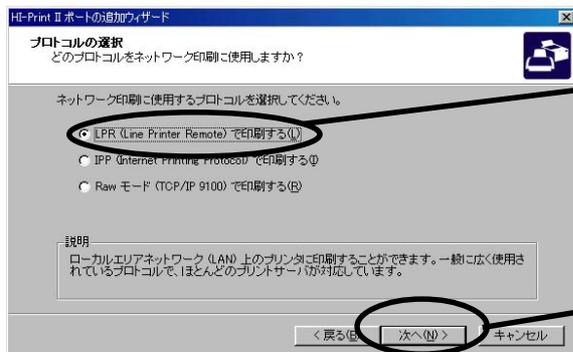
(B)「スタート」-「プログラム」-「HI-Print 」にある「HI-Print ポート追加」から追加します。



次へ をクリックしてください。

HI-Print LPR ポートを追加する場合

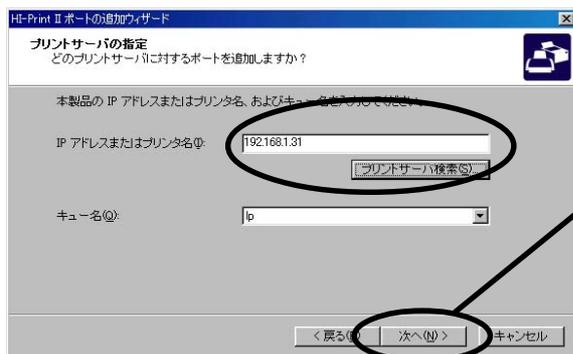
1. LPR (Line Printer Remote)を選択します。



「LPR (Line Printer Remote) で印刷する」を選択します。

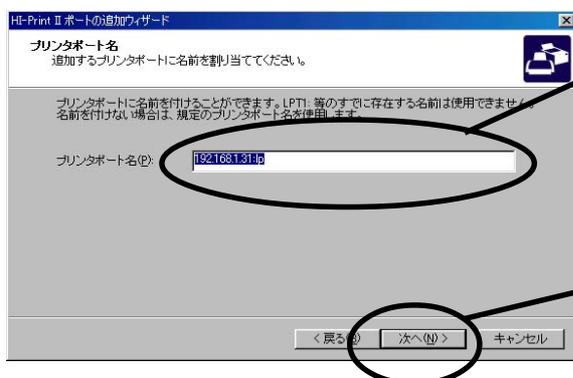
次へ をクリックしてください。

2. 「プリントサーバ検索」ボタンでネットワーク内のプリントサーバの一覧を表示させ、本製品を選択してください。



次へ をクリックしてください。

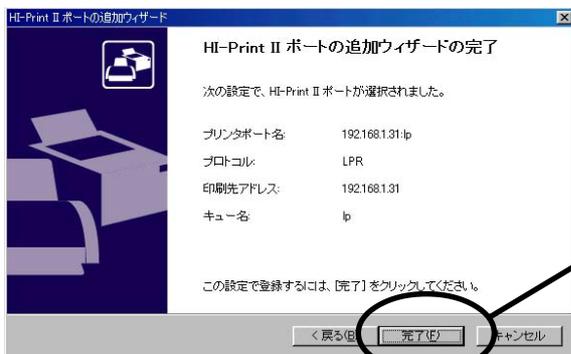
3. プリンタポート名を入力します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

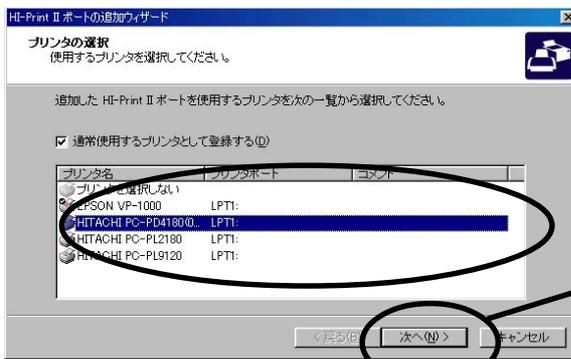
次へ をクリックしてください。

4. 設定内容を確認します。



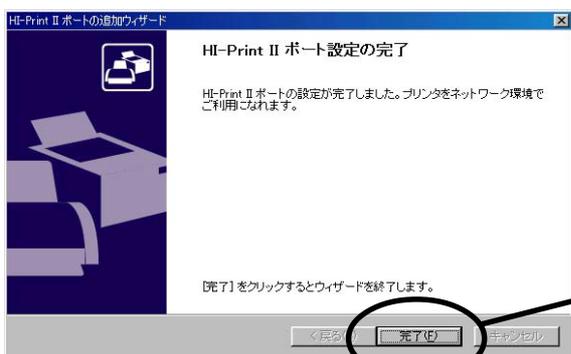
完了 をクリックしてください。

5. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



次へ をクリックしてください。

6. ポート設定を完了します。



完了 をクリックしてください。

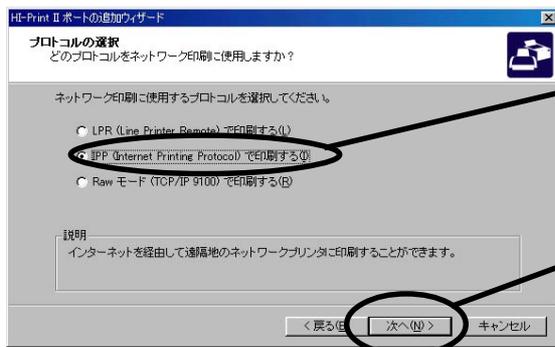
HI-Print IPPポートを追加する場合



注意

- ・セキュア(SSL)通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になるSSL証明書情報を、予め本製品に設定する必要があります。設定方法については、「付録 セキュア通信印刷機能について」を参照してください。
- ・セキュア(SSL)通信印刷機能は、印刷データを暗号化するためデータ量が増えます。そのためデータ転送時間がかかり、通常印刷と比較して印刷性能が低下します。
- ・PC-PB20301では、セキュア(SSL)通信印刷機能とNetBEUIは、ファームウェアが異なるために同時使用はできません。お客様がご使用になられているの環境を確認のうえ、「第2章 セットアップユーティリティ」を参照してください。

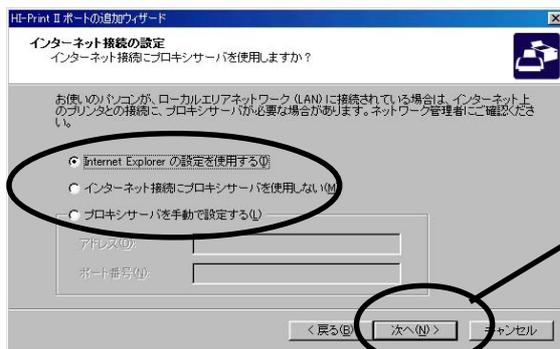
1. IPP(Internet Printing Protocol)を選択します。



「IPP (Internet Printing Protocol) で印刷する」を選択します。

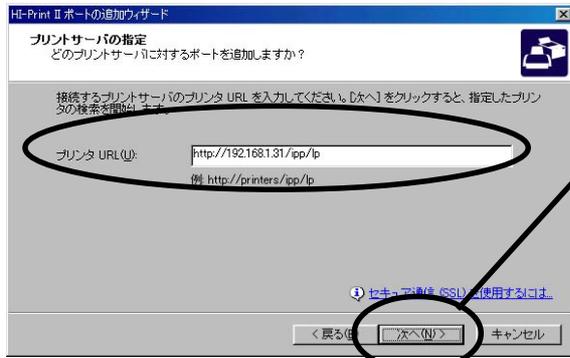
次へ をクリックしてください。

2. 「Internet Explorer の設定を使用する」、「インターネット接続にプロキシサーバを使用しない」又は、「プロキシサーバを手動で設定する」を選択してください。



次へ をクリックしてください。

- 3 . 「プリンタURL」には、印刷先の本製品に割り当てられたURLを入力してください。
本製品のIPP プリンタ URLは、"/ipp" 又は "/ipp/lp" です。



次へ をクリックしてください。



参考

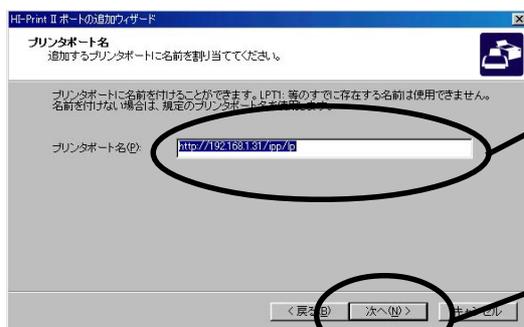
- ・例) URL が「abc.co.jp」でセキュア通信(SSL)印刷機能を使わない場合
http://abc.co.jp/ipp または **http://abc.co.jp/ipp/lp**
- ・例) URL が「abc.co.jp」でセキュア通信(SSL)印刷機能を使う場合
https://abc.co.jp/ipp または **https://abc.co.jp/ipp/lp**
- ・例) IP アドレスが「192.168.20.185」でセキュア通信(SSL)印刷機能を使わない場合
http://192.168.20.185/ipp または **http://192.168.20.185/ipp/lp**
- ・「192.168.20.185」でセキュア通信(SSL)印刷機能を使う場合
https://192.168.20.185/ipp または **https://192.168.20.185/ipp/lp**
- ・「次へ」をクリックすると、指定されたURL が存在するか、確認を行います。



注意

- ・セキュア(SSL)通信印刷機能を使用する場合は、URL は "https:// ~ " と指定してください。
"http:// ~ " と指定するとセキュア (SSL) 通信印刷機能は動作しません。
- ・セキュア(SSL)通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になるSSL 証明書情報を本製品に設定する必要があります。設定方法については、「付録 セキュア通信印刷機能について」を参照してください。

- 4 . 印刷先のポート名を設定します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

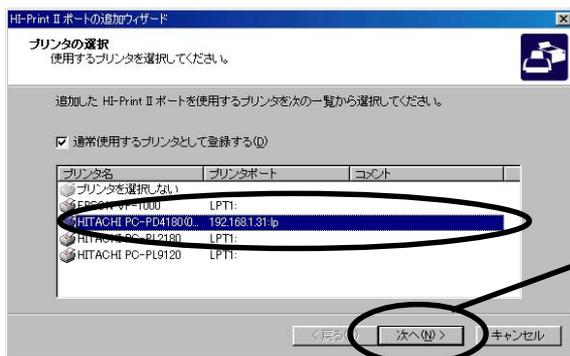
次へ をクリックしてください。

5. 設定内容を確認します。



完了 をクリックしてください。

6. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



次へ をクリックしてください。

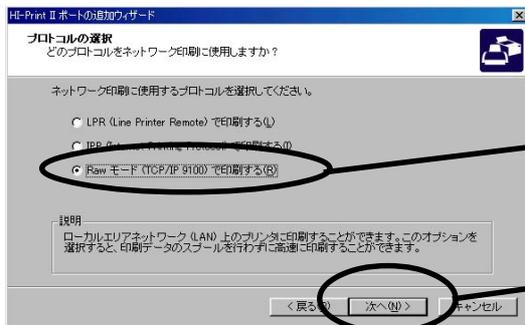
7. ポート設定を完了します。



完了 をクリックしてください。

HI-Print Raw(TCP/IP 9100) ポートを追加する場合

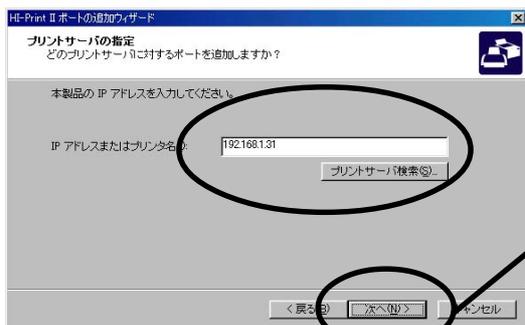
1. Rawモード(TCP/IP 9100)を選択します。



「Rawモード(TCP/IP 9100)で印刷する」を選択します。

次へ をクリックしてください。

2. 「プリントサーバ検索」ボタンでネットワーク内のプリントサーバ一覧を表示させ、一覧の中から本製品を選択してください。



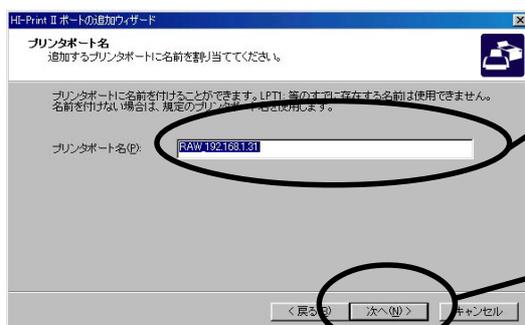
次へ をクリックしてください。



参考

・「次へ」をクリックすると、指定されたプリントサーバが9100ポートにアクセス可能か、確認されます。

3. 印刷先ポート名を入力します。



特に問題がなければ既定のプリンタポート名(RAW_IPアドレス)をご使用ください。

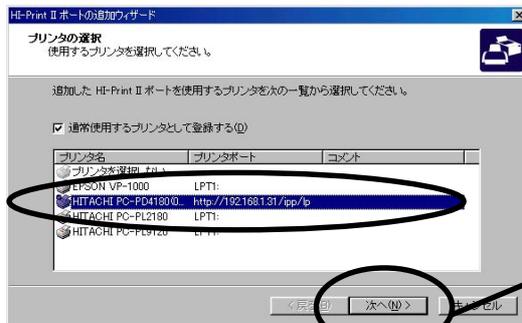
次へ をクリックしてください。

4. 設定内容を確認します。



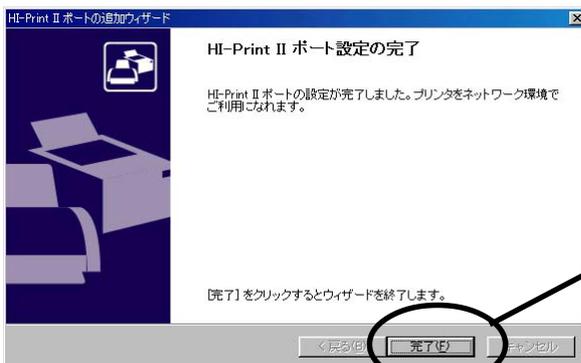
完了 をクリックしてください。

5. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



次へ をクリックしてください。

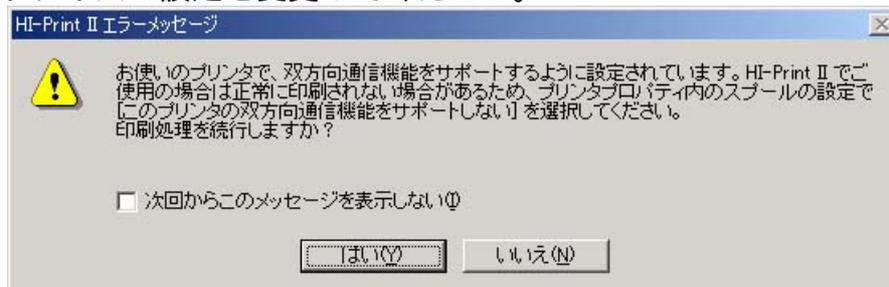
6. ポート設定を完了します。



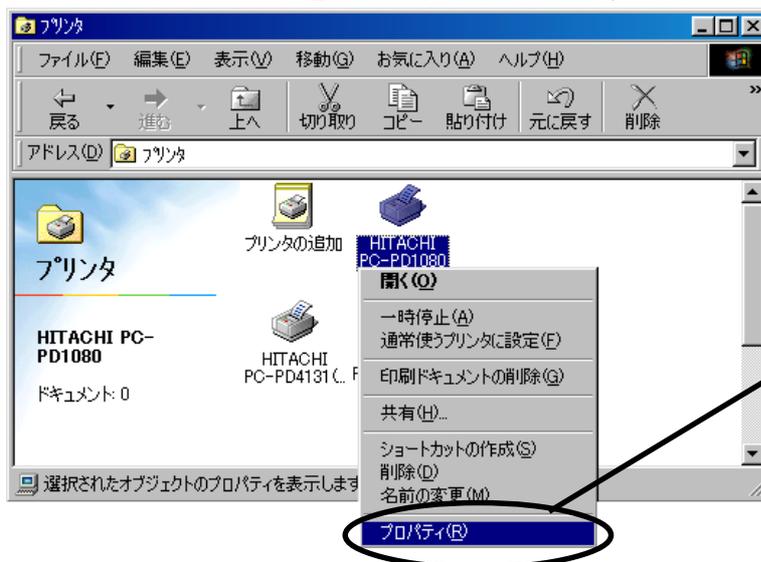
完了 をクリックしてください。

プリンタドライバの設定

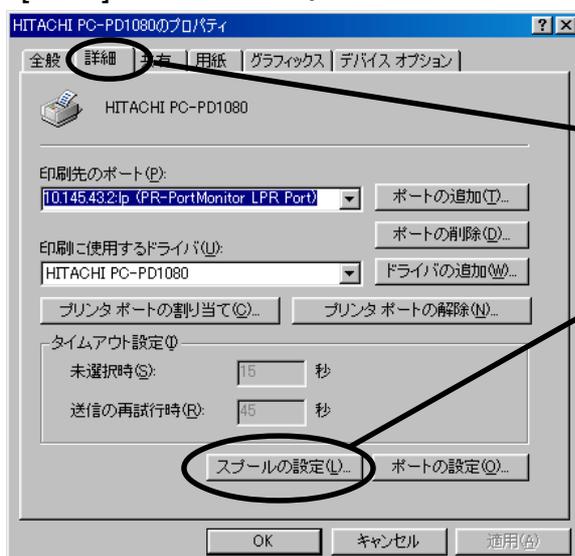
HI-Print からの印刷で、プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合、次のエラー画面が表示されることがあります。「いいえ」を選択し、下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。



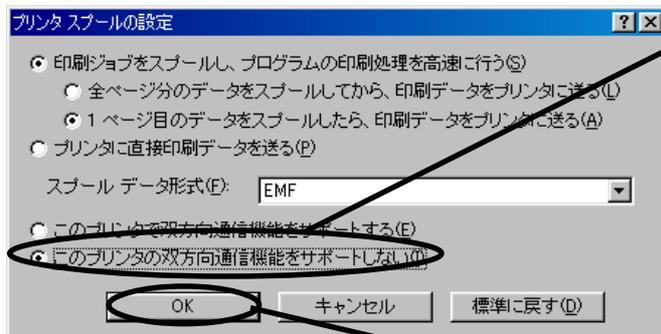
1 .「スタート」 - 「設定」 - 「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



2 .[詳細]を選択します。

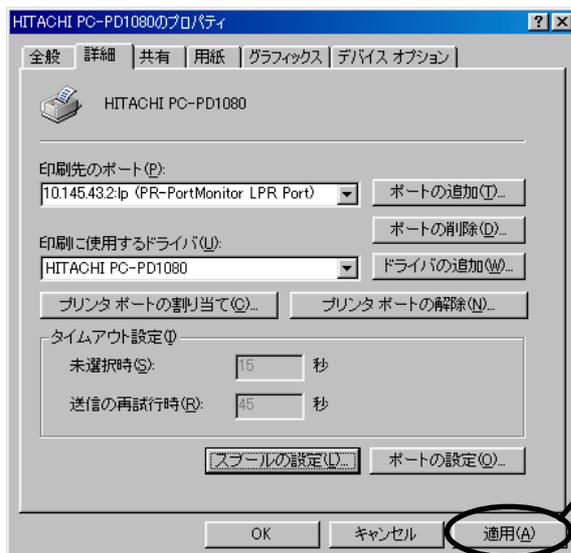


3. 双方向通信機能を設定します。



OK をクリックしてください。

4. 設定完了です。



Windows 98/Me環境からNetBEUIで印刷する

本製品をNetBEUI プロトコルを利用してWindows 98/Meから印刷する際の手順は以下の通りです。



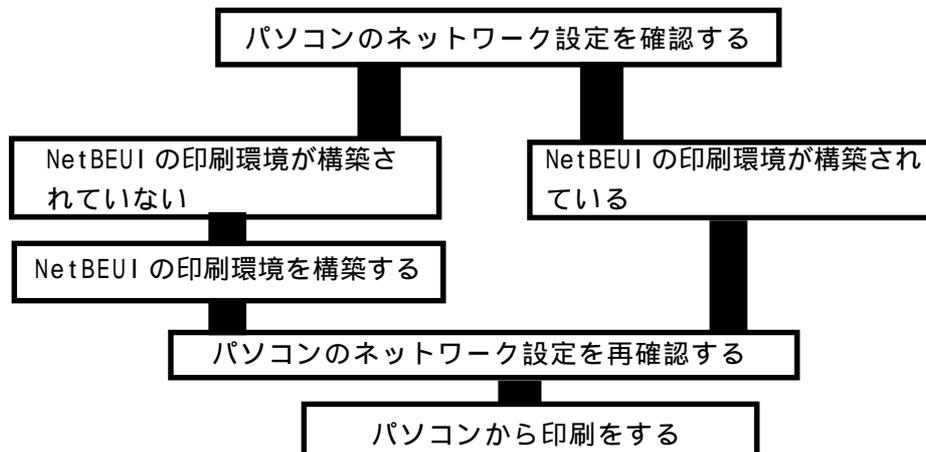
参考

- ・あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・NetBEUI の詳細な設定を行う方法については「第7章 設定に関する機能」をご参照ください。



注意

- ・PC-PB20301 では、セキュア(SSL)通信印刷機能とNetBEUI は、ファームウェアが異なるために同時使用はできません。お客様がご使用になられている環境を確認のうえ、「第2章 セットアップユーティリティ」を参照してください。



パソコンのネットワーク設定を確認する (NetBEUIの場合)

Windows 98/Meの「ネットワーク」に、[NetBEUI]と[Microsoft ネットワーククライアント]が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択します。
2. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「ネットワークの設定」で、[NetBEUI]と[Microsoft ネットワーククライアント]が追加されていることを確認してください。

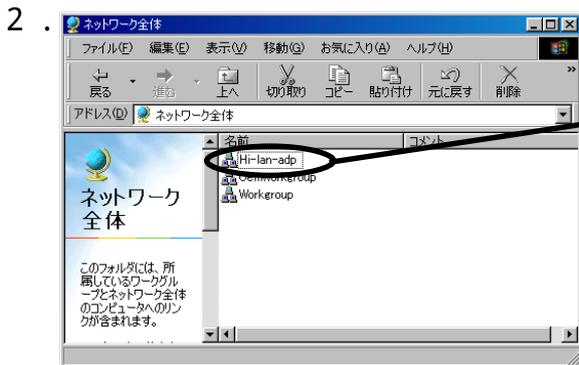


参考

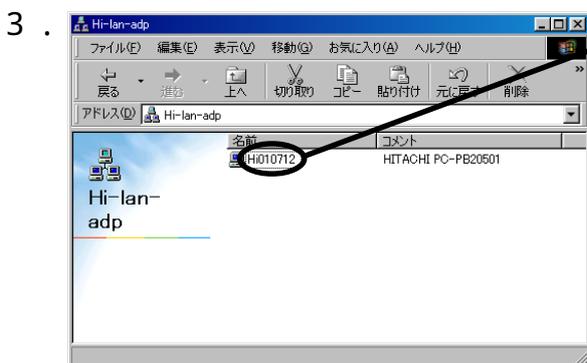
- ・現在のネットワークコンポーネント一覧に[NetBEUI]プロトコルが無い場合は、「追加」をクリックし、「プロトコル」 - 「Microsoft」 - 「NetBEUI」の手順で、追加してください。
- ・現在のネットワークコンポーネント一覧に[Microsoft ネットワーククライアント]が無い場合は、「サービス」 - 「Microsoft ネットワーククライアント」の手順で追加してください。

NetBEUIで印刷する

- 1 デスクトップ上の「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、「ネットワーク全体」の中のワークグループ名「Hi-lan-adp」を開きます。

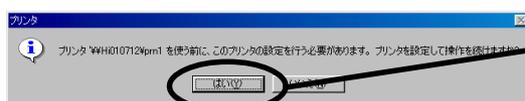


コンピュータ（本製品）のアイコンをダブルクリックしてください。



プリンタのアイコンをダブルクリックしてください。

- 4 プリンタの設定確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックしてください。

- 5 プリンタの追加ウィザードが起動しますので、指示に従って設定を行ってください。プリンタのテストページが出力されれば、プリンタの追加は完了です。

NetBEUIワークグループの構造

ここでは、本製品に搭載している NetBEUI のワークグループの構造について説明します。
 (例) 本製品の Ethernet アドレス： 00:06:fb:01:07:12



¥¥Hi010712: コンピュータ (本製品)

¥¥Hi010712¥prn1: プリンタ



¥¥Hi010712¥report¥ConfigReport.txt:

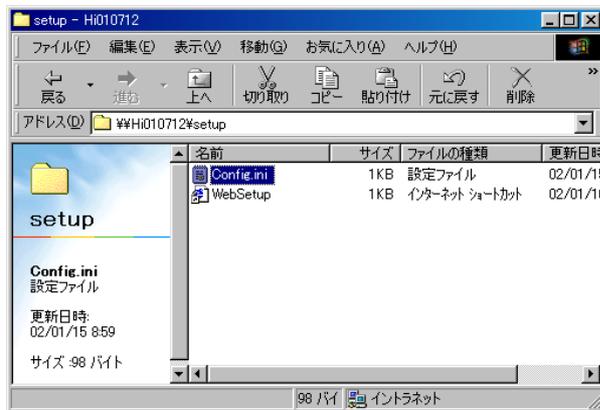
設定レポート (読み取り専用)

¥¥Hi010712¥report¥HardReport.txt:

自己診断情報 (読み取り専用)

¥¥Hi010712¥report¥Status.txt:

システム状態レポート (読み取り専用)



¥¥Hi010712¥setup¥Config.ini:

初期設定ファイル (編集可能)

¥¥Hi010712¥setup¥WebSetup:

ショートカットファイル (読み取り専用)

設定レポート

本製品を起動した時の内部情報を出力します。

システム状態レポート

本製品を起動した時の本製品の状態を出力します。

初期設定ファイル

初期化ファイルでは「ワークグループ名」と「IPアドレス」を記述することができます。メモ帳等のエディタを使い編集後、ファイルを上書き保存することで設定します。上書き保存すると、本製品は約3秒後、自動リセットされ、再起動します。

初期化ファイルを編集し、ファイルを上書き保存することでワークグループ名、IPアドレスの変更が可能です。

(例)

```
Workgroup = UserGroup
IP Address = 192.168.20.126
```

ワークグループ名は、ネットワーク全体の中に既に存在するワークグループ名を指定してください。DHCP/BOOTP、RARPサーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てする場合は、「IP Address」に設定しても無効となります。

ショートカットファイル

本製品にIPアドレスが設定されるとショートカット (WebSetup) が作成されます。ショートカットアイコンをダブルクリックするとWebブラウザが起動し本製品のWebページが表示されます。



・Webブラウザについては「第7章 設定に関する機能」をご参照ください。

参考

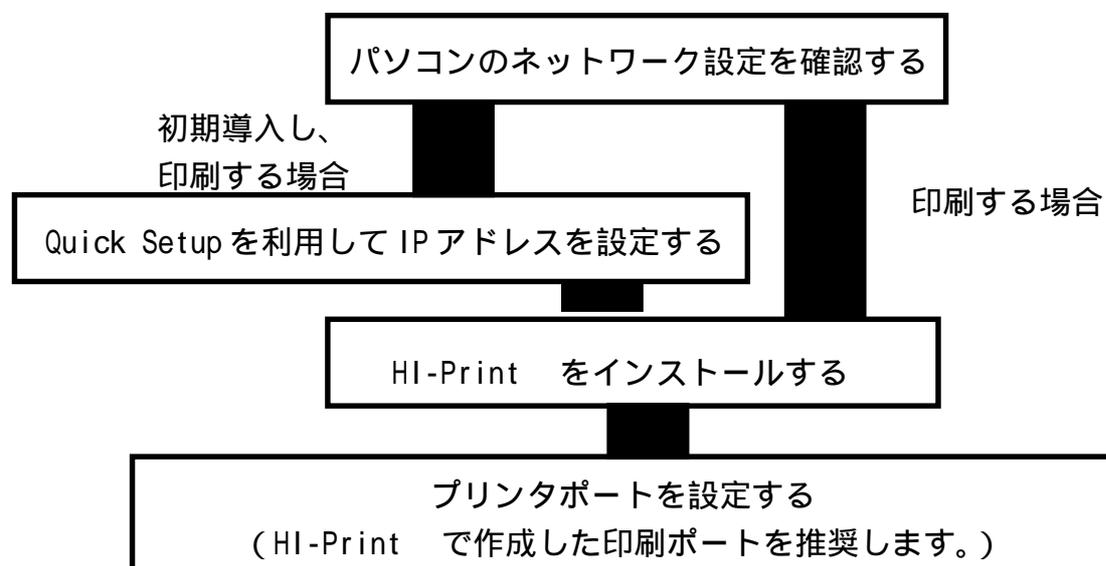
| | |
|--|------|
| 第4章 Windows NT 4.0/2000/Server 2003/ XP/Vista で使用する Windows NT 4.0/2000/Server 2003/XP/Vista /7/8/2008/2012から TCP/IP で印刷する | 4-3 |
| パソコンのネットワーク設定を確認する | 4-4 |
| Windows NT 4.0 の場合 | 4-4 |
| Windows 2000 の場合 | 4-6 |
| Windows XP の場合 | 4-7 |
| Windows Server 2003 の場合 | 4-9 |
| Windows Vista の場合 | 4-11 |
| Quick Setup による簡単設定 | 4-13 |
| HI-Print をインストールする | 4-17 |
| 印刷ポートを追加する | 4-20 |
| LPR ポートを追加する場合 | 4-21 |
| IPP ポートを追加する場合 | 4-23 |
| Raw(TCP/IP 9100) ポートを追加する場合 | 4-26 |
| プリンタドライバの設定 | 4 28 |
| Windows NT 4.0/2000 から NetBEUI で印刷する | 4-30 |
| Windows NT 4.0 から印刷する | 4-30 |
| パソコンのネットワーク設定の確認をする | 4-31 |
| NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP で印刷する | 4-32 |
| Windows 2000 から印刷する | 4-33 |
| パソコンのネットワーク設定の確認をする | 4-33 |
| NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP で印刷する | 4-35 |
| Windows Server 2003/XP/Vista から NetBIOS over | |

| | |
|---|------|
| TCP/IP で印刷する | 4-36 |
| Windows Server 2003/ XP/Vista から印刷する | 4-36 |
| パソコンのネットワーク設定を確認する | 4-37 |
| NetBIOS over TCP/IP で印刷する | 4-39 |
| NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP について | 4-40 |
| NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP ワークグループの構造 | 4-40 |
| OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する | 4-42 |
| Windows NT 4.0 の LPR ポートで印刷する | 4-42 |
| Windows 2000/Server 2003/XP の Standard TCP/IP ポート で印刷する..... | 4-47 |
| Windows 2000/Server 2003/XP/7/8/2008/2012 の LPR ポートで印刷する | 4-54 |
| Windows 2000/Server 2003/XP の IPP ポートで印刷する | 4-62 |
| Windows Vista/7/8/2008/2012 の Standard TCP/IP ポートで印刷する | 4-67 |

第4章 Windows NT 4.0/2000/Server 2003/XP/Vista/7/8/ 2008/2012で使用する

本章では、Windows NT 4.0/2000/Server 2003/XP/Vista環境で本製品を接続して、TCP/IP、NetBEUI および NetBIOS over TCP/IP で印刷を行う方法について説明します。

本製品を TCP/IP プロトコルを利用して印刷する際の手順は以下の通りです。



参考

- ・あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・本製品をご使用の際には、HI-Print で作成した印刷ポートの使用を推奨します。
- ・セキュア(SSL)通信印刷機能を利用した印刷を行う場合は、HI-Print で作成した IPP ポートの使用を推奨します。
- ・セキュア(SSL)通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になる SSL 証明書情報を本製品に設定する必要があります。設定方法については、「付録 セキュア通信印刷機能について」を参照してください。
- ・セキュア(SSL)通信印刷機能を使用して印刷をすると、印刷データを暗号化します。そのため、第三者による印刷データの盗用や改ざんを防止することができます。



注意

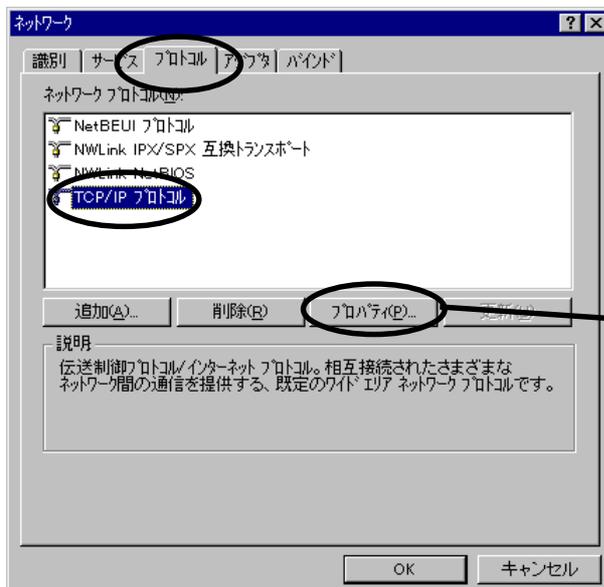
- ・PC-PB20301 では、セキュア(SSL)通信印刷機能と NetBEUI は、ファームウェアが異なるために同時使用はできません。お客様がご使用になられている環境を確認のうえ、「第2章 セットアップユーティリティ」を参照してください。

パソコンのネットワーク設定を確認する

Windows NT 4.0の場合

Windows NT 4.0の「ネットワーク」に「TCP/IP プロトコル」と「Microsoft TCP/IP 印刷」サービスが追加されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択してください。
2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「プロトコル」の「ネットワークプロトコル」に[TCP/IP プロトコル]が追加されていることを確認してください。

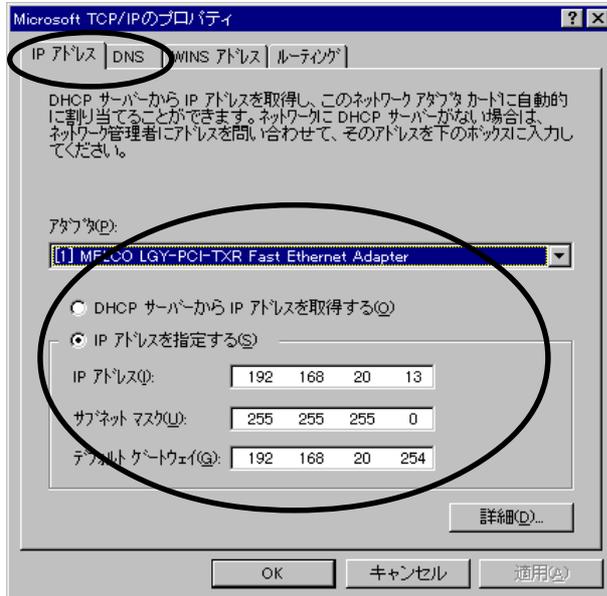


「プロパティ」をクリックしてください。



- ・「TCP/IP プロトコル」がネットワークプロトコル一覧にない場合は、「追加」をクリックし、「ネットワークコンポーネントの選択」 - [TCP/IP プロトコル]の手順で追加してください。

4. [IPアドレス]の設定で、ご使用の環境にあわせた設定が行われているか確認してください。



5. 同じく「ネットワーク」-「サービス」の「ネットワークサービス」に[Microsoft TCP/IP 印刷]が追加されていることを確認してください。

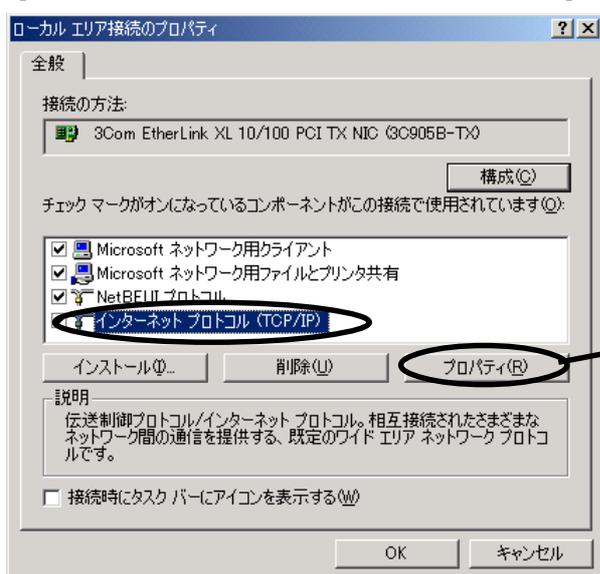


・[Microsoft TCP/IP 印刷]がサービス一覧にない場合は「追加」をクリックし、「ネットワークサービスの選択」-「Microsoft TCP/IP 印刷」の手順で追加してください。

Windows 2000 の場合

Windows 2000に[インターネットプロトコル(TCP/IP)]が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. [インターネットプロトコル(TCP/IP)]が追加されていることを確認してください。

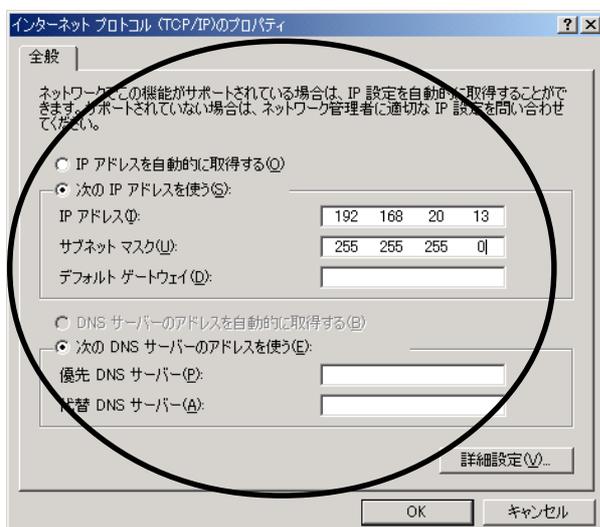


「プロパティ」をクリックしてください。



・[インターネットプロトコル(TCP/IP)]が追加されていない場合は「インストール」をクリックし、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択して追加してください。

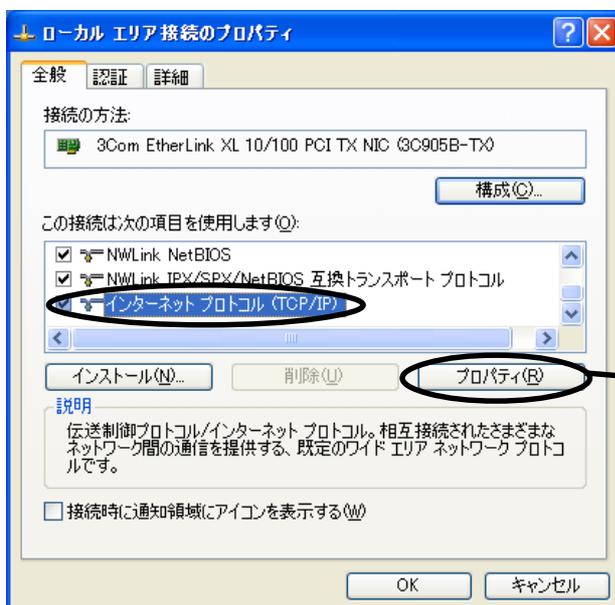
4. [全般]で、ご使用の環境にあわせた設定が行われているか確認してください。



Windows XP の場合

Windows XP に[インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. [インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていることを確認してください。

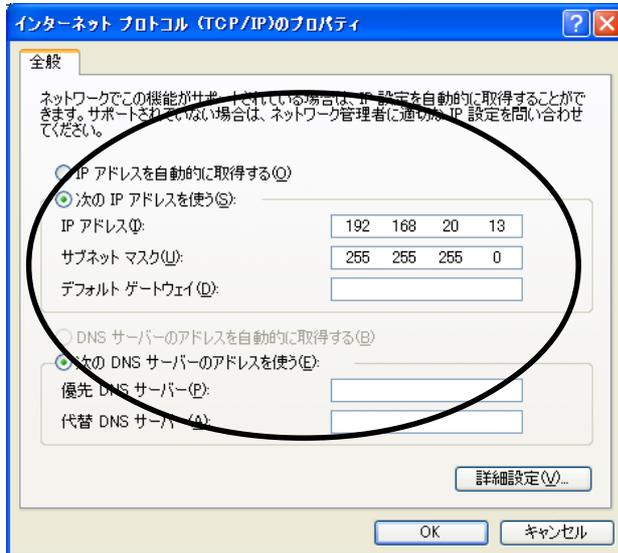


「プロパティ」をクリックしてください。



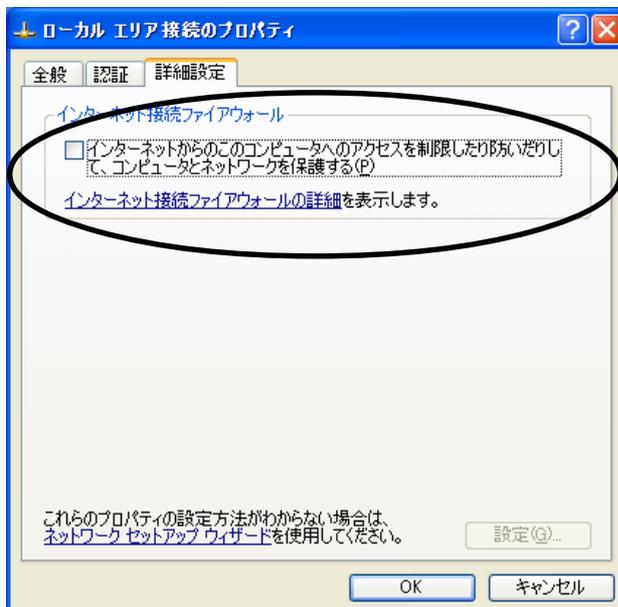
- ・ [インターネットプロトコル (TCP/IP)]が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワークコンポーネントの種類を選択」 - 「プロトコル」 - [インターネットプロトコル (TCP/IP)]を選択し、追加してください。

4. [全般]で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認してください。



注意

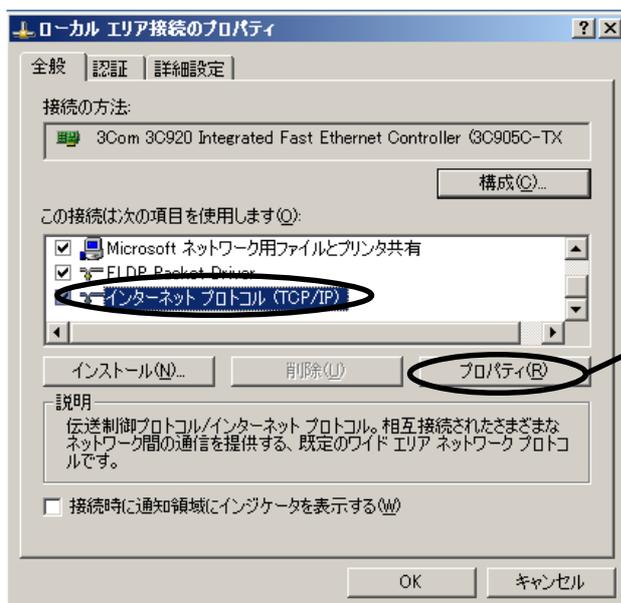
- ・ Windows XP 環境で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」 - 「詳細設定」で「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり・・・」のチェックを外してください。



Windows Server 2003の場合

Windows Server 2003 に[インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークの接続」-「ローカルエリア接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. [インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていることを確認してください。



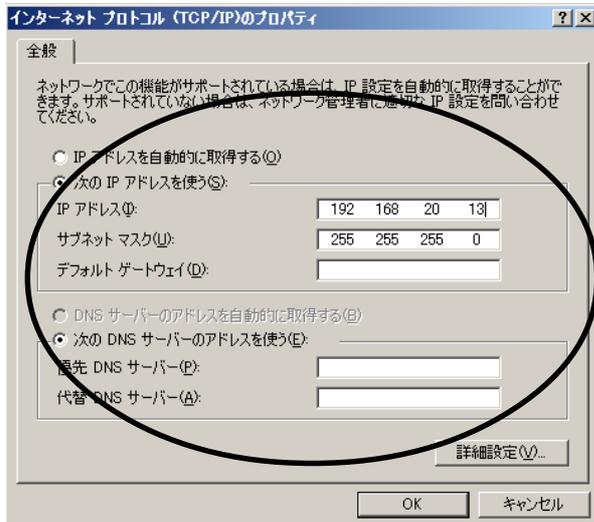
「プロパティ」をクリックしてください。



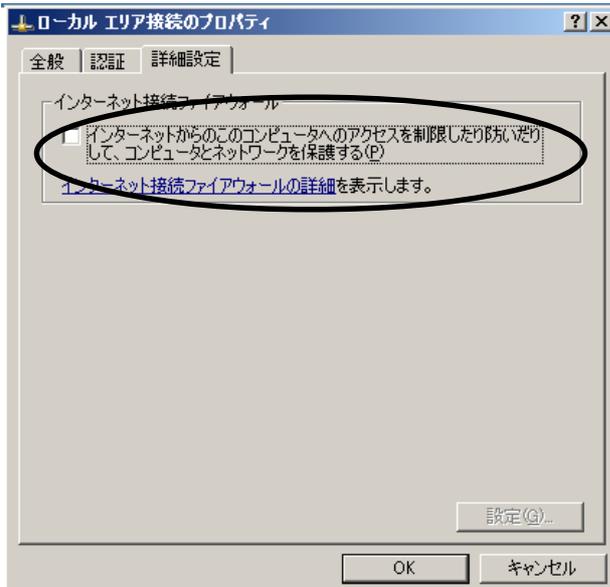
参考

- ・ [インターネットプロトコル (TCP/IP)]が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワークコンポーネントの種類の選択」-「プロトコル」-[インターネットプロトコル (TCP/IP)]を選択し、追加してください。

4. [全般]で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認してください。



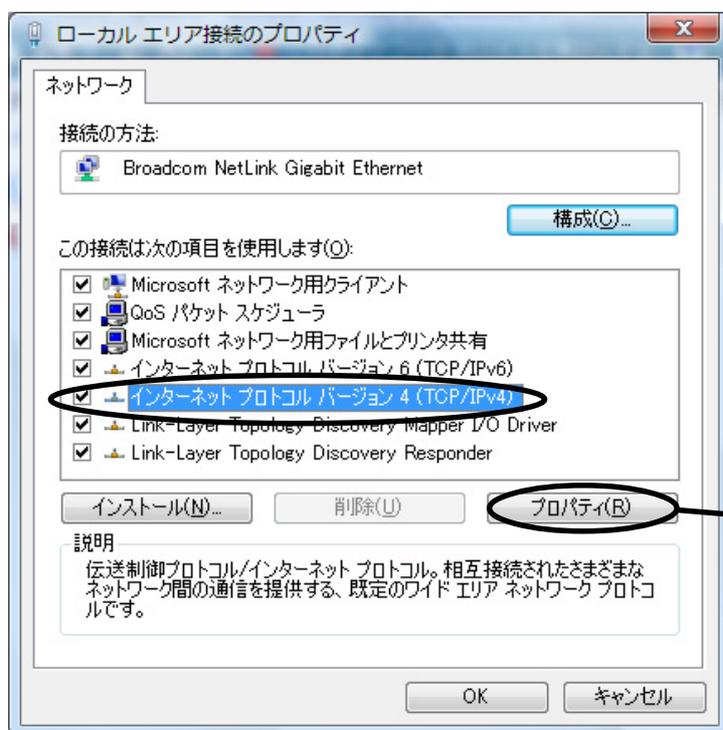
- ・ Windows Server 2003 環境で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」-「詳細設定」で「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり・・・」のチェックを外してください。



Windows Vistaの場合

Windows Vistaに[インターネットプロトコル(TCP/IP)]が選択されている事を確認します。

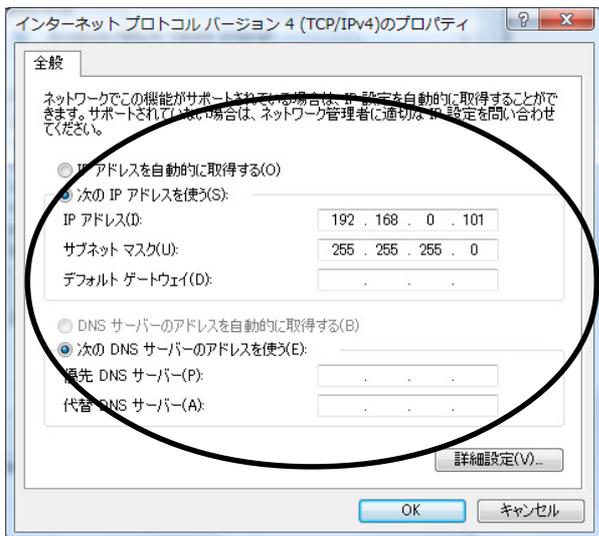
1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット」「ネットワークの状態とタスクの表示」-「ネットワーク接続の管理」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]がチェックされていることを確認してください。



「プロパティ」をクリックしてください。

4. [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。

5. [全般]で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認してください。



Quick Setupによる簡単設定

1. 本製品付属のCD-ROM(セットアップユーティリティ)をWindowsパソコンにセットすると、メインメニューが自動的に起動します。



「お読みください」をクリックしてください。このCD-ROMについての注意事項や本製品の問合せ先等が記載されています。ご利用の前に必ずご一読ください。

2. セットアップ方法の選択画面が開きます。



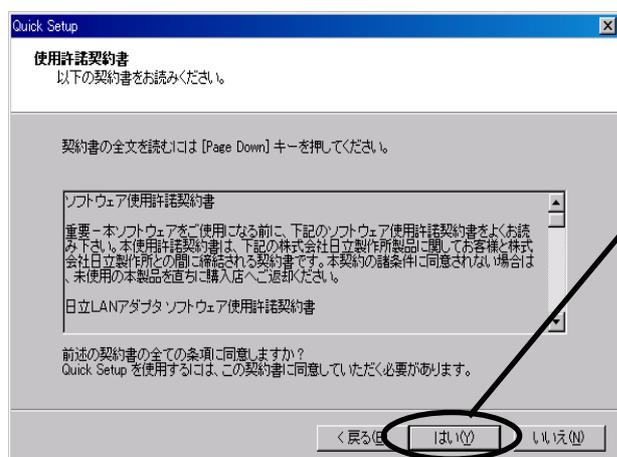
「Quick Setup」をクリックしてください。

3. Quick Setup が起動します。



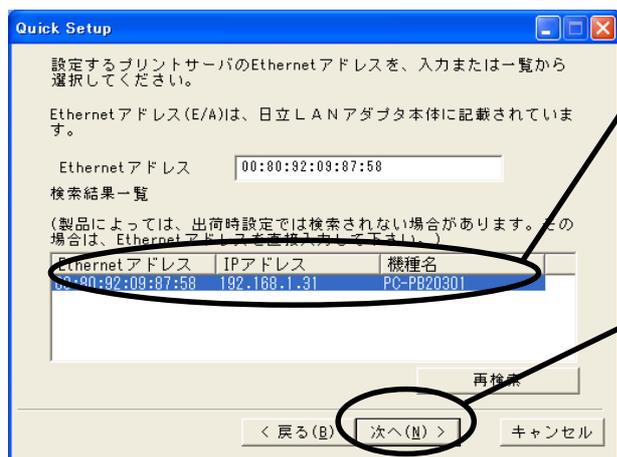
次へ をクリックしてください。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



はい をクリックしてください。

5. 本製品を選択します。



設定を行う本製品を選択してください。

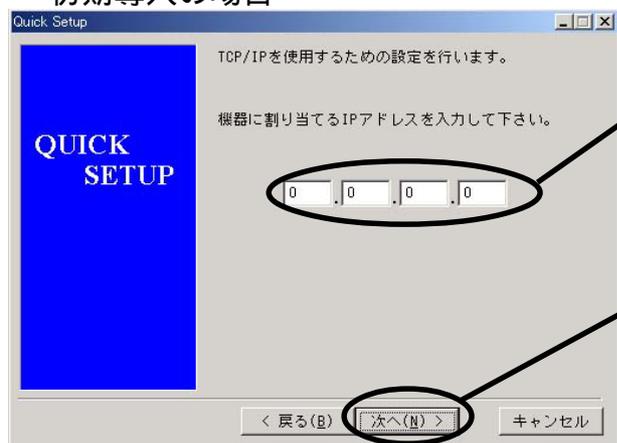
次へ をクリックしてください。



- ・ 検索結果一覧に本製品が表示されていない場合は「再検索」をクリックしてください。Ethernetアドレスを直接入力することで本製品を選択することもできます。
- ・ 本製品のEthernetアドレスは、自己診断印刷結果または本製品底面にシール表示で記載されています。(例：00:80:92:08:b0:dd)

6. IPアドレスを設定します。

< 初期導入の場合 >

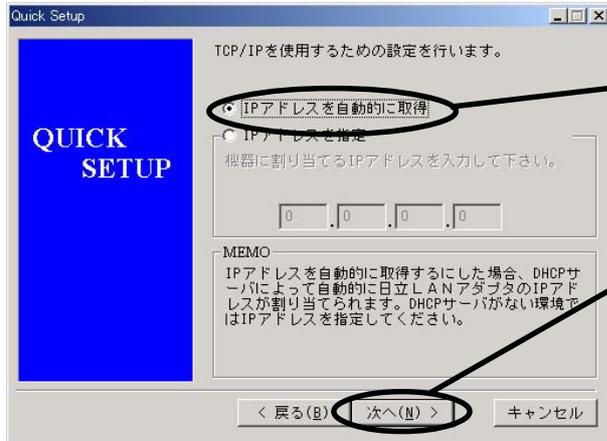


任意のIPアドレスを指定してください。

次へ をクリックしてください。

<本製品に IP アドレスが設定されている場合>

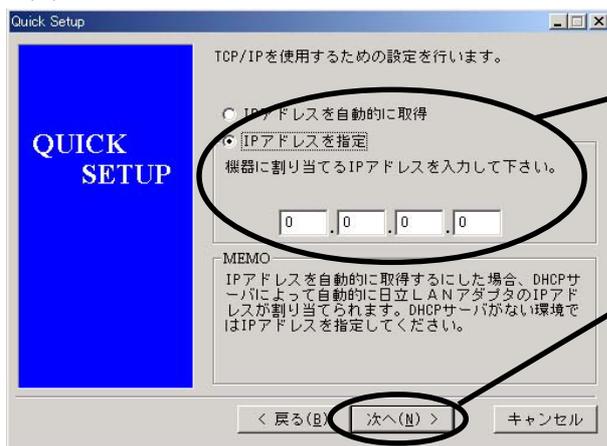
(A) DHCP サーバが稼働している環境下で、DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する場合



「IP アドレスを自動的に取得する」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

(B) 手で IP アドレスを設定する



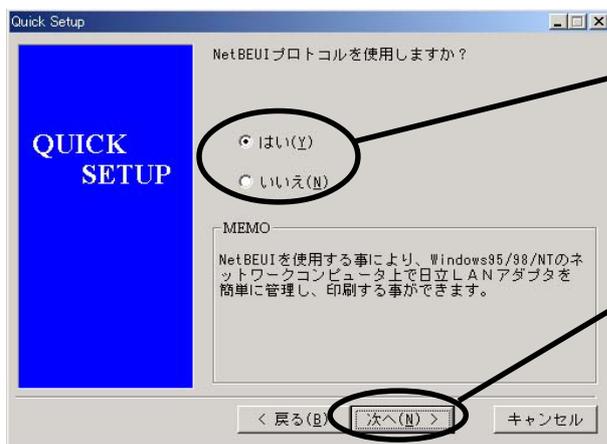
任意の IP アドレスを設定することができます。

次へ をクリックしてください。



- ・ DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する設定にする場合は、予め本製品の IP アドレスが設定されていなければなりません。その場合は、本製品と設定をするコンピュータのネットワークケーブルをクロスケーブルに変更し、仮の IP アドレスを設定して HUB やルータを介さずに直結にして設定をしてください。

7. NetBEUI の設定をします。



NetBEUI の設定を行います。NetBEUI を使用する場合は、「はい」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

8. 設定完了です。設定内容を表示します。



実行 をクリックしてください。



参考

- ・引き続き HI-Print をインストールしてください。HI-Print は Windows から直接印刷を行うための印刷クライアントソフトウェアです。
- ・Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaの環境で、OS 標準の印刷機能をご利用になる場合は、本章中の「OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する」をご参照ください。
- ・更に詳細な設定を行う場合は、「第7章 設定に関する機能」を参照してください。

HI-Print をインストールする

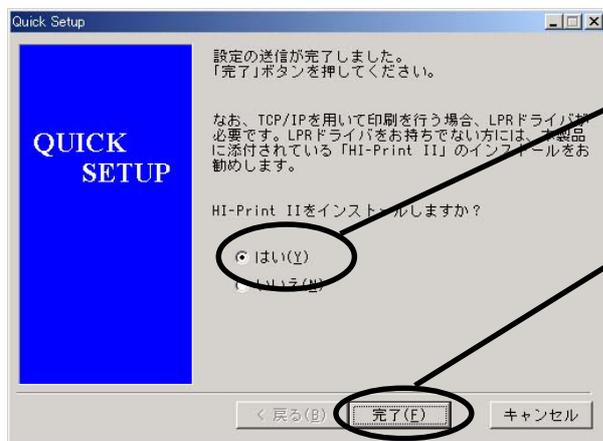
Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows Server 2003、Windows XP、Windows Vistaの環境で、本製品を利用してTCP/IPプロトコルで直接印刷を行うために、本製品に付属しているHI-Print をご利用いただくことを推奨します。HI-Print は、LPR機能（弊社製品専用）、IPP機能および、Rawモード（TCP/IP 9100）機能がご利用いただける印刷クライアントソフトウェアです。インストールが完了すると、プリンタポート追加ウィザードが起動します。



- ・LPR (Line Printer Remote) 機能(本LPRポートをご使用いただくことを推奨します。)ローカルエリアネットワーク(LAN)上のプリンタに印刷することができます。一般に広く使用されているプロトコルです。
- ・IPP (Internet Printing Protocol) 機能
LAN上のプリンタに印刷する他に、インターネットを介して遠隔地のネットワークプリンタに印刷することができます。またSSL(セキュア)通信印刷機能が使用できます。
- ・Rawモード(TCP/IP 9100)機能
ローカルエリアネットワーク(LAN)上のプリンタに印刷することができます。印刷データのスプールを行わずに高速に印刷することができます。

1. インストール方法を確認します。

(A) Quick Setup から続いてインストールする場合



「はい」を選択してください。

完了 をクリックしてください。

(B) HI-Print のみインストールする場合



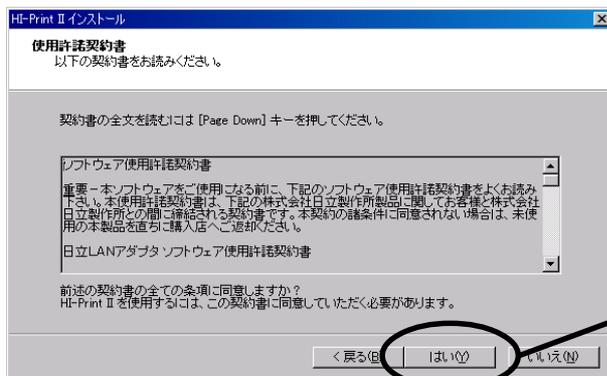
付属CD-ROMをセットし、「アプリケーションのインストール」を選択してください。

2. HI-Print インストールウィザードが起動します。



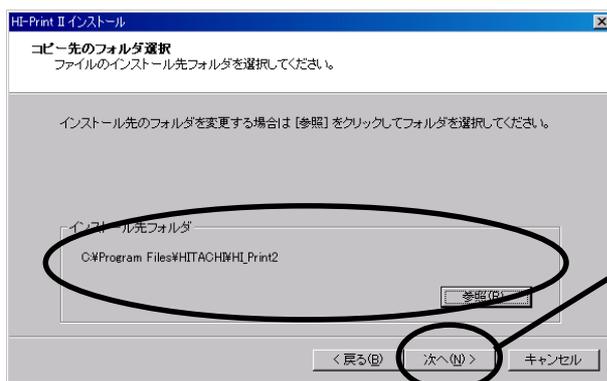
次へ をクリックしてください。

3. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



はい をクリックしてください。

4. インストール先のフォルダを指定します。



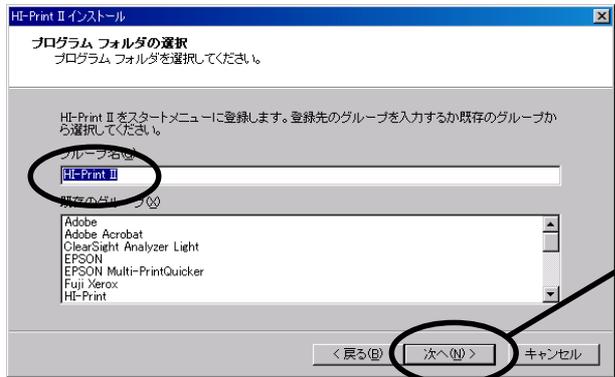
次へ をクリックしてください。



・[参照] をクリックするとインストール先フォルダを選択できます。

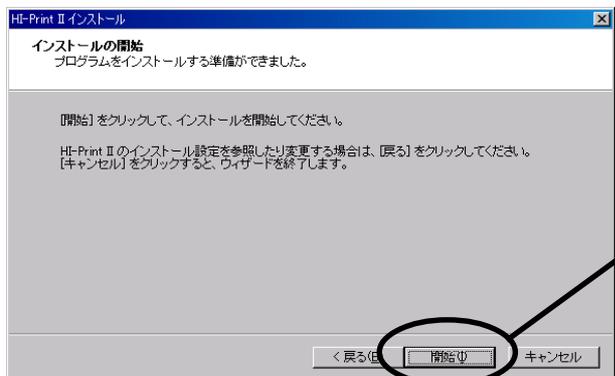
参考

5. スタートメニューに表示されるグループ名を入力します。



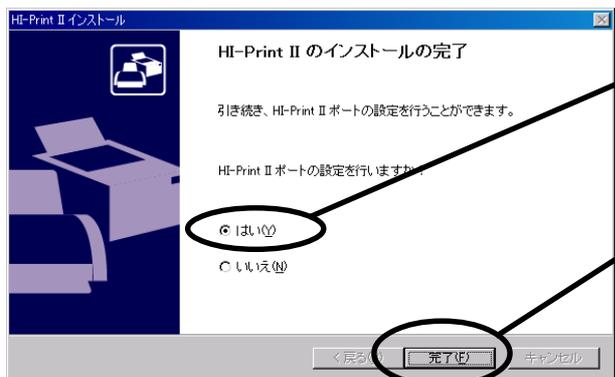
次へ をクリックしてください。

6. インストールを開始します。



開始 をクリックしてください。

7. インストール完了です。



「はい」を選択してください。

完了 をクリックしてください。



注意

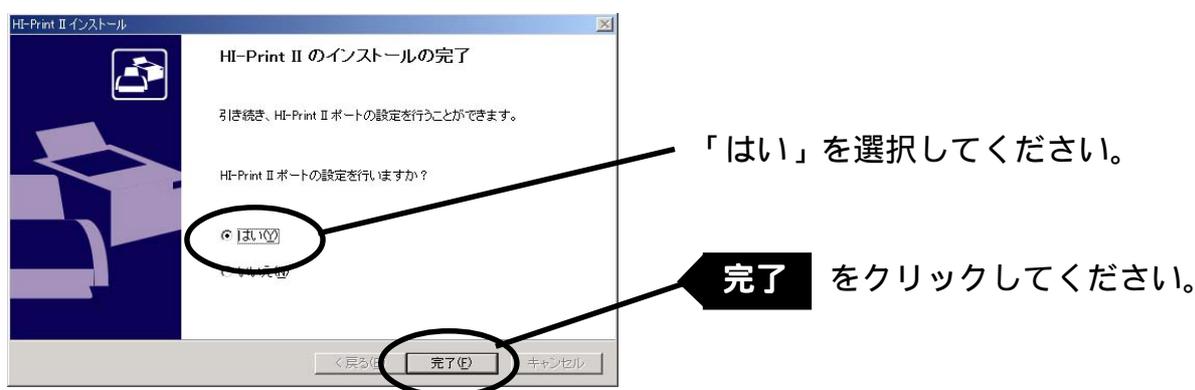
・PC-PB20301では、セキュア(SSL)通信印刷機能とNetBEUIは、ファームウェアが異なるために同時使用はできません。お客様がご使用になられている環境を確認のうえ、「第2章 セットアップユーティリティ」を参照してください。

印刷ポートを追加する

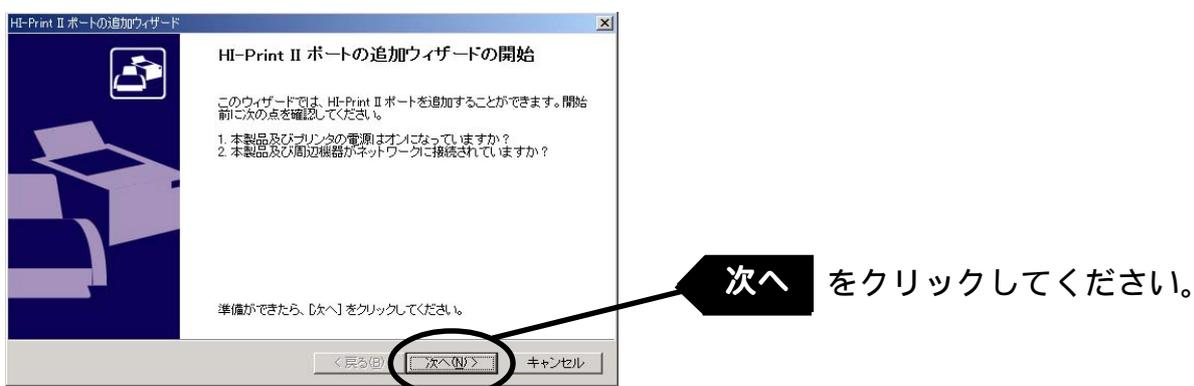
本製品ではHI-Print の、「LPRで印刷する」「IPPで印刷する」「Rawモードで印刷する」の3つのポート作成方法をご利用いただけます。印刷に使用するプロトコルを選択し、「次へ」をクリックすると、各印刷方式のポート作成画面へ移ります。

(A)HI-Print インストールから続いて追加する。

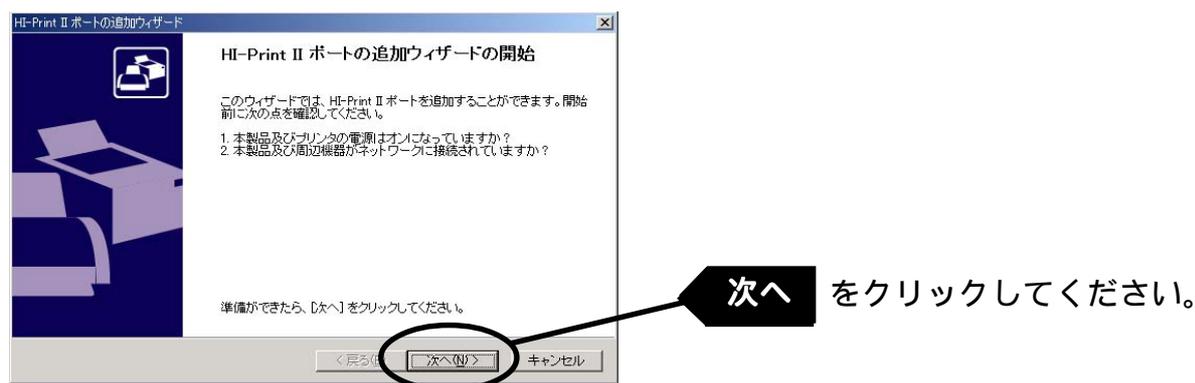
1.「はい」を選択し、「完了」をクリックしてください。



2.HI-Print ポート追加ウィザードが開始します。

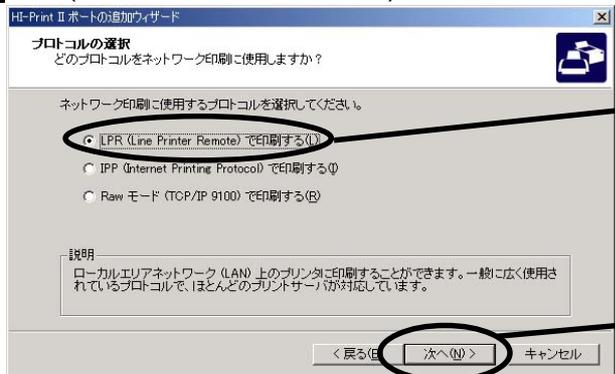


(B)「スタート」 - 「プログラム」 - 「HI-Print 」にある「HI-Print ポート追加」から追加する。



HI-Print LPRポートを追加する場合

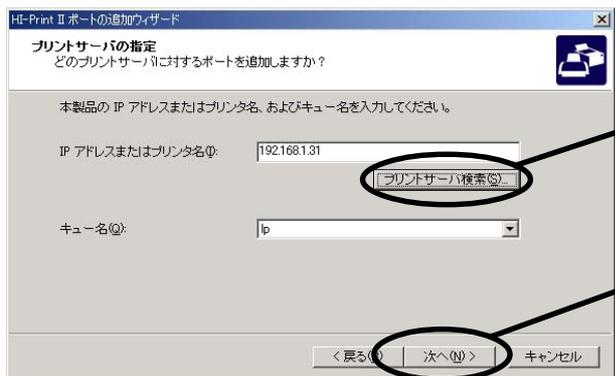
1. LPR(Line Printer Remote)を選択します。



「LPR (Line Printer Remote) で印刷する」を選択します。

次へ をクリックしてください。

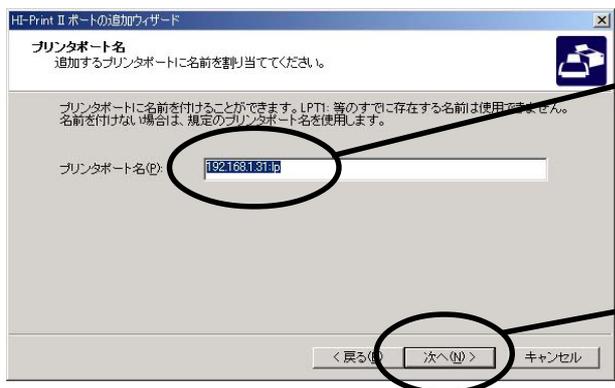
2. 「プリントサーバ検索」ボタンでネットワーク内のプリントサーバの一覧を表示させ、本製品を選択してください。



「プリントサーバ検索」ボタンをクリックして選択します。

次へ をクリックしてください。

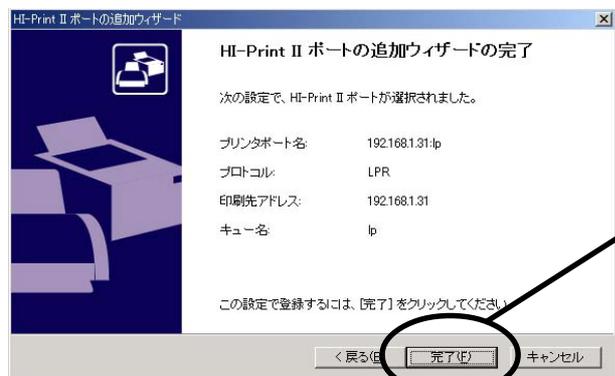
3. プリンタポート名を入力します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

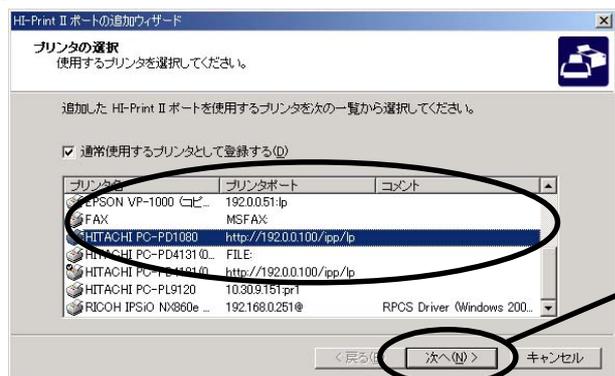
次へ をクリックしてください。

4. 設定内容を確認します。



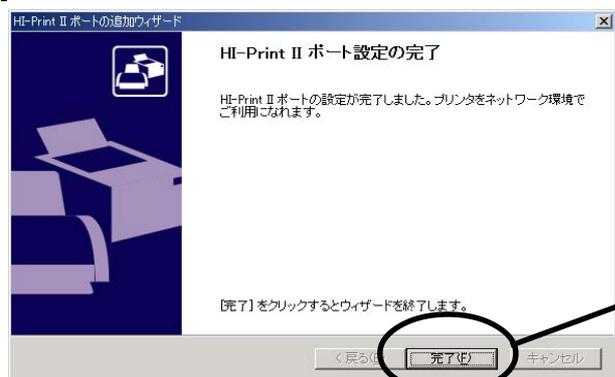
完了 をクリックしてください。

5. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



次へ をクリックしてください。

6. ポート設定を完了します。



完了 をクリックしてください。

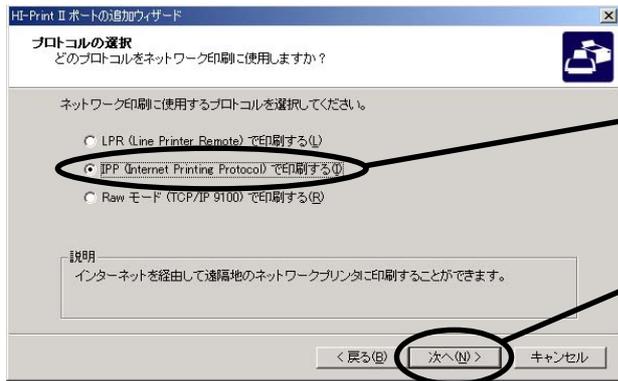
HI-Print IPPポートを追加する場合



注意

- ・PC-PB20301 では、セキュア(SSL)通信印刷機能とNetBEUI は、ファームウェアが異なるために同時使用はできません。お客様がご使用になられているの環境を確認のうえ、「第2章 セットアップユーティリティ」を参照してください。

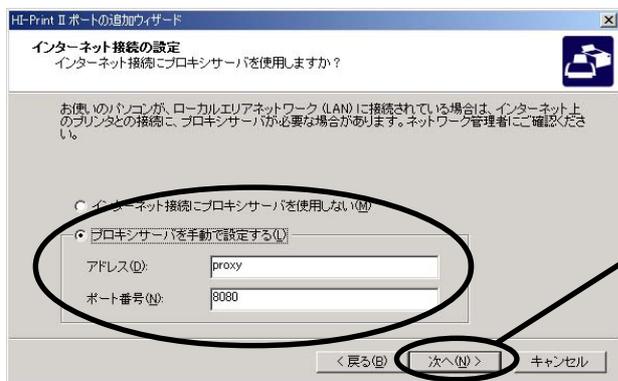
1. IPP(Internet Printing Protocol)を選択します。



「IPP (Internet Printing Protocol) で印刷する」を選択します。

次へ をクリックしてください。

2. 「インターネット接続にプロキシサーバを使用しない」又は、「プロキシサーバを手動で設定する」を選択してください。



次へ をクリックしてください。

3. 「プリンタ URL」には、印刷先の本製品に割り当てられた URL を入力してください。URL は "http:// ~ /ipp(/lp)" または "https:// ~ /ipp(/lp)" と指定してください。「次へ」をクリックすると、指定された URL が存在するか、確認を行います。



参考

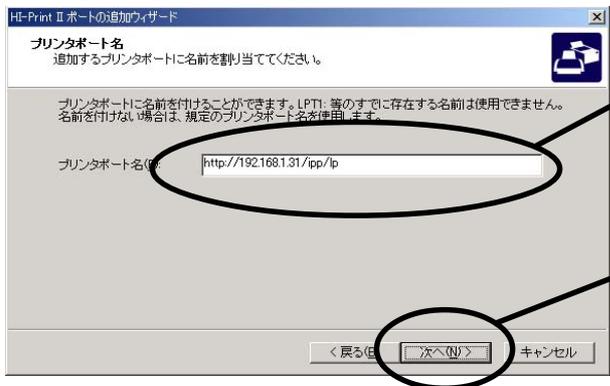
- URL が「abc.co.jp」でセキュア(SSL)通信印刷機能を使用しない場合
http://abc.co.jp/ipp または http://abc.co.jp/ipp/lp
- URL が「abc.co.jp」でセキュア(SSL)通信印刷機能を使用する場合
https://abc.co.jp/ipp または https://abc.co.jp/ipp/lp
- IP アドレスが「192.168.20.185」でセキュア(SSL)通信印刷機能を使用しない場合
http://192.168.20.185/ipp または http://192.168.20.185/ipp/lp
- IP アドレスが「192.168.20.185」でセキュア(SSL)通信印刷機能を使用する場合
https://192.168.20.185/ipp または https://192.168.20.185/ipp/lp



注意

- セキュア(SSL)通信印刷機能を使用する場合は、URL は "https:// ~ " と指定してください。"http:// ~ " と指定すると、セキュア(SSL)通信印刷機能は動作しません。
- セキュア(SSL)通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になる SSL 証明書情報を本製品に設定する必要があります。設定方法については、「付録 セキュア通信印刷機能について」を参照してください。

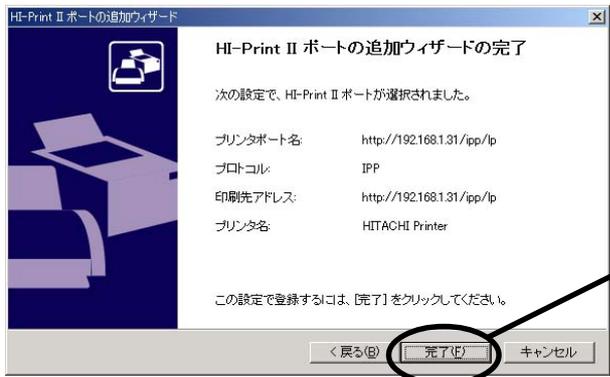
4. 印刷先のポート名を設定します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

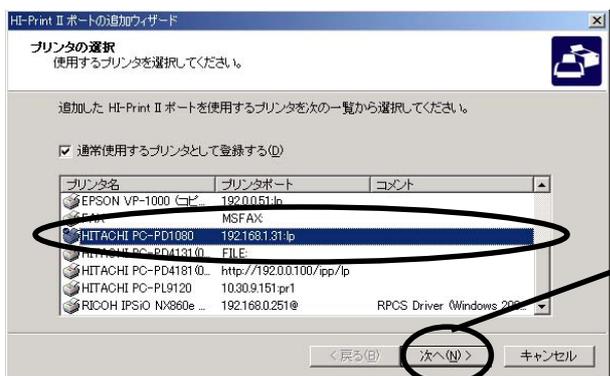
次へ をクリックしてください。

5. 設定内容を確認します。



完了 をクリックしてください。

6. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



次へ をクリックしてください。

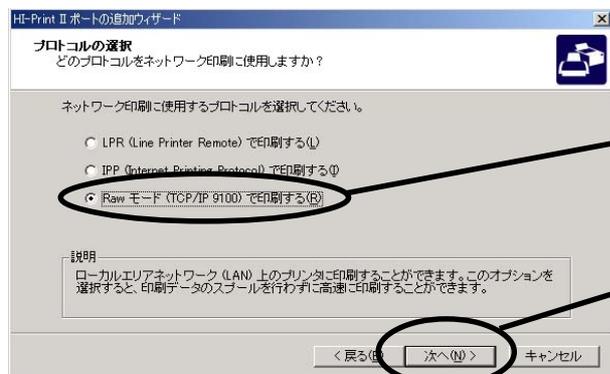
7. ポート設定を完了します。



完了 をクリックしてください。

HI-Print Raw(TCP/IP 9100) ポートを追加する場合

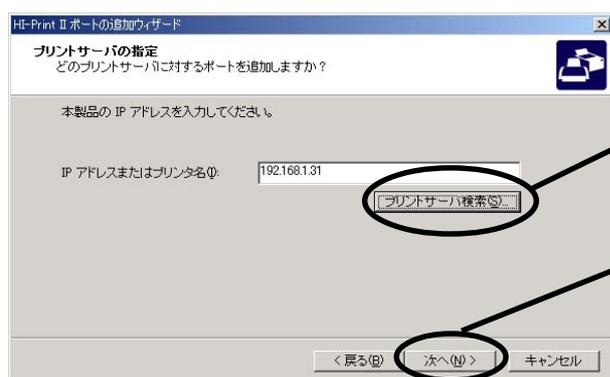
1. Raw モード (TCP/IP 9100) を選択します。



「Rawモード(TCP/IP 9100)で印刷する」を選択します。

次へ をクリックしてください。

2. 「プリントサーバ検索」ボタンでネットワーク内のプリントサーバ一覧を表示させ、一覧の中から本製品を選択してください。



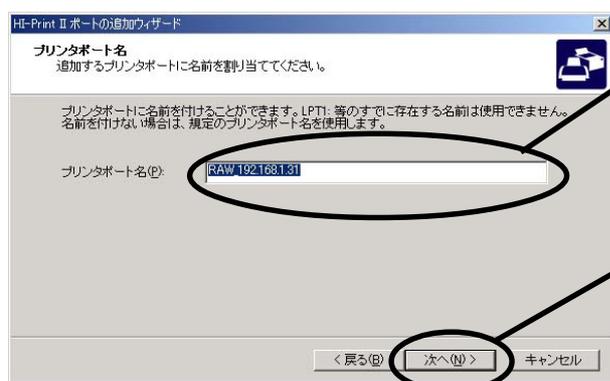
「プリントサーバ検索」ボタンをクリックして選択します。

次へ をクリックしてください。



・「次へ」をクリックすると、指定されたプリントサーバが9100ポートにアクセス可能か、確認されます。

3. 印刷先ポート名を入力します。



特に問題がなければ既定のプリンタポート名(RAW_IPアドレス)をご使用ください。

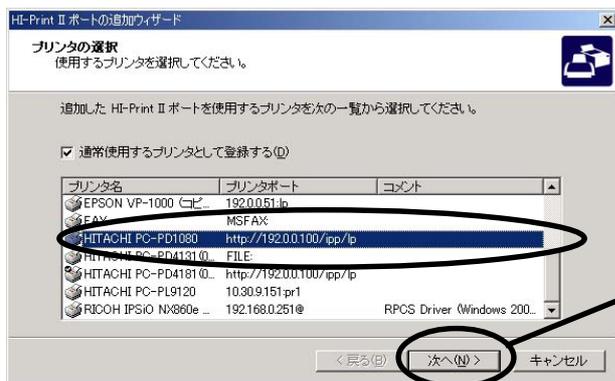
次へ をクリックしてください。

4. 設定内容を確認します。



完了 をクリックしてください。

5. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



次へ をクリックしてください。

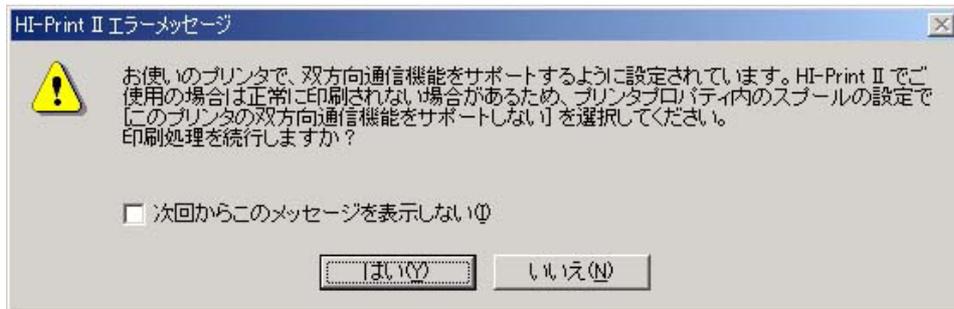
6. ポート設定を完了します。



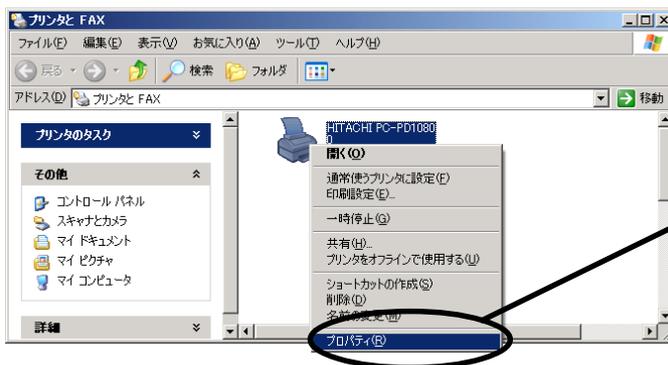
完了 をクリックしてください。

プリンタドライバの設定

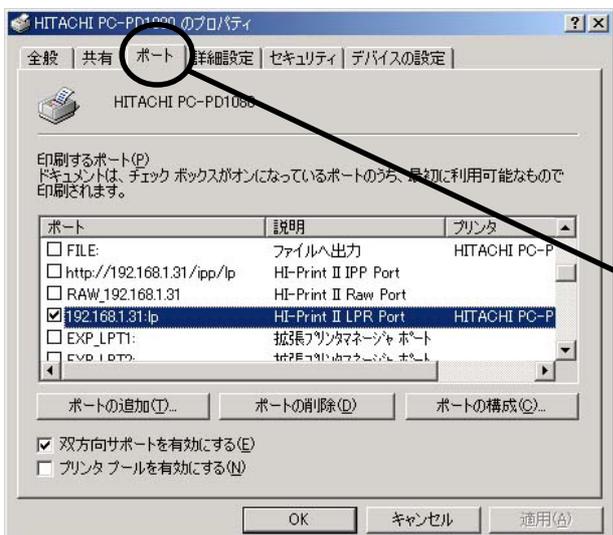
HI-Print からの印刷で、プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合、次のエラー画面が表示されることがあります。「いいえ」を選択し、下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。



1. 「スタート」 - 「設定」 - 「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



2. [ポート]を選択します。



3. 双方向の設定をします。



「双方向サポートを有効にする」の
チェックをはずしてください。

4. 設定完了です。



適用 をクリックしてください。

Windows NT 4.0/2000からNetBEUIで印刷する

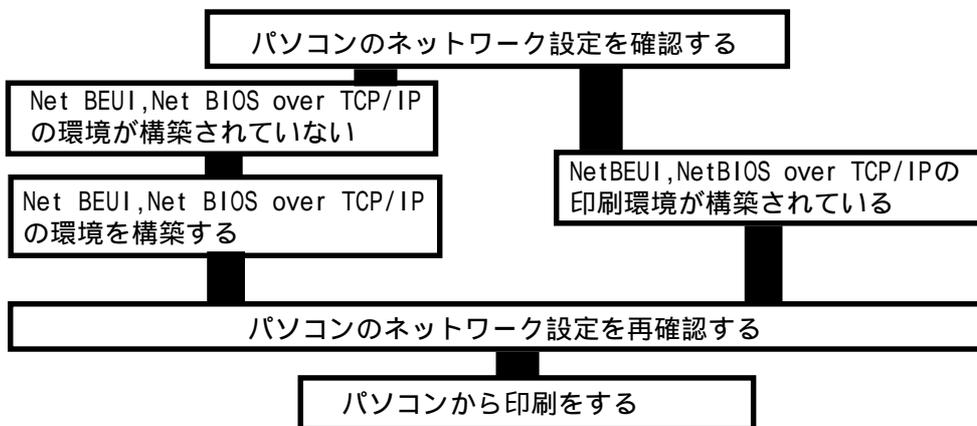
Windows NT 4.0から印刷する

本製品を NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP プロトコルを利用して Windows NT 4.0 から印刷する際の手順は以下の通りです。



参考

- ・あらかじめプリンタドライバをご使用のコンピュータにインストールしてください。
- ・NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP の詳細な設定を行う方法については「第7章 設定に関する機能」をご参照ください。



注意

- ・PC-PB20301 では、セキュア(SSL)通信印刷機能と NetBEUI は、ファームウェアが異なるために同時使用はできません。お客様がご使用になられている環境を確認のうえ、「第2章 セットアップユーティリティ」を参照してください。

パソコンのネットワーク設定を確認する (NetBIOS over TCP/IP の場合)

Windows NT 4.0の「ネットワーク」に、[TCP/IP] [ワークステーション]と[NetBIOS インターフェイス]が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択します。
2. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「サービス」タブに、[ワークステーション]と[NetBIOSインターフェイス]が追加されていることを確認してください。



・一覧に[ワークステーション][NetBIOSインターフェイス]が無い場合は「追加」をクリックし、「ネットワークサービス」一覧から[ワークステーション]を選択してください。

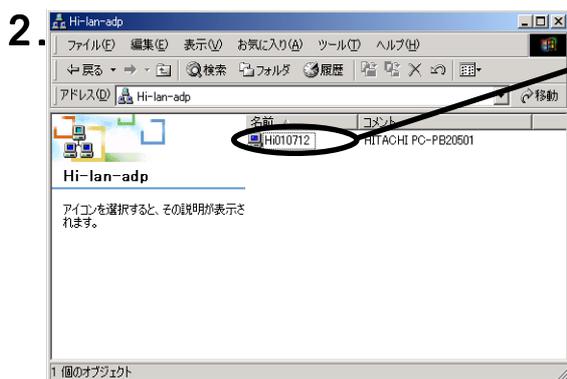
4. 「プロトコル」タブに、[TCP/IP] が追加されていることを確認してください。



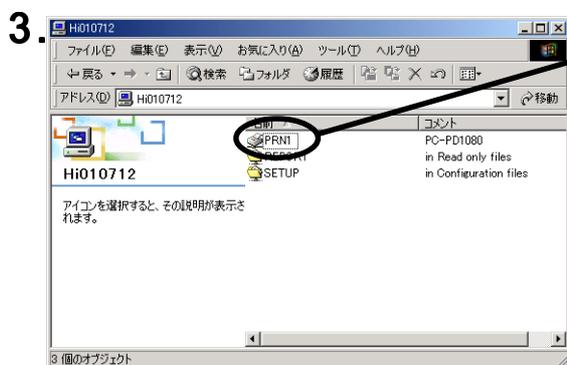
・一覧に [TCP/IP] が無い場合は「追加」をクリックし、「ネットワークプロトコル」一覧から [TCP/IP] を選択してください。

NetBEUI、NetBIOS over TCP/IPで印刷する

1. 「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、「ネットワーク全体」 - 「Microsoft Windows Network」の中のワークグループ名「Hi-lan-adp」を開きます。

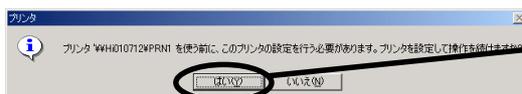


コンピュータ（本製品）のアイコンをダブルクリックしてください。



プリンタのアイコンをダブルクリックしてください。

4. プリンタの設定確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックしてください。

5. プリンタの追加ウィザードが起動しますので、指示に従って設定を行ってください。プリンタのテストページが出力されれば、プリンタの追加は完了です。

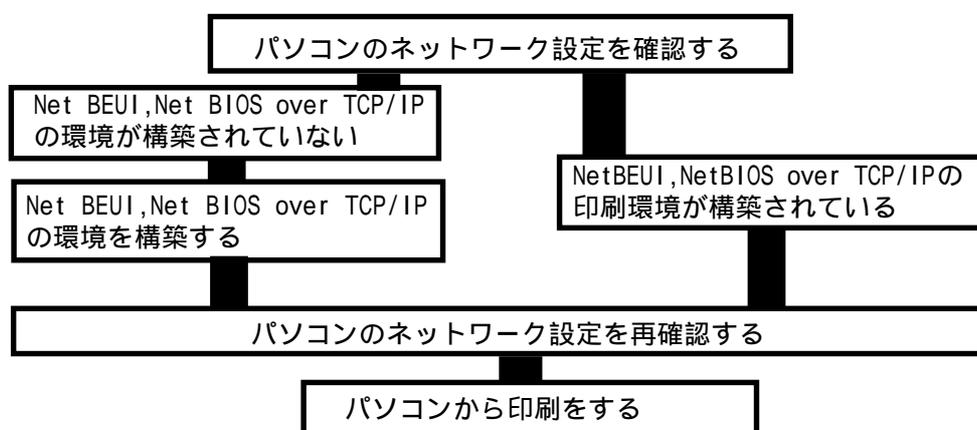
Windows 2000から印刷する

本製品を NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP プロトコルを利用して Windows 2000 から印刷する際の手順は以下の通りです。



参考

- ・あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP の詳細な設定を行う方法については「第7章 設定に関する機能」をご参照ください。



パソコンのネットワーク設定の確認をする (NetBEUI の場合)

Windows2000の「ネットワーク」に、[NetBEUI]と[Microsoft ネットワーク共有サービス]が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」- 「設定」- 「コントロールパネル」- 「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. [Microsoft ネットワーク共有サービス] が追加されていることを確認してください。



参考

- ・一覧に [Microsoft ネットワーク共有サービス] が無い場合は「インストール」をクリックし、「クライアント」- 「Microsoft ネットワーク共有サービス」を選択してください。

4. [NetBEUI プロトコル]が追加されていることを確認してください。



参考

- ・一覧に [NetBEUI プロトコル] が無い場合は「インストール」をクリックし、「プロトコル」- 「NetBEUI プロトコル」を選択してください。

パソコンのネットワーク設定を確認する (NetBIOS over TCP/IP の場合)

Windows2000 の「ネットワーク」に、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] と [Microsoft ネットワーク共有サービス] が追加されていること、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] に NetBIOS 設定が設定されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択します。

2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。

3. [Microsoft ネットワーク共有サービス] が追加されていることを確認してください。



参考

・一覧に [Microsoft ネットワーク共有サービス] が無い場合は「インストール」をクリックし、「クライアント」 - 「Microsoft ネットワーク共有サービス」を選択してください。

4. [インターネットプロトコル (TCP/IP)] が追加されていることを確認してください。



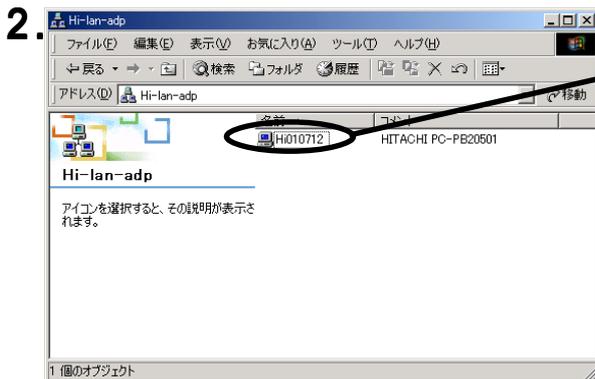
参考

・一覧に [インターネットプロトコル (TCP/IP)] が無い場合は「インストール」をクリックし、「プロトコル」 - 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択してください。

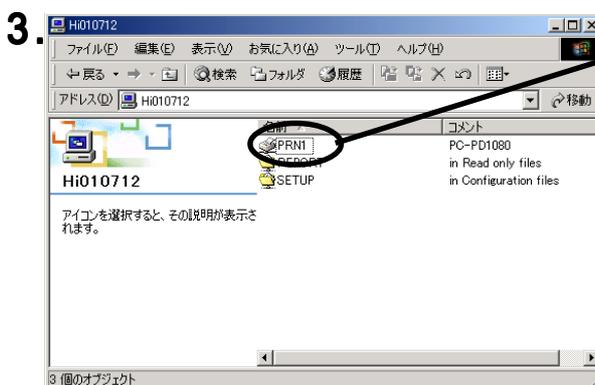
5. [インターネットプロトコル (TCP/IP)] - [プロパティ] - [詳細設定] - [WINS] タブを開き、[NetBIOS over TCP/IP を有効にする] が選択されていることを確認してください。

NetBEUI、NetBIOS over TCP/IPで印刷する

1. 「マイネットワーク」 - 「ネットワーク全体」 - 「Microsoft Windows Network」アイコンをダブルクリックし、ワークグループ名「Hi-lan-adp」を開きます。



コンピュータ（本製品）のアイコンをダブルクリックしてください。



プリンタのアイコンをダブルクリックしてください。

4. プリンタの設定確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックしてください。

5. プリンタの追加ウィザードが起動しますので、指示に従って設定を行ってください。プリンタのテストページが出力されれば、プリンタの追加は完了です。

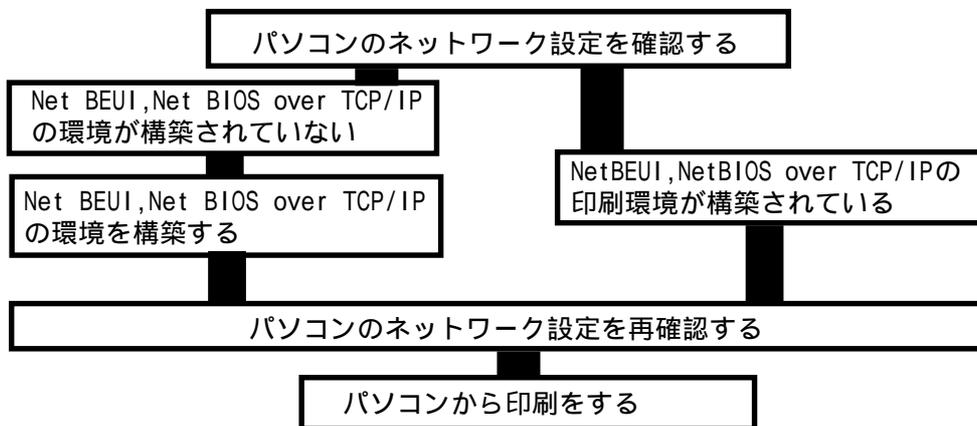
Windows Server 2003、Windows XP/VistaからNetBIOS over TCP/IPで印刷する

Windows Server 2003、Windows XP/Vistaから印刷する

本製品を NetBIOS over TCP/IP プロトコルを利用して Windows Server 2003、Windows XP および Windows Vista から印刷する際は以下の通りです。



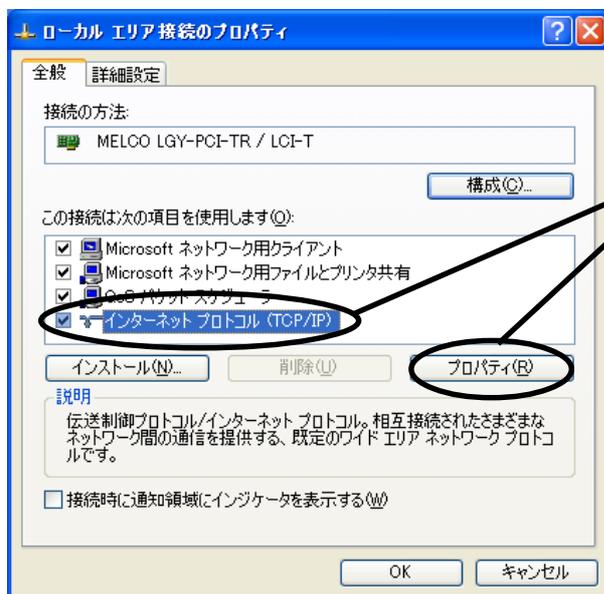
- ・あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・NetBIOS over TCP/IP の詳細な設定を行う方法については「第7章 設定に関する機能」をご参照ください。



パソコンのネットワーク設定を確認する

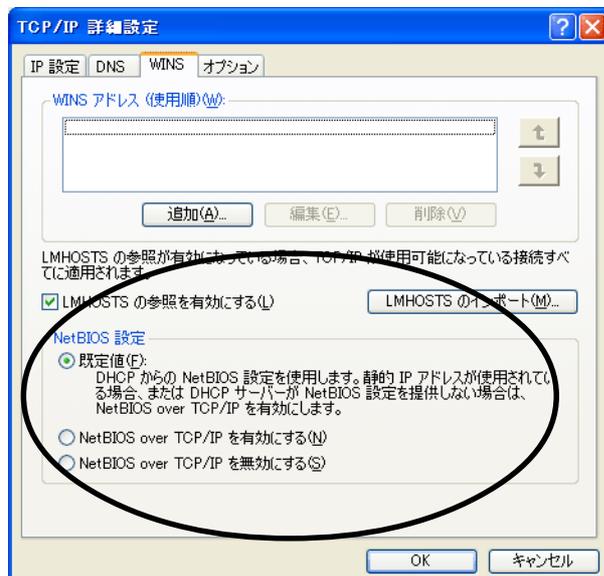
Windows Server 2003、Windows XP、Windows Vistaの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] に NetBIOS 設定が設定されていること、「ネットワーク」に [Microsoft ネットワーク用クライアント] が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続のプロパティ」を開きます。



[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。

3. [詳細設定] - [WINS] を開き、NetBIOS 設定が [既定値] あるいは [NetBIOS over TCP/IP を有効にする] が選択されていることを確認してください。

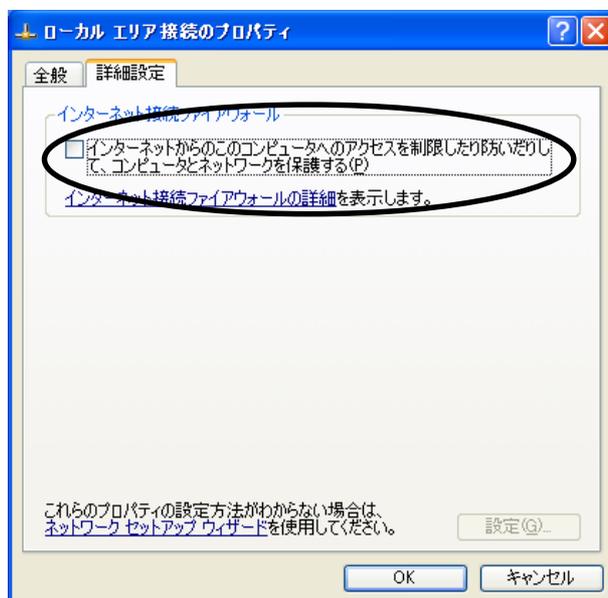


4. 同じく、[Microsoft ネットワーク用クライアント]が追加されていることを確認してください。



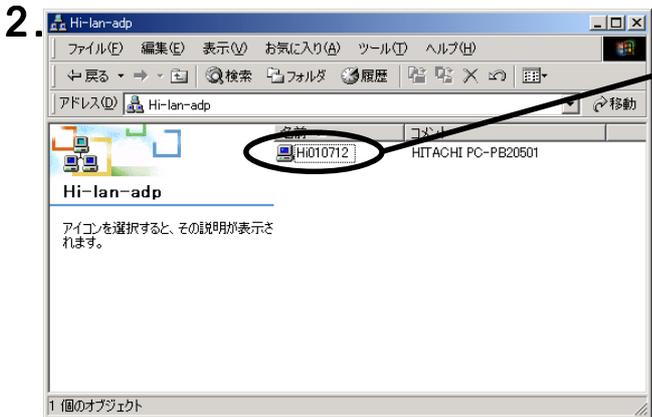
注意

- ・ Windows Server 2003、Windows XP 環境で NetBIOS over TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」-「詳細設定」で「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり・・・」のチェックを外してください。

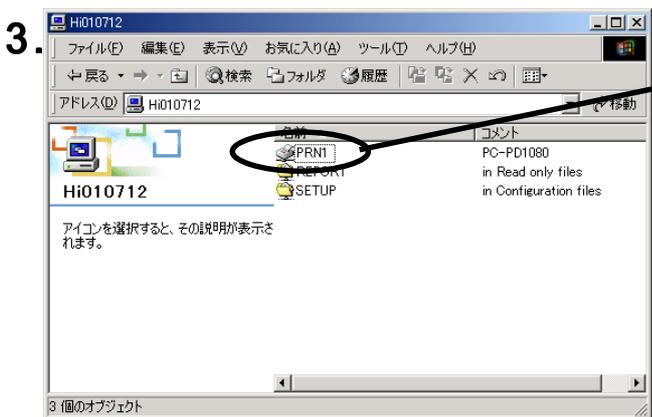


NetBIOS over TCP/IPで印刷する

1. 「マイネットワーク」 - 「ワークグループのコンピュータを表示する」 - 「Microsoft Windows Network」をクリックし、ワークグループ名「Hi-lan-adp」を開きます。



コンピュータ（本製品）のアイコンをダブルクリックしてください。



プリンタのアイコンをダブルクリックしてください。

4. プリンタの設定確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックしてください。

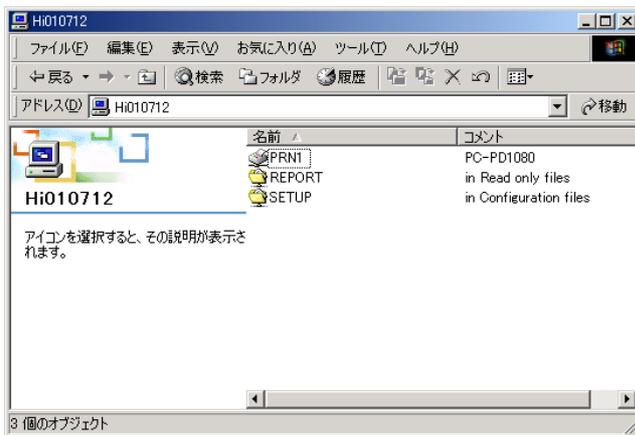
5. プリンタの追加ウィザードが起動しますので、指示に従って設定を行ってください。プリンタのテストページが出力されれば、プリンタの追加は完了です。

NetBEUI、NetBIOS over TCP/IPについて

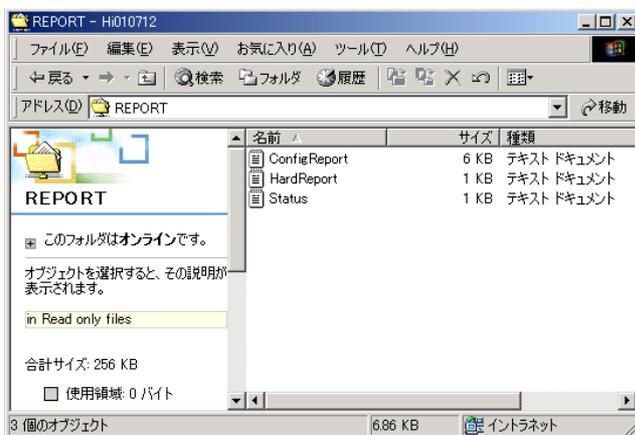
NetBEUI、NetBIOS over TCP/IPワークグループの構造

ここでは、本製品に搭載しているNetBEUI、NetBIOS over TCP/IPのワークグループの構造について説明します。

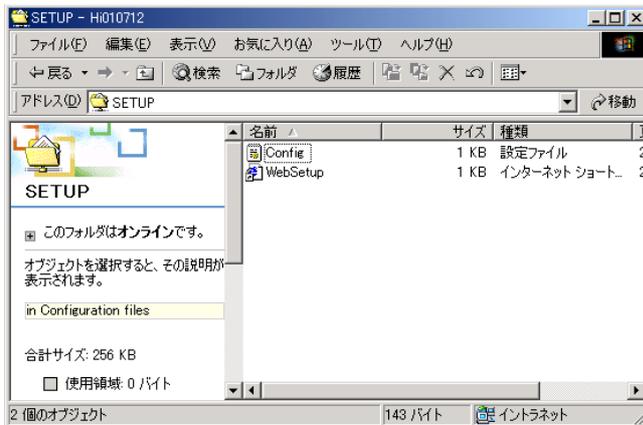
(例) 本製品のEthernetアドレス： 00:06:FB:01:07:12



¥¥Hi010712: コンピュータ (本製品)
¥¥Hi010712¥prn1: プリンタ



¥¥Hi010712¥report¥ConfigReport.txt :
設定レポート (読み取り専用)
¥¥Hi010712¥report¥HardReport.txt :
自己診断情報 (読み取り専用)
¥¥Hi010712¥report¥Status.txt :
システム状態レポート (読み取り専用)



¥¥Hi010712¥setup¥Config.ini:

初期設定ファイル (編集可能)

¥¥Hi010712¥setup¥WebSetup:

ショートカットファイル (読み取り専用)

設定レポート

本製品を起動した時の内部情報を出力します。

システム状態レポート

本製品を起動した時の本製品の状態を出力します。

初期設定ファイル

初期化ファイルでは「ワークグループ名」と「IPアドレス」を記述することができます。メモ帳等のエディタを使い編集後、ファイルを上書き保存することで設定します。上書き保存すると、本製品は約3秒後、自動リセットされ、再起動します。

初期化ファイルを編集し、ファイルを上書き保存することでワークグループ名、IPアドレスの変更が可能です。

(例)

Workgroup = UserGroup

IP Address = 192.168.1.31

ワークグループ名は、ネットワーク全体の中に既に存在するワークグループ名を指定してください。DHCP/BOOTP、RARPサーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てする場合は、「IP address」に設定しても無効となります。

ショートカットファイル

本製品にIPアドレスが設定されるとショートカット (WebSetup) が作成されます。ショートカットアイコンをダブルクリックするとWebブラウザが起動し本製品のWebページが表示されます。



・Webブラウザについては「第8章 設定に関する機能」をご参照ください。

参考

OS標準の印刷クライアント機能で印刷する

PR-Port Monitorを使用せず、OS標準の印刷クライアント機能を利用して印刷する方法を説明します。

Windows NT 4.0のLPRポートで印刷する

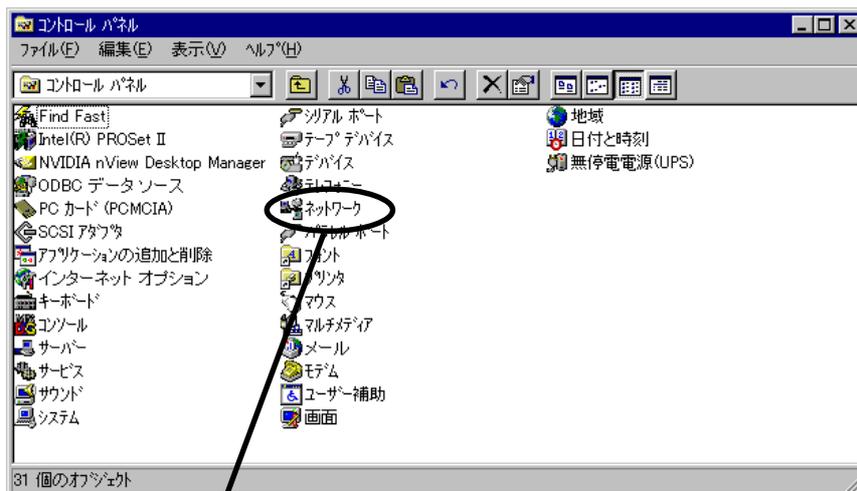
LPR Portの追加

Windows NT 4.0のLPR印刷機能を使用して印刷する場合は、LPR Portを追加する必要があります。「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」を開き、「サービス」タブを選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



注意

- ・LPR Portから複数JOBを連続印刷した場合、途中のJOBが印刷終了してから暫くの間印刷が停止(最大約4分)してから、印刷を再開することがあります。また、プリンタエラー状態で放置した場合、リトライ印刷が当該JOBの先頭ページから始まる為、重複印刷することがあります。このような場合は、HI-Print の印刷ポートを使用してください。

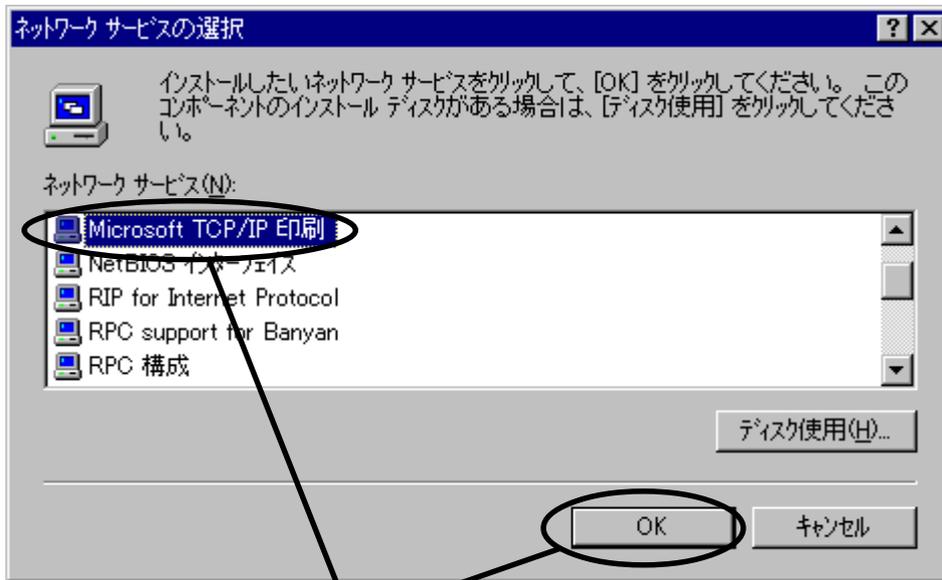


「ネットワーク」を選択して開いてください。

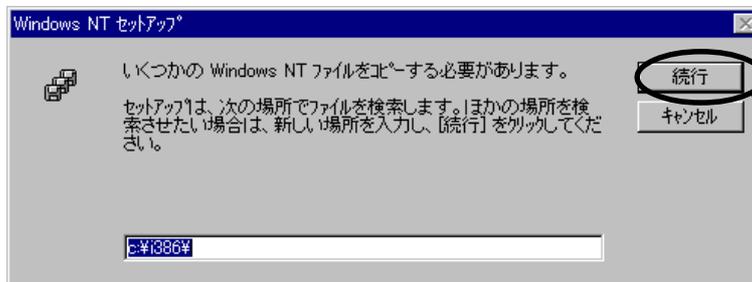


「サービス」タブを選択し、「追加」ボタンをクリックしてください。

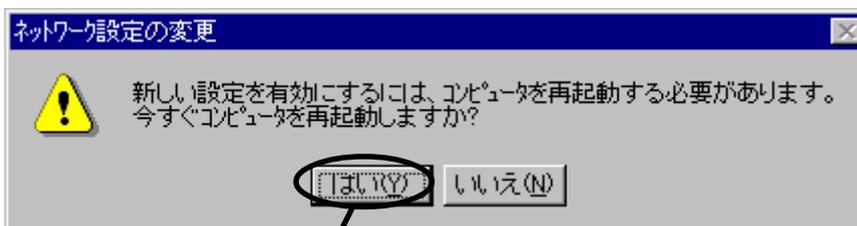
「Microsoft TCP/IP 印刷」を選択して「OK」ボタンをクリックすると、コンポーネントがインストールされますので、指示に従って再起動してください。



「Microsoft TCP/IP 印刷」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

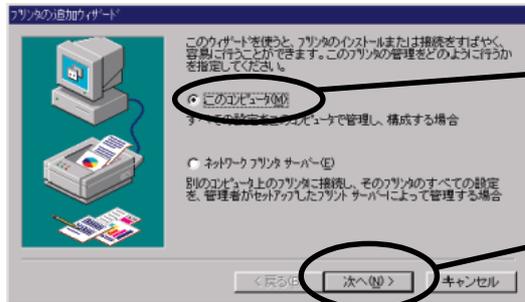


画面の指示に従い、「**続行**」ボタンをクリックしてください。



設定を有効にするために、システムの再起動が必要になります。
すぐに再起動をする場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

1. 「スタート」-「設定」-「プリンタ」を開き、「プリンタの追加」のアイコンをダブルクリックします。



「このコンピュータ」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

2. 印刷ポートを追加します。



「ポートの追加」をクリックします。

3. プリンタポートを選択します。



「LPR Port」を選択し、「新しいポート」をクリックしてください。

4. LPR 互換プリンタを追加します。



本製品に設定したIPアドレスと「lpr」を入力してください。

OK をクリックしてください。

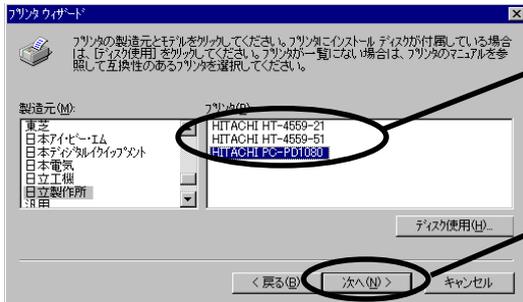
5. 印刷ポートを確認します。



作成したポートにチェックが入っていることを確認してください。

次へ をクリックしてください。

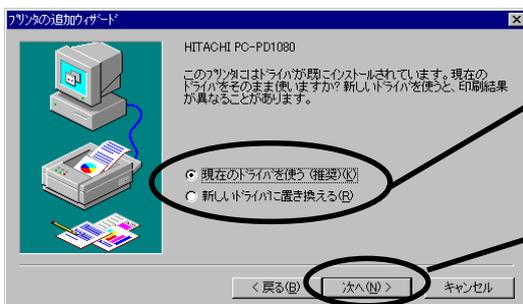
6. プリンタドライバを選択します。



ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。

次へ をクリックしてください。

7. プリンタドライバを確認します。



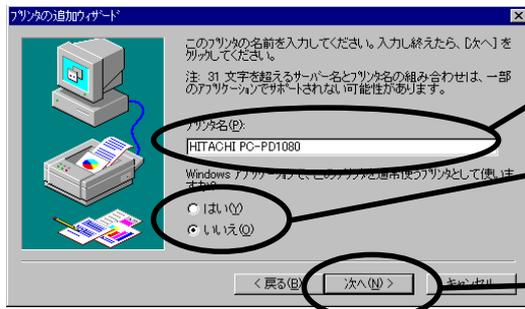
「現在のドライバを使う」か「新しいドライバに置き換える」か選択してください。

次へ をクリックしてください。



最新ドライバを別途インストールされた場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

8. プリンタ名を登録します。

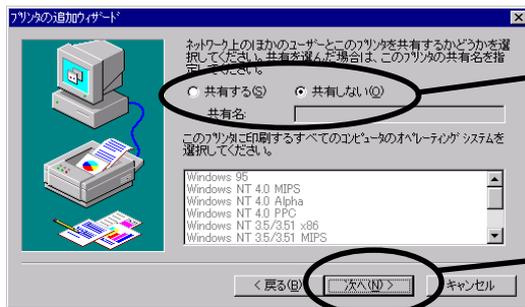


プリンタ名を指定しない場合は既定のプリンタ名をご利用ください。

このプリンタを通常使うプリンタとするか選択してください。

次へ をクリックしてください。

9. プリンタを共有するかを選択します。



プリンタを「共有する」「共有しない」を選択してください。

次へ をクリックしてください。



・同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は「共有する」を選択してください。

10. テストページを印刷するかを選択します。



「はい」を選択してください。

完了 をクリックしてください。

11. プリンタのテストページが正常に印刷されれば、設定完了です。

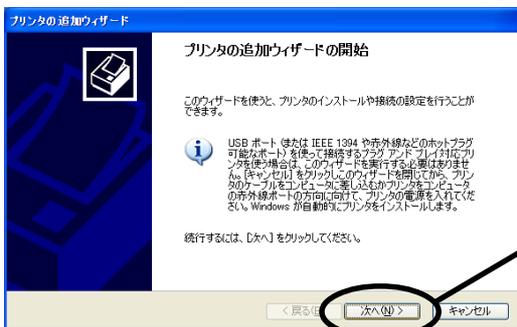
Windows 2000/Server 2003/XPのStandard TCP/IPポートで印刷する



注意

- 各印刷ポートの制限事項については、「第8章 困ったときには」を参照してください。
- 以下の説明は、Windows XP の画面で行っておりますので、Windows 2000 やWindows Server 2003 をご利用の場合、画面が異なります。
- Standard TCP/IP の LPR モードで印刷を行う場合は、LPR バイトカウントを有効にしないと印刷をしない、印刷が途中で終了する等、異常終了する場合があります。本製品をご使用の際は、HI-Print で作成した印刷ポートをご使用いただくことを推奨します。

1. 「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタとFAX」を開き、「プリンタのインストール」をクリックしてください。



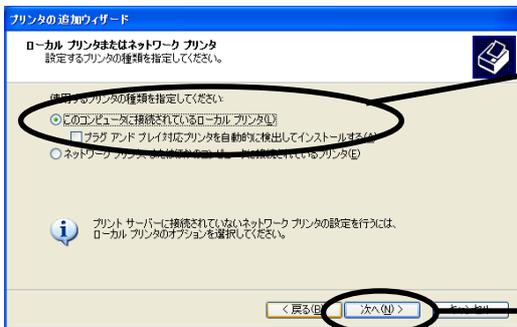
次へ をクリックしてください。



参考

- Windows 2000 をご利用の場合は、「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」を開き、「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。

2. 設定するプリンタの種類を選択します。



「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「プラグ アンド プレイ対応プリンタを…」のチェックを外してください。

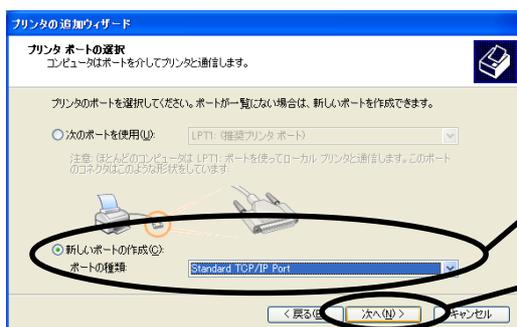
次へ をクリックしてください。



参考

- Windows 2000 をご利用の場合は、「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグ アンド プレイ対応プリンタを…」のチェックを外してください。

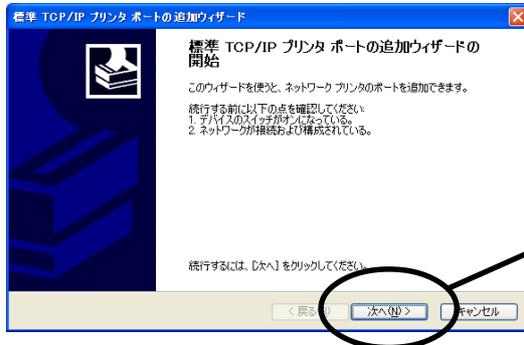
3. プリンタポートを選択します。



「新しいポートの作成」にチェックを入れ、種類は「Standard TCP/IP Port」を選択します。

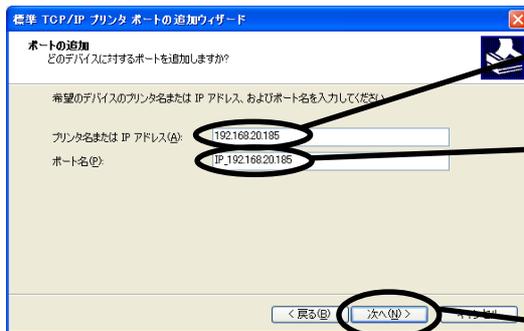
次へ をクリックしてください。

4. 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが開始します。



次へ をクリックしてください。

5. プリンタポートを追加します。

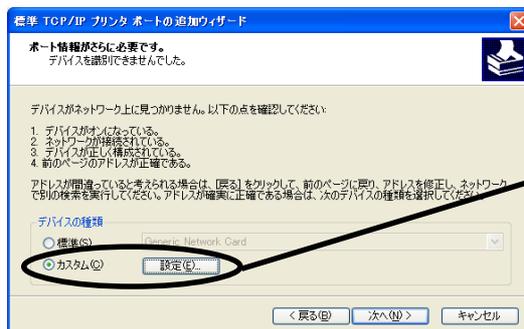


本製品に設定したIP アドレスを入力してください。

名前を付けない場合は、既定値 (IP_xxx.xxx.xxx.xxx) をご使用ください。

次へ をクリックしてください。

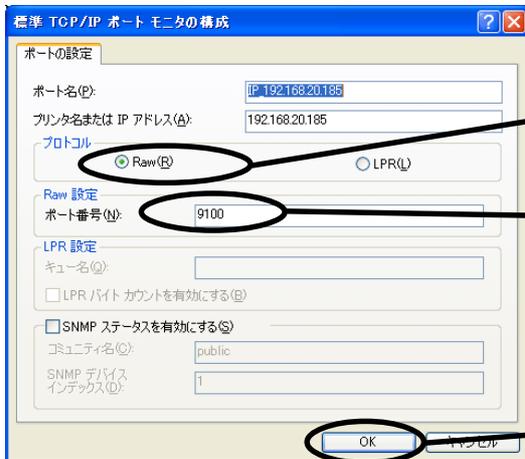
6. デバイスの種類を決定します。



「カスタム」にチェックを入れ、「設定」をクリックしてください。

7. ポート情報を入力します。

(A) Raw モードで使用する場合



「Raw」にチェックを入れてください。

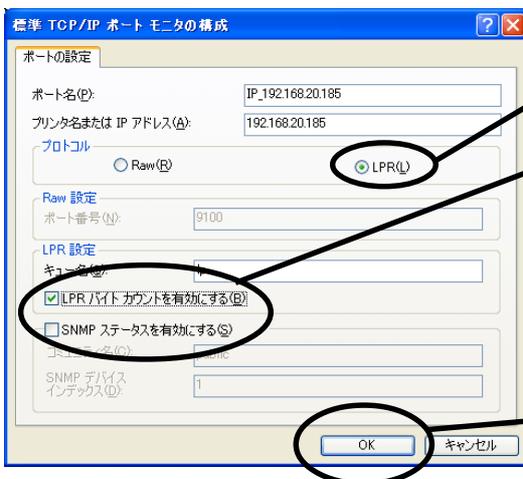
「9100」を入力してください。

OK をクリックしてください。



・「OK」をクリックすると「6 .」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックしてください。

(B) LPR モードで使用する場合



「LPR」にチェックを入れてください。

キュー名は「lp」を入力し、「LPR バイトカウントを有効にする」にチェックを入れてください。また、「SNMP ステータスを有効にする」のチェックを外してください。

OK をクリックしてください。



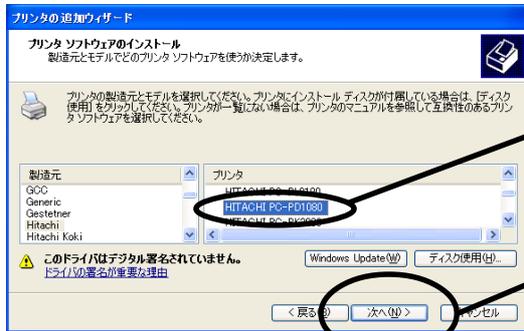
・「OK」をクリックすると「6 .」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックしてください。

8. 設定内容を確認します。



完了 をクリックしてください。

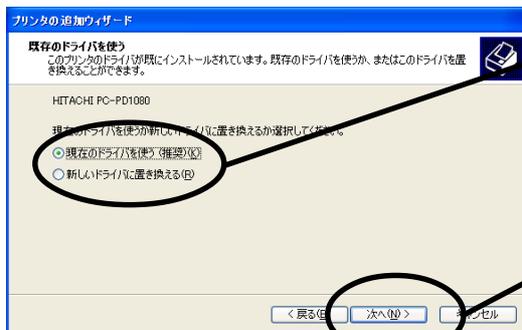
9. プリンタドライバを選択します。



ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。

次へ をクリックしてください。

10. プリンタドライバを確認します。



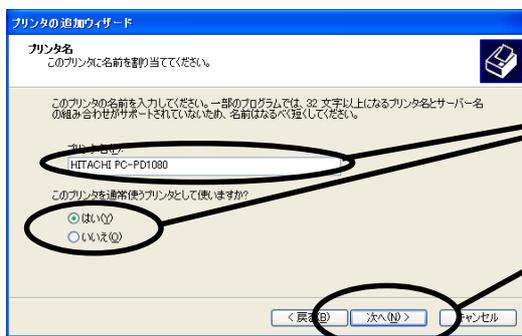
「現在のドライバを使う」か「新しいドライバに置き換える」か選択してください。

次へ をクリックしてください。



・最新ドライバを別途インストールされた場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

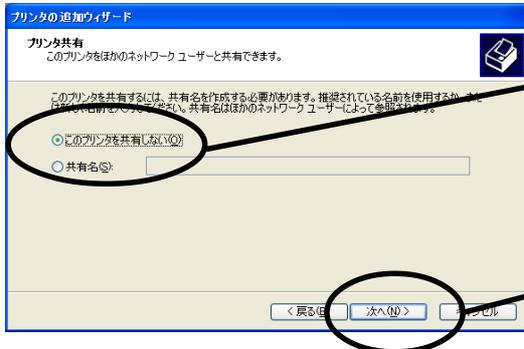
11. プリンタ名を登録します。



プリンタ名の登録を行います。このプリンタを通常使うプリンタと選択してください。

次へ をクリックしてください。

12. プリンタを共有するかを選択します。



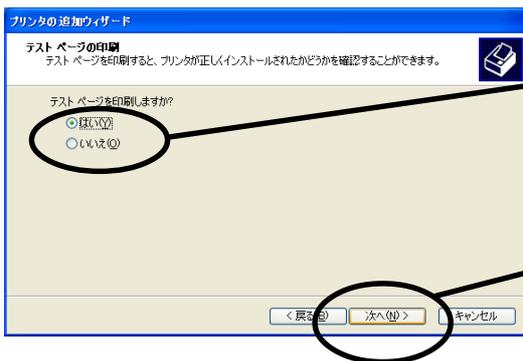
プリンタを「共有する」「共有しない」を選択してください。

次へ をクリックしてください。



・同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は「共有する」を選択してください。

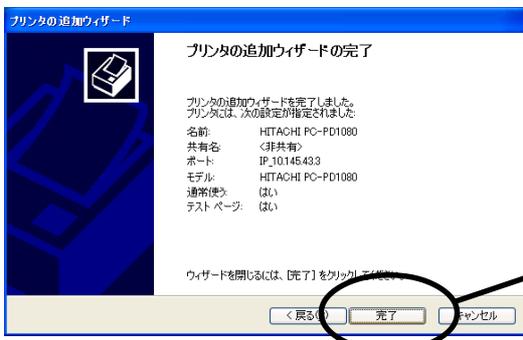
13. テストページを印刷するかを選択します。



「はい」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

14. 設定を確認します。



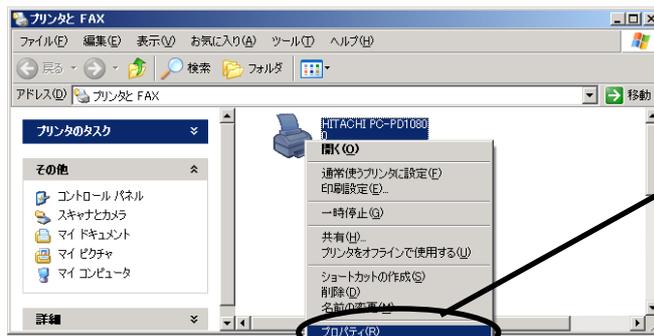
完了 をクリックしてください。

15. プリンタのテストページが正常に出力されれば、設定完了です。

プリンタドライバの設定

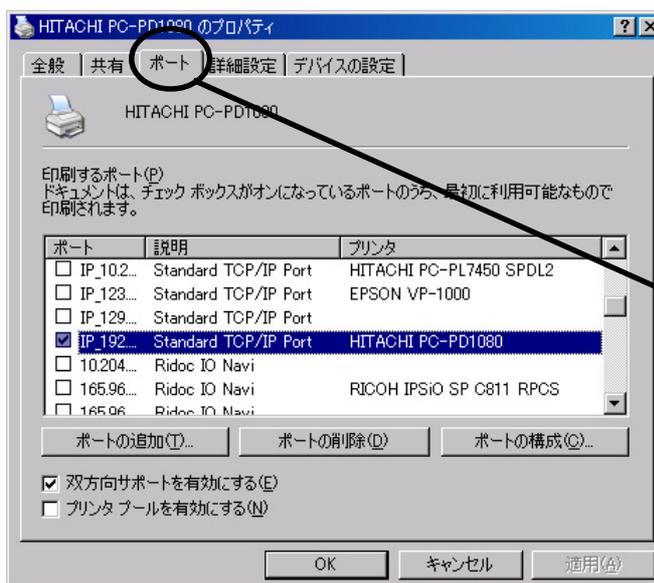
プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合があります。下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。

1. 「スタート」 - 「設定」 - 「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



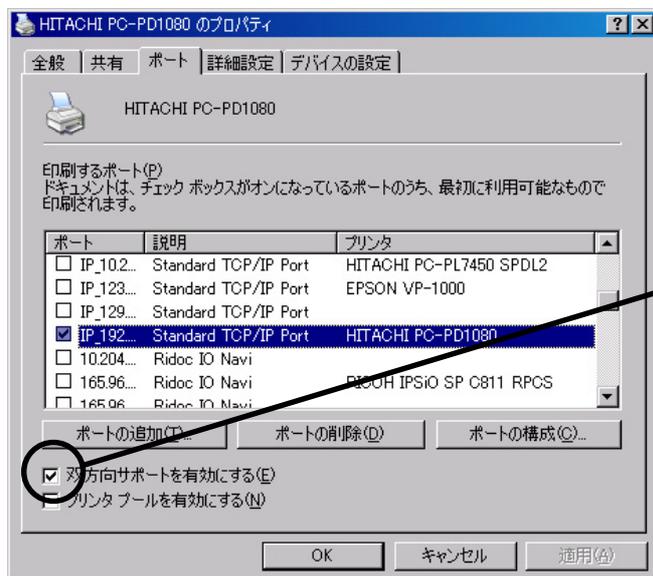
「プロパティ」を選択してください。

2. [ポート]を選択します。



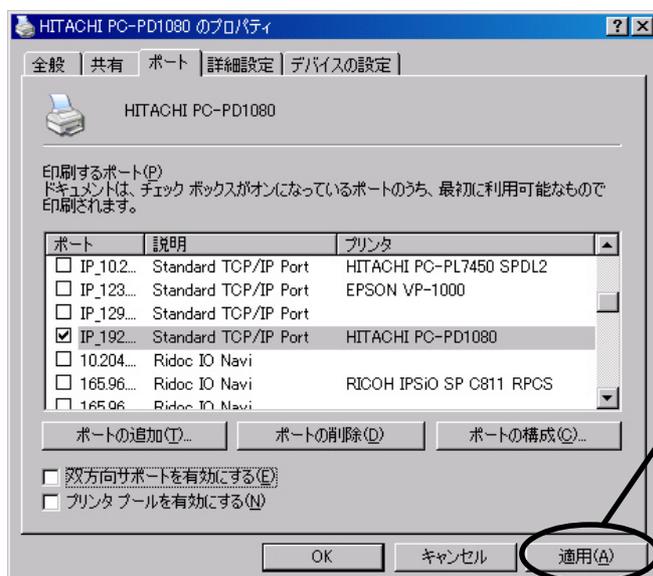
[ポート]を選択してください。

3. 双方向の設定をします。



「双方向サポートを有効にする」の
チェックをはずしてください。

4. 設定完了です。



適用 をクリックしてください。

Windows 2000/Server 2003/XPのLPRポートで印刷する

LPR Portの追加

Windows 2000/Server 2003/XPでLPR印刷機能を使用して印刷する場合はLPR Portを追加する必要があります。

「スタート」-「コントロールパネル」-「プログラムの追加と削除」(Windows 2000の場合は「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「アプリケーションの追加と削除」)を開き、「Windows コンポーネントの追加と削除」をクリックします。

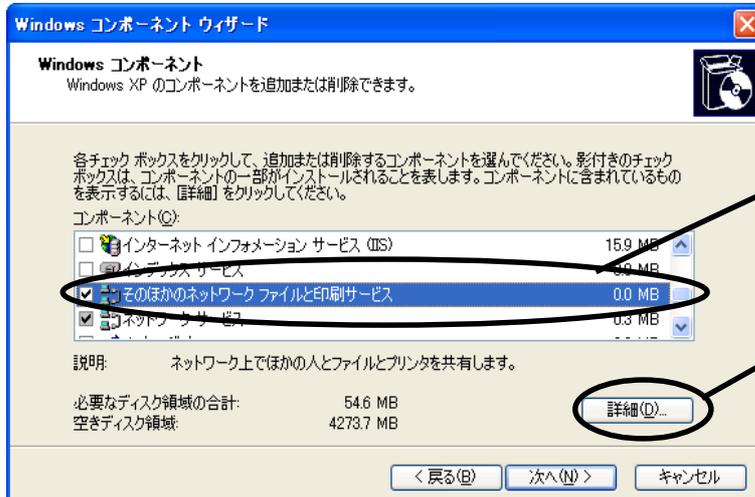


- ・LPR Portから複数JOBを連続印刷した場合、途中のJOBが印刷終了してから暫くの間印刷が停止(最大約4分)してから、印刷を再開することがあります。また、プリンタエラー状態で放置した場合、リトライ印刷が当該JOBの先頭ページから始まる為、重複印刷することがあります。このような場合は、HI-Print の印刷ポートを使用してください。



クリックしてください

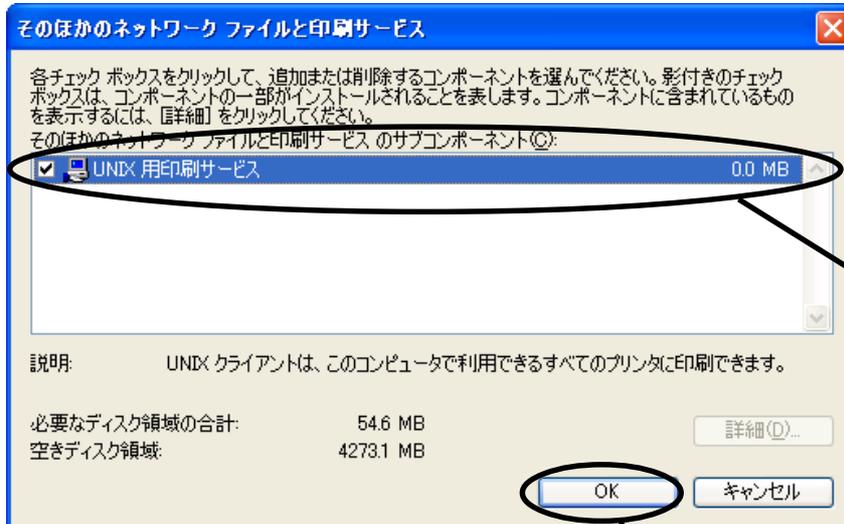
「Windows コンポーネントウィザード」を表示させ、「コンポーネント」-「その他のネットワークファイルと印刷サービス」を選択し、OKボタンをクリックします。



「その他のネットワークファイルと印刷サービスをチェックしてください。」

「詳細」をクリックしてください。

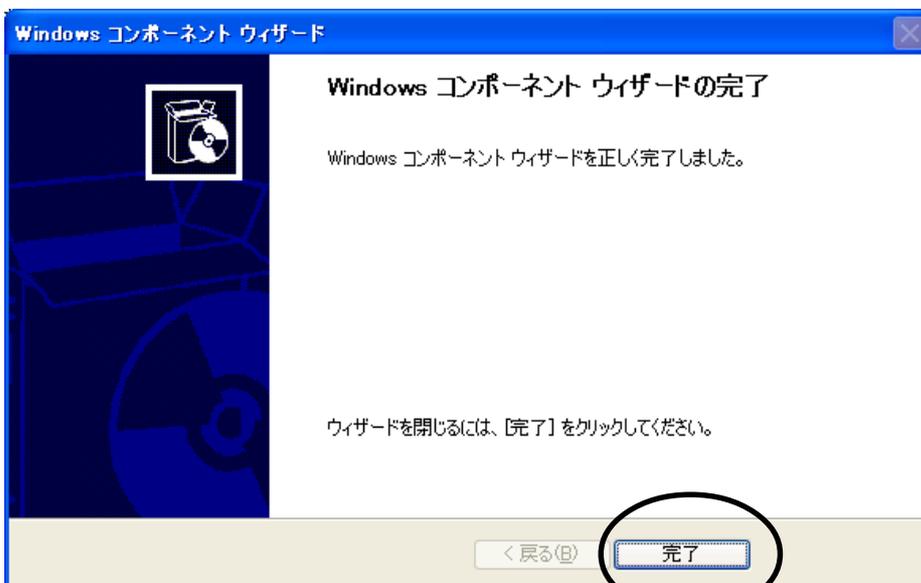
「詳細」 - 「UNIX 用印刷サービス」を選択し、OK ボタンをクリックします。



UNIX 用印刷サービスを
チェックしてください。

OK をクリックしてください。

次へ進み「Windows コンポーネントウィザード」が表示され、コンポーネントの追加が
終わりましたら完了ボタンをクリックしてください。これでLPR Portの追加は完了です。

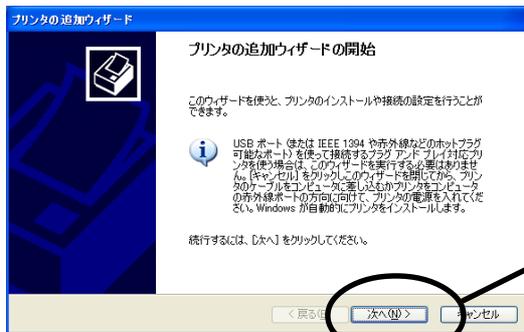


完了をクリックしてください

本説明は、Windows XP の画面で行っておりますので、Windows 2000 やWindows Server
2003 をご利用の場合、画面が異なります。

プリンタの追加

1. 「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタとFAX」を開きます。「プリンタのインストール」をクリックします。



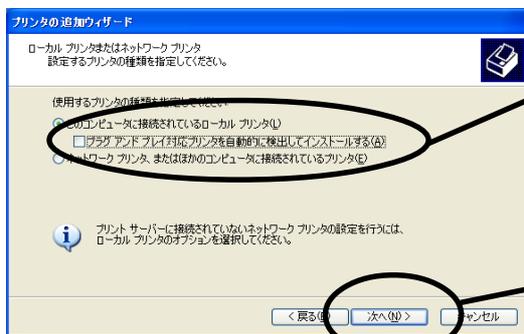
次へ をクリックしてください。



- ・ Windows 2000 をご利用の場合は、「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタ」を開き、「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。

参考

2. 設定するプリンタの種類を選びます。



「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「プラグ アンド プレイ対応プリンタを…」のチェックを外してください。

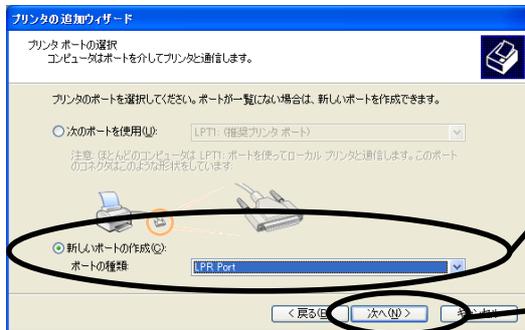
次へ をクリックしてください。



- ・ Windows 2000 をご利用の場合は、「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグ アンド プレイ対応プリンタを…」のチェックを外してください。

参考

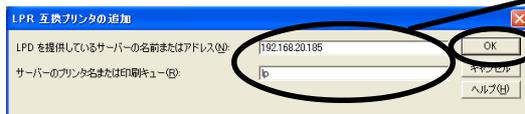
3. プリンタポートを選択します。



「新しいポートの作成」にチェックを入れ、種類は「LPR Port」を選択してください。

次へ をクリックしてください。

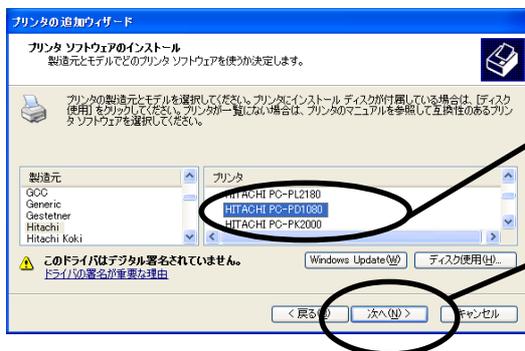
4. LPR 互換プリンタを追加します。



本製品に設定したIPアドレスと「lp」を入力してください。

OK をクリックしてください。

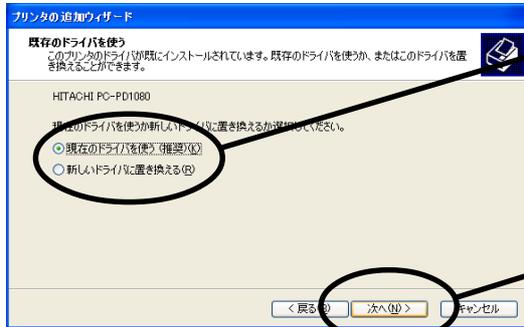
5. プリンタのドライバを選択します。



ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。

次へ をクリックしてください。

6. プリンタドライバを確認します。



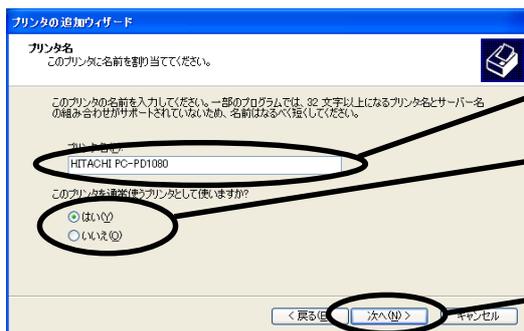
「現在のドライバを使う」か、「新しいドライバに置き換える」か選択してください。

次へ をクリックしてください。



・最新ドライバを別途インストールされた場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

7. プリンタ名を登録します。

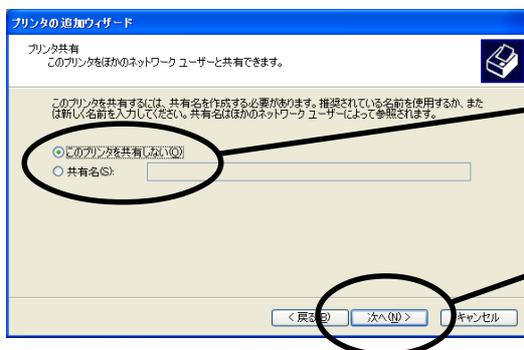


プリンタ名を入力してください。

このプリンタを通常使うプリンタとするかを選択してください。

次へ をクリックしてください。

8. プリンタを共有するかを選択します。



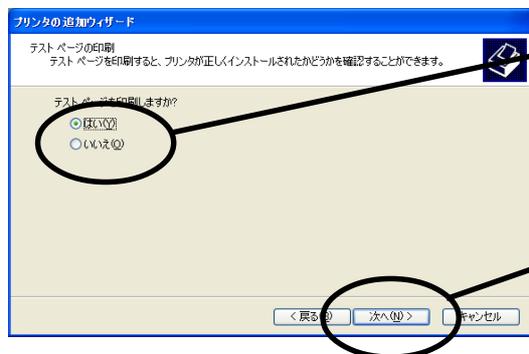
プリンタを「共有する」「共有しない」を選択してください。

次へ をクリックしてください。



・同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は「共有する」を選択してください。

9. テストページを印刷するかを選択します。

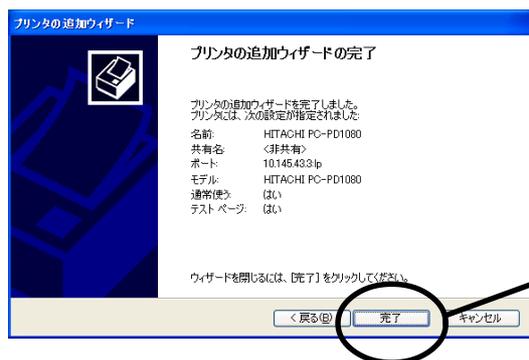


「はい」を選択してください。

次へ

をクリックしてください。

10. 設定内容を確認します。



完了

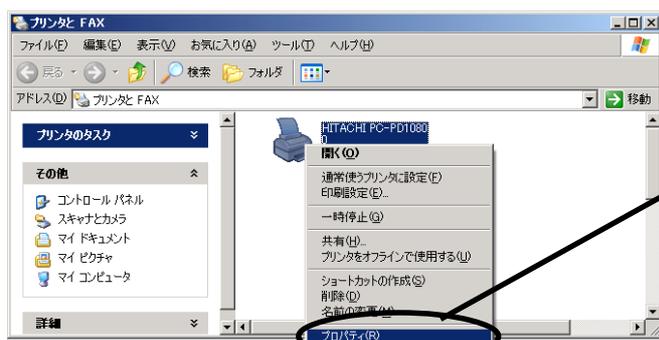
をクリックしてください。

11. プリンタのテストページが正常に出力されれば、設定完了です。

プリンタドライバの設定

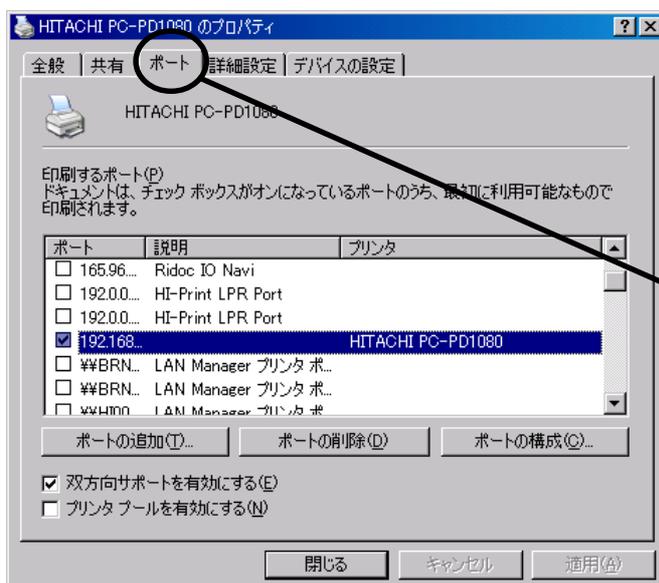
プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合があります。下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。

1. 「スタート」 - 「設定」 - 「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



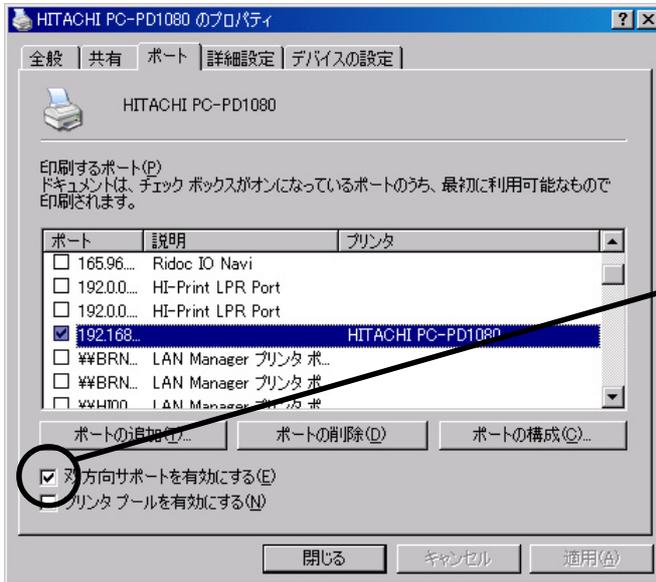
「プロパティ」を選択してください。

2. [ポート]を選択します。



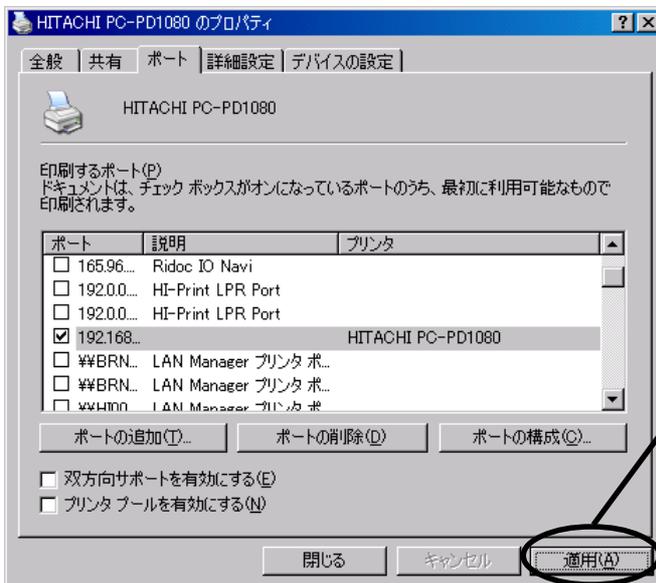
[ポート]を選択してください。

3. 双方向の設定をします。



「双方向サポートを有効にする」の
チェックをはずしてください。

4. 設定完了です。



適用 をクリックしてください。

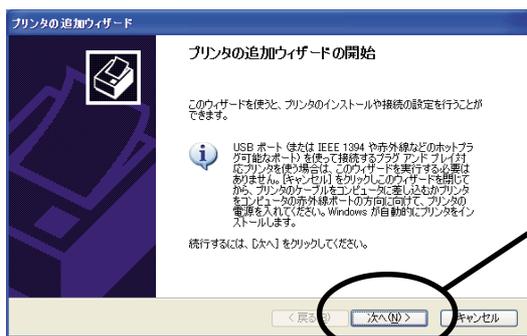
Windows 2000/Server 2003/XPのIPPポートで印刷する



注意

以下の説明は、Windows XP の画面で行っておりますので、Windows 2000 や Windows Server 2003 をご利用の場合、画面が異なります。

1. 「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタとFAX」を開き、「プリンタのインストール」をクリックしてください。



次へ

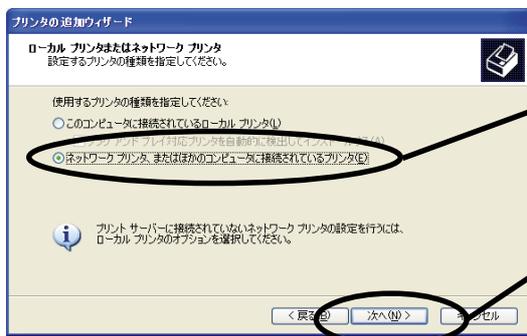
をクリックしてください。



参考

Windows 2000 をご利用の場合は、「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「プリンタ」を開き、「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。

2. 設定するプリンタの種類を選択します。



次へ

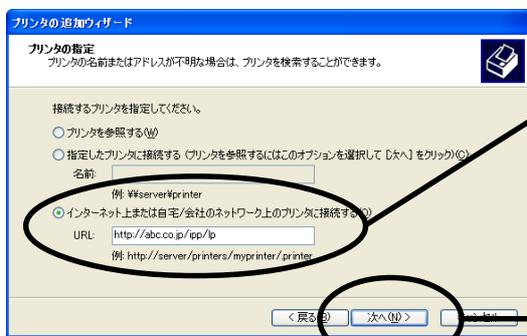
をクリックしてください。



参考

Windows 2000 をご利用の場合は、「ネットワークプリンタ」を選択してください。

3. 本製品のアドレスを入力します。



次へ

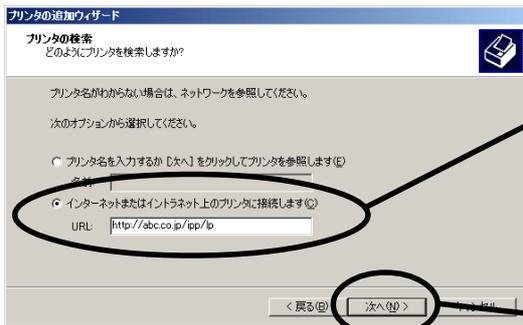
をクリックしてください。



注意

- ・セキュア(SSL)通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になるSSL証明書情報を、予め本製品に設定する必要があります。設定方法については、「付録 セキュア通信印刷機能について」を参照してください。
- ・セキュア(SSL)通信印刷機能は、印刷データを暗号化するためデータ量が増えます。そのためデータ転送時間がかかり、通常印刷と比較して印刷性能が低下します。

<Windows 2000 の場合 >



「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します」を選択し、本製品のURLまたはIPアドレスを指定してください。

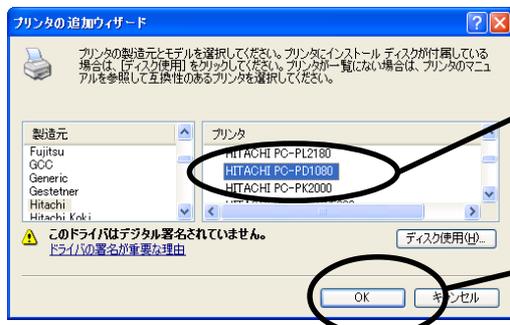
次へ をクリックしてください。



参考

- 例) URL が「abc.co.jp」でセキュア通信(SSL)印刷機能を使わない場合
`http://abc.co.jp/ipp` または `http://abc.co.jp/ipp/lp`
- 例) URL が「abc.co.jp」でセキュア通信(SSL)印刷機能を使う場合
`https://abc.co.jp/ipp` または `https://abc.co.jp/ipp/lp`
- 例) IP アドレスが「10.145.43.2」でセキュア通信(SSL)印刷機能を使わない場合
`http://10.145.43.2/ipp` または `http://10.145.43.2/ipp/lp`
- 例) IP アドレスが「10.145.43.2」でセキュア通信(SSL)印刷機能を使う場合
`https://10.145.43.2/ipp` または `https://10.145.43.2/ipp/lp`

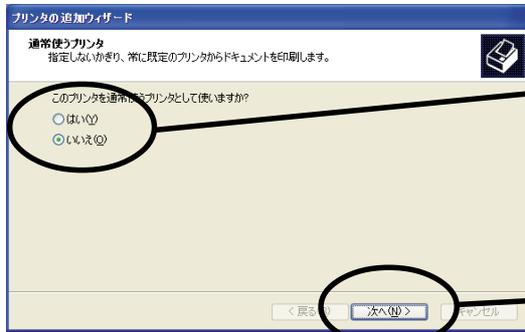
4. プリンタドライバを選択します。



ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。

OK をクリックしてください。

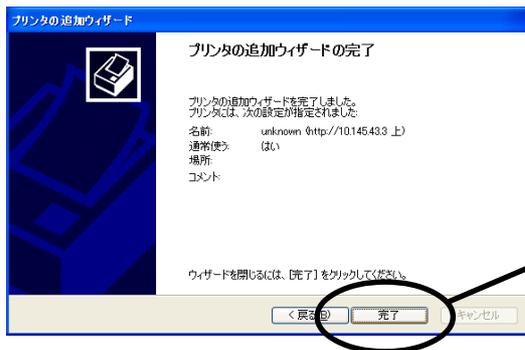
5. 通常使うプリンタとするか選択します。



通常使うプリンタとするか選択してください。

次へ をクリックしてください。

6. 設定完了です。

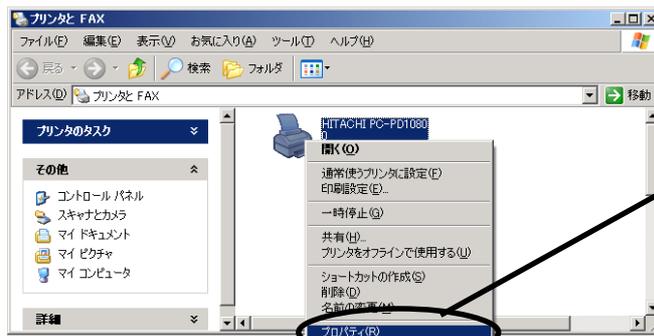


完了 をクリックしてください。

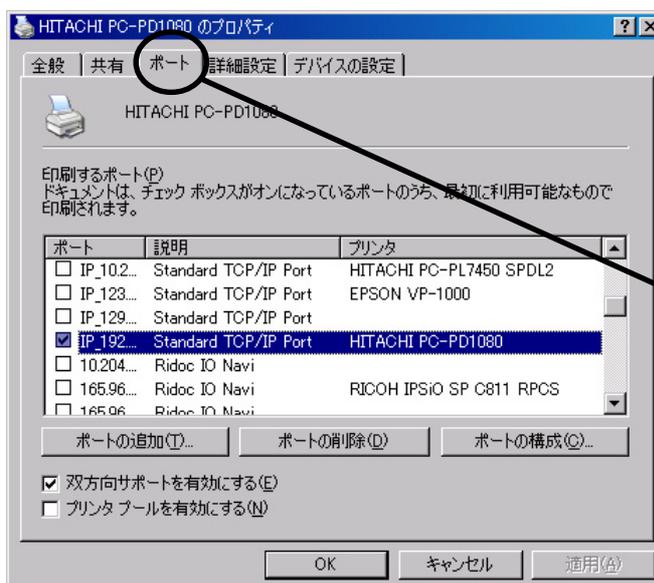
プリンタドライバの設定

プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合があります。下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。

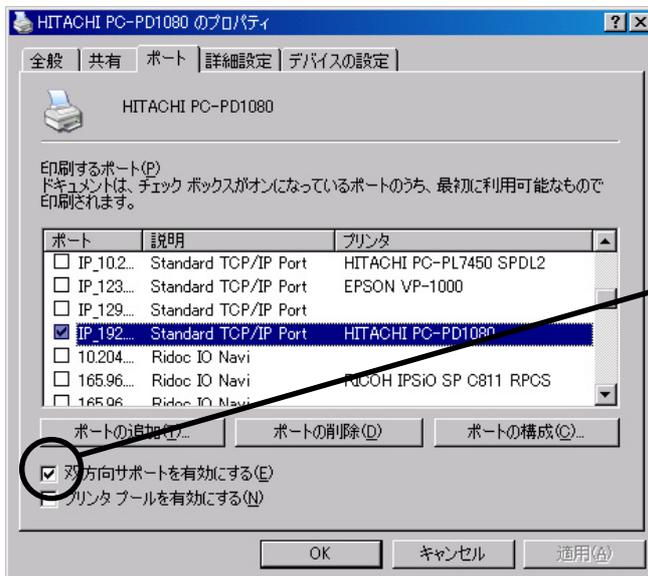
1. 「スタート」 - 「設定」 - 「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



2. [ポート]を選択します。

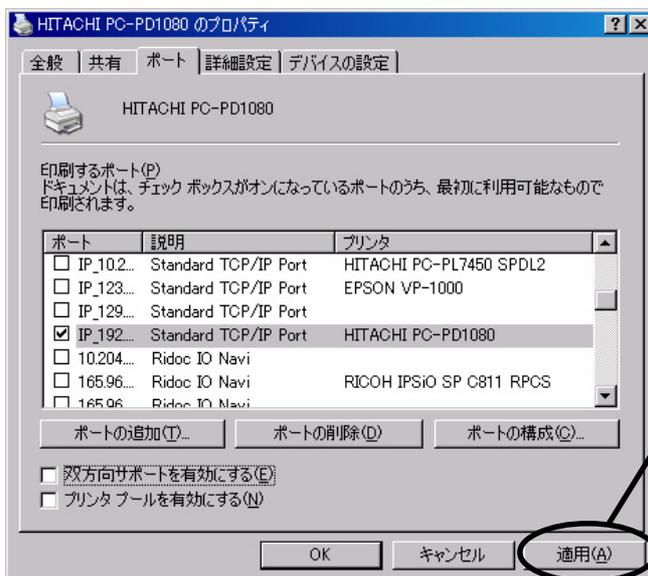


3. 双方向の設定をします。



「双方向サポートを有効にする」の
チェックをはずしてください。

4. 設定完了です。



適用 をクリックしてください。

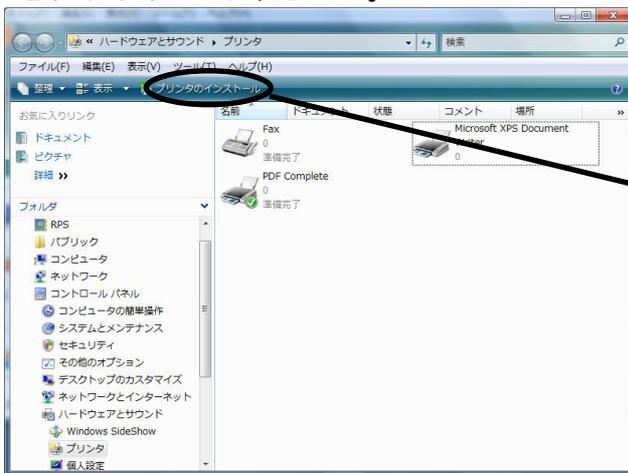
Windows Vista/7/8/2008/2012のStandard TCP/IPポートで印刷する



注意

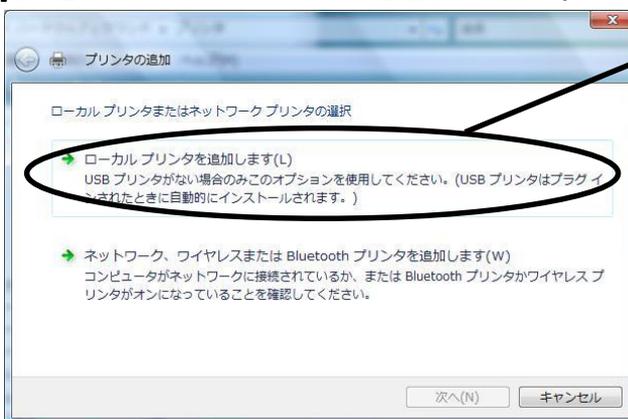
- 各印刷ポートの制限事項については、「第8章 困ったときには」を参照してください。
- Standard TCP/IP の LPR モードで印刷を行う場合は、LPR バイトカウントを有効にしないと印刷をしない、印刷が途中で終了する等、異常終了する場合があります。ご注意ください。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタ」を開き、「プリンタのインストール」をクリックしてください。



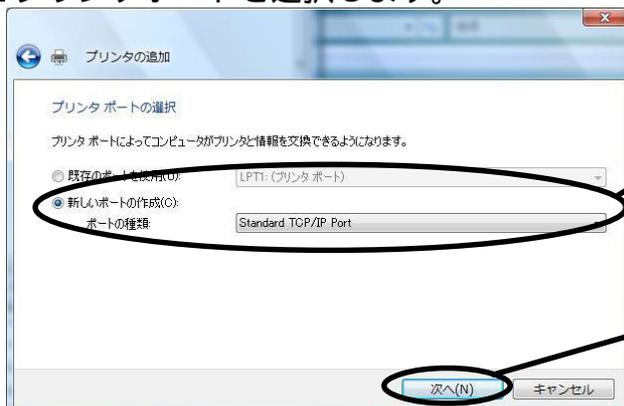
「プリンタのインストール」をクリックしてください。

2. 設定するプリンタの種類を選択します。



「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。

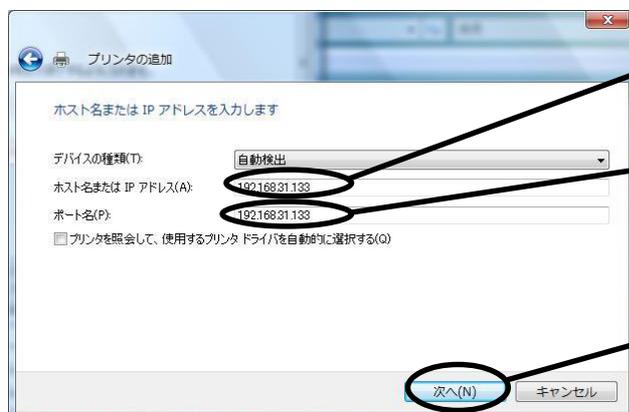
3. プリンタポートを選択します。



「新しいポートの作成」にチェックを入れ、種類は「Standard TCP/IP Port」を選択します。

次へ をクリックしてください。

4. プリンタポートを追加します。

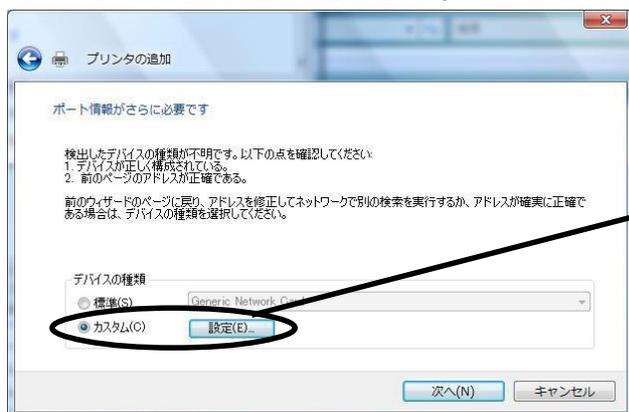


本製品に設定したIPアドレスを入力してください。

名前を付けない場合は、既定値 (xxx.xxx.xxx.xxx) をご使用ください。

次へ をクリックしてください。

5. デバイスの種類を決定します。



「カスタム」にチェックを入れ、「設定」をクリックしてください。

6. ポート情報を入力します。

(A) Raw モードで使用する場合

標準 TCP/IP ポート モニタの構成

ポートの設定

ポート名(P): 192.168.31.133
プリンタ名または IP アドレス(A): 192.168.31.133

プロトコル

Raw(R) LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q):
 LPR バイト カウントを有効にする(B)
 SNMP ステータスを有効にする(S)
コミュニティ名(C): public
SNMP デバイス インデックス(D): 1

OK キャンセル

「Raw」にチェックを入れてください。

「9100」を入力してください。

OK をクリックしてください。



・「OK」をクリックすると「5.」の画面に戻ります。
「次へ」をクリックしてください。

(B) LPR モードで使用する場合

標準 TCP/IP ポート モニタの構成

ポートの設定

ポート名(P): 192.168.31.133
プリンタ名または IP アドレス(A): 192.168.31.133

プロトコル

Raw(R) LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q): lp
 LPR バイト カウントを有効にする(B)
 SNMP ステータスを有効にする(S)
コミュニティ名(C): public
SNMP デバイス インデックス(D): 1

OK キャンセル

「LPR」にチェックを入れてください。

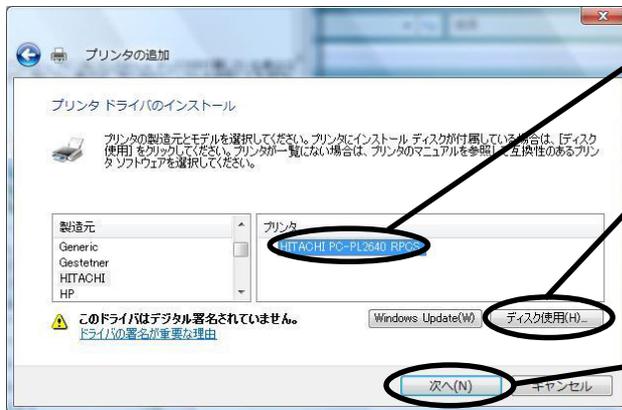
キュー名は「lp」を入力し、「LPR バイト
カウントを有効にする」にチェック
を入れてください。また、「SNMPステ
ータスを有効にする」のチェックを外して
ください。

OK をクリックしてください。



・「OK」をクリックすると「5.」の画面に戻ります。
「次へ」をクリックしてください。

6. プリンタドライバを選択します。

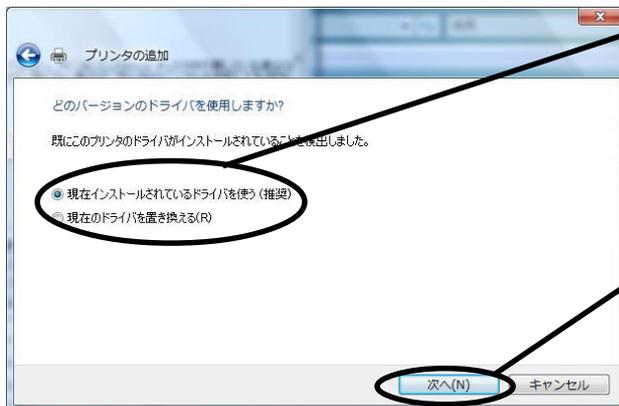


ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。

ご使用になるプリンタのドライバが一覧に無い場合は、「ディスクを使用」をクリックし、プリンタドライバを選択してください。

次へ をクリックしてください。

7. プリンタドライバを確認します。



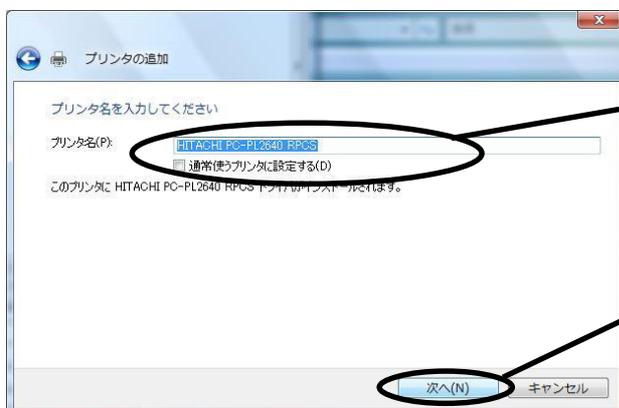
「現在のドライバを使う」か「新しいドライバに置き換える」か選択してください。

次へ をクリックしてください。



・最新ドライバを別途インストールされた場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

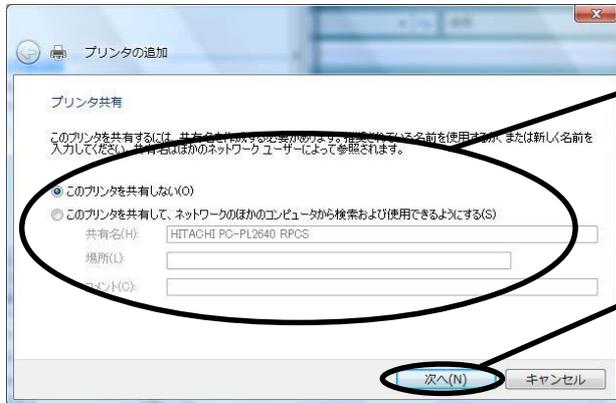
8. プリンタ名を登録します。



プリンタ名の登録を行います。このプリンタを通常使うプリンタと選択してください。

次へ をクリックしてください。

9. プリンタを共有するかを選択します。



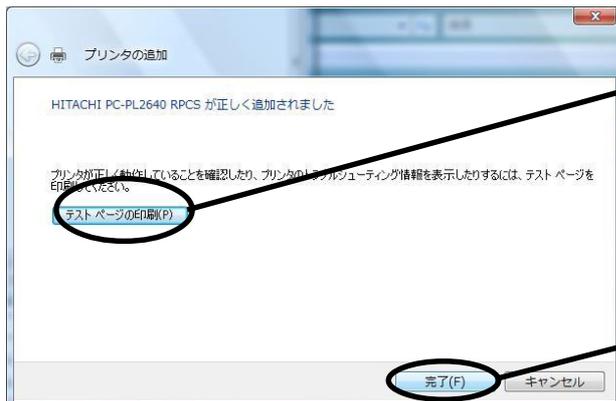
プリンタを「共有する」「共有しない」を選択してください。

次へ をクリックしてください。



・同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は「共有する」を選択してください。

10. テストページの印刷を選択します。



「テストページの印刷」を選択してください。テストページの印刷が問題なくできたら、設定は終了です。

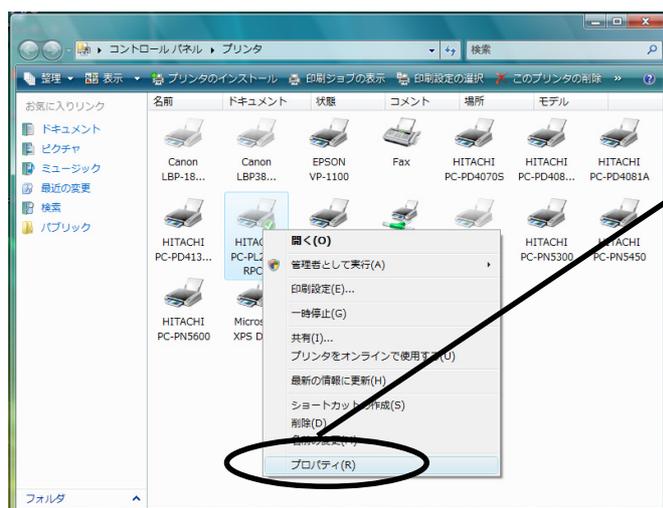
完了 をクリックしてください。

15. プリンタのテストページが正常に出力されれば、設定完了です。

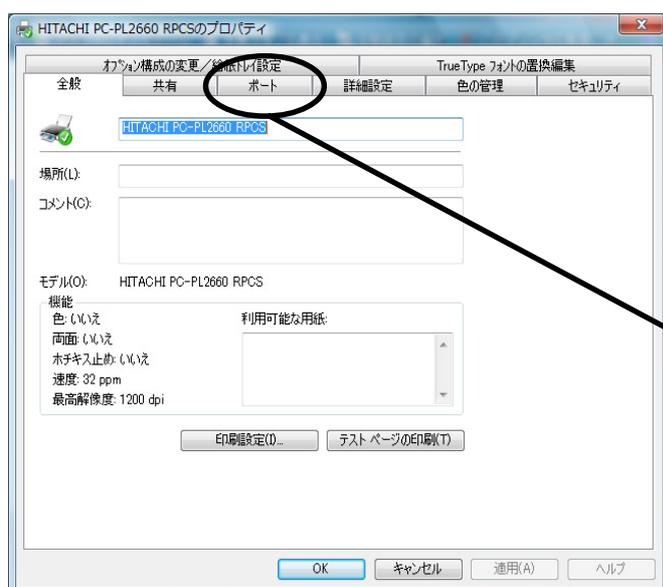
プリンタドライバの設定

プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合があります。下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。

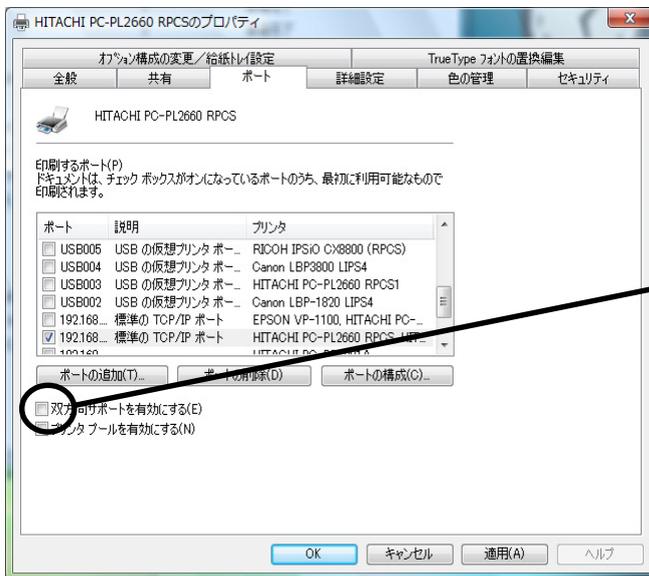
1. 「スタート」 - 「設定」 - 「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



2. [ポート]を選択します。

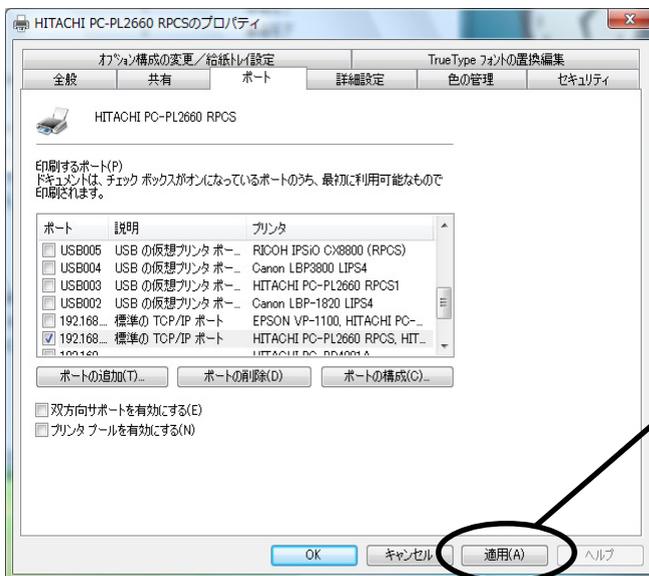


3. 双方向の設定をします。



「双方向サポートを有効にする」の
チェックをはずしてください。

4. 設定完了です。



適用 をクリックしてください。

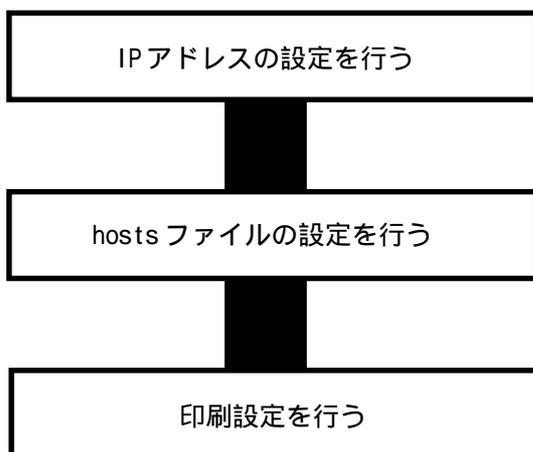
| | |
|-------------------------------------|------|
| 第5章 UNIX/Linux環境で使用する | 5-2 |
| IPアドレスの設定 | 5-3 |
| ARPによる設定 | 5-3 |
| RARPによる設定 | 5-4 |
| BOOTPによる設定 | 5-5 |
| hostsファイルの設定 | 5-6 |
| LPDを使用した印刷 | 5-7 |
| HI-UX環境で使用する | 5-8 |
| HI-UX/WE2の場合 | 5-8 |
| Solaris環境で使用する | 5-9 |
| Solaris2.6/7/8の場合 | 5-9 |
| Solaris2.3x ~ 2.5xの場合 | 5-11 |
| HP-UX 9.x/10.x環境で使用する | 5-13 |
| setnetlpツールを使用する | 5-15 |
| AIX 4.x.x環境で使用する | 5-20 |
| BSD系UNIXの環境で使用する | 5-22 |
| Linux環境で使用する | 5-24 |
| Red Hat Linuxのプリントキュー作成ツールを 使用する | 5-26 |
| Turbo Linuxのプリントキュー作成ツールを使用する | 5-27 |
| FTPを使用した印刷 | 5-28 |
| 印刷する | 5-29 |
| 状態を確認する | 5-31 |

第5章 UNIX/Linux環境で使用する

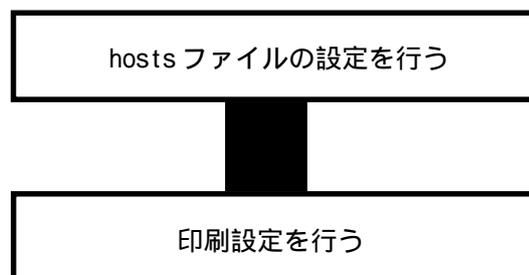
本章では、UNIX/Linux環境で使用するために必要な設定と、LPDおよびFTPによる印刷について説明します。設定方法は一例ですので、詳細はご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。

< UNIX/Linux環境で印刷するまでの手順 >

初期導入 & 印刷をしたい場合
(管理者編)



印刷をしたい場合
(クライアント編)



注意

- ・本章の記載は、本製品の漢字フィルタ(sjis/euc)を使用することを想定しています。本製品のプリンタエミュレーションの設定が"ESC/P"に設定されていることを確認してください。設定の詳細は「第6章 設定に関する機能」をご参照ください。

IPアドレスの設定

UNIX/Linux環境では、ARP、BOOTP、RARPの何れかの方法でIPアドレスの設定ができます。以下に設定方法を示します。



参考

- ・IPアドレスを設定した後は、TELNETで本製品の詳細設定を行ってください。TELNETについては、「第8章 設定に関する機能」をご参照ください。



注意

- ・BOOTPを使用するためには、「DHCP/BOOTP」設定を"ENABLE"にする必要があります。また、RARPを使用するためには、「RARP」設定を"ENABLE"にする必要があります。「DHCP/BOOTP」「RARP」の各設定を"ENABLE"に変更するためには、ARPを実行した後にTELNETを起動し、各設定を変更してください。

ARPによる設定

IPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせをARPテーブルに登録し、PINGを実行することで、IPアドレスを設定することができます。



注意

- ・この方法により設定されたIPアドレスは一時的な設定であり、本製品に登録されません。設定後は必ずTELNETなどでIPアドレスの登録を行ってください。

(例) Ethernetアドレスが「00809200110f」、IPアドレスが「192.168.10.100」、
ホスト名が「pbox」の場合

1. 本製品の電源を投入します。
2. ARPコマンドを使い、IPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせをARPテーブルに登録します。

```
arp -s 192.168.10.100 00:80:92:00:11:0f temp
```
3. PINGを実行します。

```
ping 192.168.10.100
```
4. 実行後、本製品より応答があれば設定完了です。

```
192.168.10.100 is alive.
```

RARPによる設定

UNIXの/etc/ethersに本製品に登録するIPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせを追加し、RARPdを起動します。その後、プリンタの電源を再投入することでIPアドレスを設定することができます。



- ・RARPによるIPアドレスの設定を行うためには、ネットワーク内にRARPデーモンが動作しているワークステーションが必要です。
- ・RARPを使用するためには、「RARP」設定を"ENABLE"にする必要があります。

UNIXのRARPサーバを使用したIPアドレスの設定例です。

(例) Ethernetアドレスが「00809200110f」、IPアドレスが「192.168.10.100」、
ホスト名が「pbox」の場合

- 1 . /etc/ethersに次の設定を追加します。
00:80:92:00:11:0f 192.168.10.100 #pbox
- 2 . RARPdを起動します。
rarpd -a
- 3 . プリンタの電源を再投入します。

BOOTPによる設定

本製品に登録する IP アドレスと Ethernet アドレスの組み合わせを BOOTP サーバに登録・起動し、プリンタの電源を再投入することで IP アドレスを設定することができます。



- BOOTP による IP アドレスと Ethernet アドレスの設定を行うためには、ネットワーク内に BOOTP サーバが動作しているワークステーションが必要です。
- 本製品の Ethernet アドレスは、自己診断印刷結果または本製品基板裏面にシール表示で記載されています。(例: 00:80:92:08:b0:dd)
- BOOTP を使用するためには、「DHCP/BOOTP」設定を "ENABLE" にする必要があります。

UNIX の BOOTP サーバを使用した IP アドレスの設定例です。

(例) Ethernet アドレスが「00809200110f」、IP アドレスが「192.168.10.100」、
ホスト名が「pbox」の場合

1 . /etc/bootptab に次の設定を追加します。

```
pbox:¥
ht=ether:¥           # Target hardware type is ETHERNET
ha=00809200110f:¥    # Target hardware address
ip=192.168.10.100:¥  # Target IP address
gw=192.168.10.254:¥  # Default gateway address (If required)
sm=255.255.255.0:    # Target subnet mask (If required)
```

2 . /etc/inetd.conf に次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /etc/bootpd bootpd
```

3 . inetd を再起動します。

```
kill -1 1
```

4 . プリンタの電源を再投入します。

hostsファイルの設定

UNIXまたはLinux マシンの hosts ファイルにホスト名と IP アドレスを登録します。



参考

- ・hosts ファイルを編集する場合は、ネットワーク管理者に確認の上作業してください。
- ・DNS等の IP 管理システムをご利用の場合は、hosts ファイルの編集を行う必要がない場合があります。

1. UNIX/Linux マシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

2. /etc/hosts ファイルに本製品のホスト名と IP アドレスを登録します。

hosts ファイルの編集には“vi”などのエディタを使用します。

例) IP アドレスが「192.168.10.100」、ホスト名が「pbox」の場合

```
192.168.10.98      venus      # UNIX-A
192.168.10.99      mars       # UNIX-B
192.168.10.100    pbox      # Print-Server
```

3. プリンタの電源を ON にし、「ping」コマンドを使用して、ネットワークとの接続が行えるかを確認してください。

```
# ping pbox
```



注意

- ・応答がない場合やエラーが表示される場合は、本製品の IP アドレスの設定、hosts ファイルの記述またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご確認ください。

LPDを使用した印刷

TCP/IPのLPDプロトコルを使用して印刷するための設定方法を説明します。

「lpr」、「lp」コマンドの詳細は、ご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。



参考

- ・LPDプロトコルについて
LPD (Line Printer Daemon) プロトコルは、ネットワーク上のプリンタに印刷するためのプロトコルです。
- ・論理プリンタについて
本製品には3つの論理プリンタがあります。
プリンタドライバを使ったファイルを印刷する場合は「lp」のプリンタへ、シフトJIS漢字コードのテキストファイルへ変換し印刷する場合は「sjis」のプリンタへ、EUC漢字コードのテキストファイルへ変換し印刷する場合は「euc」のプリンタへ出力する必要があります。

| 論理プリンタ | 機能 |
|--------|------------|
| lp | 直接出力 |
| sjis | シフトJIS漢字出力 |
| euc | EUC漢字変換出力 |

HI-UXの環境で使用する

HI-UX/WE2 の場合

HI-UX/WE2から印刷するための設定を行います。システムによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なる場合があります。詳細については、ワークステーション装置に添付されているHI-UX/WE2 日立CSMA/CDネットワークCD105(TCP/IP)マニュアル(3000-3-200)の第9章リモートプリンティングをご参照ください。

1. /etc/printcap ファイルに本製品を登録します。

例：プリントキューポート「HI_lp」を登録する場合

```
HI_lp:¥                               . . . . .
      :lp=:rm=HITACHI:rp=lp:¥         . . . . .
      :sd=/usr/spool/HI_lp:¥          . . . . .
      :lf=/usr/spool/HI_lp/HI_lp_errs: . . . . .
```

< 各変数の意味 >

プリンタ名を登録します。

LP: プリンタを接続するためのデバイス名称

ネットワーク接続の場合は、本設定は必要ありません。

rm: リモートプリンタのホスト名

/etc/hosts ファイルに登録したホスト名を入力します。

rp: リモートプリンタのプリンタ名

本製品の論理プリンタ名で、lp, sjis, euc の何れかを選択します。

sd: スプールディレクトリ

lf: エラーログファイル

と は絶対パスで指定します。

2. /etc/printcap ファイルに登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを製作します。

例：スプールディレクトリ「HI_lp」、エラーログファイル「HI_lp_errs」を生成する場合

```
# mkdir /usr/spool/HI_lp           スプールディレクトリ作成
# touch /usr/spool/HI_lp/HI_lp_errs エラーログファイル作成
# chown -R demon /usr/spool/HI_lp   オナを demon に変更
# chgrp -R demon /usr/spool/HI_lp   グループを demon に変更
```

3. lpd(プリンタデーモン)が起動しているか確認します。

```
# PS aux | grep lpd
```

lpdが起動していない場合、スーパーユーザのアカウントで下記コマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

4. 作成したプリントキューを有効にします。

```
# lpc restart HI_lp
```

Solaris環境で使用する

Solaris2.6/7/8 の場合

Sun Microsystems 社の Solaris2.6/7/8 から印刷するための設定を行います。OS のバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。



・本製品ではリモートプリンタはご利用になれません。

注意

1. プリントキューを作成します。

1-1. UNIX マシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

1-2. プリントサーバを登録します。

例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合

```
# lpadmin -p pboxlp -m netstandard -o protocol=bsd  
                (プリントキュー名)      -o dest=pbox:lp -v /dev/null  
                                           (ホスト名)(論理プリンタ名)
```



参考

・「:」の後に続く「lp」は、本製品の論理プリンタ名になります。

・EUC漢字テキストデータを印刷する場合は下記のように設定することで、直接EUC漢字テキストデータを印刷することができます。

```
# lpadmin -p pboxeuc -m netstandard -o protocol=bsd  
                -o dest=pbox:euc -v /dev/null  
                (eucポート指定)
```

1-3. プリントキューを有効にします。

```
#!/usr/sbin/accept pboxlp  
#!/usr/bin/enable pboxlp
```

2. 印刷を行います。

- 2-1. 「lp」コマンドを使用して印刷する方法を説明します。詳細についてはSolarisのマニュアルをご参照ください。

```
# lp -d pboxlp <印刷ファイル名>
```

このまま印刷するとバナーページが自動的に付加されます。

バナー印字が不要な場合は、

```
# lp -d pboxlp -o nobanner <印刷ファイル名>
```

と "-o nobanner" を付け加えてください。

また、

```
# lpadmin -p pboxlp -o nobanner
```

と設定するか、/etc/lp/interfacesの下に作成されるフィルタファイルを

直接編集しても常にバナー印字を禁止することができます。

例) "vi" などのエディタで下記ファイルを開き「nobanner=no」を「nobanner=yes」に修正します。

```
# vi /etc/lp/interfaces/pboxlp
nobanner=no ---> nobanner=yes
```

3. 印刷要求を取り消します。

- 3-1. 「cancel」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# cancel pboxlp- <ジョブ番号>
```



・キャンセルのタイミングやSolarisの仕様によっては、正常にキャンセルすることができない場合があります。

4. プリンタの状態を確認します。

- 4-1. 「lpstat」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認することができます。

```
# lpstat -p pboxlp
```



・UNIXの仕様により、正常に表示できない場合があります。

Solaris2.3x ~ 2.5x の場合

Sun Microsystems 社の Solaris2.5x 以下から印刷するための設定を行います。
OS のバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。ご
使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。



注意

・本製品では、リモートプリンタはご利用になれません。

1. プリントキューを作成します。

1-1. UNIX マシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

1-2. プリントスケジューラを停止します。

```
# /usr/sbin/lpshut
```

1-3. プリントサーバを登録します。

例)「pbox」という名前のホスト名を登録する場合

```
# /usr/sbin/lpsystem -R0 -t bsd pbox
```

1-4. プリントキューを設定します。

例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合

```
#!/usr/sbin/lpadmin -p pboxlp -s pbox!lp
```

(プリントキュー名) (ホスト名) (論理プリンタ名)



参考

・csh をご使用の場合は、「!」の代わりに「¥!」または「\!」としてください。

「!」の後に続く「lp」は、本製品の論理プリンタ名になります。

・EUC 漢字テキストデータを印刷する場合は下記のように設定することで、直接 EUC 漢字テキストデータを印刷することができます。

```
#!/usr/sbin/lpadmin -p pboxeuc -s pbox!euc
```

(euc ポート指定)

1-5. プリントスケジューラを起動します。

```
#!/usr/bin/sh /etc/init.d/lp start
```

1-6. プリントキューを有効にします。

```
#!/usr/sbin/accept pboxlp
```

```
#!/usr/bin/enable pboxlp
```

2. 印刷を行います。

2-1. 「lp」コマンドを使用して印刷します。

```
# lp -d pboxlp <印刷ファイル名>
```

3. 印刷要求を取り消します。

3-1. 「cancel」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# cancel pboxlp- <ジョブ番号>
```

4. プリンタの状態を確認します。

4-1. 「lpstat」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認することができます。

```
# lpstat -p pboxlp
```



注意

・UNIXの仕様により、正常に表示できない場合があります。

【制限事項】

本製品を Solaris 2.x でご利用になる場合、Solaris の仕様により以下の制限事項があります。

- 1) 印字開始後、プリンタがオフラインなどでデータを受け付けられない状態が長く続いた場合、Solaris 側でタイムアウトし、再印字(再接続)されるため、印字データが途中で切れ、1 ページ目から再度印字される場合があります。
- 2) “lpstat -p <プリンタ名>”にてプリンタのステータスを表示した場合、プリンタの状態ステータスとして返す任意の文字列(PrinterReady など)を Solaris 側で解釈できず “Faulted” と表示した後、任意の文字列を表示します。
- 3) Solaris よりデータを出力中は、同じマシンから本製品に対する印字関連コマンドが正常に動作しません。これは Solaris 側がデータの送信が終了するまで他のパケットを出すことができないため、以下の現象が発生します。“lpstat -p <プリンタ名>”に対して、“system not responding” と表示されます。
- 4) cancel コマンドの後、lpstat などを行うと lpstat がエラーになる場合があります。この場合は、プリンタスケジューラデーモンが停止している可能性がありますので、“lpstat -r”で確認する必要があります。“scheduler is not running” と表示された場合はデーモンが停止していますので、下記のように入力しプリンタスケジューラデーモンを再起動してください。
/bin/sh /etc/init.d/lp start
- 5) “cancel” で存在しないジョブを削除しても、Solaris ではエラーになりません。

HP-UX 9.x/10.x環境で使用する

ヒューレットパッカード社のHP-UXから印刷するための設定を行います。
OSのバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。ご
使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。

1. リモートスプーラを設定します。

使用しているHP-UXマシンに、リモートスプーラが設定されていない時は以下の設定を行ってくださ
い。

- 1-1. UNIXマシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

- 1-2. プリントスプーラを停止します。

```
#!/usr/lib/lpshut
```

- 1-3. /etc/inetd.conf ファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root /usr/lib/rpdaemon -i
```

- 1-4. inetdを再起動します。

```
#!/etc/inetd -c
```

2. プリントキューを作成します。

- 2-1. UNIXマシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

- 2-2. プリントキューを設定します。

例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合

```
#!/usr/lib/lpadmin -ppboxlp -mrmodel -ormpbox  
                  (プリントキュー名)                  (ホスト名)  
  
                  -orplp -ocmrcmodel -osmrsmodel -ob3 -v/dev/null  
                  (論理プリンタ名)
```



参考

- ・「-orp」の後に続く「lp」は、本製品の論理プリンタ名になります。
- ・SJIS漢字テキストデータを印刷する場合は下記のように設定することで、直接SJIS漢字テキストデータを印刷することができます。

```
#!/usr/lib/lpadmin -ppboxsjis -mrmodel -ormpbox  
                  -orpsjis -ocmrcmodel -osmrsmodel -ob3 -v/dev/null  
                  (sjisポート指定)
```

2-3. プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept pboxlp  
#/usr/bin/enable pboxlp
```

2-4. プリントスプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

3. 印刷を行います。

3-1. 「lp」コマンドを使用して印刷します。

```
# lp -d pboxlp <印刷ファイル名>
```

4. 印刷要求を取り消します。

4-1. 「cancel」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# cancel pboxlp- <ジョブ番号>
```

5. プリンタの状態を確認します。

5-1. 「lpstat」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認することができます。

```
# lpstat -p pboxlp
```



注意

・UNIXの仕様により、正常に表示できない場合があります。

setnetlp ツールを使用する



注意

・setnetlp ツールはHP-UX Ver.10.10以降でご使用いただけます。

例) IP アドレス 「192.168.10.100」
ホスト名 「pbox」
上記はすでに /etc/hosts に登録されており、
プリントキュー名 「pboxlp」 で登録する場合。

1. root でログインし、/usr/sbin/setnetlp を実行します。以下のメニューが表示されますので、「1) Add Printer」を選択します。

```
# /usr/sbin/setnetlp

#####
#           MAIN MENU           #
# Network Printer Configuration #
#####

1) Add Printer
2) Remove Printer

q) Quit

Please enter a selection 1
```

2. 以下のメニューが表示されますので、「1) LP destination name:」を選択します。

```
Please enter a selection: 1

Configurable Parameters:           Current Settings
-----
0) Done. Make Configuration now!
1) Lp destination name:           [(N/A)]
2) Remote system name:           [(N/A)]
3) Remote Printer name:          [(N/A)]
4) Local Model Script:           [(N/A)]

q) Quit

Select an item for change or select "0": 1
```

4. 既に登録されているプリンタの一覧が表示されます。「 Please enter a lp destination name: 」の後に、設定を行うプリンタ名を入力します。

```
Currently used names:
-----
pboxlp   pbox3lp

Please enter a lp destination name: pboxlp
```

4. 「 2) Remote System name: 」を選択します。[Please enter a remote system name/IP address:]の後に、本製品に設定した IP アドレス、または /etc/hosts に登録した本製品のホスト名を入力します。
この例ではホスト名を入力しています。

```
Select an item for change or select "0":2
Please enter a remote system name/IP address: pbox
```

5. 「 3) Remote Printer name: 」を選択します。「Please enter a remote printer name: 」の後に、「lp」を入力します。

```
Select an item for change or select "0":3
Please enter a remote printer name: lp
```

6. 「 4) Local Model Script: 」を選択します。モデルファイルのリストとプロンプトが表示されます。[Please enter a model file:]の後に、使用するモデルファイル名を入力します。PC-PB20101/PB20111/PB20301 では「ESCP」を、PC-PB20011/PB20011A では「LIPS4」を選択してください。

```
Select an item for change or select "0":4
Valid Models:
-----
ESCP          colorpro      hp2228a      hp2934a      laserjet4
HPGL1         deskjet       hp2235a      hp33440a     laserjet4Si
HPGL2         deskjet1200C hp2276a      hp33447a     laserjet4v
HPGL2.cent   deskjet1600CM hp2300-1100L hp3630a      laserjet5Si
LIPS3         deskjet500    hp2300-840L hp5000c30    laserjetIIISi
LIPS4         deskjet500C   hp2560       hp5000f100   paintjet
PCL1          deskjet550C   hp2563a      hp7440a      paintjetXL300
PCL2          deskjet850C   hp2564b      hp7475a      postscript
PCL3          deskjet855C   hp2565a      hp7550a      print_mode.sh
PCL4          draftpro      hp2566b      hp7570a      quietjet
PCL4.nloo    dumb          p2567b       hp7595a      rmodel
PCL5          dumbplot      hp256x.cent  hp7596a      rmodel.asx
PCL5.asia    fonts         hp2631g      hpC1208a     ruggedwriter
PCL5.nloo    hp2225a      hp2684a      hpc1200aj    sharedprint
PS.nlio      hp2225b      hp2686a      hpc1208a     thinkjet
colorlaserjet hp2227a      hp2932a      laserjet

Please enter a model file: ESCP
```

7. すべての設定の完了後、以下のように表示されます。内容変更がなければ「 0) Done. Make configuration now!: 」を選択します。

```
Configurable Parameters:          Current Settings
-----
0) Done. Make Configuration now!
1) Lp destination name:          [pboxlp]
2) Remote System name:          [pbox]
3) Remote Printer name:         [lp]
4) Local Mode Script:           [ESCP]または[LIPS4]

q) Quite

Select an item for change or select "0":0
```

8. 現在、このマシンから印刷が行われていないことを確認し、「y」を入力します。

```
Select an item for change or select "0":0
WARNING: This operation requires lp spooler be shut down.
The spooler will be running again after this operation is done.
If there are jobs currently being printed, those are reprinted in
their entirety after spooler is started again.

OK to continue? (y/n, default-n) : y
```

9. プリンタの追加は完了しました。「リターンキー」を押してください。

```
Printer, pboxlp, has been added.
Press the return-key to return to configuration menu...
```

10. 登録内容確認画面へ戻ります。「q」を2回入力し、setnetlpツールを終了させます。

```
Please enter a selection: 1

Configurable Parameters:                Current Settings
-----
0) Done. Make Configuration now!
1) Lp destination name:                  [(N/A)]
2) Remote system name:                  [(N/A)]
3) Remote Printer name:                 [(N/A)]
4) Local Model Script:                   [(N/A)]

q) Quit

Select an item for change or select "0":q
```

11. テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認します。

例) 日本語テキストファイルの印刷

日本語テキストファイルを印刷する場合、以下のようなオプションが必要になります。(詳細はHP-UXのマニュアルをご参照ください。)

| 文字コード | lpオプション |
|--------|--------------|
| シフトJIS | japanese |
| 日本語EUC | japanese.euc |

11-1. シフトJISのテスト印刷を行う場合

テスト印刷を行うコマンド例を下記に示します。

#lp -d pboxlp -ojapanese 半角スペースを空け、テキストの場所を指定します。

11-2. 日本語EUCのテスト印刷を行う場合

テスト印刷を行うコマンド例を下記に示します。

#lp -d pboxlp -ojapanese.euc 半角スペースを空け、テキストの場所を指定します。



・プリンタを削除する。

登録したプリンタを削除するには下記のコマンドを入力します。

```
#/usr/sbin/setnetlp -x <destination>
```

<destination>は登録したプリンタ名です。

AIX 4.x.x環境で使用する

IBM社のAIXから印刷するための設定を行います。

OSのバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。

1. プリントキューを作成します。

1-1. UNIXマシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

1-2. プリントサーバを追加します。

例)「pbox」という名前のホスト名を追加する場合

```
# ruser -a -p pbox
```

1-3. リモートプリンタデーモンを起動します。

```
# startsrc -s lpd
```

```
# mkitab 'lpd:2:once:startsrc -s lpd'
```

1-4. smitコマンドを利用してプリントキューの追加を行います。

1-4-1. smitコマンドを起動し、「印刷待ち行列の追加」の項目へ移行します。

```
# smit mkrque
```

1-4-2. 「接続タイプ」から「remote」(リモートホストに接続されたプリンタ)を選択します。

1-4-3. 「リモート印刷のタイプ」から「標準処理」を選択します。

1-4-4. 「標準リモート印刷待ち行列の追加」で以下の項目を設定します。

(下記以外の設定はご利用環境に応じて変更してください。)

例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合

| | |
|---------------------|-----------|
| 追加する待ち行列 | [pboxlp] |
| リモートサーバのホスト名 | [pbox] |
| リモートサーバ上の待ち行列名 | [lp] |
| リモートサーバ上の印刷スプーラのタイプ | [BSD] |
| リモートサーバ上のプリンタ名記述 | [任意のコメント] |



参考

- ・リモートサーバ上の待ち行列名の「lp」は、本製品の論理プリンタ名になります。
- ・SJIS漢字テキストデータを印刷する場合は、「リモートサーバ上の待ち行列名」に[sjis]を入力することで、直接SJIS漢字テキストデータを印刷することができます。

2. 印刷を行います。

2-1. 「lp」コマンドを使用して印刷します。

```
# lp -d pboxlp <印刷ファイル名>
```

3. 印刷要求を取り消します。

3-1. 「cancel」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# cancel pboxlp- <ジョブ番号>
```

4. プリンタの状態を確認します。

4-1. 「lpstat」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認することができます。

```
# lpstat -p pboxlp
```



注意

・UNIXの仕様により、正常に表示できない場合があります。

BSD系UNIXの環境で使用する

BSD系UNIXから印刷するための設定を行います。

OSのバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。

1. プリントキューを作成します。

1-1. UNIXマシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

1-2. /etc/printcapファイルに本製品を登録します。

例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合

```
pboxlp:¥                .....
      :lp=:rm=pbox:rp=lp:¥  .....
      :sd=/usr/spool/pboxlp:¥ .....
      :lf=/usr/spool/pboxlp/pboxlp_errs:  .....
```

< 各変数の意味 >

プリンタ名を記述します。

```
lp    : プリンタを接続するためのデバイスファイル名。  
       ネットワークの場合は指定する必要はありません。  
rm    : リモートプリンタのホスト名。  
       /etc/hostsファイルに登録したホスト名を入力します。  
rp    : リモートプリンタのプリンタ名。  
       本製品の論理プリンタ名で、lp、sjis、eucのいずれかを選択します。  
sd    : スプールディレクトリ名。絶対パスで指定します。  
lf    : エラーログファイル名。絶対パスで指定します。
```

1-3. /etc/printcapファイルに登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを作成します。

例) スプールディレクトリ「pboxlp」及び、エラーログファイル「pboxlp_errs」を作成する場合

```
# mkdir /usr/spool/pboxlp          スプールディレクトリ作成
# touch /usr/spool/pboxlp/pboxlp_errs エラーログファイル作成
# chown -R daemon /usr/spool/pboxlp   オーナーをdaemonに変更
# chgrp -R daemon /usr/spool/pboxlp   グループをdaemonに変更
```

1-4. lpd (プリンタデーモン) が起動しているかを調べます。

```
# ps aux | grep lpd
```

lpdが動作していない場合、スーパーユーザのアカウントで下記のコマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

1-5. 作成したプリントキューを有効にします。

```
#lpc restart pboxlp
```

2. 印刷を行います。

2-1. 「lpr」コマンドを使用して印刷します。

```
# lpr -P pboxlp <印刷ファイル名>
```

3. 印刷要求を取り消します。

3-1. 「lprm」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# lprm -Ppboxlp <ジョブ番号>
```

4. プリンタの状態を確認します。

4-1. 「lpq」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認することができます。



注意

- ・UNIXの仕様により、正常に表示できない場合があります。
- ・lpqのショートフォーマットはUNIX互換フォーマットですが、ロングフォーマットはプリンタの状態を表示する本製品独自のフォーマットとなっています。

例) ショートフォーマットの場合

```
# lpq -P pboxlp
```

例) ロングフォーマットの場合

```
# lpq -l -P pboxlp
```

Linux環境で使用する

Linux から印刷するための設定を行います。

OSのバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。



参考

・Red Hat Linux および Turbo Linux のプリントキュー作成ツールにつきましては本章中「Red Hat Linux のプリントキュー作成ツールを使用する」「Turbo Linux のプリントキュー作成ツールを使用する」をご参照ください。

1. プリントキューを作成します。

1-1. Linux マシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

1-2. /etc/printcap ファイルに本製品を登録します。

例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合

```
pboxlp:¥
        :lp=:rm=pbox:rp=lp:¥
        :sd=/usr/spool/pboxlp:¥
        :lf=/usr/spool/pboxlp/pboxlp_errs:
        :.....
```

< 各変数の意味 >

プリンタ名を記述します。

lp : プリンタを接続するためのデバイスファイル名。
ネットワークの場合は指定する必要はありません。

rm : リモートプリンタのホスト名。
/etc/hosts ファイルに登録したホスト名を入力します。

rp : リモートプリンタのプリンタ名。
本製品の論理プリンタ名で、lp、sjis、eucのいずれかを選択します。

sd : スプールディレクトリ名。絶対パスで指定します。

lf : エラーログファイル名。絶対パスで指定します。

1-3. /etc/printcap ファイルに登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを作成します。

例) スプールディレクトリ「pboxlp」及び、エラーログファイル「pboxlp_errs」を作成する場合

```
# mkdir /usr/spool/pboxlp          スプールディレクトリ作成
# touch /usr/spool/pboxlp/pboxlp_errs  エラーログファイル作成
# chown -R daemon /usr/spool/pboxlp   オーナーを daemon に変更
# chgrp -R daemon /usr/spool/pboxlp   グループを daemon に変更
```

1-4. lpd (プリンタデーモン) が起動しているかを調べます。

```
# ps aux | grep lpd
```

lpdが動作していない場合、スーパーユーザのアカウントで下記のコマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

1-5. 作成したプリントキューを有効にします。

```
#lpc restart pboxlp
```

2. 印刷を行います。

2-1. 「lpr」コマンドを使用して印刷します。

```
# lpr -P pboxlp <印刷ファイル名>
```

3. 印刷要求を取り消します。

3-1. 「lprm」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# lprm -Ppboxlp <ジョブ番号>
```

4. プリンタの状態を確認します。

4-1. 「lpq」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認することができます。

- Linuxの仕様により、正常に表示できない場合があります。
- lpqのショートフォーマットはUNIX互換フォーマットですが、ロングフォーマットはプリンタの状態を表示する本製品独自のフォーマットとなっています。

例) ショートフォーマットの場合

```
# lpq -P pboxlp
```

例) ロングフォーマットの場合

```
# lpq -l -P pboxlp
```

Red Hat Linux のプリントキュー作成ツールを使用する。



・ここでは Red Hat Linux 7.1 のプリントキュー作成ツールを使ったプリンタの登録方法について説明します。ご使用の Red Hat Linux のバージョンによっては操作方法が異なる場合がありますのでご注意ください。

例) etc/hosts ファイルに IP アドレスが「192.168.10.100」、ホスト名が「pbox」で登録しており、プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合。

1. 「メインメニュー」- 「プログラム」- 「システム」- 「プリンタ設定」を選択します。
2. [printconf.gui] の画面で [新規] ボタンをクリックします。
3. [名前とエイリアス] をクリックし、[プリンタ名] に「pboxlp」を入力し、「追加」をクリックします。
4. [エイリアス] にも「pboxlp」を入力します。「OK」をクリックします。
5. [プリンタタイプ] をクリックし、LPD を選択します。サーバには「pbox」を入力し、プリンタには「lp」を入力します。
6. [プリンタドライバ] と [プリンタオプション] は、ご使用の環境に合わせたものを選択してください。
7. すべての設定が終了した後、[プリンタの編集] 画面の「OK」をクリックします。
8. [printconf.gui] 画面に、作成したプリンタが表示・選択されていることを確認します。「適用」ボタンをクリックします。
9. [lpd の再起動は成功しました] というダイアログメッセージを確認し、「OK」をクリックします。
10. [printconf.gui] 画面の「テスト」ボタンをクリックし、テストページが出力されれば設定終了です。

Turbo Linux のプリントキュー作成ツールを使用する。



- ・ここではTurbo Linux6.0のプリントキュー作成ツールを使ったプリンタの登録方法について説明します。ご使用のTurbo Linuxのバージョンによっては操作方法が異なる場合がありますのでご注意ください。

例) etc/hosts ファイルに IP アドレスが「192.168.10.100」、ホスト名が「pbox」で登録しており、プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合。

1. 「メインメニュー」 - 「Turbo Linux ツール」 - 「ターボセントロ」を選択します。
2. [Turbo Centro-GT]内の「Turboprintcfg」をクリックします。
3. [プリンタの設定]画面の「追加」をクリックします。
 - 3-1. [プリンタの追加]項目では、「リモートLPDキュー」を選択します。
 - 3-2. [新しいキュー名]項目では、「pboxlp」を入力します。
 - 3-3. [プリンタ設定の変更]項目では[LPD設定]内の「変更」をクリックします。
 - 3-3-1. [ホスト名]には、「pbox」を入力します。
 - 3-3-2. [キュー名]には、「lp」を入力します。
 - 3-4. [プリンタタイプ]項目では「変更」をクリックし、ご使用の環境に合ったプリンタドライバを選択してください。
 - 3-5. [用紙サイズ][色深度]設定は、ご使用の環境に合ったものを選択してください。
4. すべての設定が終了した後、[プリンタの設定]画面の「OK」をクリックします。
5. 「保存及び終了」をクリックすると設定は完了です。

FTPを使用した印刷

TCP/IPのFTPプロトコルを使用して印刷する方法を説明します。「ftp」コマンドの詳細は、ご使用のワークステーションのマニュアルをご覧ください。



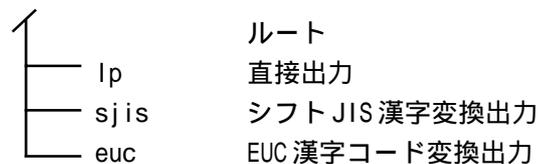
・FTPプロトコルについて

FTP (File Transfer Protocol) プロトコルは、TCP/IPでファイルを転送するためのプロトコルです。本製品の論理ディレクトリに対して、印刷データを転送することで印刷を行います。

・論理ディレクトリについて

本製品には、3つの論理ディレクトリがあり、「cd」コマンドにて移動する必要があります。プリンタドライバを使ったファイルを印刷する場合は「lp」のディレクトリへ、シフトJIS漢字コードのテキストファイルへ変換し印刷する場合は「sjis」のディレクトリへ、EUC漢字コードのテキストファイルへ変換し印刷する場合は「euc」のディレクトリへ移動した後、印刷ファイルを転送してください。

<本製品の論理ディレクトリ構成>



印刷する

1. 本製品へログインします。



注意

・「ftp」コマンドで印刷する場合、「User」と「Password」は、どのような入力をして印刷可能です。ただし、ユーザ名が「root」の場合は、環境設定で設定した「パスワード」が必要となります。

例) ホスト名「pbox」のプリンタにログインする場合
(または、IPアドレス「192.168.10.100」のプリンタにログインする場合)

```
#ftp pbox (または、ftp 192.168.10.100 )
Connected to pbox
220 PC-PB20XXXX VerX.X.X FTP Server.
User(silex:root): root
331 Password required.
Password:
230 User Logged in.
ftp>
```

2. 「cd」コマンドで、転送先ディレクトリへ移動します。



注意

・本製品は、転送先ディレクトリが階層構造となっています。また、ルートディレクトリへの印刷データの出力は「lp」への出力として処理されます。

例) lpディレクトリへ移動し、現在のディレクトリを確認する場合

```
ftp>cd /lp
250 Command Ok.
ftp>pwd
257 "/lp" is current directory.
ftp>
```

3. 転送モードを変更します。



・転送モードには、LFコードをCR+LFコードに変換する「ASCIIモード」とファイルの内容をそのまま出力する「BINARYモード」の2種類があります。プリンタドライバで変換されたバイナリファイルを転送する場合は、転送モードを「BINARYモード」に設定します。(指定しない場合は「ASCIIモード」で出力されます。)

例) 転送モードをBINARYモードに変更し、現在のモードを確認する場合

```
ftp>type binary
200 Type set to I.
ftp>type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

4. 「put」コマンドを用いて、印刷データを本製品へファイル転送します。

「put」コマンドによるファイル転送には、2種類の形式があります。

例) 印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp>put test.prn
```

印刷データをディレクトリ指定「/users/test/test.prn」で指定して転送する場合

```
ftp>put /users/test/test.prn /lp
```



・印刷データをディレクトリ指定で印刷する場合は、転送先論理ディレクトリを指定します。cdコマンドでディレクトリを移動する必要はありません。

5. 「quit」コマンドを使い、本製品からログアウトします。

```
ftp>quit
```

状態を確認する



参考

・「quote」コマンドの「stat」を使って、IPアドレス、ログインユーザ名、転送モードの3つの状態を確認することができます。

また、「stat」の後にディレクトリ（lp,sjis,euc）を指定すると、プリンタの状態を確認することができます。

例)・イーサネットボードの状態表示

```
ftp>quote stat
211-FTP server status:
Connected to: 192,168,10,100
User logged in: guest
Transfer type: BINARY
Data connection:Closed.
211 End of status.
ftp>
```

・プリンタ（ディレクトリ名：lp）の状態表示

```
ftp>quote stat /lp
211-FTP directory status:
Ready
211 End of status.
ftp>
```

| | |
|---------------------------|------|
| 第6章 設定に関する機能 | 6-3 |
| Advanced Setupで設定する | 6-3 |
| Advanced Setupを起動する | 6-4 |
| Advanced Setupで本製品を検索する | 6-6 |
| Advanced Setupの機能 | 6-7 |
| Advanced Setupメニュー構成 | 6-7 |
| プリンタステータス | 6-8 |
| システムステータス | 6-8 |
| 設定項目一覧表示 | 6-9 |
| Advanced Setupで本製品の設定を行う | 6-10 |
| プリントサーバの設定 | 6-10 |
| プロトコルと設定項目 | 6-11 |
| Generalの設定 | 6-12 |
| TCP/IPの設定 | 6-13 |
| NetBEUI/NetBIOSの設定 | 6-15 |
| SNMPの設定 | 6-16 |
| POPの設定 | 6-17 |
| SMTPの設定 | 6-18 |
| PrinterPortの設定 | 6-19 |
| Webブラウザで設定する | 6-20 |
| 本製品のWebページを表示する | 6-21 |
| AdminManagerからWebページを表示する | 6-21 |
| WebブラウザからWebページを表示する | 6-21 |
| 本製品のWebページから設定する | 6-22 |
| 本製品Webページメニュー構成 | 6-22 |

| | |
|-----------------------------|------|
| TELNET で設定する | 6-23 |
| Web ブラウザ /TELNET 設定項目 | 6-24 |
| プリントサーバ機能 | 6-24 |
| General | 6-24 |
| TCP/IP | 6-25 |
| NetBEUI/NetBIOS | 6-27 |
| SSL | 6-27 |
| SNMP | 6-28 |
| PRINTER | 6-29 |
| E-Mail 受信 (POP) | 6-30 |
| E-Mail 送信 (SMTP) | 6-31 |
| その他の設定 (Another) | 6-32 |
| SSL 証明書作成項目 | 6-32 |

第6章 設定に関する機能

本章では Advanced Setup、Web ブラウザ、TELNET を利用して、詳細な設定を行う方法について説明します。

Advanced Setupで設定する

総合ユーティリティ「Advanced Setup」は、本製品の詳細な設定及び設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動や自己診断印刷、プリンタステータスマニタなどの便利な機能をご利用いただくことができます。



注意

- Advanced Setup をご利用になる場合、ご使用のパソコンに TCP/IP プロトコルがインストールされている必要があります。
- ご利用の環境、ご使用の機種により、「Advanced Setup」に表示される内容が異なります。
- Windows OS 環境で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、「インターネット接続ファイアウォール」のチェックを外してください。



Advanced Setupを起動する

1. 本製品に付属してしている CD-ROM から Advanced Setup を起動してください。



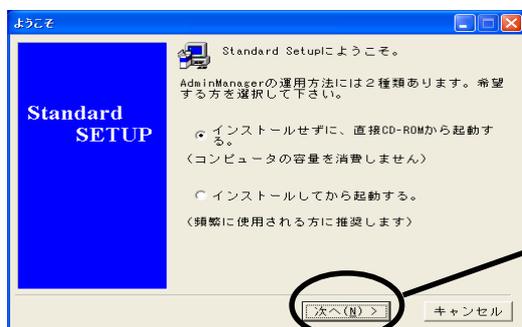
「Advanced Setup」をクリックしてください。

2. 選択画面が表示されます。



「インストールせずに、直接CD-ROMから起動する」を選択してください。

3. インストール確認画面が表示されます。



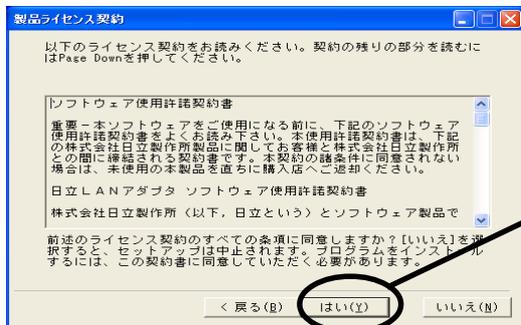
次へ をクリックしてください。



参考

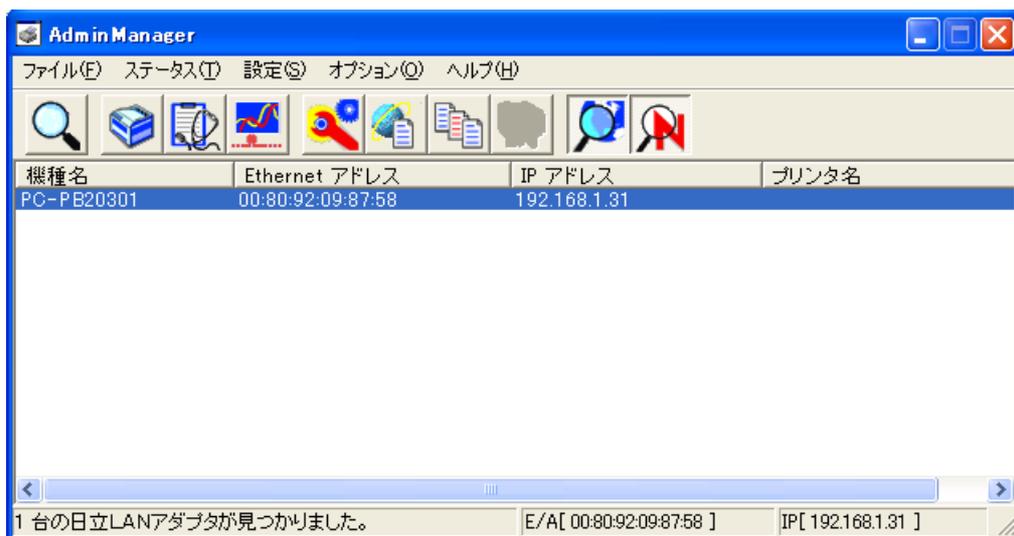
- ・ Advanced Setup を頻繁に使用される方は、「インストールしてから起動する」を選択して、ご利用のパソコンにインストールすることをお奨めします。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



はい をクリックしてください。

5. Advanced Setup が起動します。



Advanced Setupで本製品を検索する

本製品の設定を行う前に、Advanced Setupで本製品が検索されることをご確認ください。本製品が検索されない場合は、「設定」-「IPアドレス設定」でIPアドレスの設定を行ってください。



参考

- ・ご利用のパソコンにセキュリティソフトウェアがインストールされていて、ファイアウォール機能が有効になっていると、本製品を検索できないことがあります。そのようなときは、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

IP アドレス設定

IPアドレスの設定を手動で行います。



参考

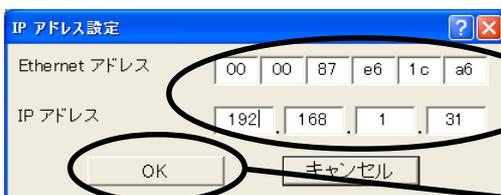
- ・本設定を行う前に、本製品のEthernetアドレスをご確認ください。Ethernetアドレスは、自己診断印刷結果または本製品基板裏面にシール表示で記載されています。
(例：00:80:92:08:b0:dd)

1.



Advanced Setupのメニューバーから「設定」-「IPアドレス設定」を選択してIPアドレス設定ツールを起動してください。

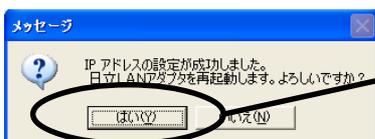
2.



設定する製品のEthernetアドレスとIPアドレスを入力してください。

OK をクリックしてください。

3.



設定したIPアドレスを有効にするために本製品をリセットします。「はい」をクリックしてください。



注意

- ・再起動処理ができなかった場合は、プリンタの電源をOFF/ONしてください。

Advanced Setupの機能

Advanced Setup メニュー構成



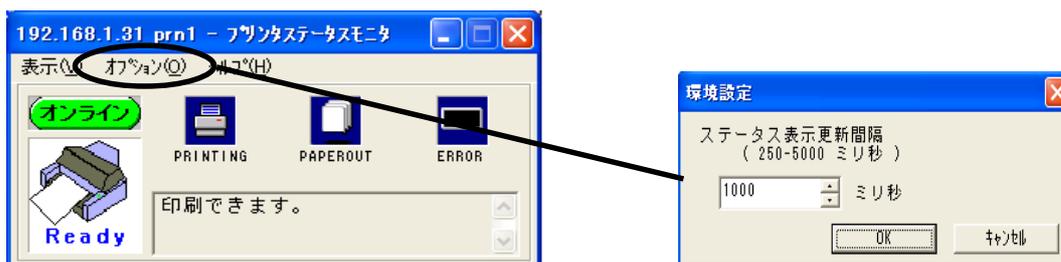
・ご利用の環境によっては、「Advanced Setup」に表示される内容が異なります。



| メニュー | 項目 | 説明 |
|-------|------------------|-------------------------|
| ファイル | 検索 | ネットワーク上の本製品を検索 |
| | 終了 | Advanced Setupを終了 |
| ステータス | プリンタステータス | プリンタステータスモニタを表示 |
| | システムステータス | システムステータスモニタを表示 |
| | ネットメータ | ネットメータを表示 |
| | 設定項目一覧表示 | 本製品の内部設定情報を表示 |
| 設定 | 日立LANアダプタの設定 | 本製品の各種設定 |
| | HTTPによる設定 | 本製品のホームページを起動 |
| | TELNETによる設定 | TELNETを起動 |
| | NetWareのキュー作成 | 本製品では選択不可 |
| | NetWareのオブジェクト削除 | 本製品では選択不可 |
| | リセット | 本製品の再起動 |
| | テスト印刷 | 本製品の自己診断印刷を実行 |
| | IPアドレス設定 | IPアドレスの手動設定 |
| オプション | 環境設定 | Advanced Setupの環境設定 |
| | TCP/IPプロトコルの使用 | TCP/IPの使用不可を設定 |
| | IPX/SPXプロトコルの使用 | 本製品では選択不可 |
| ヘルプ | バージョン表示 | Advanced Setupのバージョンを表示 |

プリンタステータス

Advanced Setup 画面にて選択した本製品が接続しているプリンタの状態が、リアルタイムに表示されます。また、環境設定画面にて、プリンタステータスの更新時間を指定することができます。



プリンタステータス環境設定

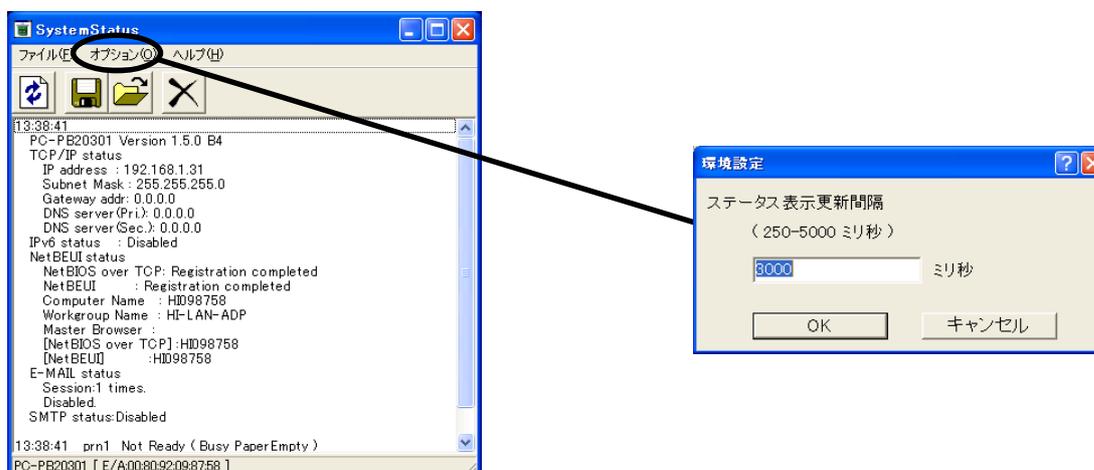


・プリンタの機種によっては、プリンタの状態を正常に取得できない場合があります。

注意

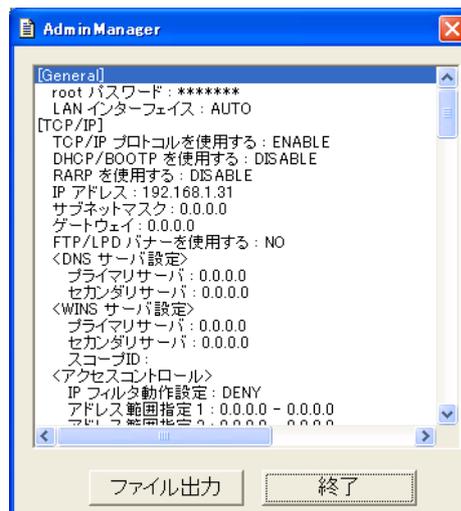
システムステータス

Advanced Setup 画面にて選択した本製品の動作状態がリアルタイムに表示されます。本製品の動作状態をファイルに保存(ログの登録)し、参照することができます。また、環境設定画面にて、システムステータスの更新時間を指定することができます。



設定項目一覧表示

本製品に設定した各項目の設定値が一覧で表示されます。設定内容をファイル出力し、管理することができます。



AdminManagerで本製品の設定を行う

プリントサーバの設定

AdminManagerの「設定」 - 「プリントサーバの設定」で本製品の詳細設定および設定内容の変更を行います。



注意

- AdminManagerの「設定」-「プリントサーバの設定」には、拡張プリントマネージャを使用する場合に設定が必要になる「Another」に関する設定項目を選択することができません。「Another」の設定を行う場合は、「設定」-「Webブラウザによる設定」または「設定」-「TELNETによる設定」を選択し、WebブラウザまたはTELNETから設定してください。

1.

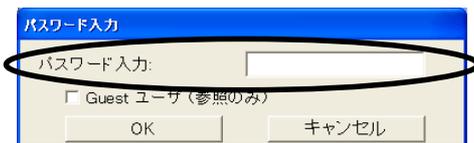


設定を行う本製品を指定し、AdminManagerのメニューバーから「設定」-「プリントサーバの設定」を選択してください。



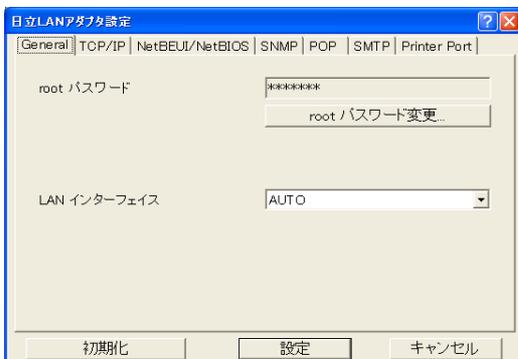
参考

- 本製品にパスワードが設定されている場合は、「パスワード入力」画面が表示されます。
- 「Guest ユーザ」チェックボックスをチェックした場合は設定情報を確認することはできませんが、設定内容の変更は行えません。



パスワード入力画面

2.



左の画面が表示されます。設定を行いたいタブを選択し、設定を行ってください。



参考

- タブが全て表示されていない場合は、スクロールボタンで表示させてください。

プロトコルと設定項目

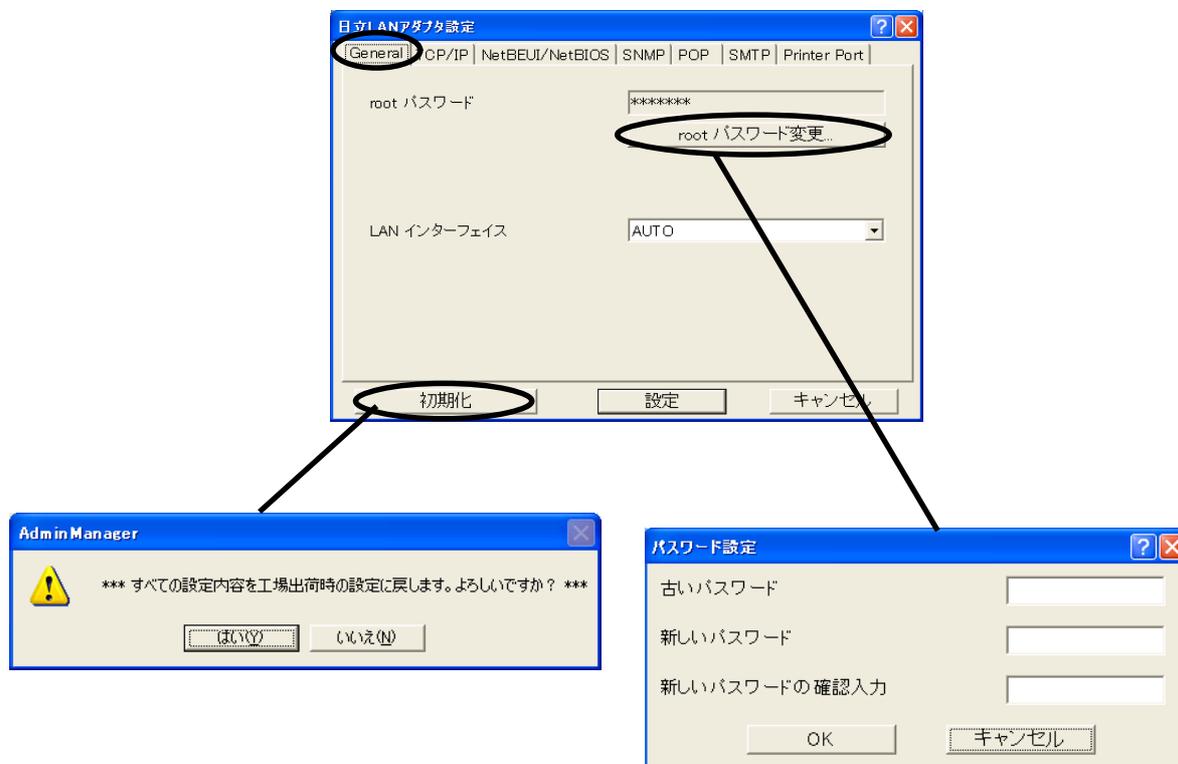
本製品はセキュア(SSL)通信印刷機能、IPフィルタ機能、セキュリティレベル設定機能をサポートしたことにより、従来製品でサポートしていたプロトコルおよび設定項目を一部削除しています。これらプロトコルや設定項目を使用するために、本製品ではファームウェアの書き換えを容易に行うことができるよう、アップロードプログラムおよびSSL対応版ファームウェア、SSL非対応版ファームウェアを製品添付CD-ROMに収録しました。本プログラムの使用方法等については、「第2章 セットアップユーティリティ」をご参照ください。

下表にSSL対応版ファームウェアとSSL非対応版ファームウェアの各種プロトコルおよび設定項目のサポート状況を示します。

| 対応プロトコル一覧 | | SSL対応版 | SSL非対応版 | 備考 |
|---------------------|------------|--------|---------|----|
| 対応 プロ トコ ル | LPR | ○ | ○ | |
| | RAW | ○ | ○ | |
| | IPP | ○ | ○ | |
| | HTTP | ○ | ○ | |
| | HTTPS | ○ | × | |
| | TELNET | ○ | ○ | |
| | FTP | ○ | ○ | |
| | SNMP | ○ | ○ | |
| | NetBEUI | × | ○ | |
| | SMTP | × | ○ | |
| | POP | × | ○ | |
| | DNS | × | ○ | |
| | RARP | ○ | ○ | |
| | DHCP/BOOTP | ○ | ○ | |
| Setup Protocol | ○ | ○ | | |

| 対応設定項目一覧 | | SSL対応版 | SSL非対応版 | 備考 | |
|----------|--------------|------------------|---------|--------------------|--|
| 設定 項目 | TCP-IP設定 | DNS Server(Pri.) | × | ○ | |
| | | DNS Server(SEC.) | × | ○ | |
| | | IPv6 | × | ○ | |
| | | NetworkPnP | × | ○ | |
| | NetBEUI | × | ○ | SSL対応版には本項目がありません。 | |
| | E-Mail(POP) | × | ○ | SSL対応版には本項目がありません。 | |
| | E-Mail(SMTP) | × | ○ | SSL対応版には本項目がありません。 | |
| | Secure Print | Secure Print | ○ | × | |
| | | SSL Mode | ○ | × | |

General の設定

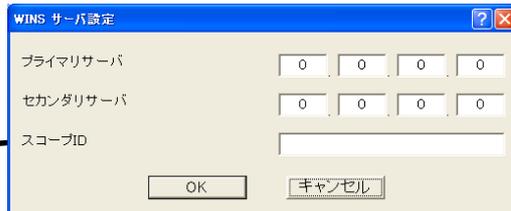
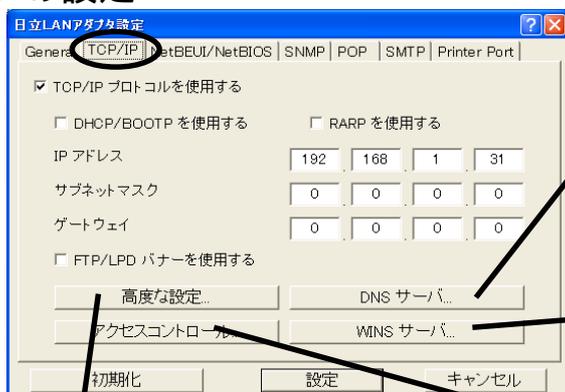


| タブ | 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|---------|-------------|--|--------|
| General | rootパスワード | 本製品の管理パスワードをASCII文字列（7文字以内）で設定します。このパスワードはAdminManager、TELNET、Webで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。 | なし |
| | rootパスワード変更 | パスワードの変更を行います。 | - |
| | LANインタフェース | 物理ネットワークの種別を設定します。通常はAUTOで使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。設定項目はAUTO/10HALF/10FULL/100HALF/100FULLがあります。 | AUTO |



・初期化ボタンをクリックすると、本製品の設定値を工場出荷値に戻します。

TCP/IP の設定



| タブ | 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|----------|------------------|--|--|
| TCP/IP | TCP/IPプロトコルを使用する | TCP/IP プロトコルを有効 (ENABLE) にします。 | ENABLE |
| | DHCP/BOOTPを使用する | DHCP/BOOTP プロトコルを有効 (ENABLE) にします。DHCP と BOOTP を自動認識し、先に応答のあったIPアドレスを自分のアドレスとして採用します。 | DISABLE |
| | RARPを使用する | RARP プロトコルを有効 (ENABLE) にします。 | DISABLE |
| | IPアドレス | 本製品のIP アドレスを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 | 0.0.0.0 |
| | サブネットマスク | 本製品のサブネットマスクを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になり、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。 | 0.0.0.0 |
| | ゲートウェイ | 本製品のデフォルトゲートウェイを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になります。 | 0.0.0.0 |
| | FTP/LPDバナーを使用する | FTPまたはLPD印刷時のバナーページ印刷を有効 (ENABLE) にします。 | DISABLE |
| | DNSサーバ | プライマリサーバ | DNSサーバ (プライマリ) のアドレスを設定します。POP/SMTTPサーバ名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 |
| セカンダリサーバ | | DNSサーバ (セカンダリ) のアドレスを設定します。POP/SMTTPサーバ名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 | 0.0.0.0 |



・「TCP/IP プロトコルを使用する」、「DNS サーバ」は、SSL 非対応版ファームウェアでサポートしています。SSL 対応版のファームウェアでは表示しません。

注意

| タブ | 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|--------|------------|-----------------|--|---------|
| TCP/IP | WINSサーバ | プライマリサーバ | WINSサーバ(プライマリ)のアドレスを設定します。WINSサーバはホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せず、ホスト名でプリンタを指定することができます。設定値は10進数「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。 | 0.0.0.0 |
| | | セカンダリサーバ | WINSサーバ(セカンダリ)のアドレスを設定します。WINSサーバはホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せず、ホスト名でプリンタを指定することができます。設定値は10進数「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。 | 0.0.0.0 |
| | | スコープID | 本機能は登録されたホスト名を認識する、コンピュータのグループを定義します。 | なし |
| | 高度な設定 | IPv6機能を使用する | IPv6の使用有無を指定します。IPv6とは、ホストアドレスを表すためのフィールドを拡大し、従来のTCP/IPで問題となっていた部分を修正、機能追加をした、新しいプロトコル形態です。 | DISABLE |
| | | NetworkPnPを使用する | UPnP機能の使用有無を指定します。Network PnPとは、自動的にネットワーク接続を検地する機能で、WindowsMe/XPでサポートしています。本製品をネットワークに接続するだけで、WindowsME/XPの「マイネットワーク」内に本製品のアンコンが一覧表示されます。表示されたアイコンをダブルクリックすると、本製品のWebページが表示され、設定の変更やステータス確認ができます。 | ENABLE |
| | アクセスコントロール | IPフィルタ動作設定 | IP フィルタの動作を設定します。設定には「ALLOW」と「DENY」があり、「ALLOW」にすると設定したIPアドレス範囲からのみデータを受けとります。「DENY」にすると設定したIPアドレス範囲からのデータを受けとりません。 | DENY |
| | | アドレス範囲指定 | IP フィルタの範囲を設定します。フィルタしたいIPアドレスの範囲は4組まで設定できます。設定が不要な場合はアドレス範囲を「0.0.0.0」から「0.0.0.0」にしてください。 | 0.0.0.0 |



注意

・「WINSサーバ」、「高度な設定」は、SSL 非対応版ファームウェアでサポートしています。SSL 対応版のファームウェアでは表示しません。

NetBEUI/NetBIOS の設定



| タブ | 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|---------|--------------------------|--|---------------------------------|
| NetBEUI | NetBEUI プロトコルを使用する | NetBEUI プロトコルを有効 (ENABLE) にします。 | ENABLE |
| | NetBIOS over TCP/IPを使用する | NetBIOS over TCP/IPプロトコルを有効 (ENABLE) にします。 | ENABLE |
| | コンピュータ名 | Windowsのexplorerに表示されるコンピュータ名を設定します。 | HIxxxxxx (Ethernetアドレス下6桁) |
| | ワークグループ | 本製品が所属するワークグループを設定します。ネットワークに無い、新しいワークグループ名はワークグループとして認識されません。 | HI-LAN-ADP |
| | コメント | 本製品のコメント (説明) を設定します。ここで設定した情報が、Windowsのexplorerにて本製品のコメント (説明) として表示されます。 | HITACHI PC-PB20301 |
| | マスタブラウザ機能を有効にする | マスタブラウザ機能を有効 (ENABLE) にします。 | ENABLE |



注意

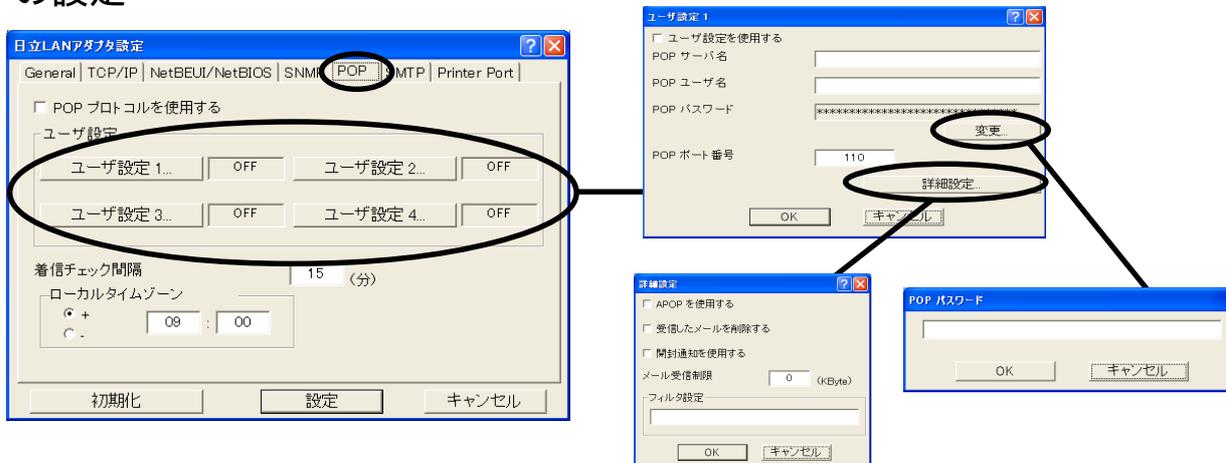
・本機能 (NetBEUI) は、SSL 非対応版ファームウェアでサポートしています。SSL 対応版のファームウェアでは表示しません。

SNMP の設定



| タブ | 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 | |
|--------------------|--|--|---|----|
| SNMP | 認証コミュニティ名 | SNMP の認証コミュニティ名を 設定します。このコミュニティ名は SNMP Set Request を受け付けるときに認証されます。 | public | |
| | Trapコミュニティ | SNMP のトラップコミュニティを 設定します。このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。 | public | |
| | Trap通知先アドレス | SNMP トラップの送信先 IP アドレスを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。 | 0.0.0.0 | |
| | MIB-設定項目 | SysContact | SysContact を設定します。通常は管理者のメールアドレスを設定します。 | なし |
| | | SysName | SysName を設定します。通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定します。 | なし |
| | | SysLocation | SysLocation を 設定します。通常は本製品のある場所を設定します。 | なし |
| | DefaultTTL | Default TTL を 0~255で設定します。この値はIPパケットの最大生存時間を意味しています。通常は、本製品のデフォルト時間を示します。通常は本製品のデフォルト値255から変更する必要はありません。 | 255 | |
| Enable Authen Trap | EnableAuthenTrapを有効 (ENABLE) にします。この設定を有効 (ENABLE) にすると、SNMP でコミュニティ違反が発生した時、SNMP トラップが「Trap通知先アドレス」で設定した IP アドレスに向けて発信されます。 | DISABLE | | |

POPの設定



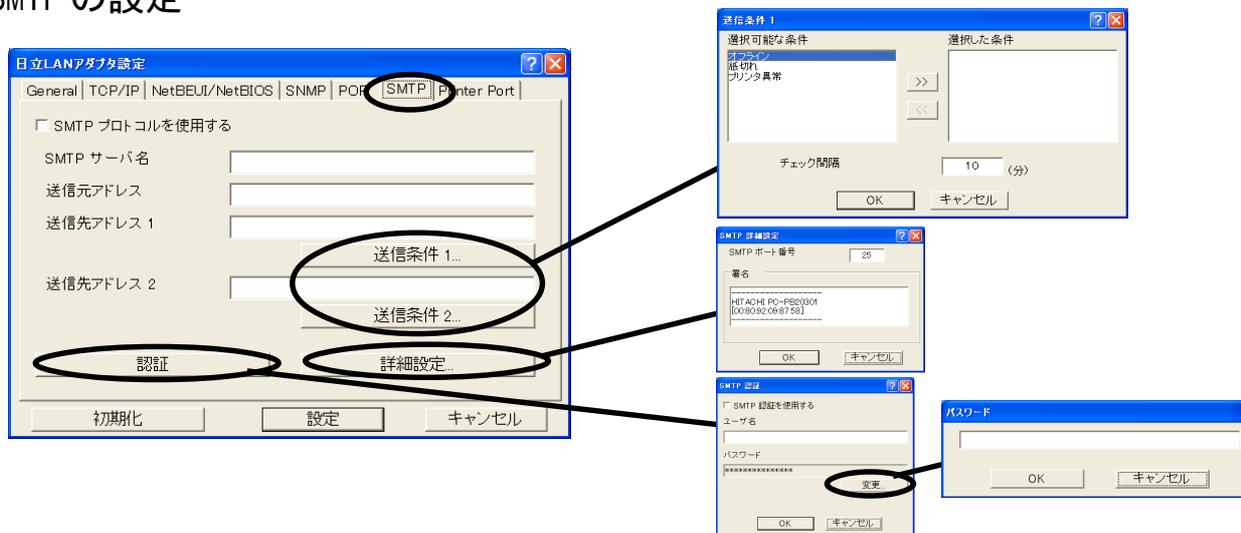
| タブ | 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 | |
|-----|------------------|------------------------------------|---|---------|
| POP | POPプロトコルを使用する | メール受信機能を有効 (ENABLE) にします。 | DISABLE | |
| | ユーザー設定 (1 ~ 4) | ユーザー設定を使用する | | ENABLE |
| | | POPサーバ名 | メールサーバのホスト名(またはIPアドレス)を設定します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。 | なし |
| | | POPユーザ名 | メールアカウントログイン名(ユーザ名)を設定します。 | なし |
| | | POPパスワード | メールサーバに接続する際に使用するパスワードを設定します。 | なし |
| | | POPポート番号 | POPポート番号を設定します。通常はデフォルト値(110)で使用してください。 | 110 |
| | 詳細設定 | APOPを使用する | APOPを有効 (ENABLE) にします。APOPを利用するには、メールサーバがAPOPに対応している必要があります。 | DISABLE |
| | | 受信したメールを削除する | 本製品が受信・印刷したメールをメールサーバ上から削除するかを設定します。印刷対象でない添付ファイルのあるメールは、この設定を有効 (ENABLE) にしていてもメールは削除されません。 | DISABLE |
| | | 開封通知を使用する | 開封通知が指定されたメールに対して返信を行うかを設定します。開封通知メールは、SMTP設定のサーバ情報に対して送信処理を行います。 | DISABLE |
| | | メール受信制限 | 指定したサイズ以上のメールを、処理対象から除外します。処理対象から除外されたメールは、「受信したメールをサーバから削除」の項目をチェックしている場合でも削除されません。この項目に0を設定した場合は、サイズによる制限は行わず、全てのメールを受信します。 | 0 |
| | | フィルタ設定 | 特定のメールのみ印刷するように設定します。ヌル(空文字列)の場合は、全てのメールが印刷の対象になります。タイトル条件(S:文字列)、宛先条件(T:文字列)、同報宛先条件(C:文字列)、送信元条件(F:文字列)の4種類のセンテンスをOR条件()または、AND条件(&)で接続した文字列で設定します。 | なし |
| | 着信チェック間隔(分) | メールサーバに着信を問い合わせる間隔を分単位で設定します。 | 15 | |
| | ローカルタイムゾーン | タイムゾーンを設定します。日本での使用は"+09:00"となります。 | +9:00 | |



注意

・本機能 (POP) は、SSL 非対応版ファームウェアでサポートしています。SSL 対応版のファームウェアでは表示しません。

SMTP の設定

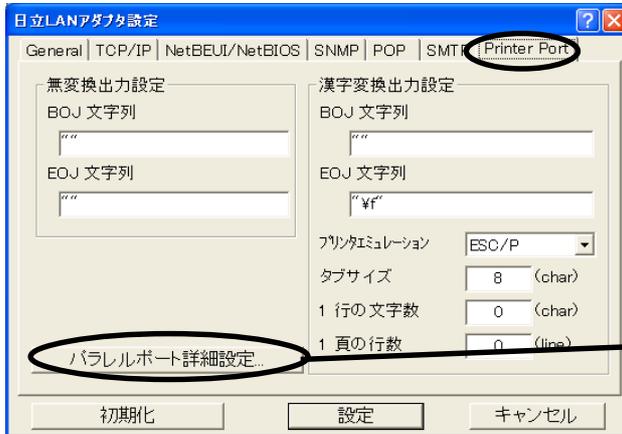


| タブ | 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 | |
|------|----------------|--|---|---|
| SMTP | SMTPプロトコルを使用する | SMTPプロトコルを有効 (ENABLE) にします。無効 (DISABLE) にするとE-Mail送信機能が停止します。 | DISABLE | |
| | SMTPサーバ名 | SMTPサーバのホスト名を設定します。ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。 | なし | |
| | 送信元アドレス | 送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。 | なし | |
| | 送信先アドレス(1~2) | 送信先のメールアドレスを設定します。 | なし | |
| | 送信条件 (1~2) | 選択条件 オフライン | プリンタがオフラインになったときメールを送信します。 | OFF |
| | | 用紙切れ | プリンタの用紙がなくなったときメールを送信します。 | OFF |
| | | プリンタ異常 | プリンタに異常が発生したときメールを送信します。 | OFF |
| | チェック間隔 | イベントの記録があるかを一定間隔 (分単位) でチェックします。この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。 | 10 | |
| | 詳細設定 | SMTPポート番号 | SMTPポート番号を設定します。通常はデフォルト値(25)で使用してください。 | 25 |
| | | 署名 | メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。 | ----- HITACHI PC-PB20301 [XX:XX:XX:XX:XX:XX] ----- (製品名とEthernetアドレス) |
| 認証 | SMTP認証を使用する | SMTP認証の使用有無を指定します。 | DISABLE | |
| | ユーザ名 | SMTP認証名を指定します。 | なし | |
| | パスワード | SMTP認証パスワードを指定します。 | なし | |



・本機能(SMTP)は、SSL非対応版ファームウェアでサポートしています。SSL対応版のファームウェアでは表示しません。

PrinterPort の設定



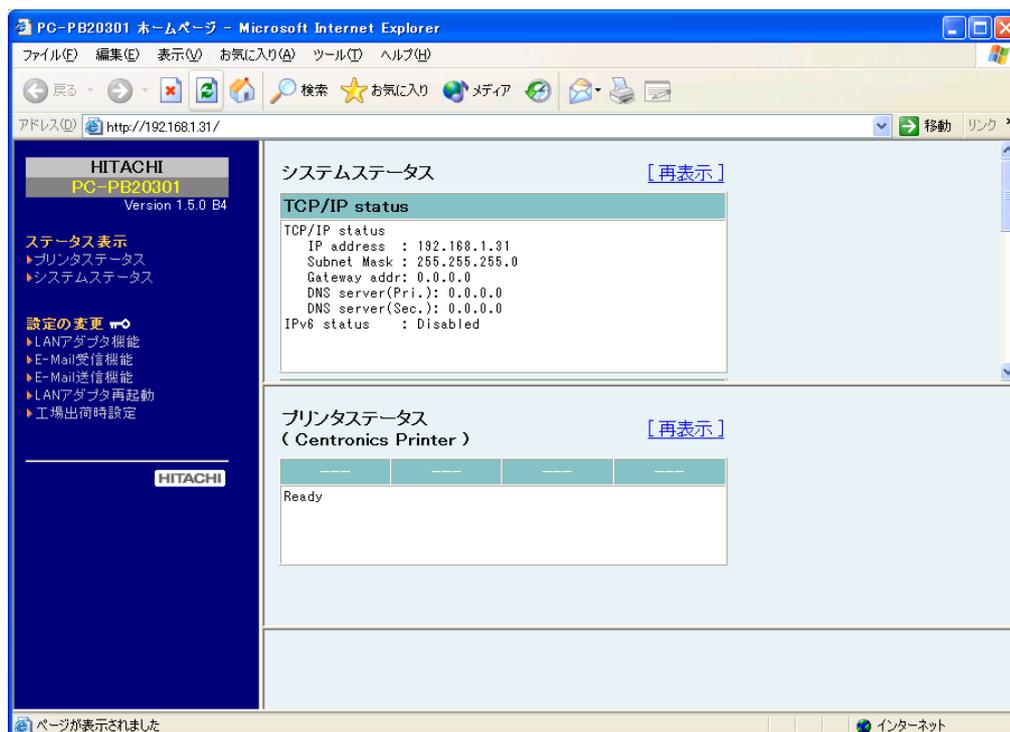
| タブ | 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 | |
|--------------|-------------|-------------------|--|----------|
| Printer Port | 無変換出力設定 | BOJ 文字列 | 直接出力ポート (lpポート) に出力する前に、プリンタに送出する文字列 (最大31文字) を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。 | なし |
| | | EOJ 文字列 | 直接出力ポート (lpポート) に出力した後に、プリンタに送出する文字列 (最大31文字) を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。 | なし |
| | 漢字変換出力設定 | BOJ 文字列 | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/eucポート) に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。 | なし |
| | | EOJ 文字列 | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/eucポート) に出力する後に、プリンタに送出する文字列 (最大31文字) を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。 | ¥f |
| | | プリンタエミュレーション | プリンタのエミュレーション (PDL) に応じた設定をします。漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc) に出力する際に、プリンタのエミュレーションに応じたコードに変換します。 | ESC/P |
| | | タブサイズ | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/eucポート) に出力する時のタブコード (0x09) を半角スペース (0x20) に変換する文字数を設定します。この文字数を0にすると、タブ変換処理は行われません。設定値は、0~16です。 | 8 |
| | | 1行の文字数 | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/eucポート) に出力する時の1行の文字数を設定します。この文字数を0にすると行の文字数制御を行いません。設定値は、0~255です。 | 0 |
| | | 1頁の行数 | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/eucポート) に出力する時の1頁の行数を設定します。この行数を0にするとページの行制御を行いません。設定値は、0~255です。 | 0 |
| | パラレルポート詳細設定 | 双方向モード | 双方向通信方法を設定します。設定値は NONE, NIBBLE, BYTE, ECP, ECP (RLE), AUTO です。通常は "NONE" に設定してください。 | NONE |
| | | セントロニクス I/F タイミング | セントロニクス I/F のタイミングを設定します。設定値は、Fastest, Fast, Standard, Slow, Slower です。通常は Standard に設定してください。 | Standard |

Webブラウザで設定する

本製品はHTTPプロトコルを搭載していますので、Webブラウザを利用して本製品の詳細な設定及び設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動や自己診断印刷、プリンタステータスマニタなどの便利な機能をご利用いただくことができます。



- Webブラウザを利用する場合、本製品のTCP/IPプロトコル設定が有効であり、IPアドレスが設定されている必要があります。
- Webブラウザは、Netscape Navigator 3.0以降及びInternet Explorer 3.0以降のバージョンを推奨します。また、ご利用になるWebブラウザによって多少表示が異なる場合があります。
- 本製品の機種によっては、Webブラウザに表示される内容が異なります。
- Webブラウザを利用して設定変更を行った場合は、必ず「プリントサーバ再起動」を実行してください。実行しないと変更した設置情報が本製品に登録されません。
- 部分的に表示しないあるいは遅れる場合は更新ボタンをクリックしてください。



本製品のWebページを表示する

設定を行う本製品のWebページを表示します。表示方法は2つあります。

AdminManager から Web ページを表示する

AdminManagerの一覧表示の中から、設定を行う本製品を選択し、メニューの「設定」- 「HTTPによる設定」をクリックする。

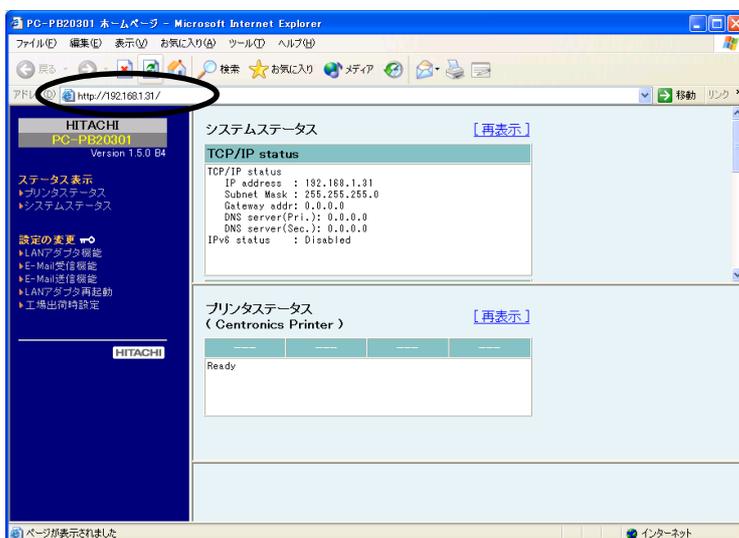


Web ブラウザから Web ページを表示する

本製品に設定された IP アドレスを Web ブラウザに入力する。

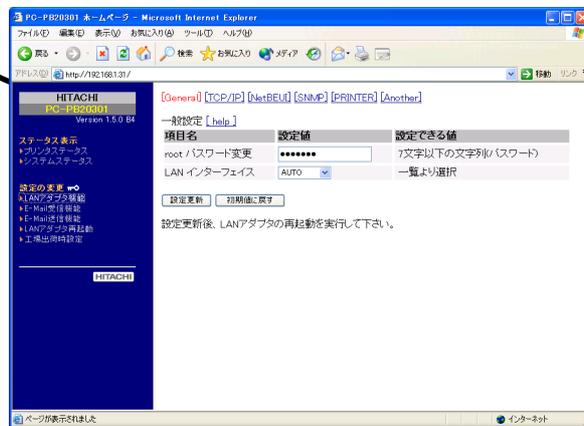
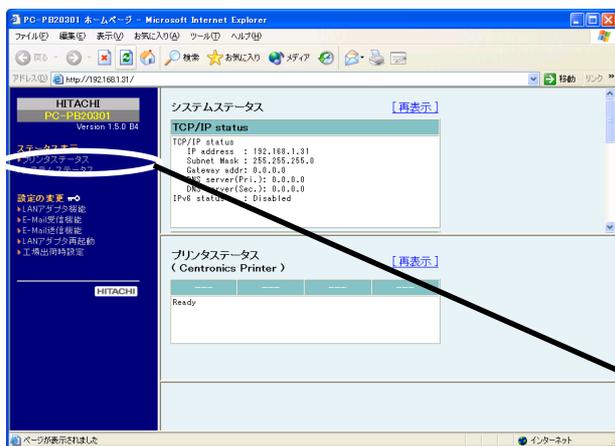
例 : `http://10.145.43.2`

`https://10.145.43.2`(セキュア(SSL)通信印刷機能が有効の場合)



本製品のWebページから設定する

Webブラウザに表示されている設定項目から設定したい項目をクリックすると設定Web画面が表示されます。必要な項目に設定値を入力してください。



本製品 Web ページメニュー構成

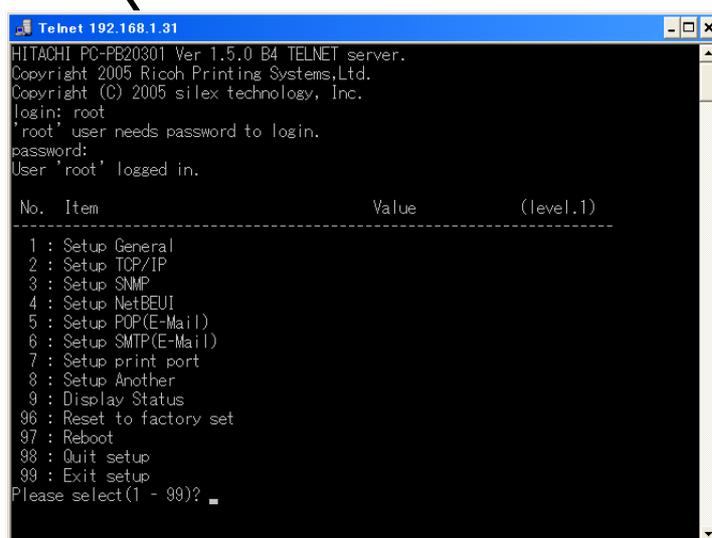
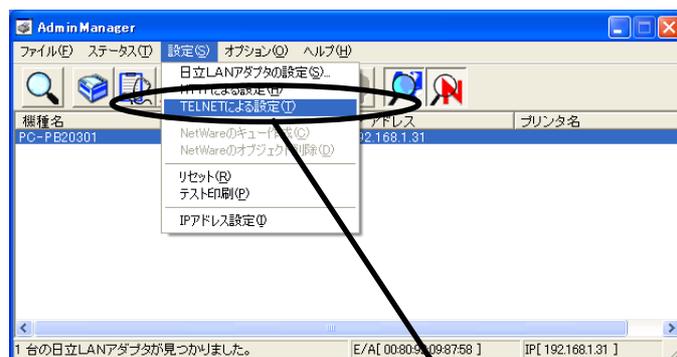
| | 項目 | 説明 |
|---------|------------|-------------------------------|
| ステータス表示 | プリンタステータス | プリンタステータスを表示 |
| | システムステータス | システムステータスを表示 |
| 設定の変更 | プリントサーバ機能 | 本製品の各種設定 |
| | E-Mail受信機能 | E-Mail受信機能の設定 |
| | E-Mail送信機能 | E-Mail送信機能の設定 |
| | SSL証明書作成 | セキュア (SSL)通信印刷機能を使用するための証明書作成 |
| | プリントサーバ再起動 | 本製品の再起動 |
| | 工場出荷時設定 | 本製品の工場出荷時設定実行 |

TELNETで設定する

本製品はTELNETプロトコルを搭載していますので、UNIXマシンまたは、パソコンのTCP/IPソフトに付属のTELNETを利用して本製品の詳細な設定及び設定内容の変更を行うことができます。



- TELNET を利用する場合は、IP アドレスが設定されている必要があります。
- TELNET で設定を行うには root ユーザでログインする必要があります。



Webブラウザ/TELNET設定項目

プリントサーバ機能

General

| | 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|---------|--------------------------|----------------------|--|--------|
| | Webブラウザ | TELNET | | |
| General | 一般設定 / Configure General | | | |
| | rootパスワード変更 | Change root Password | 本製品の管理パスワードをASCII文字列（7文字以内）で設定します。このパスワードはAdminManager、TELNET、Webで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。 | なし |
| | LANインタフェース | LAN Interface | 物理ネットワークの種別を設定します。通常はAUTOで使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続されるHUBのLINKランプが点灯しない場合は、この設定を接続HUBのネットワーク種別に変更します。設定項目はAUTO/10HALF/10FULL/100HALF/100FULLがあります。 | AUTO |

TCP/IP

| 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|-----------------------------|-------------------------------------|---|---------|
| Webブラウザ | TELNET | | |
| TCP/IP設定 / Configure TCP/IP | | | |
| TCP/IP プロトコル | TCP/IP Protocol | TCP/IPプロトコルを有効(ENABLE)にします。 | ENABLE |
| IPアドレス | IP address | 本製品のIPアドレスを10進数 「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 | 0.0.0.0 |
| サブネット マスク | Subnet mask | 本製品のサブネットマスクを10進数 「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 「0.0.0.0」は無効になり、IPアドレスに応じた サブネットマスクが自動的に使用されます。 | 0.0.0.0 |
| ゲートウェイ | Gateway address | 本製品のデフォルトゲートウェイを10進数 「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 「0.0.0.0」は無効になります。 | 0.0.0.0 |
| RARP | RARP protocol | RARPプロトコルを有効(ENABLE)にします。本設定 をENABLEにすると起動時にRARPサーバよりIPアド レスを設定します。本製品をRARPによって設定す るには、サブネットワーク内に適切に設定された RARPサーバが稼動していなければなりません。 | DISABLE |
| DHCP/BOOTP | DHCP/BOOTP protocol | DHCP/BOOTPプロトコルを有効(ENABLE)にします。 DHCP/BOOTPは、起動時にDHCPサーバまたはBOOTP サーバからIPアドレスの取得を行うプロトコルで す。本製品のIPアドレスをDHCP/BOOTPによって設 定するには、サブネットワーク内に適切に設定さ れたDHCP/BOOTPサーバが稼動していなければなり ません。本設定を有効(ENABLE)にすると、DHCPと BOOTPを自動認識し、先に応答のあったIPアドレ スを自分のアドレスとして採用します。 | DISABLE |
| IPv6機能 | IPv6 Function | IPv6を有効(ENABLE)にします。IPv6とは、ホスト アドレスを表すためのフィールドを拡大し、従来 のTCP/IPで問題となっていた部分を修正、機能追 加をした、新しいプロトコル形態です。 | DISABLE |
| Network PnP 機能 | Network PnP Enable | UPnP機能を有効(ENABLE)にします。Network PnP とは、自動的にネットワーク接続を検地する機能 で、WindowsMe/XPでサポートしています。本製品 をネットワークに接続するだけで、WindowsME/XP の「マイネットワーク」内に本製品のアイコンが一 覧表示されます。表示されたアイコンをダブルク リックすると、本製品のWebページが表示され、 設定の変更やステータス確認ができます。 | ENABLE |
| < TELNETのみ 設定可能 > | TCP#9100 Bi- Directional mode | TCP#9100 Bi-Directional mode を有効(ENABLE) にします。 | DISABLE |
| DNS設定 / DNS | | | |
| DNSサーバ (Pri.) | DNS server(Pri.) | DNSサーバ(プライマリ)のアドレスを設定しま す。POP/SMTPサーバ名をIPアドレスで直接設定す る場合は、設定する必要はありません。10進数 「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 | 0.0.0.0 |
| DNSサーバ (Sec.) | DNS server(Sec.) | DNSサーバ(セカンダリ)のアドレスを設定しま す。POP/SMTPサーバ名をIPアドレスで直接設定す る場合は、設定する必要はありません。10進数 「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 | 0.0.0.0 |



注意

・「TCP/IP プロトコル」、「IPv6 機能」、「Network PnP 機能」、「DNS サーバ(Pri.)/DNS
サーバ(Sec.)」は、SSL 非対応版のファームウェアでサポートしています。
SSL 対応版のファームウェアでは本設定は表示しません。

| 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|-----------------------------|-------------------------------|---|---------|
| Webブラウザ | TELNET | | |
| WINS設定 / WINS | | | |
| プライマリサーバ | Primary Server | WINSサーバ(プライマリ)のアドレスを指定します。WINSサーバはホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せずにホスト名を使用して印刷することができます。10進数「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で設定します。 | 0.0.0.0 |
| セカンダリサーバ | Secondary Server | WINSサーバ(セカンダリ)のアドレスを指定します。WINSサーバはホスト名をIPアドレスに割り当てます。これにより、TCP/IP印刷の際にIPアドレスを使用せずにホスト名を使用して印刷することができます。10進数「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で設定します。 | 0.0.0.0 |
| スコープID | Scope ID | スコープIDは登録されたホスト名を認識する、コンピュータのグループを定義します。 | なし |
| IPフィルタ設定 / IP Filter Config | | | |
| IPフィルタ動作設定 | Filter Mode | IPフィルタの動作を設定します。設定には「allow」と「deny」があり、「allow」にすると設定したIPアドレス範囲からのみデータを受けとります。「deny」にすると設定したIPアドレス範囲からのデータを受けとりません。 | DENY |
| フィルタ #0-3 開始/終了アドレス | Filter #0-3 Start/End address | IPフィルタの範囲を設定します。フィルタしたいIPアドレスの範囲は4組まで設定できます。設定が不要な場合はアドレス範囲を「0.0.0.0」から「0.0.0.0」にしてください。 | 0.0.0.0 |
| セキュリティレベル設定 | | | |
| セキュリティレベル | Security Configuration | セキュリティレベルを設定します。セキュリティレベルの設定により、各プロトコルの有効/無効を設定します。なお、本項目をCUSTOMに設定すると、各プロトコル毎での有効/無効の設定が可能になります。ただし、SETUP Protocol、TELNET、HTTP、HTTPSの4項目全てを無効にすると本製品の設定変更ができなくなるため、エラー表示と設定の見直しを要求します。また、セキュリティレベルがlevel1, level2になっている場合は個々のプロトコルを手動で設定できません。なお、本設定がCUSTOM以外の場合は、TELNETからの変更はできません。TELNETから本設定を変更する場合は、セキュリティレベルをCUSTOMに設定してください。 | Level1 |



注意

- ・「WINS 設定」は、SSL 非対応版ファームウェアでサポートしています。SSL 対応版のファームウェアでは本設定は表示しません。
- ・「セキュリティレベル設定」は、SSL 対応版ファームウェアでサポートしています。SSL 非対応版のファームウェアでは本設定は表示しません

NetBEUI/NetBIOS

| | 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|---------|---|------------------|---|----------------------------|
| | Webブラウザ | TELNET | | |
| NetBEUI | NetBEUI/NetBIOS設定 / Configure NetBEUI/NetBIOS | | | |
| | NetBEUIプロトコル | NetBEUI protocol | NetBEUI プロトコルを有効 (ENABLE) にします。 | ENABLE |
| | コンピュータ名 | Computer name | Windowsのエクスプローラに表示されるコンピュータ名を設定します。 | Hixxxxxx (Ethernetアドレス下6桁) |
| | ワークグループ | Workgroup name | 本製品が所属するワークグループを設定します。ネットワークに無い、新しいワークグループ名はワークグループとして認識されません。 | HI-LAN-ADP |
| | コメント | Comment | 本製品のコメント (説明) を設定します。ここで設定した情報が、Windowsのエクスプローラにて本製品のコメント (説明) として表示されます。 | HITACHI PC-PB20501 |
| | NetBIOS over TCP | NetBIOS over TCP | NetBIOS over TCP プロトコルを有効 (ENABLE) にします。 | ENABLE |
| | ブラウズマスタ機能 | Browse Master | ブラウズマスタ機能を有効 (ENABLE) にします。 | ENABLE |



・本設定 (NetBEUI) は、SSL 非対応版ファームウェアでサポートしています。SSL 対応版のファームウェアでは本設定は表示しません。

注意

SSL

| | 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|-----|-------------|--------------|--|--------|
| | Webブラウザ | TELNET | | |
| SSL | SSL設定 / SSL | | | |
| | 暗号化を使用する | Secure Print | 印刷データを暗号化します (ENABLE)。印刷データの暗号化には、セキュア (SSL) 通信を使用します。セキュア (SSL) 通信は、インターネットで個人情報等を入力する際に、盗聴やなりすまし防止に使用される通信方式で、一般化されたセキュリティ機能の一つです。本製品では第三者によるデータの盗用や改ざんを防止するため、本機能により印刷データの暗号化と承認を用いた通信方式により印刷を行います。 | ENABLE |
| | 暗号化方式 | SSL Mode | 暗号化方式を設定します。暗号化方式には性能重視 (速度優先) と品質重視 (高暗号化率) が設定できます。性能重視 (Level1) 品質重視 (Level2) | Level1 |



・本設定 (SSL) は、SSL 対応版ファームウェアでサポートしています。SSL 非対応版のファームウェアでは本設定は表示しません。
 ・セキュア (SSL) 通信印刷機能は、印刷データを暗号化するためデータ量が増えます。そのためデータ転送時間がかかり、通常印刷と比較して印刷性能が低下します。

注意

SNMP

| 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|------------------------|---------------------|--|---------|
| Webブラウザ | TELNET | | |
| SNMP設定 / Cofigure SNMP | | | |
| 認証コミュニティ名 | Authentic community | SNMPの認証コミュニティ名を設定します。このコミュニティ名はSNMP Set Requestを受付けるときに承認されます。 | public |
| Trapコミュニティ名 | Trap community | SNMPのトラップコミュニティを設定します。このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。 | public |
| Trap通知先アドレス | Trap address | SNMPトラップの送信先IPアドレスを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定すると本項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。 | 0.0.0.0 |
| SysContact | SysContact | SysContactを設定します。通常は管理者のメールアドレスを設定します。 | なし |
| SysName | SysName | SysNameを設定します。通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定します。 | なし |
| SysLocation | SysLocation | SysLocationを設定します。通常は本製品の設置されている場所を設定します。 | なし |
| Default TTL | Default TTL | Default TTL を 0~255で設定します。この値はIPパケットの最大生存時間を意味しています。通常は、本製品のデフォルト時間を示します。通常は本製品のデフォルト値255から変更する必要はありません | 255 |
| Enable AuthenTrap | Enable AuthenTrap | Enable AuthenTrapを許可(1)/禁止(2)で設定します。この設定を許可(1)にすると、SNMPでコミュニティ違反が発生した場合、SNMPトラップが「Trap通知先アドレス」で設定したIPアドレスに向けて発信されます。 | 2 |

PRINTER

| 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|------------------------------------|-----------------------|---|----------|
| Webブラウザ | TELNET | | |
| PRINTER設定 / Configure Printer Port | | | |
| BOJ文字列 | BOJ string | 直接出力ポート (lpポート) に出力する前に、プリンタに送出する文字列 (最大31文字) を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。 | なし |
| E0J文字列 | E0J string | 直接出力ポート (lpポート) に出力した後に、プリンタに送出する文字列 (最大31文字) を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。 | なし |
| BOJ文字列 (漢字) | BOJ string (KANJI) | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/eucポート) に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。 | なし |
| E0J文字列 (漢字) | E0J string (KANJI) | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/eucポート) に出力する後に、プリンタに送出する文字列 (最大31文字) を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。 | ¥f |
| プリンタ選択 | Printer type | プリンタのエミュレーション (PDL) に応じた設定をします。漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc) に出力する際に、プリンタのエミュレーションに応じたコードに変換します。 | ESC/P |
| タブサイズ (char.) | TAB Size (char.) | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc) に出力する時のタブコード (0x09) を半角スペース (0x20) に変換する文字数を設定します。この文字数を0にすると、タブ変換処理は行われません。設定値は、0~16です。 | 8 |
| 1行の文字数 (char.) | Page Width (char.) | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc) に出力する時の1行の文字数を設定します。この文字数を0にすると行の文字数制御を行いません。設定値は、0~255です。 | 0 |
| 1ページの行数 (line) | Page Length (line) | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc) に出力する時の1ページの行数を設定します。この行数を0にするとページの行制御を行いません。設定値は、0~255です。 | 0 |
| lpr/ftp バナー | lpr/ftp banner | FTPまたはLPDE印刷時のバナーページ印刷を有効 (YES) にします。 | NO |
| 双方向モード | Print port mode | 双方向通信方法を設定します。設定値は NONE, NIBBLE, BYTE, ECP, ECP (RLE), AUTO です。通常は "NONE" に設定してください。 | NO |
| セントロニクス I/F タイミング | Centronics I/F timing | セントロニクス I/F のタイミングを設定します。設定値は、Fastest, Fast, Standard, Slow, Slower です。通常は Standard に設定してください。 | Standard |

E-Mail受信 (POP)

| | 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 | |
|-----------------------|--------------------------------|--|--|--|---------|
| | Webブラウザ | TELNET | | | |
| E-Mail 受信 (POP) | 基本 設定 | POPプロトコル | POP Protocol | POPプロトコルを有効(ENABLE)にします。 | DISABLE |
| | | チェック間隔 (分) | Retrieve every (min.) | メールサーバに着信を問い合わせる間隔を 分単位で設定します。 | 15 |
| | | ローカルタイム ゾーン | Local Time Zone | タイムゾーンを設定します。日本での使用 は"+09:00"となります。 | +9:00 |
| | このユーザ設定を使用 する(1~4) | User profile (1~4) | 各ユーザのメール受信機能を有効 (ENABLE)にします。 | DISABLE | |
| | POPサーバ名 | POP server name | メールサーバのホスト名(またはIPアドレ ス)を設定します。ドメイン名を使用する場 合はDNSサーバの設定が必要です。 | なし | |
| | POPポート番号 | POP port number | POPポート番号を設定します。通常はデフォ ルト値(110)で使用してください。 | 110 | |
| | POPユーザ名 | POP user name | メールアドレスのログイン名(ユーザ名) を設定します。 | なし | |
| | POPパスワード | POP password | メールサーバに接続する際に使用するパス ワードを設定します。 | なし | |
| | APOPを使用す る | Use APOP | APOPを有効(ENABLE)にします。APOPを利用 するには、メールサーバがAPOPに対応し ている必要があります。 | NO | |
| | 受信したメール を削除する | Delete mail | 本製品が受信・印刷したメールをメール サーバ上から削除するかを設定します。印 刷対象でない添付ファイルのあるメール は、この設定を有効(ENABLE)にしていて もメールは削除されません。 | NO | |
| メール受信制 限(Kbyte) | Maximum Retrieve (KByte) | 指定したサイズ以上のメールを、処理対象 から除外します。処理対象から除外された メールは、「受信したメールをサーバから 削除」の項目をチェックしている場合でも 削除されません。この項目に0を設定した場 合は、サイズによる制限は行わず、全ての メールを受信します。 | 0 | | |
| フィルタ設定 | Filter setting | 特定のメールのみ印刷するように設定しま す。ヌル(空文字列)の場合は、全てのメ ールが印刷の対象になります。タイトル条件 (S:文字列)、宛先条件(T:文字列)、同報宛 先条件(C:文字列)、送信元条件(F:文字列) の4種類のセンテンスをOR条件()または AND条件(&)で接続した文字列で設定しま す。 | なし | | |
| 開封通知 | Request a read receipt | 開封通知が指定されたメールに対して返信 を行うかを設定します。開封通知メール は、SMTP設定のサーバ情報に対して送信処 理を行います。 | NO | | |



・本設定(E-Mail受信(POP))は、SSL非対応版ファームウェアでサポートしています。
SSL対応版のファームウェアでは本設定は表示しません。

注意

E-Mail送信 (SMTP)

| 項目 | 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 | |
|------------------------|------------------|------------------------|--|---|---------|
| | Webブラウザ | TELNET | | | |
| E-Mail 送信 (SMTP) | SMTPプロトコル | SMTP protocol | SMTPプロトコルを有効 (ENABLE) にします。無効にするとE-Mail送信機能が停止します。 | DISABLE | |
| | SMTPサーバ名 | SMTP server name | SMTPサーバのホスト名を設定します。ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。 | なし | |
| | SMTPポート番号 | SMTP port number | SMTPポート番号を設定します。通常はデフォルト値(25)で使用してください。 | 25 | |
| | 送信元アドレス | From Address | 送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。 | なし | |
| | 署名 | Signature Line (1~4) | メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。 | ----- HITACHI PC-PB20301 [XX:XX:XX:XX:XX:XX] ----- (製品名とEthernetアドレス) | |
| | 送信アドレス (1~2) | Event to Address (1~2) | 送信アドレス (1~2) の送信条件を設定します。 | - | |
| | | 送信先アドレス (1~2) | 送信先のメールアドレスを設定します。 | なし | |
| | | チェック間隔 (分) | イベントの記録があるかを一定間隔 (分単位) でチェックします。この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。 | 10 | |
| | | オフライン | プリンタがオフラインになったときメールを送信します。 | OFF | |
| | | 紙切れ | プリンタの用紙がなくなったときメールを送信します。 | OFF | |
| | | プリンタ異常 | プリンタに異常が発生したときメールを送信します。 | OFF | |
| | SMTP 認証 設定 | SMTP認証 | SMTP AUTH Enable | SMTP認証の使用有無を指定します。 | DISABLE |
| | | SMTP認証名 | SMTP AUTH Name | SMTP認証名を指定します。 | なし |
| SMTP認証パスワード | | SMTP AUTH Password | SMTP認証パスワードを指定します。 | なし | |



注意

・本設定 (E-Mail 送信 (SMTP)) は、SSL 非対応版ファームウェアでサポートしています。SSL 対応版のファームウェアでは本設定は表示しません。

その他の設定 (Another)

| | 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|---------|---------------------------|-------------------------|--|---------|
| | Webブラウザ | TELNET | | |
| Another | その他の設定 / Cofigure Another | | | |
| | 印刷トラップ コミュニティ 名称 | Print Trap community | 印刷完了時にSNMPでTrapを通知する際に使用するコミュニティ名称を指定します。設定値は16文字以内の文字列です。 | public |
| | 印刷トラップ アドレス | Print Trap Address | 印刷完了時にSNMPでTrapを通知する通知先IPアドレスを指定します。 | 0.0.0.0 |
| | PE後の リポート処理 | PE/Reboot | 印刷トラップアドレス(Print Trap Address)が設定されている状態(拡張プリントマネージャがインストールされている状態)で、LPRE印刷中に用紙なしが発生した時に、本製品をリポートする/しないを設定します。本機能をENABLEに設定すると、用紙なし発生後の継続印刷で受信済みデータを削除し、掃き出印刷を抑制します。 | Disable |

SSL証明書作成項目

| | 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 | |
|----------|---------|-----------|------------------|---|---|
| | Webブラウザ | TELNET | | | |
| SSL証明書作成 | 証明書情報設定 | 国 / 地域コード | Webのみ 設定可能 | 国 / 地域コード(二文字の文字列)を設定します。 (例)日本-JP、米国-US | なし |
| | | 都道府県名 | | 都道府県を設定します。 (例)Tokyo | なし |
| | | 市区町村名 | | 市区町村を設定します。 (例)Minatoku Shinagawa | なし |
| | | 組織名 | | 組織名を設定します。 (例)Richo Printhing Systems,Ltd. | なし |
| | | 部門名 | | 部門名を設定します。 (例)Kikaku | なし |
| | | 一般名 | | 任意の名称を設定します。 (例)PC-PB20301 | なし |
| | | メールアドレス | | E-mailアドレスを設定します。 (本項目は空白でも設定可能です。) | なし |
| | | 有効期限日 | | 発効日 | PCから現在時刻を取得した協定世界時(UTC) で表示します。本設定は固定で変更はできません。 |
| | 有効期限 | | 証明書の有効期限日を設定します。 | 2049/12/31 23:59:59 | |



注意

- ・本設定 (SSL 証明書作成) は、SSL 対応版ファームウェアでサポートしています。SSL 非対応版のファームウェアでは本設定は表示しません。
- ・本設定項目は Web ブラウザ画面からのみ設定することができます。

| | |
|--------------------|-----|
| 第7章 困ったときには | 7-2 |
| 使用上の制限事項について | 7-2 |
| トラブルシューティング | 7-6 |

第7章 困ったときには

使用上の注意事項および制限事項について

本製品を使用する上で以下の注意事項および制限事項があります。問題発生時に合せて確認してください。

- (1)本製品をご使用の際は、各プリンタの取扱説明書を参照し、プリンタ側の設定を下記の通り設定するようにしてください。
受信バッファ(同期印刷): 無効(する)
TOF(用紙先頭)位置時の改頁コード: 無効
- (2)ご使用のパソコンにセキュリティソフトウェアがインストールされていてファイアウォール機能が有効になっている、または、Windows OSでファイアウォール機能が有効になっていると、ユーティリティの検索機能で本製品を検索できません。
ユーティリティの検索機能をご使用する際は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。
- (3)本製品のご使用にあたっては、HI-Print のLPRポートを推奨していますが、各印刷ポートには次ページの制限事項があります。業務形態にあった印刷ポートをご使用頂くようお願いいたします。
- (4)本製品はセキュア(SSL)通信印刷機能をはじめとする、各種セキュリティ機能をサポートするにあたり、従来機能の一部を非サポートとしました。これらの機能を使用する場合は、「第2章 セットアップユーティリティ」をご参照ください。
- (5)セキュア(SSL)印刷機能とNetBEUI,SMTP,POP3,DNSとの混在印刷について
本製品はセキュア(SSL)印刷機能に対応したファームウェアとNetBEUI等に対応したファームウェアが異なります。そのため、これらの混在印刷はできません。

【HI-Print の印刷ポート】

- ・プリンタの状態監視を行っているため、複数JOB連続印刷時、印刷JOBと印刷JOBの間に一時停止する場合があります。
- ・プリンタエラー(通信エラー以外)状態で放置した場合、エラーメッセージが表示(*1)されます。
エラーが回復した場合、または「再試行」を選択してエラー回復させた場合、続きのデータが送信されて継続印刷をします。「キャンセル」を選択した場合、スプール上に仕掛かっている当該JOBを削除します。ただし、LANボードで受信済みのデータは残っているため、次のJOBを印刷すると文字化け等が発生します。「キャンセル」を選択する場合は、必ずプリンタの電源OFF/ONを行ってください。
- ・通信エラーが発生した場合、エラーメッセージが表示されます。エラーを回復させて「再試行」を選択すると、スプール上に仕掛かっている当該JOBの先頭からデータが再送されて継続印刷を行います。
ただし、プリンタの電源断以外による通信エラーの場合、LANボードに受信済みのデータが残っているため、次のJOBを印刷すると文字化け等が発生します。「キャンセル」を選択する場合は、スプール上に仕掛かっている当該JOBを削除し、必ずプリンタの電源OFF/ONを行ってください。
- ・HI-Print のRAWポートを使用する場合は、セキュリティソフトウェアが常駐している、またはWindowsXPでファイアウォール機能が有効になっていると、プリンタエラー状態で印刷JOBを送信した後、通信エラーが発生し、次の印刷JOBを送信できなくなる場合があります。

(*1)印刷ポートにより、初期値が異なります。

LPRポート /RAWポート:15分、IPPポート:3分

【Windows 標準の印刷ポート】

OS標準ポートでは以下の制限事項があります。

Standard TCP/IP LPRポート

- ・LPRバイトカウントを有効にしないと印刷が異常終了する場合があります。
必ずLPRバイトカウントを有効にしてください。また、印刷データサイズが大きい場合、LPRバイトカウント処理を行うため、スプーリングに時間を要することがあります。
- ・プリンタエラー状態で放置した場合、当該JOBの先頭頁からリトライされるため、重複印刷することがあります。

Standard TCP/IP RAW ポート

- ・ データサイズをカウントしていないため、印刷データが抜ける場合があります。
- ・ 印刷データサイズが小さい場合、プリンタエラー状態で印刷JOBを送信するとJOBが消えることがあります。

LPR Port (UNIX印刷サービス)

- ・ 複数JOBを連続印刷した場合、途中のJOBが印刷終了してからしばらく印刷が停止(最大4分)した後に印刷を再開することがあります。
- ・ プリンタエラー状態で放置した場合、当該JOBの先頭頁からリトライされるため、重複印刷することがあります。

(6) 拡張プリンタマネージャを用いてエラーリカバリ機能を使用する場合、以下の点にご注意の上、設定してください。

- ・ プリンタエラー発生時のリカバリ処理により、他の印刷ポートから送信したJOBが消える場合があります。拡張プリンタマネージャをご使用(Another設定項目内の「Print Trap Address」を設定した時)の場合、他の印刷ポートからの印刷を混在させないでください。
- ・ 拡張プリンタマネージャをご使用の場合、SNMP設定項目内の「Authentic community」とAnother設定項目内の「Print Trap Community」の設定は、拡張プリンタマネージャのコミュニティ名設定と同一にしてください。
- ・ 拡張プリンタマネージャをインストールしたパソコンのIPアドレスは、Another設定項目内の「Print Trap Address」にだけに設定してください。
- ・ 「PE/Reboot」は「ENABLE」に設定してください。
- ・ SNMP設定項目内の「Trap Address」は、「0.0.0.0」を設定してください。
また、拡張プリンタマネージャを使用しない場合は、Another設定項目内の「Print Trap Address」を「0.0.0.0」に設定してください。(デフォルトは「0.0.0.0」です。)

(7) セキュア(SSL)通信印刷機能を使用する場合、以下の点にご注意ください。

- ・ セキュア(SSL)通信印刷機能は、印刷データを暗号化するためデータ量が増えます。そのためデータ転送時間がかかり、通常印刷と比較して印刷性能が低下します。
- ・ セキュア(SSL)通信印刷機能のサポートにより、SSL非対応版(旧バージョン)に含まれていた機能の一部を非サポートとしました。これらの機能を使用する場合は、「第2章 セットアップユーティリティ」をご参照ください。
- ・ セキュア(SSL)通信印刷機能に対応するプロトコルはIPP,HTTPSです。

(7) Solaris2.x対応について

本製品を Solaris2.x でご利用になる場合、Solaris の仕様により以下の制限事項があります。

印刷開始後、プリンタがオフライン等でデータを受け付けられない状態が長く続いた場合、Solaris 側でタイムアウトして再印刷（再接続）されるために、印刷データが途中で切れ、1 頁から再度印刷される場合があります。

"lpstat -p プリンタ名" にてプリンタのステータスを表示した場合、プリンタの状態ステータスとして返す任意の文字列（PrinterReady 等）を Solaris 側で解釈できず "Faulted" と表示した後、任意の文字列を表示します。

Solaris よりデータを出力中は、同じマシンから本製品に対する印刷関連コマンドが正常に動作しません。これは Solaris 側がデータの送信が終了するまで他のパケットを出す事が出来ない為で、以下の現象が発生します。

"lpstat -p [プリンタ名]" に対して "system not responding" と表示されます。cancel コマンドの後、lpstat などを行うと lpstat がエラーになる場合があります。この場合は、プリンタスケジューラデーモンが停止している可能性がありますので "lpstat -r" で確認する必要があります。

"scheduler is not running" と表示された場合デーモンが停止していますので、下記のように入力しプリンタスケジューラデーモンを再起動してください。

```
/bin/sh /etc/init.d/lp start
```

"cancel" で存在しないジョブを削除しても Solaris ではエラーになりません。

トラブルシューティング

本章では本製品の導入時に想定される問題と、その対処方法を説明します。(1)の対処方法により解決できない場合は、LAN ボードの故障が考えられます。販売会社、担当営業または、保守会社に連絡してください。

(1)LAN ボードの設定情報印刷を実行した後に初期化を実行してください。操作方法は「第1章 本製品について」の「ディップスイッチの操作」を参照してください。初期化実行後は、設定情報印刷結果を元に設定を行い、動作確認をしてください。

| No. | 現象 | 原因 | 対処 |
|-----|--|--|--|
| 1 | 自己診断印刷結果にNGがある。 | 本製品がプリンタに正しく取り付けられていない。または、ネットワークケーブルが正しく接続されていない。 | ROM、RAM CheckがNGの場合、本製品がプリンタに正しく取り付けられていない可能性がありますので、本製品を取り付け直してください。EEPROM CheckがNGの場合、本製品がプリンタに正しく取り付けられていない、またはディップスイッチの設定が正しく行われていない可能性がありますので、本製品を取り付け直し、ディップスイッチの設定を確認してください。NIC CheckがNGの場合、ネットワークケーブルが正しく接続されていない可能性があります。接続を確認してください。 |
| 2 | CD-ROMを挿入してもメインメニューが起動しない。 | Windows環境でご使用の場合、お使いのパソコンによっては、CD-ROMをセットしてもメニュー画面が自動的に起動しないことがあります。 | ルートディレクトリ(お使いのCD-ROMがDドライブなら、「D:¥」)にある[Autorun.exe]を直接実行してください。 |
| 3 | 設定ユーティリティ(Quick Setup、AdminManager)で検索を行っても、本製品が一覧に表示されない。またはネットワーク上で認識されない。 | (1)プリンタの電源がONになっていない。 | プリンタの電源をONしてください。 |
| | | (2)本製品がプリンタに正しく取り付けられていない。またはネットワークケーブルが正しく接続されていない。 | 自己診断印刷(印刷方法については、「第1章 本製品について」を参照)を行い、印刷結果にNGがないか確認してください。NGがあった場合、本表No.1の対処を参照し、対処してください。 |
| | | (3)稼動している本製品と接続イーサネットハブ(HUB)のLINK LEDが点灯していない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・イーサネットハブ(HUB)のポートが故障していないか確認してください。 ・ネットワークケーブルが断線していないか確認してください。 |
| | | (4)Windows XP環境でファイアウォール機能が有効になっている。 | Windows XP環境でTCP/IPプロトコルをご使用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」-「詳細設定」-「インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制御したり・・・」のチェックを外してください。 |
| | | (5)ご利用のパソコンにセキュリティソフトウェアがインストールされていて、ファイアウォール機能が有効になっている。 | 一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。 |
| | | (6)TCP/IP Protocolが使用できなくなっている。 | 設定内容の印刷(印刷方法については、「第1章 本製品について」を参照)を行い、印刷結果から「TCP/IP Protocol」設定が"ENABLE"になっているか確認してください。"DISABLE"の場合、本製品の初期化(操作方法については、「第1章 本製品について」を参照)を行ってください。なお、初期化を行った後は、ご利用のネットワーク環境に合わせて、再度設定を行ってください。 |

| No. | 現象 | 原因 | 対処 |
|-----|------------------------|---|---|
| 4 | IPアドレスの設定を行うと通信エラーになる。 | (1)本製品と通信ができていない。 | 本表No.3(1)～(3),(6)の対処を参照し、対処してください。 |
| | | (2)設定ユーティリティを起動しているパソコンのIPアドレスが確定していない。 | ご使用のパソコンとネットワークに存在する他のパソコンが通信できているか確認してください。 例) Windows XPのコマンドプロンプトでPingを実行する場合 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」で、 Ping xxx.xxx.xxx.xxxを実行すると下記内容が表示されます。 xxx.xxx.xxx.xxxは設定ユーティリティを起動しているパソコンのIPアドレスです。 Pingに応答がある場合、 「Reply from xxx.xxx.xxx.xxx: ~」を表示し Pingに応答がない場合は、 「Request timed out.」を表示します。 |
| | | (3)ご使用のパソコンが本製品と同一セグメントに存在しない。 | ご使用のパソコンのIPアドレスと、本製品に設定しようとしているIPアドレスが同一セグメントであるか確認してください。 |
| | | (4)ネットワーク上DHCP/BOOTPサーバまたはRARPサーバが存在している。 | IPアドレスの自動割当をおこなうため、本製品に設定したIPアドレスが書き換えられてしまう可能性がありますので、「DHCP/BOOTP」および「RARP」設定を"DISABLE"にしてください。 |
| | | (5)本製品の設定値が異常な設定になっている。 | 本製品の初期化(操作方法については、「第1章 本製品について」を参照)を行ってください。なお、初期化を行った後は、ご利用のネットワーク環境に合わせて、再度設定を行ってください。 |
| 5 | 印刷ができない。 | (1)ご使用のパソコンと本製品が通信できていない。 | ・本表No.3(1)～(4),(7)の対処を参照し、対処してください。 ・ご使用のパソコンと本製品が通信できているか確認してください。 例) Windows XPのコマンドプロンプトでPingを実行する場合 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」で、 Ping xxx.xxx.xxx.xxxを実行すると下記内容が表示されます。 xxx.xxx.xxx.xxxは設定ユーティリティを起動しているパソコンのIPアドレスです。 Pingに応答がある場合は、 「Reply from xxx.xxx.xxx.xxx: ~」を表示し Pingに応答がない場合は、 「Request timed out.」を表示します。 |
| | | (2)使用しているプリンタドライバの印刷先ポートが設定できていない。 | 「プリンタ」のプロパティの「詳細」で「印刷先のポート」が正しいか確認してください。 |
| | | (3)ネットワーク上DHCP/BOOTPサーバまたはRARPサーバが存在している。 | IPアドレスの自動割当をおこなうため、本製品に設定したIPアドレスが書き換えられてしまう可能性がありますので、「DHCP/BOOTP」および「RARP」設定を"DISABLE"にしてください。 |
| | | (4)ご使用のパソコンが本製品と同一セグメントに存在しない。 | 「サブネットマスク」および「ゲートウェイアドレス」が正しく設定されているか確認してください。 |
| | | (5)印刷データに排出コマンドがない。 | 印刷データに排出コマンドがあるか確認してください。 (本製品の"E0J string"や"E0J string(kanji)"に"¥f"を指定しておく、排出コマンドを持たないテキストデータ等を排出します。) |

| No. | 現象 | 原因 | 対処 |
|-----|--|---|--|
| 6 | 複数JOBを連続印刷すると、途中で印刷が停止し、しばらくすると印刷を再開する。 | WindowsNT4.0/Windows2000/Server2003/XPの標準印刷クライアントであるLPRポートの仕様により、発生する場合があります。 | 本製品に付属しているHI-Print のLPRポートを使用してください。 |
| 7 | 印刷中のエラーを長時間放置した後に印刷を再開すると、同じ内容の印刷を繰り返すことがある。 | Windows2000/Server2003/XPの印刷ポートの仕様により、印刷でタイムアウトが発生した場合、JOBの先頭から印刷データを再送します。 | 対象JOBを一旦Windowsのスーパーから削除した後、未印刷データのみ再送してください。 (本製品と合わせて、拡張プリントマネージャなどの印刷管理ソフトウェアをご使用いただくと、未印刷の当該頁からリカバリ印刷を行うことができます。) |
| 8 | 印刷中に通信エラーが発生した後、回復させ「再試行」すると文字化けが発生する。 | プリンタに印刷データが残っている状態で、「再試行」によりJOB先頭から印刷データを送信した場合、データ不正となり、文字化けする場合があります。 | プリンタの電源をOFF/ONし、用紙を再セットした後、「再試行」してください。 |
| 9 | 印刷中にエラーが発生する。 | 他の人が大量に印刷していたり、大きなサイズのデータを印刷している時に印刷を行い、他の人の印刷終了まで長時間待たされた場合、タイムアウトが発生して、エラーになる場合があります。 | 再度印刷を行ってください。 |
| 10 | 印刷を行うとダイヤルアップが起動する。 | Windowsの仕様です。 | ダイヤルアップを「キャンセル」してください。ダイヤルアップアダプタから本製品に処理が移行され、印刷を開始します。 |
| 11 | 印刷が途中で停止したり、文字が化けて印刷される。 | Windows2000/Server2003/XPのStandard TCP/IPポートのLPRモードの仕様により、発生する場合があります。 | <ul style="list-style-type: none"> 「LPRバイトカウントを有効にする」をチェックしてください。 本製品に付属しているHI-Print のLPRポートを使用してください。 |
| 12 | 拡張プリンタマネージャで印刷していると、印刷が終了する前にパソコンのスーパーから印刷JOBが消える。 | 拡張プリントマネージャをインストールしたパソコンのIPアドレスをSNMP設定のTrap Addressに設定している。 | <ul style="list-style-type: none"> 拡張プリンタマネージャをインストールしたパソコンのIPアドレスは、Another設定のPrint Trap Addressにだけ設定してください。 拡張プリンタマネージャをインストールしたパソコンのIPアドレスを、SNMP設定のTrap Addressには設定しないでください。 |
| 13 | 拡張プリンタマネージャ以外の印刷ポートからの印刷時に、エラー発生により以降のデータが印刷されない場合がある。 | Another設定項目内のPrint Trap Addressが"0.0.0.0"以外に設定されている。 | Another設定項目内のPrint Trap Addressを"0.0.0.0"に設定してください。 |

| No. | 現象 | 原因 | 対処 |
|-----|--|---|--|
| 14 | NetBEUI, NetBIOS over TCP/IP環境で印刷した時、エラーメッセージを表示する。 | Microsoft Network印刷の仕様により、プリンタの状態により、エラーメッセージが表示される場合があります。 | 運用上、問題がある場合は、HI-PrintのLPRポートからの印刷を使用してください。 |
| 15 | UNIX環境で漢字テキストの印刷で、漢字コードが化けて、正常に印刷できない。 | 漢字フィルタ経由の印刷を行っていない。 | 印刷データの漢字コードを確認して、「SJIS」または「EUC」の漢字フィルタを使用してください。 |
| 16 | Red Hat Linuxキュー作成ツールのテスト印刷で文字化けが発生する。 | プリンタドライバに問題がある。 | [プリンタドライバ]で「RAWプリントキュー」を選択した後、「ASCII Test Page」を出力して、正常に印刷されるか確認してください。正常に印刷された場合、プリンタドライバの問題である可能性があります。正常に印刷されない場合、印刷データまたは本製品を含めたプリンタの問題である可能性があります。 |
| 17 | SSLを使用して印刷をすると、エラーメッセージが表示される。 | SSL証明書が作成されていない。 | Webブラウザで本製品にアクセスし、SSL証明書が作成されているか確認してください。SSL証明書が作成されていない場合は、SSL証明書を作成してください。 |
| 18 | | SSL証明書の有効期限が切れている。 | Webブラウザで本製品にアクセスし、SSL証明書の有効期限を確認してください。有効期限が切れている場合は、SSL証明書を再発行してください。 |
| 19 | | Netscapeから印刷をしている。 | ブラウザに設定されている暗号化方式と、本製品に搭載されている暗号化方式が一致しない場合にエラーメッセージが表示されません。Netscapeのバージョンを確認し、最新版にしてください。 |
| 20 | SSLの設定ができない、印刷ポートが作成できない。 | Secure PrintがDISABLEになっている。 | Secure Print設定のSecure PrintをENABLEにしてください。 |
| 21 | | SSL Modeの設定がCUSTOMになっている、かつHTTPS、IPPがDISABLEになっている。 | SSL Modeの設定から、HTTPSとIPPをENABLEにしてください。 |
| 22 | | 接続先プリンタのURLが「HTTP://」で始まっている。 | 「HTTPS://」に変更してください。「HTTP://」ではセキュア通信印刷機能が動作しません。 |
| 23 | | 本製品のファームウェアのバージョンがVer1.X.Xになっている。 | 「第2章 セットアップユーティリティ」を参照してファームウェアアップロードを実行し、ファームウェアのバージョンをVer.2.X.Xにしてください。 |
| 24 | NetBEUI, SMTP, POP3, DNSを使用して印刷をしたいが、設定ができない、印刷ポートが作成できない。 | 製品のファームウェアバージョンがVer.2.X.Xになっている。 | SSL対応版のファームウェア (Ver.2.0.0以降) では、これらのプロトコルや機能を使用した印刷はできません。 SSL非対応版に含まれていた機能をご利用になる場合は、「第2章 セットアップユーティリティ」を参照してファームウェアアップロードを実行し、ファームウェアのバージョンをVer.1.X.Xにしてください。 |
| 25 | Webブラウザ設定の表示文字が化ける。 | OSおよびInternet Explorerの仕様による。 | OSおよびInternet Explorerの修正プログラムにより、最新版にアップデートしてください。 |



参考

・SSLとはSecure Socket Layerの略称です。SSLはインターネットで個人情報などを入力する際に盗聴やなりすまし防止に利用される通信方式で、一般化されたセキュリティ機能のひとつです。本製品は、このSSLを利用したセキュア通信印刷機能を有しています。本機能により、パソコンから印刷を行う際に印刷データを暗号化し、プリントサーバで複合化することを実現しています。

| | |
|--|----|
| IPv6 機能について | 2 |
| IPv6 とは? | 2 |
| 本製品 IPv6 機能概要 | 3 |
| IPv6 に対応する操作 | 3 |
| 本製品の IPv6 アドレス | 3 |
| 利用方法 | 4 |
| 本製品の IPv6 機能を有効にする | 4 |
| OS の IPv6 機能を有効にする | 4 |
| Network Plug & Play について | 7 |
| Windows XP の設定 | 7 |
| Windows Me の設定 | 7 |
| Print Port 関連の設定について | 8 |
| E-Mail 警告通知機能(SMTP) | 10 |
| E-Mail 印刷機能(POP) | 13 |
| エラーリカバリ支援機能 | 15 |
| WindowsNT4.0,Windows2000/XP での設定 | 15 |
| 本製品の設定 | 15 |
| セキュリティレベル設定機能 | 16 |
| セキュリティレベルの設定 | 16 |
| セキュア通信印刷機能について | 17 |
| Web ブラウザやTelnet で SSL の設定を行う | 17 |
| Web ブラウザで SSL 証明書の設定を行う | 19 |

IPv6機能について

本製品に搭載される IPv6 機能についての利用方法と制限事項について説明します。

IPv6 とは？

TCP/IPはInternetとともに広く普及してきたプロトコルですが、現在のInternet Protocol (IPv4)ではホストアドレスを表わすためのフィールドが32bitしかないため、あと数年すればそのアドレス空間が枯渇してしまう見込みとなっています。そこで、アドレス空間の拡大を図り、さらに従来のTCP/IPで問題となっていた部分を修正したり、欠けていた機能を追加して、新しいプロトコル体系の取り決めが行われています。それがInternet Protocol, Version 6 (IPv6)です。



- ・ IPv6 機能のご利用にあたっては、本製品だけでなくネットワークを構成する各ネットワーク機器(Router や PC)が IPv6 に対応している必要があります。
- ・ 本機能は SSL 非対応版のファームウェアに含まれる機能です。

本製品IPv6機能概要

IPv6 に対応する操作

本製品の IPv6 機能では IPv6 ネットワークにて以下の操作を行うことができます。

- * TELNET または HTTP による設定
- * FTP または LPR による印刷
- * ping6 コマンドによる応答確認
- * traceroute6 コマンドによる経路追跡

本製品の IPv6 アドレス

本製品のリンクローカルアドレスは以下のとおりです。

リンクローカルアドレス： FE80:0:0:0:0:0280:92FF:FE xx : $yyzz$
($xyyyzz$ は本製品の Ethernet アドレスの下 3 桁です)



参考

- ・IPv6ネットワーク上にステートレス自動設定機能を持つIPv6ルータが存在する場合は、ルータから自動設定することができます。



注意

制限事項

- ・本製品の IPv6 アドレス設定方法はリンクローカル及びステートレス自動設定の 2 種類だけです。マニュアル設定およびステートフル自動設定(DHCPv6)には対応していません。
- ・セキュリティ機能は認証ヘッダ(AH)、暗号ペイロード(ESP)ともに対応していません。
- ・IPv6 ヘッダのトラフィック・クラスおよびフロー・ラベルは 0 固定です。
- ・巨大ペイロード・オプションには対応していません。
- ・パケットの断片化/再構成には対応していますが、ヘッダ部を含め 3072byte を上限としています。
- ・SNMP の IPv6 MIB には対応していません。
- ・IPv6 ネットワーク上における付属ツールの一覧検索には対応していません。
- ・IPv6 を利用してパナーページの印刷を行った場合、IP アドレス部分は 0.0.0.0 として印刷されます。

利用方法

本製品の IPv6 機能を有効にする

本製品の IPv6 機能は工場出荷時設定にて機能しないよう設定されています。
IPv6 機能を有効にするには以下の操作を行います。

- (1) 通常の TCP/IP 設定により IPv4 アドレスを割り当てます。
(通常の TCP/IP 設定は、本製品に付属するクイックガイドを参照ください。)
- (2) Web ブラウザ、または、telnet コマンドを用いて本製品にアクセスします。
- (3) 本製品の「TCP/IP 設定」の「IPv6」項目を "ENABLE" に設定します。
- (4) 設定を保存後、本製品を再起動します。

以上の操作にて本製品の IPv6 機能が有効になります。

OS の IPv6 機能を有効にする

ここでは Windows XP 上での IPv6 環境構築例を記載します。その他 OS 環境下での IPv6 環境構築方法に関しましては、各 OS のマニュアルをご参照ください。

- (1) Windows XP の IPv6 機能を有効にする
コマンドプロンプトを起動し、"ipv6.exe" を実行します。

(コマンド入力例)



参考

ipv6.exe に関する詳しい操作方法は、マイクロソフト社の Web ページをご参照ください。

```
C:¥> ipv6 install
```

(2) Hosts ファイルに IPv6 アドレスを登録する

Windows XP の Hosts ファイルに本製品の IP アドレスとホスト名との関連付け情報を登録します。

Hosts ファイルに関連付け情報を登録することで、IP アドレスではなくホスト名を指定して本製品と通信できるようになります。

Windows XP の Hosts ファイルは下記フォルダに格納されています。
メモ帳などを用いて本製品の情報を追加してください。

格納先フォルダ： C:\windows\system32\drivers\etc
(OS インストールドライブが C: の場合)
ファイル名： hosts



(Hosts ファイル入力例)

```
# Copyright (c) 1993-1999 Microsoft Corp.
#
# This is a sample HOSTS file used by Microsoft TCP/IP for Windows.
#
# Additionally, comments (such as these) may be inserted on individual
# lines or following the machine name denoted by a '#' symbol.
#
# For example:
#
#       102.54.94.97       rhino.acme.com   # source server
#       38.25.63.10      x.acme.com        # x client host

127.0.0.1                localhost
fe80::280:92ff:fe12:3456 PC-PB20501
本製品の IP アドレス    本製品のホスト名 (任意)
```

(3) Windows XP 付属の下記ユーティリティで本製品へのアクセスを行う。

Windows XP では下記の操作が可能です。

- ・ Internet Explorer6.0 による本製品の設定操作
- ・ UNIX 用印刷サービスによるアプリケーション印刷操作
- ・ コマンドプロンプトからの "lpr" 、 "FTP" コマンドを使用しての印刷動作。
- ・ コマンドプロンプトからの "ping6" コマンドを使用しての応答確認。



- ・ Windows XP 標準の印刷サービスである、Standard TCP/IP port 印刷、IPP 印刷は IPv6 環境に対応していません。
GUI 操作による印刷を行う場合は Windows XP の追加サービスである「UNIX 用印刷サービス」を Windows コンポーネントに追加してご利用ください。
本製品付属マニュアル「第 4 章 Windows XP の LPR ポートで印刷する」を参照してください。
- ・ Internet Explorer6 および UNIX 用印刷サービスで本製品のアドレスを指定する場合は、Hosts ファイルに登録した Host 名を指定してください。
IP アドレスの直接指定は Windows XP の仕様上対応されていません。

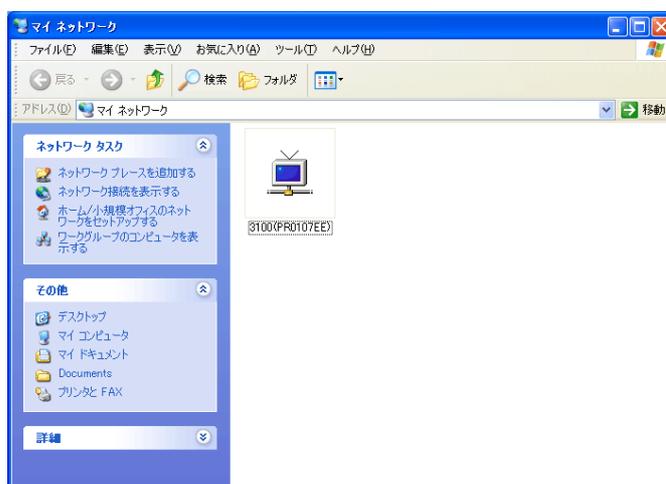
Network Plug & Playについて

本製品は Windows Me/XP 環境において自動的にネットワーク接続を検知することができます。本製品をネットワークに接続するだけで、Windows Me/XP の「マイ ネットワーク」内に本製品のアイコンが一覧表示されます。表示された本製品のアイコンをダブルクリックすることで、本製品のWebページが表示され、設定の変更やステータス情報の参照が行えます。



注意

・本機能は SSL 非対応版のファームウェアに含まれる機能です。



この機能を使用するにはパソコン に下記の設定を行います。

Windows XPの設定

1. マイネットワークを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
2. ネットワーク接続の「詳細設定」メニューから「オプション ネットワークコンポーネント」を選択し、オプション ネットワークコンポーネントウィザードを起動します。
3. 「ネットワークサービス」を選択し、「詳細」ボタンをクリックします。
4. 「ユニバーサルプラグアンドプレイ」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。
5. 「次へ」をクリックします。

Windows Meの設定

1. 「スタート」-「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を起動します。
2. 「Windows ファイル」タブより、「通信」を選択して、「詳細」ボタンをクリックします。
3. 「ユニバーサルプラグアンドプレイ」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。
4. 「OK」ボタンをクリックします。

Print Port関連の設定について

本製品のPrint Port関連の設定について説明します。

1 . B0J string

直接出力ポート (Ipポート) に出力する前に、プリンタに送信する文字列を指定します。印刷前に制御コード等を送る場合は、文字列を設定してください。設定できる文字列は、31文字以内の任意の文字列です。また、文字列以外に以下のような特殊文字列も送出できます。デフォルトは " なし " です。

| | |
|-----|----------------------|
| ¥b | : バックスペースコード (0x08) |
| ¥t | : タブコード (0x09) |
| ¥n | : 改行コード (0x0d) |
| ¥v | : 垂直タブコード (0x0b) |
| ¥r | : 復帰コード (0x0a) |
| ¥f | : 改ページコード (0x0c) |
| ¥nn | : nn で表示される 16 進数コード |
| ¥" | : " マーク (0x22) |
| ¥¥ | : ¥ マーク (0x5c) |

2 . E0J string

直接出力ポート (Ipポート) に出力した後に、プリンタに送出する文字列を指定します。印字前に制御コード等を送る場合は、文字列を設定してください。設定できる文字列は、31文字以内の任意の文字列です。また、文字列以外に B0J string 同様、特殊文字列も送出できます。デフォルトは " なし " です。

3 . B0J string(KANJI)

漢字フィルタ経由出力ポート (EUC, SJISポート) に出力する前に、プリンタに送信する文字列を指定します。印刷前に制御コード等を送る場合は、文字列を設定してください。設定できる文字列は、31文字以内の任意の文字列です。また、文字列以外に以下のような特殊文字列も送出できます。デフォルトは " なし " です。

4 . E0J string(KANJI)

漢字フィルタ経由出力ポート (EUC, SJISポート) に出力した後に、プリンタに送出する文字列を指定します。印字前に制御コード等を送る場合は、文字列を設定してください。設定できる文字列は、31文字以内の任意の文字列です。また、文字列以外に E0J string 同様、特殊文字列も送出できます。デフォルトは " なし " です。

5 . Printer Type

漢字フィルタ経由で出力するときの漢字プリンタタイプを設定します。本製品は以下10種類のプリンタ漢字コードに対応しています。デフォルトは "ESC/P" です。

| | |
|---------|--|
| ASCII | : 漢字変換しない。CR/LF、TAB変換のみ行います。 |
| SJIS | : シフトJISコードに変換する。 |
| EUC | : EUCコードに変換する。 |
| LIPS | : LIPS漢字コードに変換する。 |
| PR201 | : PR201漢字コードに変換する。文字ピッチをパicaサイズにセットする。 |
| PR2-1-E | : PR201漢字コードに変換する。文字ピッチをE11サイズにセットする。 |
| ESC/P | : ESC/P漢字コードに変換する。文字ピッチをパicaサイズにセットする。 |
| ESC/P-E | : ESC/P漢字コードに変換する。文字ピッチをE11サイズにセットする。 |
| FMPR | : FMPRシリーズ日本語プリンタの漢字コードに変換する。 |
| N5263 | : N5200シリーズ日本語プリンタの漢字コードに変換する。 |

6 . TAB size

漢字フィルタ経由で出力する際に、TABコードを半角スペースに変換する際の文字サイズを指定します。設定値は0 ~ 16です。デフォルトは "8" です。

7 . Page width

漢字フィルタ経由で出力するときのページ長を設定します。設定値は0 ~ 255です。デフォルトは "0" です。

8 . Page length

漢字フィルタ経由で出力するときのページ幅を設定します。設定値は0 ~ 255です。デフォルトは "0" です。

9 . ftp/lpr banner

FTPまたはLPRで印刷するときに、バナーページ漢字フィルタ経由で出力するときのページ幅を設定します。設定値は0 ~ 255です。デフォルトは "0" です。

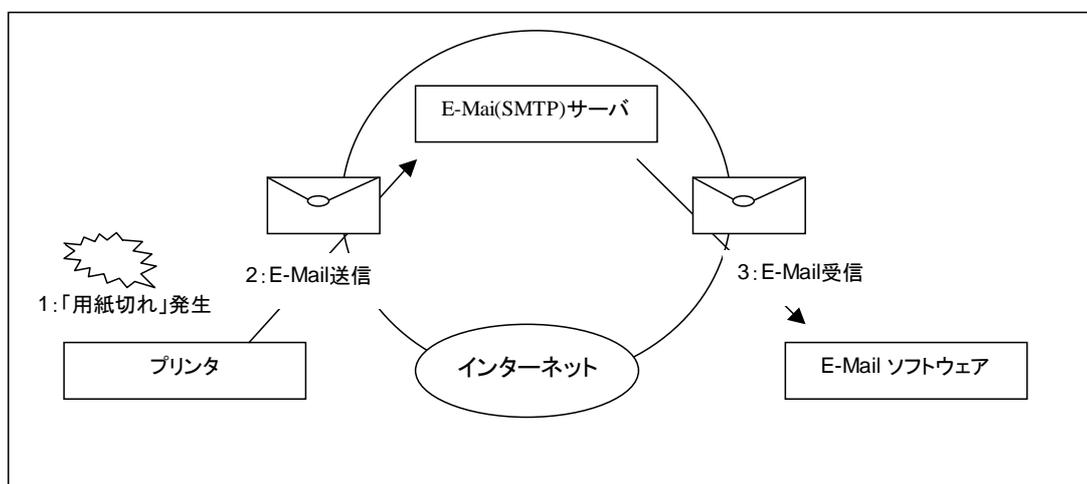
E-Mail警告通知機能(SMTP)

本製品はE-Mail 警告通知機能が利用できます。E-Mail 警告通知機能を使用すると、プリンタステータスをE-Mailで検知することができます。本製品はプリンタステータスが変化する毎に、指定のE-Mailアドレス(2アドレスまで指定可能)にE-Mailでプリンタステータスを送信します。この機能を用いるとインターネットを介してプリンタステータスの「用紙切れ」「オフライン」「プリンタエラー」を検知することができます。



注意

・本機能はSSL非対応版のファームウェアに含まれる機能です。



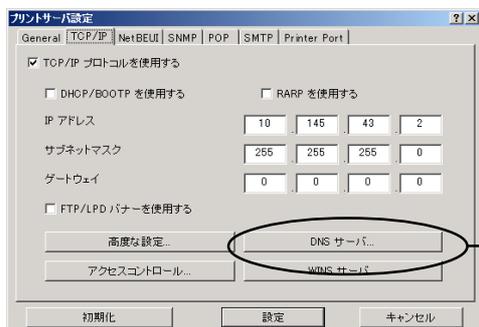
本機能の設定は、AdminManager、Webブラウザ、TELNETで行うことができます。AdminManagerを使って本機能の設定を行う場合は、次の手順で行います。

1. AdminManager を起動し、一覧画面から設定する本製品を選択します。



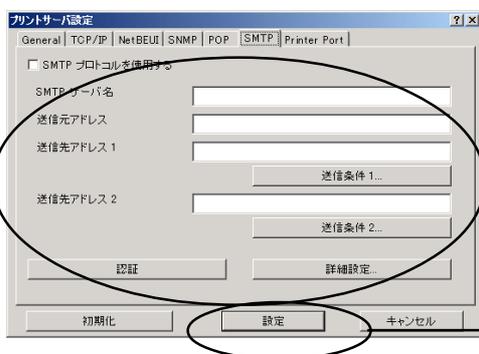
「設定」メニューより「プリントサーバ設定」を選択します。

3.



「TCP/IP」タブより「DNSサーバ」をクリックし、DNSサーバアドレスを入力します。

4.



「SMTP」タブを選択し、E-Mailの送信先情報を入力します。

「設定」をクリックします。

5. 本製品を再起動した後、設定情報が有効になります。

本製品からは次のようなE-Mail メッセージが送信されます。

```

PC-PB20XXX Version x.x.x
Copyright 2005 Ricoh Printhing Systems,Ltd.
TCP/IP status
  IP Address       : XXX.XXX.XXX.XXX
  Subnet Mask      : XXX.XXX.XXX.XXX
  Default Gateway  : XXX.XXX.XXX.XXX
  DNS server(Pri.) : XXX.XXX.XXX.XXX
  DNS Server(Sec.) : XXX.XXX.XXX.XXX
IPv6 status
  Address #0000    : XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX/XX
  Address #0001    : XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX/XX
  Router #0000     : XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX X
  Router #0001     : XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX/XX
NetWare status : Disabled
AppleTalk status :Disabled
NetBIOS status
  NetBIOS over TCP : Registration completed
  NetBEUI           : Registration completed
  Computer Name    : PR012345
  Workgroup        : PRINTSERVERS
  Master Browser   :
  [NetBIOS over TCP] :PR012345
  [NetBEUI]        :PR112233
E-MAIL status
  Session:2 times.
All profiles are disabled.
SMTP status
TO-ADDR1
  E-MAIL Address: <user1@HITACHI.co.jp>
  Last Session  : Nothing
  Current status: Waiting for Interval time.
  Try to send   : 0 times.
  Fail to sendr : 0 times.
TO-ADDR2
  E-MAIL Address: <user2@HITACHI.co.jp>
  Last Session  : Nothing
  Current status: Idle.
  Try to send   : 0 times.
  Fail to sendr : 0 times.

```

— 本製品のシステムステータス

```

[PRINTER STATUS]
00:04:27 <00010100> Offline
00:04:22 <00110100> Paper Empty

```

— プリンタステータス(プリンタエラーが発生した時間(本製品を起動してからの時間)とステータス文字列)

```

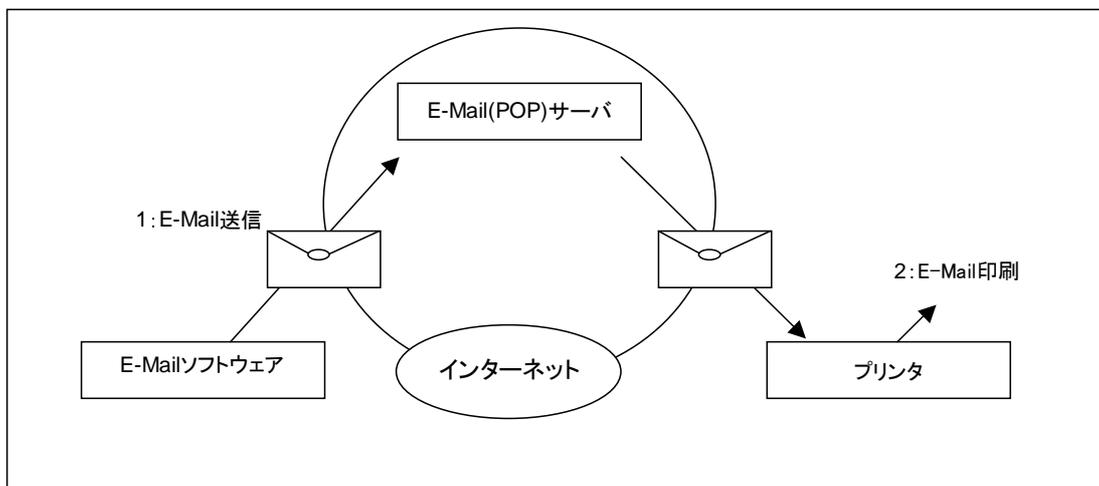
-----
HITACHI PC-PB20XXX
[XX:XX:XX:XX:XX:XX]
-----

```

— 本製品のシグネチャ情報

E-Mail印刷機能(POP)

本製品はE-Mail印刷機能が利用できます。E-Mail印刷機能を使うと、インターネットを介して送信されてきたE-Mailデータを直接プリンタに出力することができます。プリンタに出力するE-Mailデータは、E-Mail本文、及び、E-Mailに添付されるテキストファイル(*.txt)、または、プリンタドライバを介して生成された印刷データファイル(*.prn)を印刷することができます。(ファイル拡張子が".prn",".txt"以外の添付ファイルはファイル名のみが印刷されます。)



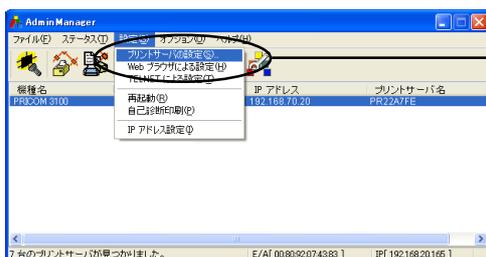
注意

- E-Mail本文およびテキストファイルを印刷する場合は、プリンタがフォントを搭載している必要があります。
- プリンタドライバ生成ファイル(*.prn)を添付印刷する場合は、出力するプリンタのプリンタドライバで生成された印刷データファイルを添付する必要があります。
- 添付ファイルのみを印刷する場合は、件名に"/nobody"の文字列を含んでE-mail送信してください。
- 本機能はSSL非対応版のファームウェアに含まれる機能です。

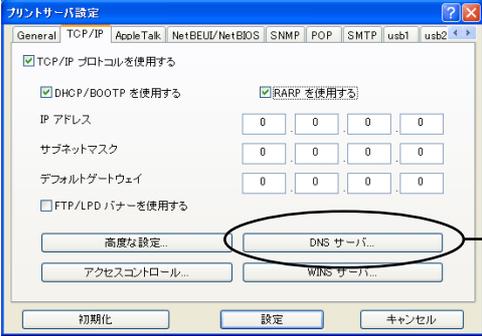
本機能の設定は、AdminManager、Webブラウザ、TELNETで行うことができます。AdminManagerを使って本機能の設定を行う場合は、次の手順で行います。

1. AdminManagerを起動し、一覧画面から設定する本製品を選択します。

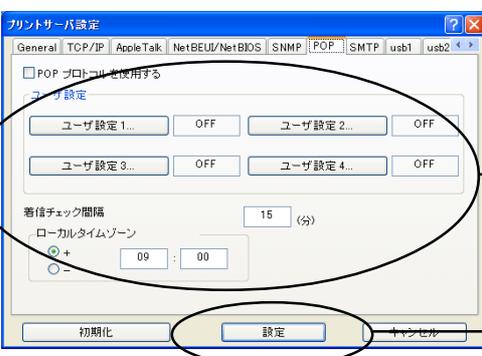
2.



「設定」メニューより「プリントサーバ設定」を選択します。

3. 

「TCP/IP」タブより「DNSサーバ」をクリックし、DNSサーバアドレスを入力します。

4. 

「POP」タブを選択し、E-Mailの受信アドレス情報を入力します。

「設定」をクリックします。



・ユーザ設定には次の情報を設定することができます。

参考

| 項目 | 説明 | 初期値 (工場出荷時設定) |
|--------------|--|------------------|
| ユーザ設定を使用する | メール受信機能の使用有無を指定します。 | DISABLE |
| POPサーバ名 | メールサーバのホスト名(IPアドレス)を指定します。 | なし |
| POPユーザ名 | メールアカウントのログイン名(ユーザー名)を設定します。 | なし |
| POPパスワード | メールサーバに接続する際のパスワードを指定します。 | なし |
| POPポート番号 | POPポート番号を指定します。 | 110 |
| APOPを使用する | APOPの使用有無を指定します。 | NO |
| 受信したメールを削除する | メールサーバ上のメールを削除するかを指定します。 | NO |
| 開封通知を使用する | POP機能により印刷データを受信した際の開封通知メールの送信可否を設定します。開封通知メールはSMTP設定のサーバ情報に対して送信処理を行います。 | NO |
| メール受信制限 | 処理するメールサイズの最大値(Kbyte)を指定します。 | 0(制限なし) |
| フィルタ設定 | 特定メールのみ印刷するように指定します。フィルタ設定はタイトル条件("S:文字列")、宛先条件("T:文字列")、同報宛先条件("C:文字列")、送信先条件("F:文字列")の4種類のセンテンスをOR条件(" ")またはAND条件("&")で接続した文字列で設定します。 (例)宛先または同報宛先が"sillex"のみを受信する場合 "T:sillex C:sillex" | なし |

5. 本製品を再起動した後、設定情報が有効になります。

エラーリカバリ支援機能

WindowsNT4.0,Windows2000/XPでの設定

本製品はエラーリカバリ支援機能を搭載しています。本機能は、WindowsNT4.0またはWindows2000/XPで別売のプログラムプロダクトと連動することにより、より効果的なエラーリカバリ機能を実現します。

主な機能として次のものがあります。

- ・印刷障害発生時のページ単位のリカバリ
- ・障害発生時のリカバリ印刷データ表示

| 製品名 | 適用OS |
|---------------------|--|
| 拡張プリンタマネージャ2000 | Windows 2000 Prifessional,Windows 2000 Server Windows 2000 Advanced Server Windows XP Professional,Windows XP Home Edition Windows NT 4.0 Workstation,Windows NT 4.0 Server |
| 拡張プリンタマネージャVersion3 | Windows NT 4.0 Workstation,Windows NT 4.0 Server |



- ・拡張プリンタマネージャからの印刷はSSLに対応していません。

注意

本製品の設定

拡張プリンタマネージャを使用する場合、Windowsからの印刷を行うための設定のほかに、下表の設定が必要になります。拡張プリンタマネージャの使用方法については、拡張プリンタマネージャのマニュアルを参照してください。

| 設定項目 | 設定内容 | デフォルト値 |
|--------------------------------|--|---------|
| SNMP設定 Authentic community | 拡張プリンタマネージャのコミュニティ名設定に合わせてください。 | public |
| その他の設定 Print Trap community | 拡張プリンタマネージャのコミュニティ名設定に合わせてください。 | public |
| その他の設定 Print Trap Address | 拡張プリンタマネージャがインストールされているコンピュータのIPアドレスを設定してください。 | 0.0.0.0 |
| その他の設定 PE/Reboot | Print Trap Addressを設定して印刷を行い、用紙なしになった時に、本設定が「DISABLE」の場合は、用紙セット後に受信完了データを印刷する場合があります。本設定を「ENABLE」に設定すると、本製品をリブートしてデータ出力を抑止します。拡張プリンタマネージャとの連携では、本機能を"ENABLE"に設定してください。 | DISABLE |



- ・SNMP 設定の中の Trap Address 設定に拡張プリンタマネージャをインストールしたコンピュータの IP アドレスを設定しないでください。エラーリカバリを正常に処理できなくなります。

注意

セキュリティレベル設定機能

セキュリティレベルの設定

本製品は任意のプロトコル(サービス)を有効または無効にすることができます。プロトコル(サービス)を無効にすると、該当プロトコル(サービス)での通信を排除し、有効設定されているプロトコル(サービス)のみ通信を行います。セキュリティレベル設定機能は3段のセキュリティレベルを用途に応じて設定することができます。設定範囲は下表の通りです。なお、セキュリティレベルをCUSTOMに設定すると、プロトコル(サービス)個々に有効/無効の設定を行うこともできます。

| セキュリティレベル | IPsec | RAW | IPsec | HTTP | HTTPS | Telnet | FTP | SNMP | Protocol SETUP |
|-----------|-------|-----|-------|------|-------|--------|-----|------|----------------|
| CUSTOM | | | | | | | | | |
| Level1 | | | | | | x | x | x | |
| Level2 | x | x | | x | | x | x | x | x |

:有効(設定により無効)

:有効(有効固定)

x:無効(無効固定)



注意

- ・「CUSTOM」を選択した場合、「HTTP」、「HTTPS」、「Telnet」のいずれかを必ず有効にしてください。
- ・「CUSTOM」を選択し、「HTTPS」のみ有効にする場合は、事前に「SSL設定」項目の「暗号化を使用する」を「ENABLE」に設定し、SSL証明書の作成を必ず行ってください。
- ・SSL対応版ファームウェアを使用すると、一部使用できないプロトコルがあります。詳細については、「第1章 本製品について」「第6章 設定に関する機能」を参照してください。
- ・SSL未対応版ファームウェアへのアップデート方法は、「第2章 セットアップユーティリティ」を参照してください。
- ・本機能はSSL対応版のファームウェアに含まれる機能です。

セキュア通信印刷機能について

WebブラウザやTelnetでSSLの設定を行う

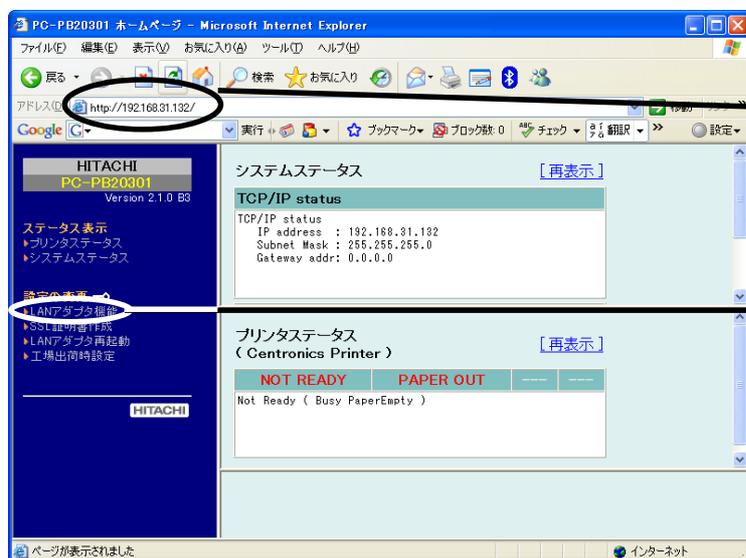
セキュア通信(SSL通信)をするために、本製品の設定をします。



注意

- SSL の設定を行う前に、本製品の IP アドレスを設定する必要があります。設定方法は「はじめに」を参照してください。
- SSL を使用して印刷するには、SSL 証明書および有効期限の設定が必要になります。SSL 証明書は Web ブラウザの「SSL 証明書作成」から作成できます。
- 「IPP ポート」以外の印刷ポートでは、セキュア通信印刷機能は使用できません。
- 「IPP ポート」からセキュア通信印刷機能を使用して印刷する場合の URL は "https:// ~ " と指定してください。"http:// ~ " と指定すると、セキュア通信印刷機能は動作しません。
- SSL 対応版ファームウェアを使用すると、一部使用できないプロトコルがあります。詳細については、「第 1 章 本製品について」「第 6 章 設定に関する機能」を参照してください。
- SSL 未対応版ファームウェアへのアップデート方法は、「第 2 章 セットアップユーティリティ」を参照してください。
- Windows Vista で使用する場合、IPP ポート作成前に予め、SSL 証明書のダウンロードが必要になります。

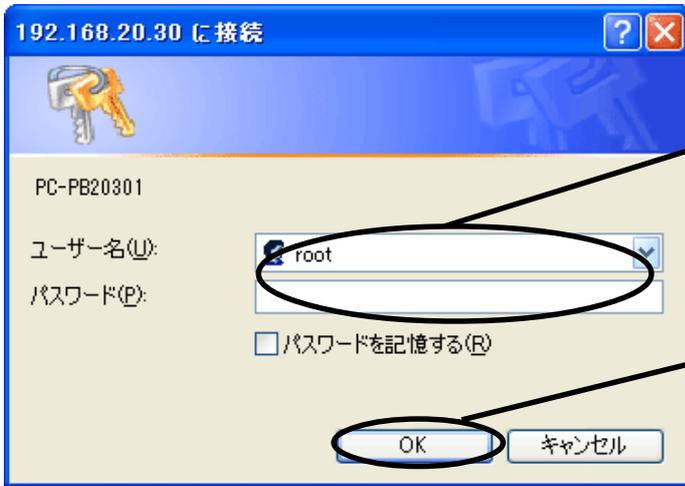
1. Web ブラウザを起動し、本製品に接続します。



本製品の IP アドレスを入力してください。

「LANアダプタ機能」をクリックしてください。

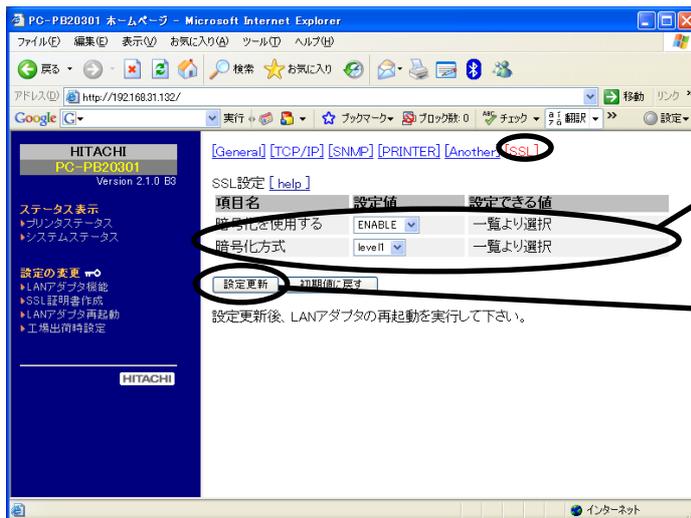
2. ログインユーザー名 / パスワードを入力します。



ログインユーザー名に" root "と入力してください。rootパスワードを設定している場合はパスワードに設定している文字列を入力してください。

OK をクリックしてください。

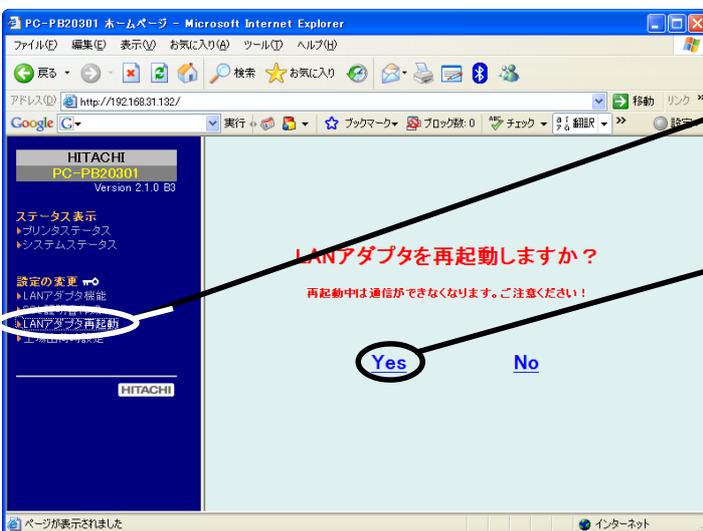
3. 「LAN アダプタ機能」から「SSL」をクリックし、SSL 設定を "ENABLE" にして設定更新してください。



各種設定項目を設定してください。

設定更新をクリックしてください。

4. 本製品を再起動し、設定した SSL 機能を有効にします。



「LANアダプタ再起動」をクリックしてください。

「Yes」をクリックしてください。

WebブラウザでSSL証明書の設定を行う

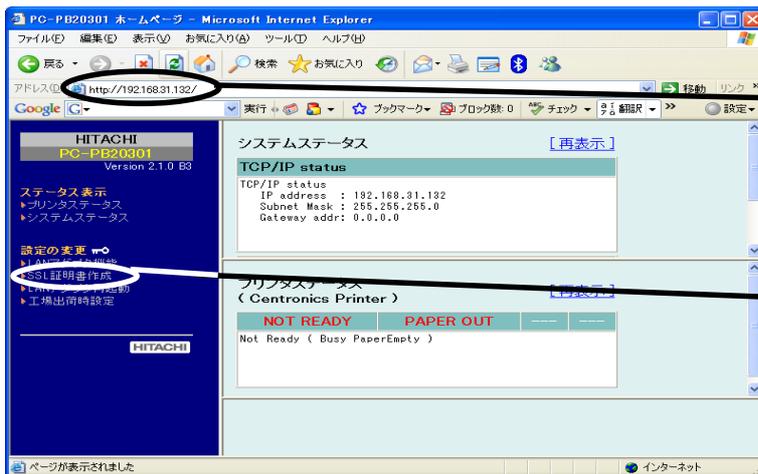
セキュア通信(SSL通信)をするために、SSL証明書情報を本製品に設定をします。



注意

- SSL 証明書情報の設定を行う前に、本製品の IP アドレスを設定する必要があります。設定方法は「はじめに」を参照してください。
- SSL を使用して印刷するには、SSL の設定が必要になります。SSL の設定方法は本章「Web ブラウザや Telnet で SSL の設定を行う」を参照してください。
- 「IPP ポート」以外の印刷ポートでは、セキュア通信印刷機能は使用できません。
- 「IPP ポート」からセキュア通信印刷機能を使用して印刷する場合の URL は "https:// ~ " と指定してください。"http:// ~ " と指定すると、セキュア通信印刷機能は動作しません。
- WindowsVista で使用する場合は、IPP ポート作成前に予め、SSL 証明書のダウンロードが必要になります。

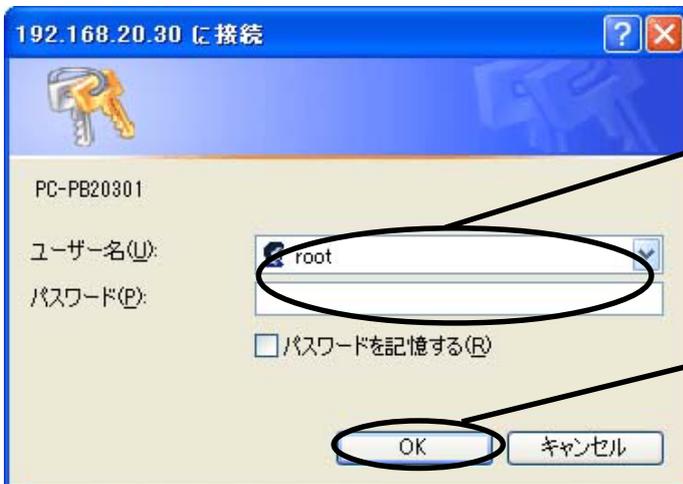
1. Web ブラウザを起動し、本製品に接続します。



本製品の IP アドレスを入力してください。

「SSL証明書作成」をクリックしてください。

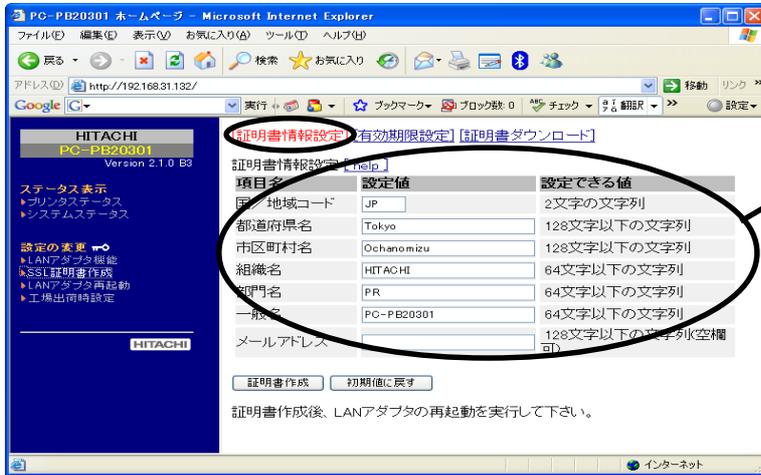
2. ログインユーザー名 / パスワードを入力します。



ログインユーザー名に " root " と入力してください。root パスワードを設定している場合はパスワードに設定している文字列を入力してください。

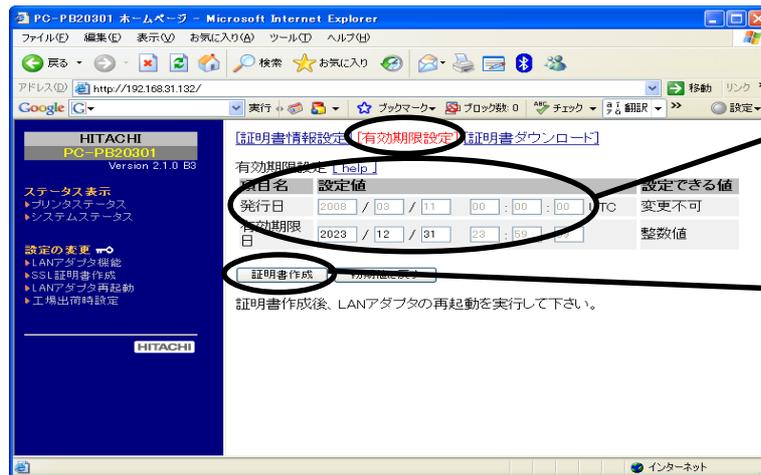
OK をクリックしてください。

3. [証明書情報設定]を登録します。



各種設定項目に必要な事項を入力してください。

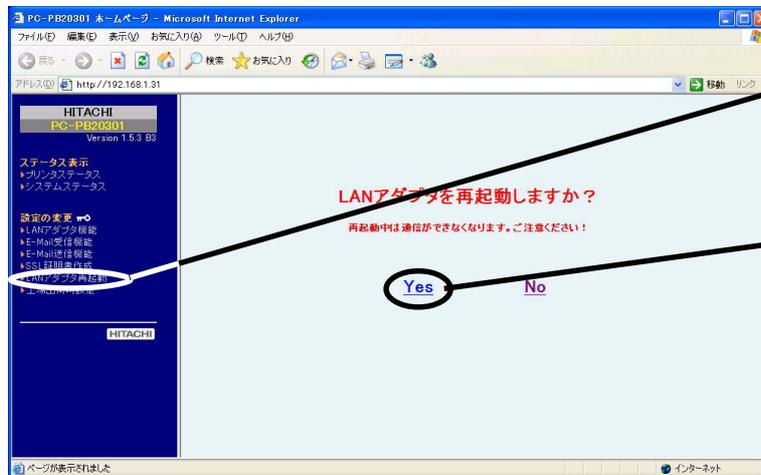
4. [有効期限設定]を登録します。



「有効期限」に日付を入力してください。

「証明書作成」ボタンをクリックしてください。

5. 本製品を再起動し、設定したSSL機能を有効にします。



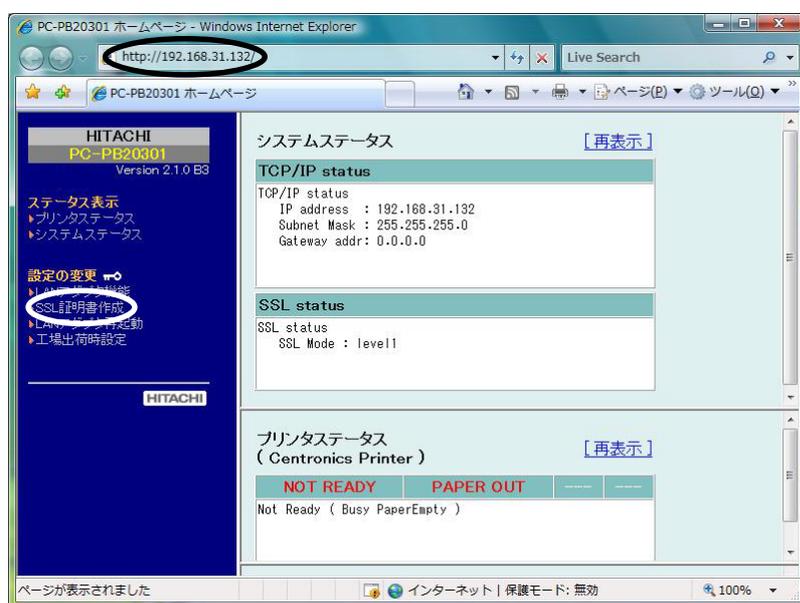
「LANアダプタ再起動」をクリックしてください。

「Yes」をクリックしてLANアダプタを再起動してください。

WindowsVistaでセキュア通信印刷をする

WindowsVistaでセキュア通信印刷を行うためには、IPPポートを追加する前に、WebブラウザからSSL証明書のインストールを行う必要があります。この操作は、SSL証明書作成後に、IPPポート追加作業を行う前に実施してください。なお、本作業は印刷を実行するパーソナルコンピュータ毎に実施してください。

1. Web ブラウザを起動し、本製品に接続します。
2. Web ページ右側のメニューから「SSL 証明書作成」をクリックしてください。

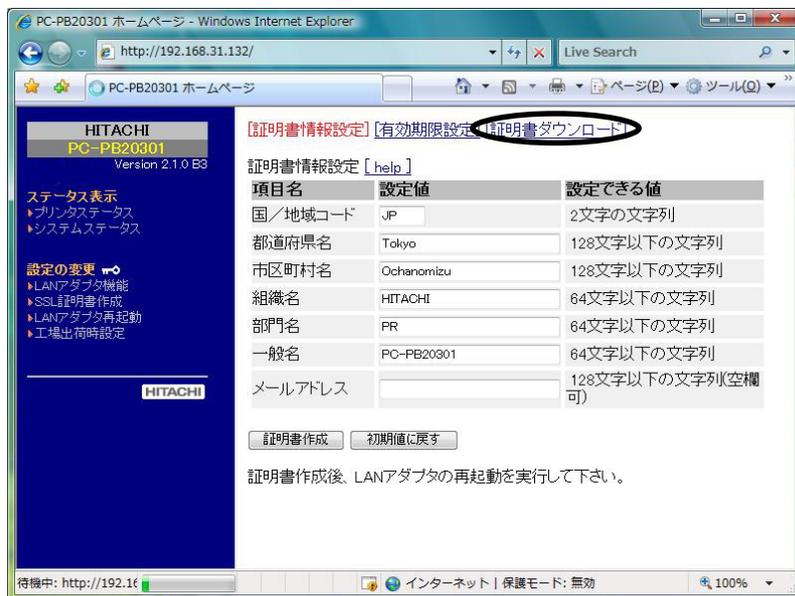


3. パスワード認証画面が表示されます。工場出荷時設定の場合は、ユーザ名に「root」、パスワード無し(リターン押下)を入力して「OK」をクリックします。



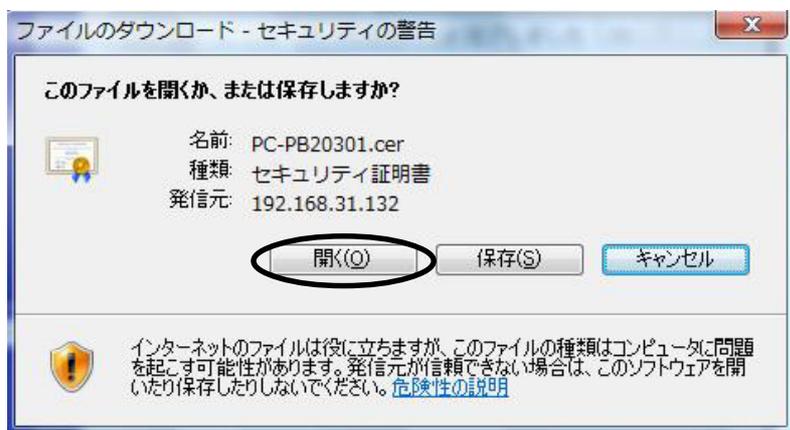
付録

4. 「証明書ダウンロード」をクリックして、表示されたページで「証明書ダウンロード」をクリックします。



(ファームウェアをバージョンアップ直後はダウンロードできない場合があります、その場合は証明書作成し直してください)

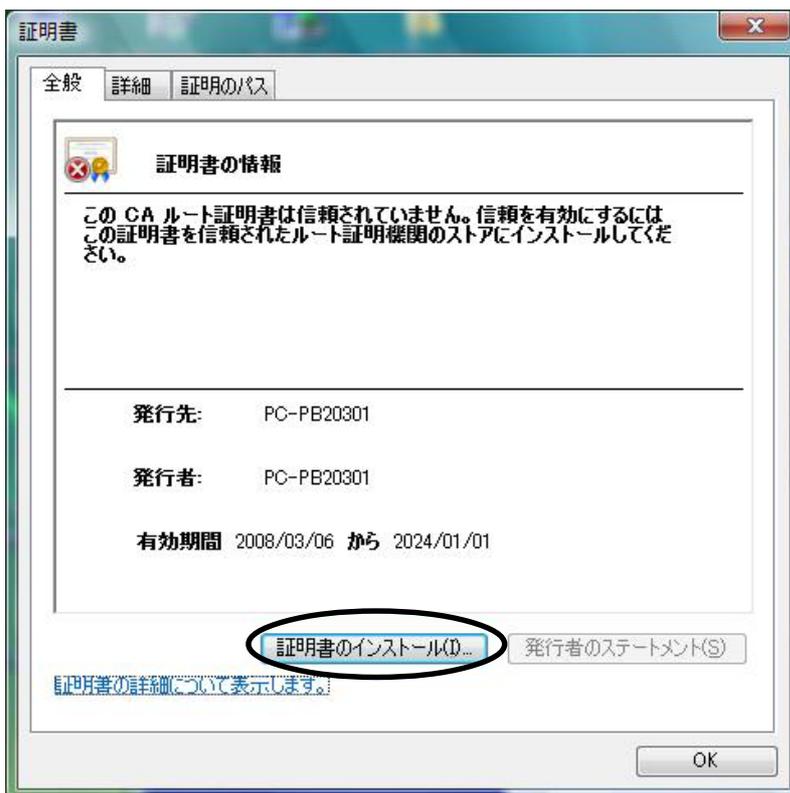
5. セキュリティのダイアログで、「開く」をクリックしてください。



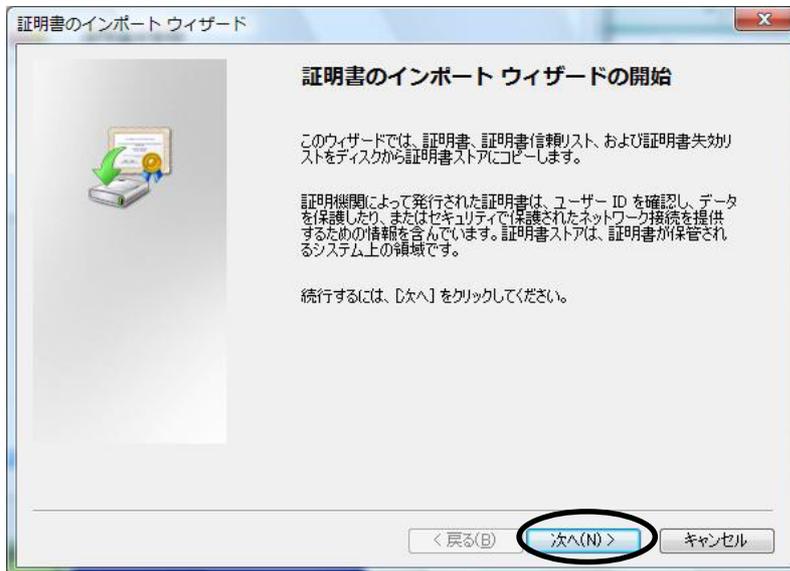
6. Internet Explorer セキュリティダイアログで、「許可する」をクリックしてください。



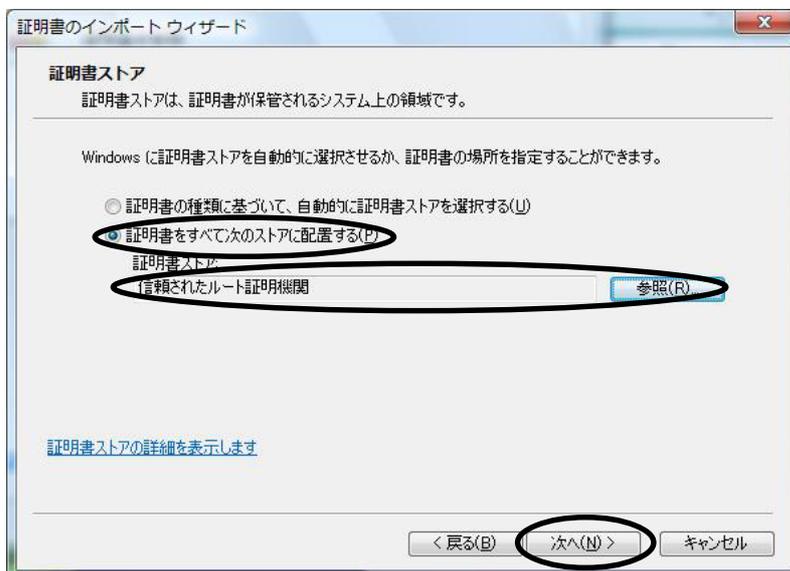
7. 証明書ダイアログを表示します。「証明書のインストール」をクリックしてください。



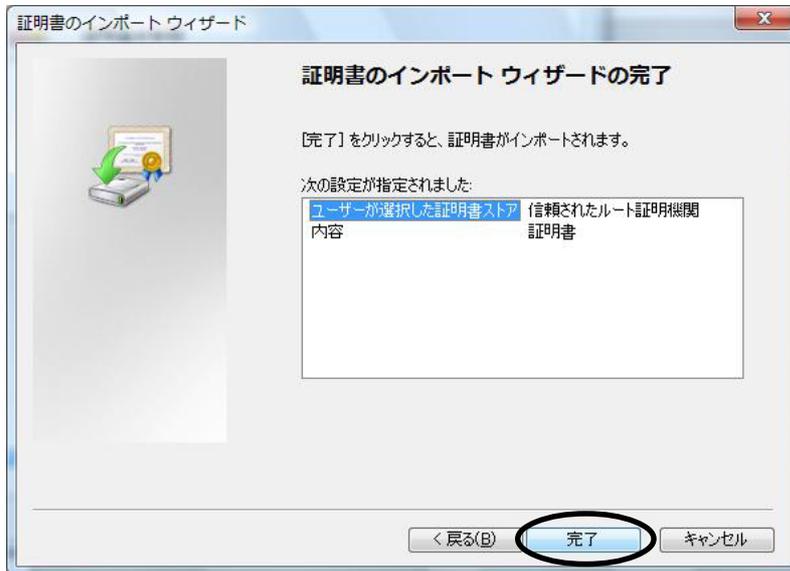
8. 証明書のインポートウィザードが起動します。「次へ」をクリックしてください。



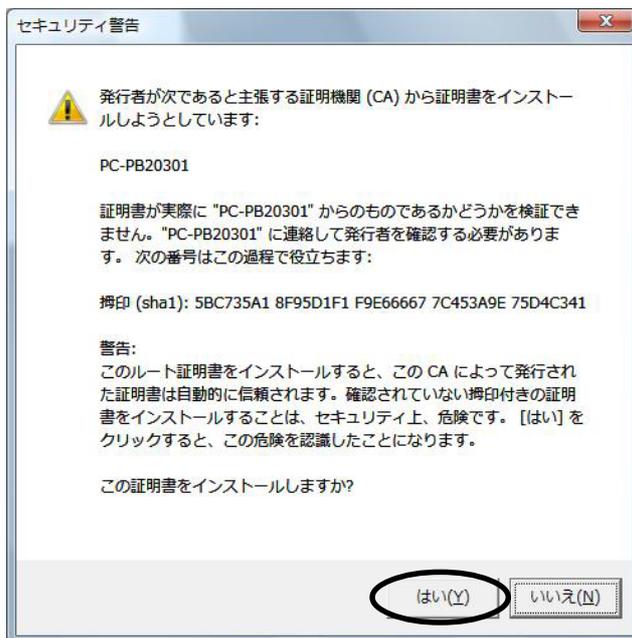
9. 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、「参照」をクリックします。表示されたダイアログで、「信頼されたルート証明機関」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



10. 「完了をクリックしてください。」



11. セキュリティ警告ダイアログでは、「はい」をクリックしてください。



12. 証明書のインポートが完了しました。証明書のインポートウィザードダイアログで「OK」をクリックしてください。この後に IPP ポートを追加してください。

